

No.	630-010	事務事業名	市国分物産館じょうもん市場管理運営事業	所属部	商工観光部
				所属課	観光課
政策体系	政策名	0 3	活力ある産業のまちづくり	課長名	横手 航太郎
	施策名	0 1	農・林・水産業の振興	所属G(係)	特産品G
	基本事業名	0 5	地産地消の推進	電話番号	45-5111

予算科目	会計	款	項	目	事業	事業名	法令根拠	特になし
	一般	0	7	0	1	0	5	

事務事業の概要(具体的なやり方、手順、詳細。期間限定複数年度事業は全体像を記述)		事業期間
平成17年に本市の農産物の情報の発信基地としての機能を果たし、農家の意識改革と都市住民との交流を図るとともに、農家所得の向上及び中山間地域の活性化を図ることを目的として設置された霧島市国分物産館じょうもん市場の運営管理を国分農林水産物等販売協議会を指定管理者として委託している。なお、指定管理料は支払っておらず、販売協議会は館の売上げを維持管理の運営経費に充てている。市の予算は施設のレジ使用料のみであり、同額を歳入で販売協議会から受け入れている。 (1) 開館時間 午前9時から午後6時まで (2) 休館日 1月1日から1月5日までの日		<input type="checkbox"/> 単年度のみ <input checked="" type="checkbox"/> 単年度繰返 ↳ ( H 17 年度 ~ ) <input type="checkbox"/> 期間限定複数年度 ↳ ( 年度 ~ 年度 )

1 現状把握の部(DO)

(1) 事務事業の目的と指標		活動指標(事務事業の活動量を表す指標)	
手段(主な活動)		名称	単位
20年度実績(20年度に行った主な活動)	事務事業の概要と同様	ア 営業日数	日
21年度計画(21年度に計画している主な活動)	前年度と同様	イ 来館者数	人
対象(誰、何を対象にしているのか) *人や自然資源等	市民 国分物産館じょうもん市場	ウ	
意図(この事業によって、対象をどう変えるのか)	安心して地元特産品を購入できる。 地元特産品を供給できる。	対象指標(対象の大きさを表す指標)	
結果(どんな結果に結び付けるのか)	安心・安全な農林水産物を地域に供給する。	名称	単位
		ア 人口	人
		イ 国分物産館じょうもん市場会員数	人
		ウ	
		成果指標(対象における意図の達成度を表す指標)	
		名称	単位
		ア 年間売上額	円
		イ 出品者数	人
		ウ	
		上位成果指標(結果の達成度を表す指標)	
		名称	単位
		ア 学校給食への供給率	%
		イ 地元産の農産物を積極的に購入している市民の割合	%
		ウ	

(2) 総事業費・指標等の推移		単位	18年度(実績)	19年度(実績)	20年度(実績)	21年度(見込)			
投入量	事業費	国庫支出金	千円						
		都道府県支出金	千円						
		地方債	千円						
		その他	千円						
		一般財源	千円	1,166	1,216	1,166	1,180		
		事業費計(A)	千円	1,166	1,216	1,166	1,180		
活動指標	ア	日	361	362	361	361			
	イ	人	205,483	204,723	204,823	204,923			
	ウ								
対象指標	ア	人	127,615	127,773	128,374	128,975			
	イ	人	153	160	171	182			
	ウ								
成果指標	ア	円	153,913,730	220,829,271	229,357,383	231,000,000			
	イ	人	153	160	171	182			
	ウ								
上位成果指標	ア	%	未把握	3.2	3.6	4.0			
	イ	%	未把握	68.2	69.5	71.0			
	ウ								

(3) 事務事業の環境変化・住民意見等	
この事務事業を開始したきっかけは何か?いつ頃どんな経緯で開始されたのか?	
平成17年に本市の農産物の情報の発信基地としての機能を果たし、農家の意識改革と都市住民との交流を図るとともに、農家所得の向上及び中山間地域の活性化を図ることを目的として設置された。	
事務事業を取り巻く状況(対象者や根拠法令等)はどう変化しているか、開始時期あるいは5年前と比べてどう変わったのか?	
特に変化なし。	
この事務事業に対して関係者(住民、議会、事業対象者、利害関係者等)からどんな意見や要望が寄せられているか?	
物産館は初期費用を公共団体が負担している。管理者に応分の費用を負担すべきとの意見がある。	

事務事業名	市国分物産館じょうもん市場管理運営事業	所属部	商工観光部	所属課	観光課
-------	---------------------	-----	-------	-----	-----

2 評価の部(SEE) \*原則は事後評価、ただし複数年度事業は途中評価

目的 妥当性 評価	政策体系との整合性	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある【理由】 ↘ <input checked="" type="checkbox"/> 結びついている【理由】 ↘
	この事務事業の目的は市(町)の政策体系に結びつくか?意図することが結果に結びついているか?	物産館の指定管理者である国分物産館じょうもん市場に霧島市横川特産品直売所・食材供給施設の運営を委託し運営することは、来訪者に安心・安全な農林産物を供給することに繋がりが結びついている。
	公共関与の妥当性	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある【理由】 ↘ <input checked="" type="checkbox"/> 妥当である【理由】 ↘
有効性 評価	なぜこの事業を市(町)が行わなければならないのか?税金を投入して、達成する目的か?	市は、消費者の求める、安心・安全・新鮮な食材供給のための地産地消の推進を図る必要があるので妥当である。
	対象・意図の妥当性	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある【理由】 ↘ <input checked="" type="checkbox"/> 適切である【理由】 ↘
	対象を限定・追加すべきか?意図を限定・拡充すべきか?	対象は、物産館を訪れる市民と物産館を運営する国分物産館じょうもん市場で妥当である。意図は、物産館を運営し、地元特産品を販売することは、安心・安全な地元農産物を供給することに繋がりが妥当である。
効果 率性 評価	成果の向上余地	<input checked="" type="checkbox"/> 向上余地がある【理由】 ↘ <input type="checkbox"/> 向上余地がない【理由】 ↘
	成果を向上させる余地はあるか?成果の現状水準とあるべき水準との差異はないか?何が原因で成果向上が期待できないのか?	商品が売り切れていることも多いので、出品者(会員)の拡大や新規就農の推進をし、安心安全な地元の農産品を安定的に供給できる環境を整えれば、売上げも増え成果の向上余地がある。
	廃止・休止の成果への影響	<input type="checkbox"/> 影響無【理由】 ↘ <input checked="" type="checkbox"/> 影響有【その内容】 ↘
公平 性 評価	事務事業を廃止・休止した場合の影響の有無とその内容は?	新鮮で安心・安全な地元産品を手軽に購入できなくなり、消費者へは多大な影響がある。
	類似事業との統廃合・連携の可能性	<input checked="" type="checkbox"/> 他に手段がある(具体的な手段、事務事業) ↘ 霧島市国分物産館じょうもん市場管理運営事業等 <input type="checkbox"/> 統廃合できる ↘ <input type="checkbox"/> 連携できる ↘ <input checked="" type="checkbox"/> 統廃合できない ↘ <input type="checkbox"/> 連携できない ↘
	目的を達成するには、この事務事業以外他に方法はないか?類似事業との統廃合ができるか?類似事業との連携を図ることにより、成果の向上が期待できるか?	各物産館とも、指定管理者が異なり、それぞれ地元特産品を出品しており統廃合はできない。  <input type="checkbox"/> 他に手段がない【理由】 ↘
公平 性 評価	事業費の削減余地	<input checked="" type="checkbox"/> 削減余地がある【理由】 ↘ <input type="checkbox"/> 削減余地がない【理由】 ↘
	成果を下げずに事業費を削減できないか?(仕様や工法の適正化、住民の協力など)	物産館は独立採算が基本であり、事業費そのものがない。市は修繕料のみを負担しているが、早めの点検補修を行えば修繕料も抑えることができる。
公平 性 評価	人件費(延べ業務時間)の削減余地	<input type="checkbox"/> 削減余地がある【理由】 ↘ <input checked="" type="checkbox"/> 削減余地がない【理由】 ↘
	やり方を工夫して延べ業務時間を削減できないか?成果を下げずに正職員以外の職員や委託でできないか?(アウトソーシングなど)	修繕料の支払にかかる事務は最低限のものであり、人件費の削減余地はない。
公平 性 評価	受益機会・費用負担の適正化余地	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある【理由】 ↘ <input checked="" type="checkbox"/> 公平・公正である【理由】 ↘
公平 性 評価	事業の内容が一部の受益者に偏っていて不公平ではないか?受益者負担が公平・公正になっているか?	行政財産であるので、唯一の支出である修繕費に関しても、妥当性がある。市民が誰でも利用できる物産館なので受益者はすべての市民であり、偏りはあり得ない。

3 評価結果の総括と今後の方向性(次年度計画と予算への反映)(PLAN) 【担当課長記入欄】

(1) 1次評価者としての評価結果	(2) 全体総括(振り返り、反省点)																										
目的妥当性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり 有効性 <input type="checkbox"/> 適切 <input checked="" type="checkbox"/> 見直し余地あり 効率性 <input type="checkbox"/> 適切 <input checked="" type="checkbox"/> 見直し余地あり 公平性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり	新鮮で安心・安全な地場産品を提供するため必要な事業であるが、安定して消費者に商品を提供できるように出品者(会員)の拡大や新規就農の推進をする必要がある。施設の点検・補修を早めに行うことにより、修繕料をおさえられる。																										
(3) 今後の事業の方向性(改革改善案)・・・複数選択可	(4) 改革・改善による期待成果(廃止・休止の場合は記入不要)																										
<input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 休止 <input checked="" type="checkbox"/> 事業のやり方改善(有効性改善) <input type="checkbox"/> 現状維持 <input type="checkbox"/> 目的再設定 <input checked="" type="checkbox"/> 事業のやり方改善(効率性改善) (従来通りで特に改革改善をしない) <input type="checkbox"/> 事業統廃合・連携 <input type="checkbox"/> 事業のやり方改善(公平性改善)	<table border="1"> <tr> <td colspan="2" rowspan="2"></td> <td colspan="3">コスト</td> </tr> <tr> <td>削減</td> <td>維持</td> <td>増加</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">成果</td> <td>向上</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>維持</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td rowspan="2">低下</td> <td>維持</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>低下</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </table>			コスト			削減	維持	増加	成果	向上				維持				低下	維持				低下			
				コスト																							
		削減	維持	増加																							
成果	向上																										
	維持																										
低下	維持																										
	低下																										
(5) 改革、改善を実現する上で解決すべき課題(壁)とその解決策																											
出品者を拡大するために、地元の農家への声かけを行う。 農林水産部と連携し、団塊世代などの新規就農を推進する。																											

No.	630-020	事務事業名	市溝辺町特産品販売所よこでー管理運営事業				所 属 部	商工観光部					
							所 属 課	観光課					
政策体系	政策名	0 3	活力ある産業のまちづくり				課 長 名	横手 航太郎					
	施策名	0 1	農・林・水産業の振興				所 属 G (係)	特産品G					
	基本事業名	0 5	地産地消の推進				電 話 番 号	45-5111					
予算科目	会計一般	0	7	0	1	0	5	事業	104010	事業名	物産館管理事業	法令根拠	霧島市溝辺物産館の設置及び管理に関する条例及び同施行規則

事務事業の概要(具体的なやり方、手順、詳細。期間限定複数年度事業は全体像を記述)												事業期間	
平成9年に本市の農産物の情報の受発信基地としての機能を果たし、農家の意識改革と都市住民との交流を図るとともに、農家所得の向上及び中山間地域の活性化を図ることを目的として設置された霧島市溝辺町特産品販売所よこでーの運営管理を溝辺町特産品協会を指定管理者として委託している。なお、指定管理料は支払っておらず、特産品協会は館の売上げを維持管理の運営経費に充てている。市の予算は施設の修繕料、保険料、電灯代。 (1) 開館時間 午前9時30分から午後6時まで (2) 休館日 1月1日から1月3日までの日												<input type="checkbox"/> 単年度のみ <input checked="" type="checkbox"/> 単年度繰返 <span style="margin-left: 20px;">↳ ( H 9 年度 ~ )</span> <input type="checkbox"/> 期間限定複数年度 <span style="margin-left: 20px;">↳ ( 年度 ~ 年度 )</span>	

1 現状把握の部(DO)

(1) 事務事業の目的と指標																										
手段(主な活動)						活動指標(事務事業の活動量を表す指標)																				
20年度実績(20年度に行った主な活動)						<table border="1"> <tr><th colspan="2">名称</th><th>単位</th></tr> <tr><td>ア</td><td>営業日数</td><td>日</td></tr> <tr><td>イ</td><td>来館者数</td><td>人</td></tr> <tr><td>ウ</td><td></td><td></td></tr> </table>						名称		単位	ア	営業日数	日	イ	来館者数	人	ウ					
名称		単位																								
ア	営業日数	日																								
イ	来館者数	人																								
ウ																										
事務事業の概要と同様						⇒																				
21年度計画(21年度に計画している主な活動)						<table border="1"> <tr><th colspan="2">名称</th><th>単位</th></tr> <tr><td>ア</td><td>人口</td><td>人</td></tr> <tr><td>イ</td><td>溝辺町特産品協会会員数</td><td>人</td></tr> <tr><td>ウ</td><td></td><td></td></tr> </table>						名称		単位	ア	人口	人	イ	溝辺町特産品協会会員数	人	ウ					
名称		単位																								
ア	人口	人																								
イ	溝辺町特産品協会会員数	人																								
ウ																										
前年度と同様						⇒																				
対象(誰、何を対象にしているのか) *人や自然資源等						<table border="1"> <tr><th colspan="2">名称</th><th>単位</th></tr> <tr><td>ア</td><td>年間売上額</td><td>円</td></tr> <tr><td>イ</td><td>出品者数</td><td>人</td></tr> <tr><td>ウ</td><td></td><td></td></tr> </table>						名称		単位	ア	年間売上額	円	イ	出品者数	人	ウ					
名称		単位																								
ア	年間売上額	円																								
イ	出品者数	人																								
ウ																										
市民 溝辺町特産品協会						⇒																				
意図(この事業によって、対象をどう変えるのか)						<table border="1"> <tr><th colspan="2">名称</th><th>単位</th></tr> <tr><td>ア</td><td>上位成果指標(結果の達成度を表す指標)</td><td></td></tr> <tr><td>イ</td><td>学校給食への供給率</td><td>%</td></tr> <tr><td>ウ</td><td>地元産の農産物を積極的に購入している市民の割合</td><td>%</td></tr> <tr><td>ウ</td><td></td><td></td></tr> </table>						名称		単位	ア	上位成果指標(結果の達成度を表す指標)		イ	学校給食への供給率	%	ウ	地元産の農産物を積極的に購入している市民の割合	%	ウ		
名称		単位																								
ア	上位成果指標(結果の達成度を表す指標)																									
イ	学校給食への供給率	%																								
ウ	地元産の農産物を積極的に購入している市民の割合	%																								
ウ																										
安心して地元特産品を購入できる。 地元特産品を供給できる。						⇒																				
結果(どんな結果に結び付けるのか)						⇒																				
安心・安全な農林水産物を地域に供給する。																										

(2) 総事業費・指標等の推移		単位	18年度(実績)	19年度(実績)	20年度(実績)	21年度(見込)				
投入量	事業費	国庫支出金	千円							
		都道府県支出金	千円							
		地方債	千円							
		その他	千円							
		一般財源	千円	57	57	52	357			
		事業費計(A)	千円	57	57	52	357			
活動指標		ア 日	361	362	361	361				
		イ 人	205,483	204,723	204,823	204,923				
		ウ								
対象指標		ア 人	127,615	127,773	128,374	128,975				
		イ 人	98	105	110	115				
		ウ								
成果指標		ア 円	167,097,376	176,078,646	192,572,076	209,065,506				
		イ 人	98	105	110	115				
		ウ								
上位成果指標		ア %	未把握	3.2	3.6	4.0				
		イ %	未把握	68.2	69.5	71.0				
		ウ								

(3) 事務事業の環境変化・住民意見等											
この事務事業を開始したきっかけは何か？いつ頃どんな経緯で開始されたのか？											
平成9年に本市の農産物の情報の受発信基地としての機能を果たし、農家の意識改革と都市住民との交流を図るとともに、農家所得の向上及び中山間地域の活性化を図ることを目的として設置された。											
事務事業を取り巻く状況(対象者や根拠法令等)はどう変化しているか、開始時期あるいは5年前と比べてどう変わったのか？											
特に変化なし。											
この事務事業に対して関係者(住民、議会、事業対象者、利害関係者等)からどんな意見や要望が寄せられているか？											
物産館は初期費用を公共団体が負担している。管理者に込分の費用を負担すべきとの意見がある。											

事務事業名	市溝辺町特産品販売所よこでーる管理運営事業	所属部	商工観光部	所属課	観光課
-------	-----------------------	-----	-------	-----	-----

2 評価の部(SEE) \*原則は事後評価、ただし複数年度事業は途中評価

目的 妥当性 評価	政策体系との整合性	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある【理由】 ↷ <input checked="" type="checkbox"/> 結びついている【理由】 ↷
	公共関与の妥当性	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある【理由】 ↷ <input checked="" type="checkbox"/> 妥当である【理由】 ↷
	対象・意図の妥当性	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある【理由】 ↷ <input checked="" type="checkbox"/> 適切である【理由】 ↷
有効性 評価	成果の向上余地	<input checked="" type="checkbox"/> 向上余地がある【理由】 ↷ <input type="checkbox"/> 向上余地がない【理由】 ↷
	廃止・休止の成果への影響	<input type="checkbox"/> 影響無【理由】 ↷ <input checked="" type="checkbox"/> 影響有【その内容】 ↷
	類似事業との統廃合・連携の可能性	<input checked="" type="checkbox"/> 他に手段がある(具体的な手段、事務事業) ↷ 霧島市福山ふくふれあい館管理運営事業等 <input type="checkbox"/> 統廃合できる ↷ <input type="checkbox"/> 連携できる ↷ <input checked="" type="checkbox"/> 統廃合できない ↷ <input type="checkbox"/> 連携できない ↷
効率性 評価	事業費の削減余地	<input checked="" type="checkbox"/> 削減余地がある【理由】 ↷ <input type="checkbox"/> 削減余地がない【理由】 ↷
	人件費(延べ業務時間)の削減余地	<input type="checkbox"/> 削減余地がある【理由】 ↷ <input checked="" type="checkbox"/> 削減余地がない【理由】 ↷
公平性 評価	受益機会・費用負担の適正化余地	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある【理由】 ↷ <input checked="" type="checkbox"/> 公平・公正である【理由】 ↷

3 評価結果の総括と今後の方向性(次年度計画と予算への反映)(PLAN) 【担当課長記入欄】

(1) 1次評価者としての評価結果	(2) 全体総括(振り返り、反省点)																	
目的妥当性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり 有効性 <input type="checkbox"/> 適切 <input checked="" type="checkbox"/> 見直し余地あり 効率性 <input type="checkbox"/> 適切 <input checked="" type="checkbox"/> 見直し余地あり 公平性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり	新鮮で安心・安全な地場産品を提供するため必要な事業であるが、安定して消費者に商品を提供できるように出品者(会員)の拡大や新規就農の推進をする必要がある。施設の点検・補修を早めに行うことにより、修繕料をおさえられる。																	
(3) 今後の事業の方向性(改革改善案)・・・複数選択可 <input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 休止 <input checked="" type="checkbox"/> 事業のやり方改善(有効性改善) <input type="checkbox"/> 現状維持 <input type="checkbox"/> 目的再設定 <input checked="" type="checkbox"/> 事業のやり方改善(効率性改善) (従来通りで特に改革改善をしない) <input type="checkbox"/> 事業統廃合・連携 <input type="checkbox"/> 事業のやり方改善(公平性改善)	(4) 改革・改善による期待成果(廃止・休止の場合は記入不要) <table border="1" style="margin-left: auto; margin-right: auto;"> <tr> <td colspan="2" rowspan="2"></td> <td colspan="3">コスト</td> </tr> <tr> <td>削減</td> <td>維持</td> <td>増加</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">成果</td> <td>向上</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>維持 低下</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </table>			コスト			削減	維持	増加	成果	向上				維持 低下			
				コスト														
		削減	維持	増加														
成果	向上																	
	維持 低下																	
(5) 改革、改善を実現する上で解決すべき課題(壁)とその解決策 出品者を拡大するために、地元の農家への声かけを行う。 農林水産部と連携し、団塊世代などの新規就農を推進する。																		

No.	630-030	事務事業名	市横川特産品直売所・食材供給施設管理運営事業	所属部	商工観光部
政策体系	政策名	0 3	活力ある産業のまちづくり	所属課	観光課
	施策名	0 1	農・林・水産業の振興	課長名	横手 航太郎
	基本事業名	0 5	地産地消の推進	所属G(係)	特産品グループ
				電話番号	45-5111

予算科目	会計	款	項	目	事業	事業名	法令 根拠	霧島市横川特産品直売所・食材供給施設の設置及び管理に関する条例及び同施行規則
	一般	0	7	0	1	0		

事務事業の概要(具体的なやり方、手順、詳細。期間限定複数年度事業は全体像を記述)		事業期間	
平成12年に本市の農産物の情報の受発信基地としての機能を果たし、農家の意識改革と都市住民との交流を図るとともに、農家所得の向上及び中山間地域の活性化を図ることを目的として設置された霧島市横川特産品直売所・食材供給施設の運営管理を横川町産産品販売協議会を指定管理者として委託している。なお、指定管理料は支払っており、特産品協会は館の売上げを維持管理の運営経費に充てている。市の予算は施設の修繕料のみ。 (1) 開館時間 4月1日から10月31日まで 午前8時30分から午後6時まで、11月1日から翌年の3月31日まで 午前9時から午後5時30分まで (2) 休館日 12月31日から翌年の1月3日までの日		<input type="checkbox"/> 単年度のみ <input checked="" type="checkbox"/> 単年度繰返 ↳ ( H 12 年度 ~ ) <input type="checkbox"/> 期間限定複数年度 ↳ ( 年度 ~ 年度 )	

1 現状把握の部(DO)

(1) 事務事業の目的と指標		活動指標(事務事業の活動量を表す指標)	
手段(主な活動)		名称	単位
20年度実績(20年度に行った主な活動)	事務事業の概要と同様	ア 営業日数	日
20年度計画(20年度に計画している主な活動)	前年度と同様	イ 来館者数	人
対象(誰、何を対象にしているのか) * 人や自然資源等	市民 横川町特産品販売協議会	ウ	
意図(この事業によって、対象をどう変えるのか)	安心して地元特産品を購入できる。 地元特産品を供給できる。	対象指標(対象の大きさを表す指標)	
結果(どんな結果に結び付けるのか)	安心・安全な農林水産物を地域に供給する。	ア 人口	人
		イ 横川町特産品販売協議会会員数	人
		ウ	
		成果指標(対象における意図の達成度を表す指標)	
		ア 年間売上額	円
		イ 出品者数	人
		ウ	
		上位成果指標(結果の達成度を表す指標)	
		ア 学校給食への供給率	%
		イ 地元産の農産物を積極的に購入している市民の割合	%
		ウ	

(2) 総事業費・指標等の推移		単位	18年度 (実績)	19年度 (実績)	20年度 (実績)	21年度 (見込)		
投入量	事業費 財源内訳	国庫支出金	千円					
		都道府県支出金	千円					
		地方債	千円					
		その他	千円					
		一般財源	千円	53	168	374	354	
		事業費計(A)	千円	53	168	374	354	
活動指標	ア 日	361	362	361				
	イ 人	205,483	204,723	207,263	204,923			
	ウ							
対象指標	ア 人	127,615	127,773	128,374	128,975			
	イ 人	153	160	168	176			
	ウ							
成果指標	ア 円	219,923,826	213,431,000	206,980,000	207,300,000			
	イ 人	153	160	168	176			
	ウ							
上位成果指標	ア %	未把握	3.2	3.6	4.0			
	イ %	未把握	68.2	69.5	71.0			
	ウ							

(3) 事務事業の環境変化・住民意見等	
この事務事業を開始したきっかけは何か?いつ頃どんな経緯で開始されたのか?	
平成12年に本市の農産物の情報の受発信基地としての機能を果たし、農家の意識改革と都市住民との交流を図るとともに、農家所得の向上及び中山間地域の活性化を図ることを目的として設置された。	
事務事業を取り巻く状況(対象者や根拠法令等)はどう変化しているか、開始時期あるいは5年前と比べてどう変わったのか?	
特に変化なし。	
この事務事業に対して関係者(住民、議会、事業対象者、利害関係者等)からどんな意見や要望が寄せられているか?	
物産館は初期費用を公共団体が負担している。管理者に応分の費用を負担すべきとの意見がある。	

事務事業名	市横川特産品直売所・食材供給施設管理運営事業	所属部	商工観光部	所属課	観光課																									
2 評価の部(SEE) *原則は事後評価、ただし複数年度事業は途中評価																														
目的 妥当性 評価	政策体系との整合性	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある【理由】 <input checked="" type="checkbox"/> 結びついている【理由】																												
	この事務事業の目的は市(町)の政策体系に結びつくか?意図することが結果に結びついているか?	物産館の指定管理者である横川町特産品販売協議会に霧島市横川特産品直売所・食材供給施設の運営を委託し運営することは、来訪者に安心・安全な農林産物を供給することに繋がり結びついている。																												
	公共関与の妥当性	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある【理由】 <input checked="" type="checkbox"/> 妥当である【理由】																												
有効性 評価	なぜこの事業を市(町)が行わなければならないのか?税金を投入して、達成する目的か?	市は、消費者の求める、安心・安全・新鮮な食材供給のための地産地消の推進を図る必要があるので妥当である。																												
	対象・意図の妥当性	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある【理由】 <input checked="" type="checkbox"/> 適切である【理由】																												
	対象を限定・追加すべきか?意図を限定・拡充すべきか?	対象は、物産館を訪れる市民と物産館を運営する横川町特産品販売協議会で妥当である。意図は、物産館を運営し、地元特産品を販売することは、安心・安全な地元農産物を供給することに繋がり妥当である。																												
有効性 評価	成果の向上余地	<input checked="" type="checkbox"/> 向上余地がある【理由】 <input type="checkbox"/> 向上余地がない【理由】																												
	成果を向上させる余地はあるか?成果の現状水準とあるべき水準との差異はないか?何が原因で成果向上が期待できないのか?	商品が売り切れていることも多いので、出品者(会員)の拡大や新規就農の推進をし、安心安全な地元の農産品を安定的に供給できる環境を整えれば、売上げも増え成果の向上余地がある。																												
	廃止・休止の成果への影響	<input type="checkbox"/> 影響無【理由】 <input checked="" type="checkbox"/> 影響有【その内容】																												
効率性 評価	事務事業を廃止・休止した場合の影響の有無とその内容は?	新鮮で安心・安全な地元産品を手軽に購入できなくなり、消費者へは多大な影響がある。																												
	類似事業との統廃合・連携の可能性	<input checked="" type="checkbox"/> 他に手段がある(具体的な手段、事務事業) <input checked="" type="checkbox"/> 霧島市福山ふくふれあい館管理運営事業等 <input type="checkbox"/> 統廃合できる <input type="checkbox"/> 連携できる <input checked="" type="checkbox"/> 統廃合できない <input type="checkbox"/> 連携できない																												
	目的を達成するには、この事務事業以外他に方法はないか?類似事業との統廃合ができるか?類似事業との連携を図ることにより、成果の向上が期待できるか?	<input type="checkbox"/> 他に手段がない【理由】																												
効率性 評価	事業費の削減余地	<input checked="" type="checkbox"/> 削減余地がある【理由】 <input type="checkbox"/> 削減余地がない【理由】																												
	成果を下げずに事業費を削減できないか?(仕様や工法の適正化、住民の協力など)	物産館は独立採算が基本であり、事業費そのものがない。市は修繕料のみを負担しているが、早めの点検補修を行えば修繕料も抑えることができる。																												
公平性 評価	人件費(延べ業務時間)の削減余地	<input type="checkbox"/> 削減余地がある【理由】 <input checked="" type="checkbox"/> 削減余地がない【理由】																												
	やり方を工夫して延べ業務時間を削減できないか?成果を下げずに正職員以外の職員や委託でできないか?(アウトソーシングなど)	修繕料の支払にかかる事務は最低限のものであり、人件費の削減余地はない。																												
公平性 評価	受益機会・費用負担の適正化余地	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある【理由】 <input checked="" type="checkbox"/> 公平・公正である【理由】																												
	事業の内容が一部の受益者に偏っていて不公平ではないか?受益者負担が公平・公正になっているか?	行政財産であるので、唯一の支出である修繕費に関しても、妥当性がある。市民が誰でも利用できる物産館なので受益者はすべての市民であり、偏りはあり得ない。																												
3 評価結果の総括と今後の方向性(次年度計画と予算への反映)(PLAN) 【担当課長記入欄】																														
(1) 1次評価者としての評価結果		(2) 全体総括(振り返り、反省点)																												
目的妥当性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり 有効性 <input type="checkbox"/> 適切 <input checked="" type="checkbox"/> 見直し余地あり 効率性 <input type="checkbox"/> 適切 <input checked="" type="checkbox"/> 見直し余地あり 公平性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり		新鮮で安心・安全な地場産品を提供するため必要な事業であるが、安定して消費者に商品を提供できるように出品者(会員)の拡大や新規就農の推進をする必要がある。施設の点検・補修を早めに行うことにより、修繕料をおさえられる。																												
(3) 今後の事業の方向性(改革改善案)・・・複数選択可			(4) 改革・改善による期待成果(廃止・休止の場合は記入不要)																											
<input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 休止 <input checked="" type="checkbox"/> 事業のやり方改善(有効性改善) <input type="checkbox"/> 現状維持 <input type="checkbox"/> 目的再設定 <input checked="" type="checkbox"/> 事業のやり方改善(効率性改善) (従来通りで特に改革改善をしない) <input type="checkbox"/> 事業統廃合・連携 <input type="checkbox"/> 事業のやり方改善(公平性改善)			<table border="1"> <tr> <td colspan="2" rowspan="2"></td> <td colspan="3">コスト</td> </tr> <tr> <td>削減</td> <td>維持</td> <td>増加</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">成果</td> <td>向上</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>維持</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td rowspan="2">低下</td> <td>維持</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>低下</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </table>				コスト			削減	維持	増加	成果	向上				維持				低下	維持				低下			
		コスト																												
		削減	維持	増加																										
成果	向上																													
	維持																													
低下	維持																													
	低下																													
<改革改善案> 出品者(会員)の拡大 新規就農の推進 施設の点検・補修をこまめに行う。																														
(5) 改革、改善を実現する上で解決すべき課題(壁)とその解決策 出品者を拡大するために、地元の農家への声かけを行う。 農林水産部と連携し、団塊世代などの新規就農を推進する。																														

No.	630-040	事務事業名	市福山町ふくふくふれあい館管理運営事業			所属部	商工観光部
						所属課	観光課
政策体系	政策名	03	活力ある産業のまちづくり			課長名	横手 航太郎
	施策名	01	農・林・水産業の振興			所属G(係)	特産品G
	基本事業名	05	地産地消の推進			電話番号	45-5111
予算科目	会計	款	項	目	事業	事業名	法令根拠
	一般	07	01	05	104010	物産館管理事業	霧島市福山ふくふくふれあい館の設置及び管理に関する条例及び霧島市福山ふくふくふれあい館の管理運営に関する規則

事務事業の概要(具体的なやり方、手順、詳細。期間限定複数年度事業は全体像を記述)		事業期間
平成12年に本市の農産物の情報の受発信基地としての機能を果たし、農家の意識改革と都市住民との交流を図るとともに、農家所得の向上及び中山間地域の活性化を図ることを目的として設置された霧島市福山町ふくふくふれあい館の運営管理を福山町ふくふくふれあい館運営協議会を指定管理者として委託している。なお、指定管理料は支払っており、特産品協会は館の売上げを維持管理の運営経費に充てている。市の予算は施設の修繕料と保険料のみ。 (1) 開館時間 2月1日から10月31日まで 午前9時から午後6時まで、11月1日から翌年の3月31日まで 午前9時から午後5時30分まで (2) 休館日 12月31日から翌年の1月3日までの日		<input type="checkbox"/> 単年度のみ <input checked="" type="checkbox"/> 単年度繰返 ↳ ( H 12 年度 ~ ) <input type="checkbox"/> 期間限定複数年度 ↳ ( 年度 ~ 年度 )

1 現状把握の部(DO)

(1) 事務事業の目的と指標		活動指標(事務事業の活動量を表す指標)	
手段(主な活動)		名称	単位
20年度実績(20年度に行った主な活動)	事務事業の概要と同様	ア 営業日数	日
21年度計画(21年度に計画している主な活動)	前年度と同様	イ 来館者数	人
対象(誰、何を対象にしているのか) *人や自然資源等	市民 福山町ふくふくふれあい館運営協議会	ウ	
意図(この事業によって、対象をどう変えるのか)	安心して地元特産品を購入できる。 地元特産品を供給できる。	対象指標(対象の大きさを表す指標)	
結果(どんな結果に結び付けるのか)	安心・安全な農林水産物を地域に供給する。	名称	単位
		ア 人口	人
		イ 福山町特産品販売協議会会員数	人
		ウ	
		成果指標(対象における意図の達成度を表す指標)	
		名称	単位
		ア 年間売上額	円
		イ 出品者数	人
		ウ	
		上位成果指標(結果の達成度を表す指標)	
		名称	単位
		ア 学校給食への供給率	%
		イ 地元産の農産物を積極的に購入している市民の割合	%
		ウ	

(2) 総事業費・指標等の推移		単位	18年度(実績)	19年度(実績)	20年度(実績)	21年度(見込)			
投入量	事業費	国庫支出金	千円						
		都道府県支出金	千円						
		地方債	千円						
		その他	千円						
		一般財源	千円	22	22	22	322		
		事業費計(A)	千円	22	22	22	322		
活動指標		ア 日	361	362	361	361			
		イ 人	205,483	204,723	204,823	204,923			
		ウ							
対象指標		ア 人	127,615	127,773	128,374	128,975			
		イ 人	153	160	165	170			
		ウ							
成果指標		ア 円	219,923,826	18,056,658	20,020,456	20,100,000			
		イ 人	153	160	165	170			
		ウ							
上位成果指標		ア %	未把握	3.2	3.6	4.0			
		イ %	未把握	68.2	69.5	71.0			
		ウ							

(3) 事務事業の環境変化・住民意見等	
この事務事業を開始したきっかけは何か？いつ頃どんな経緯で開始されたのか？ 平成12年に本市の農産物の情報の受発信基地としての機能を果たし、農家の意識改革と都市住民との交流を図るとともに、農家所得の向上及び中山間地域の活性化を図ることを目的として設置された。	
事務事業を取り巻く状況(対象者や根拠法令等)はどう変化しているか、開始時期あるいは5年前と比べてどう変わったのか？ 特に変化なし。	
この事務事業に対して関係者(住民、議会、事業対象者、利害関係者等)からどんな意見や要望が寄せられているか？ 物産館は初期費用を公共団体が負担している。管理者に応分の費用を負担すべきとの意見がある。	

事務事業名	市福山町ふくふくふれあい館管理運営事業	所属部	商工観光部	所属課	観光課																									
2 評価の部(SEE) *原則は事後評価、ただし複数年度事業は途中評価																														
目的 妥当性 評価	政策体系との整合性	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある【理由】 <input checked="" type="checkbox"/> 結びついている【理由】																												
	この事務事業の目的は市(町)の政策体系に結びつくか?意図することが結果に結びついているか?	物産館の指定管理者である福山町ふくふくふれあい館運営協議会に霧島市横川特産品直売所・食材供給施設の運営を委託し運営することは、来訪者に安心・安全な農林産物を供給することに繋がり結びついている。																												
	公共関与の妥当性	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある【理由】 <input checked="" type="checkbox"/> 妥当である【理由】																												
有効性 評価	なぜこの事業を市(町)が行わなければならないのか?税金を投入して、達成する目的か?	市は、消費者の求める、安心・安全・新鮮な食材供給のための地産地消の推進を図る必要があるので妥当である。																												
	対象・意図の妥当性	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある【理由】 <input checked="" type="checkbox"/> 適切である【理由】																												
	対象を限定・追加すべきか?意図を限定・拡充すべきか?	対象は、物産館を訪れる市民と物産館を運営する福山町ふくふくふれあい館運営協議会で妥当である。意図は、物産館を運営し、地元特産品を販売することは、安心・安全な地元農産物を供給することに繋がり妥当である。																												
効率性 評価	成果の向上余地	<input checked="" type="checkbox"/> 向上余地がある【理由】 <input type="checkbox"/> 向上余地がない【理由】																												
	成果を向上させる余地はあるか?成果の現状水準とあるべき水準との差異はないか?何が原因で成果向上が期待できないのか?	商品が売り切れていることも多いので、出品者(会員)の拡大や新規就農の推進をし、安心安全な地元の農産品を安定的に供給できる環境を整えれば、売上げも増え成果の向上余地がある。																												
	廃止・休止の成果への影響	<input type="checkbox"/> 影響無【理由】 <input checked="" type="checkbox"/> 影響有【その内容】																												
公平性 評価	事務事業を廃止・休止した場合の影響の有無とその内容は?	新鮮で安心・安全な地元産品を手軽に購入できなくなり、消費者へは多大な影響がある。																												
	類似事業との統廃合・連携の可能性	<input checked="" type="checkbox"/> 他に手段がある(具体的な手段、事務事業) <input checked="" type="checkbox"/> 霧島市福山ふくふくふれあい館管理運営事業等 <input type="checkbox"/> 統廃合できる <input type="checkbox"/> 連携できる <input checked="" type="checkbox"/> 統廃合できない <input type="checkbox"/> 連携できない																												
	目的を達成するには、この事務事業以外他に方法はないか?類似事業との統廃合ができるか?類似事業との連携を図ることにより、成果の向上が期待できるか?	<input type="checkbox"/> 他に手段がない【理由】																												
公平性 評価	事業費の削減余地	<input checked="" type="checkbox"/> 削減余地がある【理由】 <input type="checkbox"/> 削減余地がない【理由】																												
	成果を下げずに事業費を削減できないか?(仕様や工法の適正化、住民の協力など)	物産館は独立採算が基本であり、事業費そのものがない。市は修繕料のみを負担しているが、早めの点検補修を行えば修繕料も抑えることができる。																												
公平性 評価	人件費(延べ業務時間)の削減余地	<input type="checkbox"/> 削減余地がある【理由】 <input checked="" type="checkbox"/> 削減余地がない【理由】																												
	やり方を工夫して延べ業務時間を削減できないか?成果を下げずに正職員以外の職員や委託でできないか?(アウトソーシングなど)	修繕料の支払にかかる事務は最低限のものであり、人件費の削減余地はない。																												
公平性 評価	受益機会・費用負担の適正化余地	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある【理由】 <input checked="" type="checkbox"/> 公平・公正である【理由】																												
	事業の内容が一部の受益者に偏っていて不公平ではないか?受益者負担が公平・公正になっているか?	行政財産であるので、唯一の支出である修繕費に関しても、妥当性がある。市民が誰でも利用できる物産館なので受益者はすべての市民であり、偏りはあり得ない。																												
3 評価結果の総括と今後の方向性(次年度計画と予算への反映)(PLAN) 【担当課長記入欄】																														
(1) 1次評価者としての評価結果		(2) 全体総括(振り返り、反省点)																												
目的妥当性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり 有効性 <input type="checkbox"/> 適切 <input checked="" type="checkbox"/> 見直し余地あり 効率性 <input type="checkbox"/> 適切 <input checked="" type="checkbox"/> 見直し余地あり 公平性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり		新鮮で安心・安全な地場産品を提供するため必要な事業であるが、安定して消費者に商品を提供できるように出品者(会員)の拡大や新規就農の推進をする必要がある。施設の点検・補修を早めに行うことにより、修繕料をおさえられる。																												
(3) 今後の事業の方向性(改革改善案)・・・複数選択可			(4) 改革・改善による期待成果(廃止・休止の場合は記入不要)																											
<input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 休止 <input checked="" type="checkbox"/> 事業のやり方改善(有効性改善) <input type="checkbox"/> 現状維持 <input type="checkbox"/> 目的再設定 <input checked="" type="checkbox"/> 事業のやり方改善(効率性改善) (従来通りで特に改革改善をしない) <input type="checkbox"/> 事業統廃合・連携 <input type="checkbox"/> 事業のやり方改善(公平性改善)			<table border="1"> <tr> <td colspan="2" rowspan="2"></td> <td colspan="3">コスト</td> </tr> <tr> <td>削減</td> <td>維持</td> <td>増加</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">成果</td> <td>向上</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>維持</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td rowspan="2">低下</td> <td>維持</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>低下</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </table>				コスト			削減	維持	増加	成果	向上				維持				低下	維持				低下			
		コスト																												
		削減	維持	増加																										
成果	向上																													
	維持																													
低下	維持																													
	低下																													
(5) 改革、改善を実現する上で解決すべき課題(壁)とその解決策 出品者を拡大するために、地元の農家への声かけを行う。 農林水産部と連携し、団塊世代などの新規就農を推進する。																														



政策体系	No.	630-050	事務事業名	霧島国分夏まつり実行委員会活動支援事業	所 属 部	商工観光部
	政策名	0 3	活力のある産業のまちづくり		所 属 課	観光課
	施策名	0 2	商工業の振興		課 長 名	横手 航太郎
	基本事業名	0 2	買物し易い環境の確保		所 属 G ( 係 )	観光グループ
					電 話 番 号	45-5111

予算科目	会計	款	項	目	事業	事業名	法令 根拠	霧島市補助金交付規則 霧島市補助金等の種類及び補助率に関する要綱
	一般	0 7	0 1	0 4	103090	観光費		

事務事業の概要(具体的なやり方、手順、詳細。期間限定複数年度事業は全体像を記述)		事業期間
霧島市国分夏まつり実行委員会に霧島市国分夏まつりの活動補助として補助金を交付している。 (市の活動)補助金を支出するための事務(申請書の受理、交付決定、実績報告、補助金交付)を行い、同実行委員会のメンバーにも参画している。 (同実行委員会の活動)実行委員会の開催、まつり(神輿競争・市民総踊り・市中パレード等)の実施 同実行委員会は、商店街の活性化と地域住民の福祉を目的に開催される霧島市国分夏まつりの運営を行う団体、商工会議所や市内事業者を会員として運営されている。 <関連計画>霧島市観光基本計画		<input type="checkbox"/> 単年度のみ <input checked="" type="checkbox"/> 単年度繰返 ( S 42 年度 ~ ) <input type="checkbox"/> 期間限定複数年度 ( 年度 ~ 年度 )

1 現状把握の部(DO)

(1) 事務事業の目的と指標		活動指標(事務事業の活動量を表す指標)	
手段(主な活動) 20年度実績(20年度に行った主な活動) 事務事業の概要と同様		名称 ア まつりに参加した踊り連の団体数 単位 団体 イ 神輿競争への参加者数 人 ウ	
21年度計画(21年度に計画している主な活動) 前年度と同様		対象指標(対象の大きさを表す指標) 名称 ア 人口 単位 人 イ 商工会議所会員数 人 ウ	
対象(誰、何を対象にしているのか)*人や自然資源等 市民 <補助金交付先>霧島商工会議所 <補助金対象活動>霧島市国分夏まつりの活動に関する経費		成果指標(対象における意図の達成度を表す指標) 名称 ア まつりの来場者数 単位 万人 イ ウ	
意図(この事業によって、対象をどう変えるのか) 総踊り、神輿競争への参加、まつりの見物ができる。		上位成果指標(結果の達成度を表す指標) 名称 ア 空き店舗率 単位 % イ 大規模小売店舗の売り場面積 m <sup>2</sup> ウ	
結果(どんな結果に結び付けるのか) 商店街・通り会が賑わう。 環境が整い買物がしやすくなる。			

(2) 総事業費・指標等の推移		単位	18年度(実績)	19年度(実績)	20年度(実績)	21年度(見込)			
投入量	事業費	財源内訳	国庫支出金	千円					
		都道府県支出金	千円						
		地方債	千円						
		その他	千円						
		一般財源	千円	12,500	5,270	11,771	10,593		
		事業費計(A)	千円	12,500	5,270	11,771	10,593		
				*中止					
活動指標		ア 団体	88	88	88	90			
		イ 人	176	0	176	176			
		ウ							
対象指標		ア 人	127,615	127,773	127,811	128,383			
		イ 人	1,232	1,232	1,376	1,376			
		ウ							
成果指標		ア 万人	150,000	0	120,000	130,000			
		イ							
		ウ							
上位成果指標		ア %	14.7	13.9	18.5	14.6			
		イ m <sup>2</sup>	86,214	107,646	134,219	140,000			
		ウ							

(3) 事務事業の環境変化・住民意見等	
この事務事業を開始したきっかけは何か?いつ頃どんな経緯で開始されたのか?	
昭和42年度に旧国分市の八坂通り商店街の「お祇園さあ」のお祭りが派生して、夏の風物詩として現在まで霧島商工会議所が商店街の活性化地域住民の福祉を図る目的で開始した事業	
事務事業を取り巻く状況(対象者や根拠法令等)はどう変化しているか、開始時期あるいは5年前と比べてどう変わったのか?	
特に変化なし。	
この事務事業に対して関係者(住民、議会、事業対象者、利害関係者等)からどんな意見や要望が寄せられているか?	
特になし。	

事務事業名	霧島国分夏まつり実行委員会活動支援事業	所属部	商工観光部	所属課	観光課																									
<b>2 評価の部(SEE) *原則は事後評価、ただし複数年度事業は途中評価</b>																														
目的 妥当性 評価	政策体系との整合性	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある【理由】 ↷ <input checked="" type="checkbox"/> 結びついている【理由】 ↷ この事務事業の目的は市(町)の政策体系に結びつくか?意図することが結果に結びついているか? 霧島市国分夏まつり実行委員会へ補助金を交付し、まつりを開催することは祭りの会場である中心市街地に沢山の参加者や見物客が訪れ、商店街・通り会が賑わうので結びついている。																												
	公共関与の妥当性	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある【理由】 ↷ <input checked="" type="checkbox"/> 妥当である【理由】 ↷ なぜこの事業を市(町)が行わなければならないのか?税金を投入して、達成する目的か? 市は、商工会・商工会議所・商店街と連携し商店街の活性化を図る必要があり、まつりを開催することで、中心市街地や通り会が賑わうので、妥当である。																												
	対象・意図の妥当性	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある【理由】 ↷ <input checked="" type="checkbox"/> 適切である【理由】 ↷ 対象を限定・追加すべきか?意図を限定・拡充すべきか? 対象は、まつりに参加・来訪する市民であり妥当である。意図は、市民が総踊り、神輿競争への参加、まつりの見物をする事によって商店街・通り会が賑わうので妥当である。																												
有効性 評価	成果の向上余地	<input checked="" type="checkbox"/> 向上余地がある【理由】 ↷ <input type="checkbox"/> 向上余地がない【理由】 ↷ 成果を向上させる余地はあるか?成果の現状水準とあるべき水準との差異はないか?何が原因で成果向上が期待できないのか? まつりの主催者である商工会議所がまつりの運営に関して、もっと地元の商店街や通り会の参画を呼びかければ、まつりのマンネリ化を抑えられ、参加者や見物客が増える余地がある。																												
	廃止・休止の成果への影響	<input type="checkbox"/> 影響無【理由】 ↷ <input checked="" type="checkbox"/> 影響有【その内容】 ↷ 事務事業を廃止・休止した場合の影響の有無とその内容は? 廃止すれば、まつりが実施できなくなり、会場である歴史の古い地元商店街や通り会の活性化が図れなくなる。																												
	類似事業との統廃合・連携の可能性	<input type="checkbox"/> 他に手段がある(具体的な手段、事務事業) ↷ 隼人夏まつり、横川夏まつり <input type="checkbox"/> 統廃合できる ↷ <input type="checkbox"/> 連携できる ↷ <input checked="" type="checkbox"/> 統廃合できない ↷ <input type="checkbox"/> 連携できない ↷ 実施主体も異なり地域に根差したまつりであり、統合はできない。 <input type="checkbox"/> 他に手段がない【理由】 ↷																												
効率性 評価	事業費の削減余地	<input checked="" type="checkbox"/> 削減余地がある【理由】 ↷ <input type="checkbox"/> 削減余地がない【理由】 ↷ 成果を下げずに事業費を削減できないか?(仕様や工法の適正化、住民の協力など) 実行委員会に市内の企業等を取り込み、スポンサー制度を採用したり、商店街主からの寄付等の徴収を積極的に行えば事業費の削減は可能である。																												
	人件費(延べ業務時間)の削減余地	<input type="checkbox"/> 削減余地がある【理由】 ↷ <input checked="" type="checkbox"/> 削減余地がない【理由】 ↷ やり方を工夫して延べ業務時間を削減できないか?成果を下げずに正職員以外の職員や委託でできないか?(アウトソーシングなど) 補助金の交付事務は最低限な事務であり、人件費の削減余地はない。																												
公平性 評価	受益機会・費用負担の適正化余地	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある【理由】 ↷ <input checked="" type="checkbox"/> 公平・公正である【理由】 ↷ 事業の内容が一部の受益者に偏っていて不公平ではないか?受益者負担が公平・公正になっているか? 市内には自助で開催している夏まつりも多数存在しているが、霧島市国分夏まつりは、霧島市全市民を対象としたまつりであるので、同実行委員会へ補助金を交付することは公平・公正であると思われる。また、入場料を徴収することはまつりの趣旨からそぐわない。																												
<b>3 評価結果の総括と今後の方向性(次年度計画と予算への反映)(PLAN) 【担当課長記入欄】</b>																														
(1) 1次評価者としての評価結果		(2) 全体総括(振り返り、反省点)																												
目的妥当性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり 有効性 <input type="checkbox"/> 適切 <input checked="" type="checkbox"/> 見直し余地あり 効率性 <input type="checkbox"/> 適切 <input checked="" type="checkbox"/> 見直し余地あり 公平性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり		実行委員会へ企業等を取り込み、スポンサー制度を採用したり、商店街主からの寄付等の徴収を積極的に行えば事業費の削減は可能である。																												
(3) 今後の事業の方向性(改革改善案)・・・複数選択可			(4) 改革・改善による期待成果(廃止・休止の場合は記入不要)																											
<input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 休止 <input checked="" type="checkbox"/> 事業のやり方改善(有効性改善) <input type="checkbox"/> 現状維持 <input type="checkbox"/> 目的再設定 <input checked="" type="checkbox"/> 事業のやり方改善(効率性改善) (従来通りで特に改革改善をしない) <input type="checkbox"/> 事業統廃合・連携 <input type="checkbox"/> 事業のやり方改善(公平性改善)			<table border="1"> <tr> <td colspan="2" rowspan="2"></td> <th colspan="3">コスト</th> </tr> <tr> <th>削減</th> <th>維持</th> <th>増加</th> </tr> <tr> <th rowspan="2">成果</th> <th>向上</th> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <th>維持</th> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <th rowspan="2">低下</th> <th>維持</th> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <th>低下</th> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </table>				コスト			削減	維持	増加	成果	向上				維持				低下	維持				低下			
		コスト																												
		削減	維持	増加																										
成果	向上																													
	維持																													
低下	維持																													
	低下																													
(5) 改革、改善を実現する上で解決すべき課題(壁)とその解決策 地元企業の説得 商店街との協議																														

政策体系	No.	630-060	事務事業名	市特産品協会運営支援事業	所 属 部	商工観光部
	政策名	0 3	活力ある産業のまちづくり		所 属 課	観光課
	施策名	0 2	商工業の振興		課 長 名	横手 航太郎
	基本事業名	0 3	ブランド化の推進		所 属 G ( 係 )	観光グループ
					電 話 番 号	45-5111

予算科目	会計	款	項	目	事業	事業名	法令 根拠	霧島市補助金交付規則 霧島市補助金等の種類及び補助率に関する要綱
	一般	0 7	0 1	0 4	103090	観光費		

事務事業の概要(具体的なやり方、手順、詳細。期間限定複数年度事業は全体像を記述)		事業期間
市内に存在する2団体にの運営費補助として補助金を交付している。H21年度に2団体が合併し1団体となる。 (市の活動) 各特産品協会に補助金を支出するための手続き(申請書の受付、交付決定、概算払い申請受付、補助金交付、実績報告受付、補助金精算)を行う。 (特産品協会の活動) 地域の特産品の開発及び特産品の販路拡大を目的に設立された団体。市内事業者が加盟		<input type="checkbox"/> 単年度のみ <input checked="" type="checkbox"/> 単年度繰返 ↳ ( H 10 年度 ~ ) <input type="checkbox"/> 期間限定複数年度 ↳ (       年度 ~       年度 )

1 現状把握の部(DO)

(1) 事務事業の目的と指標		活動指標(事務事業の活動量を表す指標)	
手段(主な活動)		名称	
20年度実績(20年度に行った主な活動)		単位	
事務事業の概要と同様		ア	特産品協会が開発した特産品の数(延べ)
			個
21年度計画(21年度に計画している主な活動)		イ	
前年度と同様		ウ	
対象(誰、何を対象にしているのか)*人や自然資源等		対象指標(対象の大きさを表す指標)	
特産品協会会員		名称	
<補助金交付先>特産品協会		単位	
<補助金対象活動>特産品の開発、宣伝に要する経費		ア	会員数
			人
		イ	
		ウ	
意図(この事業によって、対象をどう変えるのか)		成果指標(対象における意図の達成度を表す指標)	
新たな特産品が開発される。		名称	
特産品をPRするために物産展等に参加できる。		単位	
		ア	開発された特産品の数(平成20年度)
			個
		イ	霧島ブランドの販売額(商工業)
			万円
		ウ	
結果(どんな結果に結び付けるのか)		上位成果指標(結果の達成度を表す指標)	
競争力を強化する。		名称	
		単位	
		ア	荒茶生産量
			t
		イ	
		ウ	

(2) 総事業費・指標等の推移		単位	18年度(実績)	19年度(実績)	20年度(実績)	21年度(見込)		
投入量	事業費	財源内訳	国庫支出金	千円				
			都道府県支出金	千円				
			地方債	千円				
			その他	千円				
			一般財源	千円	1,000	1,350	1,282	1,329
			事業費計(A)	千円	1,000	1,350	1,282	1,329
活動指標		ア 個	2	3	0	3		
対象指標		ア 人	84	84	84	98		
成果指標		ア 個	2	5	0	3		
		イ 万円	556	583	611	639		
上位成果指標		ア t	1,580	1,578	1,763	1,624		

(3) 事務事業の環境変化・住民意見等	
この事務事業を開始したきっかけは何か?いつ頃どんな経緯で開始されたのか?	
平成10年より地域の特産品の開発及び特産品の販路拡大を目的に設立された特産品協会へ運営補助を交付した。	
事務事業を取り巻く状況(対象者や根拠法令等)はどう変化しているか、開始時期あるいは5年前と比べてどう変わったのか?	
特に変化なし。	
この事務事業に対して関係者(住民、議会、事業対象者、利害関係者等)からどんな意見や要望が寄せられているか?	
特になし。	

事務事業名	市特産品協会運営支援事業	所属部	商工観光部	所属課	観光課																					
<b>2 評価の部(SEE) * 原則は事後評価、ただし複数年度事業は途中評価</b>																										
目的 妥当性 評価	<b>政策体系との整合性</b>	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある【理由】 ↘ <input checked="" type="checkbox"/> 結びついている【理由】 ↘ この事務事業の目的は市(町)の政策体系に結びつくか? 意図することが結果に結びついているか? 特産品協会へ活動補助金を交付することにより、新たな特産品の開発や特産品をPRするための物産展等への参加が行えるようになり、霧島ブランドの競争力を強化することに結びついている。																								
	<b>公共関与の妥当性</b>	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある【理由】 ↘ <input checked="" type="checkbox"/> 妥当である【理由】 ↘ なぜこの事業を市(町)が行わなければならないのか? 税金を投入して、達成する目的か? 市は、恵まれた自然環境や地域文化に根ざした多くの特産品について、ブランド化を推進する必要があるので妥当である。																								
	<b>対象・意図の妥当性</b>	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある【理由】 ↘ <input checked="" type="checkbox"/> 適切である【理由】 ↘ 対象を限定・追加すべきか? 意図を限定・拡充すべきか? 対象は、補助金を交付し事業を行う特産品協会であるので妥当である。意図は、新たな特産品の開発や特産品をPRするための物産展等への参加が行えるようになり、霧島ブランドの競争力を強化することに結びつくので妥当である。																								
有効性 評価	<b>成果の向上余地</b>	<input type="checkbox"/> 向上余地がある【理由】 ↘ <input checked="" type="checkbox"/> 向上余地がない【理由】 ↘ 成果を向上させる余地はあるか? 成果の現状水準とあるべき水準との差異はないか? 何が原因で成果向上が期待できないのか? 市内特産品協会が統合することにより、市内全域の特産品を効果的に情報発信ができ、成果の向上がある。																								
	<b>廃止・休止の成果への影響</b>	<input type="checkbox"/> 影響無【理由】 ↘ <input checked="" type="checkbox"/> 影響有【その内容】 ↘ 事務事業を廃止・休止した場合の影響の有無とその内容は? 新たな特産品の開発とPR活動ができなくなり、霧島市のブランド力が落ちることになり支障がある。																								
	<b>類似事業との統廃合・連携の可能性</b>	<input type="checkbox"/> 他に手段がある(具体的な手段, 事務事業) ↘ <input type="checkbox"/> 統廃合できる ↘ <input type="checkbox"/> 連携できる ↘ <input type="checkbox"/> 統廃合できない ↘ <input type="checkbox"/> 連携できない ↘ 目的を達成するには、この事務事業以外他に方法はないか? 類似事業との統廃合ができるか? 類似事業との連携を図ることにより、成果の向上が期待できるか? 他に類似事業はない <input checked="" type="checkbox"/> 他に手段がない【理由】 ↘																								
効率性 評価	<b>事業費の削減余地</b>	<input checked="" type="checkbox"/> 削減余地がある【理由】 ↘ <input type="checkbox"/> 削減余地がない【理由】 ↘ 成果を下げずに事業費を削減できないか? (仕様や工法の適正化、住民の協力など) 自主財源が少なく、これ以上の削減は特産品協会の運営に支障をきたすが、市内の特産品協会が統合すれば、事業費の削減が見込める。																								
	<b>人件費(延べ業務時間)の削減余地</b>	<input checked="" type="checkbox"/> 削減余地がある【理由】 ↘ <input type="checkbox"/> 削減余地がない【理由】 ↘ やり方を工夫して延べ業務時間を削減できないか? 成果を下げずに正職員以外の職員や委託でできないか? (アウトソーシングなど) 補助金交付事務のみであり、削減余地はないが、市内の特産品協会が統合すれば、交付事務が1度で済み、人件費の削減に繋がる。																								
公平性 評価	<b>受益機会・費用負担の適正化余地</b>	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある【理由】 ↘ <input checked="" type="checkbox"/> 公平・公正である【理由】 ↘ 事業の内容が一部の受益者に偏っていて不公平ではないか? 受益者負担が公平・公正になっているか? 特産品協会へ補助金を交付することにより、霧島ブランドの競争力が高まれば、関連事業者への経済効果も大きく、公平・公正である。																								
<b>3 評価結果の総括と今後の方向性(次年度計画と予算への反映)(PLAN) 【担当課長記入欄】</b>																										
(1) 1次評価者としての評価結果		(2) 全体総括(振り返り、反省点)																								
目的妥当性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり 有効性 <input type="checkbox"/> 適切 <input checked="" type="checkbox"/> 見直し余地あり 効率性 <input type="checkbox"/> 適切 <input checked="" type="checkbox"/> 見直し余地あり 公平性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり		市内特産品協会の早期統合を図ることにより、成果の向上と人件費、事業費の削減が望める。																								
(3) 今後の事業の方向性(改革改善案)・・・複数選択可			(4) 改革・改善による期待成果(廃止・休止の場合は記入不要)																							
<input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 休止 <input checked="" type="checkbox"/> 事業のやり方改善(有効性改善) <input type="checkbox"/> 現状維持 <input type="checkbox"/> 目的再設定 <input checked="" type="checkbox"/> 事業のやり方改善(効率性改善) (従来通りで特に改革改善をしない) <input type="checkbox"/> 事業統廃合・連携 <input type="checkbox"/> 事業のやり方改善(公平性改善)			<table border="1"> <tr> <td colspan="2" rowspan="2"></td> <td colspan="3">コスト</td> </tr> <tr> <td>削減</td> <td>維持</td> <td>増加</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">成果</td> <td>向上</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>維持</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td></td> <td>低下</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </table>				コスト			削減	維持	増加	成果	向上				維持					低下			
		コスト																								
		削減	維持	増加																						
成果	向上																									
	維持																									
	低下																									
(5) 改革、改善を実現する上で解決すべき課題(壁)とその解決策 事業の対象・意図に沿った所管の配置を企画政策課・行政改革推進課で調整する必要がある。 特産品協会の統合に向けた協議会の立ち上げ																										

No.	630-080	事務事業名	マスコミを利用した広告事業	所 属 部	商工観光部
				所 属 課	観光課
政策体系	政策名	0 3	活力ある産業のまちづくり	課 長 名	横手 航太郎
	施策名	0 3	観光業の振興	所 属 G ( 係 )	観光グループ
	基本事業名	0 1	観光誘致宣伝活動の展開	電 話 番 号	45-5111

予算科目	会計	款	項	目	事業	事業名	法令 根拠	特になし。
	一般	0 7	0 1	0 4	103090	観光費		

事務事業の概要(具体的なやり方、手順、詳細。期間限定複数年度事業は全体像を記述)	事業期間
国内外からの多くの観光客を誘致するため、旅行情報誌や新聞への霧島市の観光情報の掲載など、様々なメディアを利用し、積極的な情報発信を行っている。	<input type="checkbox"/> 単年度のみ <input checked="" type="checkbox"/> 単年度繰返 ↳ ( S 50 年代 ~ ) <input type="checkbox"/> 期間限定複数年度 ↳ (        年度 ~        年度 )

1 現状把握の部(DO)

(1) 事務事業の目的と指標		活動指標(事務事業の活動量を表す指標)	
手段(主な活動)		名称	単位
20年度実績(20年度に行った主な活動)	事務事業の概要と同様	ア 掲載回数	回
21年度計画(21年度に計画している主な活動)	前年度と同様	イ	
対象(誰、何を対象にしているのか)*人や自然資源等	読者	ウ	
意図(この事業によって、対象をどう変えるのか)	霧島市を知ることができる。	対象指標(対象の大きさを表す指標)	
結果(どんな結果に結び付けるのか)	霧島市を観光地として認知してもらう。	名称	単位
		ア 掲載媒体販売部数	万部
		イ	
		ウ	
		成果指標(対象における意図の達成度を表す指標)	
		名称	単位
		ア 広告を見た人の数(掲載媒体発行部数)	万部
		イ	
		ウ	
		上位成果指標(結果の達成度を表す指標)	
		名称	単位
		ア 温泉地知名度ランキング	位
		イ	
		ウ	

(2) 総事業費・指標等の推移		単位	18年度 (実績)	19年度 (実績)	20年度 (実績)	21年度 (見込)		
投入量	事業費	財源内訳	千円					
		国庫支出金	千円					
		都道府県支出金	千円					
		地方債	千円					
		その他	千円					
		一般財源	千円	1,395	1,379	1,381	3,194	
	事業費計(A)	千円	1,395	1,379	1,381	3,194		
活動指標	ア	回	3	2	2	3		
	イ							
	ウ							
対象指標	ア	万部	58	58	58	60		
	イ							
	ウ							
成果指標	ア	万部	58	58	58	60		
	イ							
	ウ							
上位成果指標	ア	位	24	24	15	15		
	イ							
	ウ							

(3) 事務事業の環境変化・住民意見等	
この事務事業を開始したきっかけは何か?いつ頃どんな経緯で開始されたのか? 昭和50年代に霧島市を情報発信するために開始された。	
事務事業を取り巻く状況(対象者や根拠法令等)はどう変化しているか、開始時期あるいは5年前と比べてどう変わったのか? 特に変化なし。	
この事務事業に対して関係者(住民、議会、事業対象者、利害関係者等)からどんな意見や要望が寄せられているか? 特になし。	

事務事業名	マスコミを利用した広告事業	所属部	商工観光部	所属課	観光課																					
<b>2 評価の部(SEE) *原則は事後評価、ただし複数年度事業は途中評価</b>																										
目的 妥当性 評価	<b>政策体系との整合性</b>	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある【理由】 <input checked="" type="checkbox"/> 結びついている【理由】 この事務事業の目的は市(町)の政策体系に結びつくか?意図することが結果に結びついているか? 旅行雑誌や新聞に霧島市の情報発信をすることは、霧島市を観光地として認知してもらうことにつながり結びつく。																								
	<b>公共関与の妥当性</b>	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある【理由】 <input checked="" type="checkbox"/> 妥当である【理由】 なぜこの事業を市(町)が行わなければならないのか?税金を投入して、達成する目的か? リアルタイムな観光情報を発信することは、市の重要な役割であり妥当である。																								
	<b>対象・意図の妥当性</b>	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある【理由】 <input checked="" type="checkbox"/> 適切である【理由】 対象を限定・追加すべきか?意図を限定・拡充すべきか? 対象は情報発信を受ける読者であり妥当である。意図は読者が霧島市を知ることができれば、霧島市を観光地として認知してもらうことにつながり妥当である。																								
有効性 評価	<b>成果の向上余地</b>	<input checked="" type="checkbox"/> 向上余地がある【理由】 <input type="checkbox"/> 向上余地がない【理由】 成果を向上させる余地はあるか?成果の現状水準とあるべき水準との差異はないか?何が原因で成果向上が期待できないのか? より多くの媒体に広告を掲載することができれば、霧島市を観光地として認知してもらう機会が増え、成果向上余地がある。																								
	<b>廃止・休止の成果への影響</b>	<input type="checkbox"/> 影響無【理由】 <input checked="" type="checkbox"/> 影響有【その内容】 事務事業を廃止・休止した場合の影響の有無とその内容は? 情報発信の手段がなくなる。																								
	<b>類似事業との統廃合・連携の可能性</b>	<input type="checkbox"/> 他に手段がある(具体的な手段,事務事業) <input type="checkbox"/> 統廃合できる <input type="checkbox"/> 連携できる <input type="checkbox"/> 統廃合できない <input type="checkbox"/> 連携できない 目的を達成するには、この事務事業以外他に方法はないか?類似事業との統廃合ができるか?類似事業との連携を図ることにより、成果の向上が期待できるか? ほかに類似事業はない。 <input checked="" type="checkbox"/> 他に手段がない【理由】																								
効率性 評価	<b>事業費の削減余地</b>	<input type="checkbox"/> 削減余地がある【理由】 <input checked="" type="checkbox"/> 削減余地がない【理由】 成果を下げずに事業費を削減できないか?(仕様や工法の適正化、住民の協力など) 毎年予算が削減されており、これ以上削減余地はない。																								
	<b>人件費(延べ業務時間)の削減余地</b>	<input type="checkbox"/> 削減余地がある【理由】 <input checked="" type="checkbox"/> 削減余地がない【理由】 やり方を工夫して延べ業務時間を削減できないか?成果を下げずにより正職員以外の職員や委託でできないか?(アウトソーシングなど) 支払事務は最低限のものであり、削減できない。																								
公平性 評価	<b>受益機会・費用負担の適正化余地</b>	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある【理由】 <input checked="" type="checkbox"/> 公平・公正である【理由】 事業の内容が一部の受益者に偏っていて不公平ではないか?受益者負担が公平・公正になっているか? 不特定多数の人に発行している新聞・雑誌であり、公平・公正である。																								
<b>3 評価結果の総括と今後の方向性(次年度計画と予算への反映)(PLAN) 【担当課長記入欄】</b>																										
(1) 1次評価者としての評価結果		(2) 全体総括(振り返り、反省点)																								
目的妥当性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり 有効性 <input type="checkbox"/> 適切 <input checked="" type="checkbox"/> 見直し余地あり 効率性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり 公平性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり		より多くの媒体に広告を掲載することができれば、多くの方に霧島市を知ってもらえる。																								
(3) 今後の事業の方向性(改革改善案)・・・複数選択可			(4) 改革・改善による期待成果(廃止・休止の場合は記入不要)																							
<input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 休止 <input checked="" type="checkbox"/> 事業のやり方改善(有効性改善) <input type="checkbox"/> 現状維持 <input type="checkbox"/> 目的再設定 <input type="checkbox"/> 事業のやり方改善(効率性改善) (従来通りで特に改革改善をしない) <input type="checkbox"/> 事業統廃合・連携 <input type="checkbox"/> 事業のやり方改善(公平性改善)			<table border="1"> <tr> <td colspan="2" rowspan="2"></td> <td colspan="3">コスト</td> </tr> <tr> <td>削減</td> <td>維持</td> <td>増加</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">成果</td> <td>向上</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>維持</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td></td> <td>低下</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </table>				コスト			削減	維持	増加	成果	向上				維持					低下			
		コスト																								
		削減	維持	増加																						
成果	向上																									
	維持																									
	低下																									
(5) 改革、改善を実現する上で解決すべき課題(壁)とその解決策 予算獲得のための協議。																										

No.	630-090	事務 事業名	観光案内板・電照看板設置事業				所属部	商工観光部	
							所属課	観光課	
政策 体系	政策名	0 3	活力ある産業のまちづくり				課長名	横手 航太郎	
	施策名	0 3	観光業の振興				所属G(係)	観光グループ	
	基本事業名	0 1	観光誘致宣伝活動の展開				電話番号	45-5111	
予算科目		会計	款	項	目	事業	事業名	法令 根拠	特になし。
		一般	0 7	0 1	0 4	103090	観光費		

事務事業の概要(具体的なやり方、手順、詳細。期間限定複数年度事業は全体像を記述)							事業期間		
昭和50年代に単人駅前及び単人駅構内、日当山駅前に観光案内看板を設置している。この設置した案内看板の旧名称を新名称に変更したり、広告代理店に看板設置料を支払っている。 また、平成16年に九州新幹線が開通したことに伴い、鹿児島に訪れた新幹線利用者へ霧島市の情報発信をするため、鹿児島中央駅のコンコースに電照看板を設置し、鹿児島中央駅に電照看板の設置料を支払っている。新幹線やJRを利用し鹿児島に訪れた観光客への本市への誘致を図る。							<input type="checkbox"/> 単年度のみ <input checked="" type="checkbox"/> 単年度繰返 ↳ ( S 50 年代 ~ ) <input type="checkbox"/> 期間限定複数年度 ↳ (            年度 ~            年度 )		

1 現状把握の部(DO)

(1) 事務事業の目的と指標		活動指標(事務事業の活動量を表す指標)	
手段(主な活動)		名称	
20年度実績(20年度に行った主な活動)		単位	
事務事業の概要と同様		ア 設置枚数	
		枚	
21年度計画(21年度に計画している主な活動)		イ	
前年度と同様		ウ	
対象(誰、何を対象にしているのか) *人や自然資源等		対象指標(対象の大きさを表す指標)	
駅利用者(鹿児島中央駅)		名称	
		単位	
		ア 新幹線利用者数	
		人	
		イ	
		ウ	
意図(この事業によって、対象をどう変えるのか)		成果指標(対象における意図の達成度を表す指標)	
霧島市を知ることができる。		名称	
		単位	
		ア 看板を見た人(九州新幹線利用者数)	
		人	
		イ	
		ウ	
結果(どんな結果に結び付けるのか)		上位成果指標(結果の達成度を表す指標)	
霧島市を観光地として認知してもらう。		名称	
		単位	
		ア 温泉地知名度ランキング	
		位	
		イ	
		ウ	

(2) 総事業費・指標等の推移		単位	18年度 (実績)	19年度 (実績)	20年度 (実績)	21年度 (見込)		
投入量	事業費	財源内訳	千円					
		国庫支出金	千円					
		都道府県支出金	千円					
		地方債	千円					
		その他	千円					
		一般財源	千円	1,732	1,732	1,732	1,458	
	事業費計(A)	千円	1,732	1,732	1,732	1,458		
活動指標		ア 枚	4	4	4	4		
		イ						
		ウ						
対象指標		ア 人	3,345,225	3,440,125	3,500,000	3,500,000		
		イ						
		ウ						
成果指標		ア 人	3,345,225	3,440,125	3,500,000	3,500,000		
		イ						
		ウ						
上位成果指標		ア 位	37	30	31	25		
		イ						
		ウ						

(3) 事務事業の環境変化・住民意見等	
この事務事業を開始したきっかけは何か?いつ頃どんな経緯で開始されたのか?	
昭和50年代に単人駅、日当山駅を利用する旅行者に単人地区を案内するために設置された。また、平成16年に九州新幹線の開業と鹿児島中央駅の改修を機に霧島市を広く情報発信するため、鹿児島中央駅コンコースに電照看板を設置した。	
事務事業を取り巻く状況(対象者や根拠法令等)はどう変化しているか、開始時期あるいは5年前と比べてどう変わったのか?	
特に変化なし。	
この事務事業に対して関係者(住民、議会、事業対象者、利害関係者等)からどんな意見や要望が寄せられているか?	
特になし。	

事務事業名	観光案内板・電照看板設置事業	所属部	商工観光部	所属課	観光課
-------	----------------	-----	-------	-----	-----

2 評価の部(SEE) \* 原則は事後評価、ただし複数年度事業は途中評価

目的 妥当性 評価	政策体系との整合性 この事務事業の目的は市(町)の政策体系に結びつくか? 意図することが結果に結びついているか?	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある【理由】 ↷ <input checked="" type="checkbox"/> 結びついている【理由】 ↷ 隼人駅・日当山駅・鹿児島中央駅に電照看板を設置することは、駅を利用する観光客の方々に、霧島市を知ってもらい、霧島市を観光地として認知してもらうことにつながり結びつく。
	公共関与の妥当性 なぜこの事業を市(町)が行わなければならないのか? 税金を投入して、達成する目的か?	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある【理由】 ↷ <input checked="" type="checkbox"/> 妥当である【理由】 ↷ 市は、観光客に対して、リアルタイムな観光情報の発信をする必要があるため妥当である。
	対象・意図の妥当性 対象を限定・追加すべきか? 意図を限定・拡充すべきか?	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある【理由】 ↷ <input checked="" type="checkbox"/> 適切である【理由】 ↷ 対象は駅の利用客で妥当である。意図は、駅を利用する観光客が観光案内板や電照看板を見て、霧島市を知ってもらい、霧島市を観光地として認知してもらうことに結びつくので妥当である。
有効性 評価	成果の向上余地 成果を向上させる余地はあるか? 成果の現状水準とあるべき水準との差異はないか? 何が原因で成果向上が期待できないのか?	<input checked="" type="checkbox"/> 向上余地がある【理由】 ↷ <input type="checkbox"/> 向上余地がない【理由】 ↷ 看板の写真等を四季ごとに替える等、リアルタイムな情報発信に努めれば、霧島市のよさを駅利用者によりPRでき、成果の向上余地がある。
	廃止・休止の成果への影響 事務事業を廃止・休止した場合の影響の有無とその内容は?	<input type="checkbox"/> 影響無【理由】 ↷ <input checked="" type="checkbox"/> 影響有【その内容】 ↷ 霧島を広く知ってもらう手段が無くなり、新たな観光客の開拓ができなくなる。
	類似事業との統廃合・連携の可能性 目的を達成するには、この事務事業以外他に方法はないか? 類似事業との統廃合ができるか? 類似事業との連携を図ることにより、成果の向上が期待できるか?	<input type="checkbox"/> 他に手段がある(具体的な手段, 事務事業) ↷ <input type="checkbox"/> 統廃合できる ↷ <input type="checkbox"/> 連携できる ↷ <input type="checkbox"/> 統廃合できない ↷ <input checked="" type="checkbox"/> 連携できない ↷ 駅という観光の拠点に看板を設置する事業は他に存在しない。 <input checked="" type="checkbox"/> 他に手段がない【理由】 ↷
効率性 評価	事業費の削減余地 成果を下げずに事業費を削減できないか? (仕様や工法の適正化、住民の協力など)	<input checked="" type="checkbox"/> 削減余地がある【理由】 ↷ <input type="checkbox"/> 削減余地がない【理由】 ↷ 観光客に対しインパクトを与えられる写真やデザインを使用すれば、枚数を減らすことができ事業費の削減余地がある。
	人件費(延べ業務時間)の削減余地 やり方を工夫して延べ業務時間を削減できないか? 成果を下げずにより正職員以外の職員や委託でできないか? (アウトソーシングなど)	<input type="checkbox"/> 削減余地がある【理由】 ↷ <input checked="" type="checkbox"/> 削減余地がない【理由】 ↷ 看板の設置料の支払事務のみであり、削減余地はない。
公平性 評価	受益機会・費用負担の適正化余地 事業の内容が一部の受益者に偏っていて不公平ではないか? 受益者負担が公平・公正になっているか?	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある【理由】 ↷ <input checked="" type="checkbox"/> 公平・公正である【理由】 ↷ 広く誰でも知ることができる事業であるので不公平ではない。

3 評価結果の総括と今後の方向性(次年度計画と予算への反映)(PLAN) [担当課長記入欄]

(1) 1次評価者としての評価結果	(2) 全体総括(振り返り、反省点)																					
目的妥当性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり 有効性 <input type="checkbox"/> 適切 <input checked="" type="checkbox"/> 見直し余地あり 効率性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり 公平性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり	より多くの乗客に看板を見てもらうことができれば、多くの方に霧島市を知ってもらえる。																					
(3) 今後の事業の方向性(改革改善案)・・・複数選択可	(4) 改革・改善による期待成果(廃止・休止の場合は記入不要)																					
<input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 休止 <input type="checkbox"/> 事業のやり方改善(有効性改善) <input type="checkbox"/> 現状維持 <input type="checkbox"/> 目的再設定 <input type="checkbox"/> 事業のやり方改善(効率性改善) (従来通りで特に改革改善をしない) <input type="checkbox"/> 事業統廃合・連携 <input type="checkbox"/> 事業のやり方改善(公平性改善) <改革改善案> 看板の数を増やす。	<table border="1"> <tr> <td colspan="2" rowspan="2"></td> <td colspan="3">コスト</td> </tr> <tr> <td>削減</td> <td>維持</td> <td>増加</td> </tr> <tr> <td rowspan="3">成果</td> <td>向上</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>維持</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>低下</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </table>			コスト			削減	維持	増加	成果	向上				維持				低下			
				コスト																		
		削減	維持	増加																		
成果	向上																					
	維持																					
	低下																					
(5) 改革、改善を実現する上で解決すべき課題(壁)とその解決策 予算獲得のための協議。																						



No.	630-100	事務事業名	観光宣伝事業	所属部	商工観光部
		政策体系	政策名 0 3 活力のある産業のまちづくり	所属課	観光課
		施策名 0 3 観光業の振興		課長名	横手 航太郎
		基本事業名 0 1 観光誘致宣伝活動の展開		所属G(係)	観光グループ
				電話番号	45-5111

予算科目	会計	款	項	目	事業	事業名	法令 根拠	特になし
	一般	0	7	0	1	0		

事務事業の概要(具体的なやり方、手順、詳細。期間限定複数年度事業は全体像を記述)	事業期間
観光物産展など各種イベントにおいて、観光客を誘致することを目的に観光宣伝を実施する。 (主な活動内容) 観光物産展開催地のマスコミ等表敬訪問によるPR 霧島ふるさと大使による観光PR、ノベルティ配布、観光案内等 (主な活動場所) 首都圏、関西圏、北部九州地区	<input type="checkbox"/> 単年度のみ <input checked="" type="checkbox"/> 単年度繰返 ↳ (H 17 年代 ~ ) <input type="checkbox"/> 期間限定複数年度 ↳ ( 年度 ~ 年度)

1 現状把握の部(DO)

(1) 事務事業の目的と指標		活動指標(事務事業の活動量を表す指標)	
手段(主な活動)		名称	単位
20年度実績(20年度に行った主な活動)	事務事業の概要と同様	ア 実施回数	回
21年度計画(21年度に計画している主な活動)	前年度と同様	イ	
対象(誰、何を対象にしているのか)*人や自然資源等	国民	ウ	
意図(この事業によって、対象をどう変えるのか)	各種イベント・観光宣伝で霧島市を知ることができる。	対象指標(対象の大きさを表す指標)	
結果(どんな結果に結び付けるのか)	霧島市を観光地として認知してもらう。	名称	単位
		ア 日本の人口	人
		イ	
		ウ	
		成果指標(対象における意図の達成度を表す指標)	
		名称	単位
		ア 宣伝日数(延べ)	回
		イ	
		ウ	
		上位成果指標(結果の達成度を表す指標)	
		名称	単位
		ア 温泉地知名度ランキング	位
		イ	
		ウ	

(2) 総事業費・指標等の推移		単位	18年度 (実績)	19年度 (実績)	20年度 (実績)	21年度 (見込)		
投入量	事業費	財源内訳						
		国庫支出金	千円					
		都道府県支出金	千円					
		地方債	千円					
		その他	千円					
		一般財源	千円	4,155	2,042	1,823	1,055	
	事業費計(A)	千円	4,155	2,042	1,823	1,055		
活動指標	ア	回	6	8	17	20		
	イ							
	ウ							
対象指標	ア	人	127,769,510	127,770,794	127,692,273	127,610,000		
	イ							
	ウ							
成果指標	ア	回	16	28	38	40		
	イ							
	ウ							
上位成果指標	ア	位	37	35	31	25		
	イ							
	ウ							

(3) 事務事業の環境変化・住民意見等
この事務事業を開始したきっかけは何か?いつ頃どんな経緯で開始されたのか? 市町村合併に伴い、新市の魅力を広く県内外にPRし、観光客誘致を行うため実施している。
事務事業を取り巻く状況(対象者や根拠法令等)はどう変化しているか、開始時期あるいは5年前と比べてどう変わったのか? 会場だけのPRではなく、イベント媒体への掲載、マスコミ表敬訪問等による事前告知、観光PRを行うなど、開催地域での認知度を上げるよう、主催者に対し要請している。
この事務事業に対して関係者(住民、議会、事業対象者、利害関係者等)からどんな意見や要望が寄せられているか? 議会や観光関連事業者からも、霧島への誘客を図る必要があることから、積極的にPRを行うよう意見が寄せられている。

事務事業名	観光宣伝事業	所属部	商工観光部	所属課	観光課																										
<b>2 評価の部(SEE) * 原則は事後評価、ただし複数年度事業は途中評価</b>																															
目的 妥当性 評価	<b>政策体系との整合性</b>	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある【理由】 <input checked="" type="checkbox"/> 結びついている【理由】																													
	この事務事業の目的は市(町)の政策体系に結びつくか? 意図することが結果に結びついているか?	各種観光宣伝の機会を通じて、霧島市を全国各地にPRでき、霧島市を観光地として認知してもらうことにつながり結びつく。																													
	<b>公共関与の妥当性</b>	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある【理由】 <input checked="" type="checkbox"/> 妥当である【理由】																													
なぜこの事業を市(町)が行わなければならないのか? 税金を投入して、達成する目的か?	市は、観光客を誘致するための宣伝を行う必要があるので妥当である。																														
<b>対象・意図の妥当性</b>	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある【理由】 <input checked="" type="checkbox"/> 適切である【理由】																														
対象を限定・追加すべきか? 意図を限定・拡充すべきか?	対象は、広く全国に対し事業を行うので日本国民で妥当である。対象は観光宣伝をすることで、霧島市の情報を得る機会ができるので妥当である。																														
有効性 評価	<b>成果の向上余地</b>	<input checked="" type="checkbox"/> 向上余地がある【理由】 <input type="checkbox"/> 向上余地がない【理由】																													
	成果を向上させる余地はあるか? 成果の現状水準とあるべき水準との差異はないか? 何が原因で成果向上が期待できないのか?	観光宣伝をすることによって霧島市の知名度が増し、イメージアップにつながっているが、もっと観光宣伝の回数を増やせば、霧島市を観光地として認知してもらう機会が増え、成果向上の余地がある。																													
	<b>廃止・休止の成果への影響</b>	<input type="checkbox"/> 影響無【理由】 <input checked="" type="checkbox"/> 影響有【その内容】																													
事務事業を廃止・休止した場合の影響の有無とその内容は?	観光宣伝事業は、霧島市の知名度・イメージアップを図るために重要であり、廃止をすると観光宣伝を行えなくなり、霧島市を観光地として認知してもらう機会がなくなる。																														
<b>類似事業との統廃合・連携の可能性</b>	<input type="checkbox"/> 他に手段がある(具体的な手段, 事務事業) <input type="checkbox"/> 統廃合できる <input type="checkbox"/> 連携できる <input checked="" type="checkbox"/> 統廃合できない <input type="checkbox"/> 連携できない																														
目的を達成するには、この事務事業以外他に方法はないか? 類似事業との統廃合ができるか? 類似事業との連携を図ることにより、成果の向上が期待できるか?	他に類似事業がない。 <input checked="" type="checkbox"/> 他に手段がない【理由】																														
効率性 評価	<b>事業費の削減余地</b>	<input checked="" type="checkbox"/> 削減余地がある【理由】 <input type="checkbox"/> 削減余地がない【理由】																													
	成果を下げずに事業費を削減できないか? (仕様や工法の適正化、住民の協力など)	観光協会、旅館協会等、民間団体が主体となって観光宣伝を行なうことができれば、事業費の削減ができると思われる。																													
<b>人件費(延べ業務時間)の削減余地</b>	<input checked="" type="checkbox"/> 削減余地がある【理由】 <input type="checkbox"/> 削減余地がない【理由】																														
やり方を工夫して延べ業務時間を削減できないか? 成果を下げずに正職員以外の職員や委託でできないか? (アウトソーシングなど)	同協議会の事務は職員1名であったっているが、協議会の運営を観光協会・商工会議所等に移譲することによって人件費の削減余地がある。																														
公平性 評価	<b>受益機会・費用負担の適正化余地</b>	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある【理由】 <input checked="" type="checkbox"/> 公平・公正である【理由】																													
	事業の内容が一部の受益者に偏っていて不公平ではないか? 受益者負担が公平・公正になっているか?	霧島市全体のPRを行っており、公平・公正である。																													
<b>3 評価結果の総括と今後の方向性(次年度計画と予算への反映)(PLAN) 【担当課長記入欄】</b>																															
(1) 1次評価者としての評価結果		(2) 全体総括(振り返り、反省点)																													
目的妥当性	<input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり	観光協会や旅館協会へ移譲すれば人件費、事業費の削減が図られる。																													
有効性	<input type="checkbox"/> 適切 <input checked="" type="checkbox"/> 見直し余地あり																														
効率性	<input type="checkbox"/> 適切 <input checked="" type="checkbox"/> 見直し余地あり																														
公平性	<input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり																														
(3) 今後の事業の方向性(改革改善案)・・・複数選択可		<input checked="" type="checkbox"/> 現状維持 (従来通りで特に改革改善をしない)		(4) 改革・改善による期待成果 (廃止・休止の場合は記入不要)																											
<input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 休止 <input type="checkbox"/> 事業のやり方改善(有効性改善) <input type="checkbox"/> 目的再設定 <input type="checkbox"/> 事業のやり方改善(効率性改善) <input type="checkbox"/> 事業統廃合・連携 <input type="checkbox"/> 事業のやり方改善(公平性改善)				<table border="1"> <tr> <td colspan="2" rowspan="2"></td> <td colspan="3">コスト</td> </tr> <tr> <td>削減</td> <td>維持</td> <td>増加</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">成果</td> <td>向上</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>維持</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td rowspan="2">低下</td> <td>維持</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>低下</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </table>				コスト			削減	維持	増加	成果	向上				維持				低下	維持				低下			
		コスト																													
		削減	維持	増加																											
成果	向上																														
	維持																														
低下	維持																														
	低下																														
<改革改善案> 観光協会・旅館協会などに業務の移譲。																															
(5) 改革・改善を実現する上で解決すべき課題(壁)とその解決策 観光協会・旅館協会との協議。																															

No.	630-110	事務事業名	小倉井筒屋観光宣伝事業	所属部	商工観光部
政策体系	政策名	03	活力ある産業のまちづくり	所属課	観光課
	施策名	03	観光業の振興	課長名	横手航太郎
	基本事業名	01	観光誘致宣伝活動の展開	所属G(係)	特産品G
				電話番号	45-5111

予算科目	会計	款	項	目	事業	事業名	法令根拠	特になし
	一般	07	01	04	103090	観光費		

事務事業の概要(具体的なやり方、手順、詳細。期間限定複数年度事業は全体像を記述)	事業期間
平成14年より、新幹線需要の高い福岡・北九州地区において、鹿児島県の特産品や観光地等を総合的に紹介し、特産品の振興及び観光客の誘致促進を図ることを目的として、毎年1月中旬、北九州市小倉井筒屋において開催される「鹿児島県の物産と観光展」で、観光宣伝を実施している。この物産展は毎年、商圏の市民に心待ちにされており、年々売上伸張を果たす大型催事であり、物産展開催時に観光宣伝を実施し、更なる宣伝効果をあげることができる。【観光宣伝】霧島九面太鼓(和奏)の公演、郷土の菓子「ねったぼ」の作製実演、霧島ふるさと大使による観光宣伝、ノベルティーの配布等	<input type="checkbox"/> 単年度のみ <input checked="" type="checkbox"/> 単年度繰返 ↳ (H 14 年度 ~ ) <input type="checkbox"/> 期間限定複数年度 ↳ ( 年度 ~ 年度)

1 現状把握の部(DO)

(1) 事務事業の目的と指標		活動指標(事務事業の活動量を表す指標)	
手段(主な活動)		名称	単位
20年度実績(20年度に行った主な活動)	事務事業の概要と同様	ア ノベルティーの配布数	個
21年度計画(21年度に計画している主な活動)	前年度と同様	イ	
対象(誰、何を対象にしているのか) *人や自然資源等	観光宣伝来場者	ウ	
意図(この事業によって、対象をどう変えるのか)	霧島市の情報を得ることができる。	対象指標(対象の大きさを表す指標)	
結果(どんな結果に結び付けるのか)	霧島市を観光地として認知してもらう。	名称	単位
		ア 来場者数	人
		イ	
		ウ	
		成果指標(対象における意図の達成度を表す指標)	
		名称	単位
		ア パンフレットの配布枚数	冊
		イ	
		ウ	
		上位成果指標(結果の達成度を表す指標)	
		名称	単位
		ア 温泉地知名度ランキング	位
		イ	
		ウ	

(2) 総事業費・指標等の推移		単位	18年度(実績)	19年度(実績)	20年度(実績)	21年度(見込)			
投入量	事業費	財源内訳	千円						
		国庫支出金	千円						
		都道府県支出金	千円						
		地方債	千円						
		その他	千円						
		一般財源	千円	1,165	1,200	1,105	1,200		
	事業費計(A)	千円	1,165	1,200	1,105	1,200			
活動指標	ア	個	2,000	2,000	2,000	2,000			
	イ								
	ウ								
対象指標	ア	人	2,500	2,500	2,500	2,500			
	イ								
	ウ								
成果指標	ア	冊	2,000	2,000	2,000	2,000			
	イ								
	ウ								
上位成果指標	ア	位	37	35	31	25			
	イ								
	ウ								

(3) 事務事業の環境変化・住民意見等
この事務事業を開始したきっかけは何か?いつ頃どんな経緯で開始されたのか?
新幹線需要の高い福岡・北九州地区において、鹿児島県の特産品や観光地等を総合的に紹介し、特産品の振興及び観光客の誘致促進を図る目的で、平成14年度から実施している。
事務事業を取り巻く状況(対象者や根拠法令等)はどう変化しているか、開始時期あるいは5年前と比べてどう変わったのか?
平成14年度から平成16年度には、職員による物販も実施していたが、平成17年度からは観光宣伝のみを実施している。
この事務事業に対して関係者(住民、議会、事業対象者、利害関係者等)からどんな意見や要望が寄せられているか?
井筒屋及び小倉市民からは喜ばれており今後も事業を継続して欲しいとの要望がある。

事務事業名	小倉井筒屋観光宣伝事業	所属部	商工観光部	所属課	観光課																	
2 評価の部(SEE) * 原則は事後評価、ただし複数年度事業は途中評価																						
目的 妥当性 評価	政策体系との整合性	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある【理由】 ↷	<input checked="" type="checkbox"/> 結びついている【理由】 ↷	この事務事業の目的は市(町)の政策体系に結びつくか? 意図することが結果に結びついているか?																		
	公共関与の妥当性	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある【理由】 ↷	<input checked="" type="checkbox"/> 妥当である【理由】 ↷	なぜこの事業を市(町)が行わなければならないのか? 税金を投入して、達成する目的か?																		
	対象・意図の妥当性	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある【理由】 ↷	<input checked="" type="checkbox"/> 適切である【理由】 ↷	対象を限定・追加すべきか? 意図を限定・拡充すべきか?																		
有効性 評価	成果の向上余地	<input checked="" type="checkbox"/> 向上余地がある【理由】 ↷	<input type="checkbox"/> 向上余地がない【理由】 ↷	成果を向上させる余地はあるか? 成果の現状水準とあるべき水準との差異はないか? 何が原因で成果向上が期待できないのか?																		
	廃止・休止の成果への影響	<input type="checkbox"/> 影響無【理由】 ↷	<input checked="" type="checkbox"/> 影響有【その内容】 ↷	事務事業を廃止・休止した場合の影響の有無とその内容は?																		
	類似事業との統廃合・連携の可能性	<input type="checkbox"/> 他に手段がある(具体的な手段, 事務事業) ↷	<input type="checkbox"/> 統廃合できる ↷	<input type="checkbox"/> 連携できる ↷	<input type="checkbox"/> 統廃合できない ↷	<input type="checkbox"/> 連携できない ↷																
効率性 評価	事業費の削減余地	<input checked="" type="checkbox"/> 削減余地がある【理由】 ↷	<input type="checkbox"/> 削減余地がない【理由】 ↷	成果を下げずに事業費を削減できないか? (仕様や工法の適正化、住民の協力など)																		
	人件費(延べ業務時間)の削減余地	<input type="checkbox"/> 削減余地がある【理由】 ↷	<input checked="" type="checkbox"/> 削減余地がない【理由】 ↷	やり方を工夫して延べ業務時間を削減できないか? 成果を下げずに正職員以外の職員や委託でできないか? (アウトソーシングなど)																		
公平性 評価	受益機会・費用負担の適正化余地	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある【理由】 ↷	<input checked="" type="checkbox"/> 公平・公正である【理由】 ↷	事業の内容が一部の受益者に偏っていて不公平ではないか? 受益者負担が公平・公正になっているか?																		
3 評価結果の総括と今後の方向性(次年度計画と予算への反映)(PLAN) 【担当課長記入欄】																						
(1) 1次評価者としての評価結果		(2) 全体総括(振り返り、反省点)																				
目的妥当性	<input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり	観光協会との共同開催により、成果の向上と人件費・事業費の削減が見込める。宣伝の開催場所の変更も考慮すべきである。																				
有効性	<input type="checkbox"/> 適切 <input checked="" type="checkbox"/> 見直し余地あり																					
効率性	<input type="checkbox"/> 適切 <input checked="" type="checkbox"/> 見直し余地あり																					
公平性	<input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり																					
(3) 今後の事業の方向性(改革改善案)・・・複数選択可		<input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 休止 <input type="checkbox"/> 事業のやり方改善(有効性改善) <input type="checkbox"/> 現状維持		(4) 改革・改善による期待成果(廃止・休止の場合は記入不要)																		
<input type="checkbox"/> 目的再設定 <input checked="" type="checkbox"/> 事業のやり方改善(効率性改善)		<input type="checkbox"/> 事業統廃合・連携 <input checked="" type="checkbox"/> 事業のやり方改善(公平性改善)		<table border="1"> <tr> <td colspan="2" rowspan="2"></td> <td colspan="3">コスト</td> </tr> <tr> <td>削減</td> <td>維持</td> <td>増加</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">成果</td> <td>向上</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>維持 低下</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </table>				コスト			削減	維持	増加	成果	向上				維持 低下			
		コスト																				
		削減	維持	増加																		
成果	向上																					
	維持 低下																					
<改革改善案> 観光協会等との共同開催 開催場所の変更																						
(5) 改革、改善を実現する上で解決すべき課題(壁)とその解決策 他団体の意向調査 宣伝の可能で、集客力の高い施設を探す。																						

No.	630-120	事務事業名	霧島大使運営事業	所属部	商工観光部
政策体系	政策名	03	活力ある産業のまちづくり	所属課	観光課
	施策名	03	観光業の振興	課長名	横手航太郎
	基本事業名	01	観光誘致宣伝活動の展開	所属G(係)	特産品グループ
				電話番号	45-5111

予算科目	会計	款	項	目	事業	事業名	法令根拠	特になし
	一般	07	01	04	103090	観光費		

事務事業の概要(具体的なやり方、手順、詳細。期間限定複数年度事業は全体像を記述)	事業期間
平成20年より、市勢全般について理解を深め、それぞれの立場から市政に対する提言や意見をいただくとともに本市の観光や特産品等の市外への紹介、宣伝など本市のイメージアップにつながる活動及び本市への企業誘致や定住促進につながる活動を通じて、市勢の発展に寄与していただき、また更なる宣伝効果をあげることができる。 【観光宣伝】それぞれの活躍の場で霧島市をPRしていただく。	<input type="checkbox"/> 単年度のみ <input checked="" type="checkbox"/> 単年度繰返 ↳ (H 20 年度 ~ ) <input type="checkbox"/> 期間限定複数年度 ↳ ( 年度 ~ 年度)

1 現状把握の部(DO)

(1) 事務事業の目的と指標		活動指標(事務事業の活動量を表す指標)	
手段(主な活動)		名称	単位
20年度実績(20年度に行った主な活動)	事務事業の概要と同様	ア 委嘱者数	人
21年度計画(21年度に計画している主な活動)	前年度と同様	イ	
対象(誰、何を対象にしているのか)*人や自然資源等	国民	ウ	
意図(この事業によって、対象をどう変えるのか)	霧島市の情報を得ることができる。	対象指標(対象の大きさを表す指標)	
結果(どんな結果に結び付けるのか)	霧島市を観光地として認知してもらう。	名称	単位
		ア 人口	人
		イ	
		ウ	
		成果指標(対象における意図の達成度を表す指標)	
		名称	単位
		ア 名刺作成数	枚
		イ	
		ウ	
		上位成果指標(結果の達成度を表す指標)	
		名称	単位
		ア 温泉地知名度ランキング	位
		イ	
		ウ	

(2) 総事業費・指標等の推移		単位	18年度(実績)	19年度(実績)	20年度(実績)	21年度(見込)		
投入量	事業内訳	国庫支出金	千円					
		都道府県支出金	千円					
		地方債	千円					
		その他	千円					
		一般財源	千円			84	626	
		事業費計(A)	千円			84	626	
活動指標	ア 人			2	2			
対象指標	ア 人	127,769,510	127,770,794	127,692,273	127,610,000			
成果指標	ア 枚			200	200			
上位成果指標	ア 位	0	35	31	25			

(3) 事務事業の環境変化・住民意見等
この事務事業を開始したきっかけは何か?いつ頃どんな経緯で開始されたのか?
郷土出身の著名人等の活動範囲の広さや人脈等により、日本全国に霧島市の観光をPRしていただき、霧島市の良さを全国に発信していくために、平成20年度から実施している。
事務事業を取り巻く状況(対象者や根拠法令等)はどう変化しているか、開始時期あるいは5年前と比べてどう変わったのか?
平成20年度に開始したばかりなので、比較できない。
この事務事業に対して関係者(住民、議会、事業対象者、利害関係者等)からどんな意見や要望が寄せられているか?
特になし

事務事業名	霧島大使運営事業	所属部	商工観光部	所属課	観光課																										
2 評価の部(SEE) *原則は事後評価、ただし複数年度事業は途中評価																															
目的 妥当性 評価	政策体系との整合性	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある【理由】 <input checked="" type="checkbox"/> 結びついている【理由】																													
	この事務事業の目的は市(町)の政策体系に結びつくか?意図することが結果に結びついているか?	鹿児島をはじめとする地方経済は、未だ回復の風を感じ得ない。観光業界も大変厳しい状況にある。このような中、霧島市の観光や特産品をはじめ著名人によるPRは、霧島市を観光地として認知してもらうことができるので結びついている。																													
	公共関与の妥当性	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある【理由】 <input checked="" type="checkbox"/> 妥当である【理由】																													
なぜこの事業を市(町)が行わなければならないのか?税金を投入して、達成する目的か?	市は、霧島市に観光客を誘致するための活動をする必要があり、妥当である。																														
対象・意図の妥当性	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある【理由】 <input checked="" type="checkbox"/> 適切である【理由】																														
対象を限定・追加すべきか?意図を限定・拡充すべきか?	対象は、大使と業務上やプライベートでかかわりがある人ということで国民で妥当である。意図は、観光宣伝により、情報の提供を受けることによって霧島市を観光地として認知してもらうことに結びつき、妥当である。																														
有効性 評価	成果の向上余地	<input checked="" type="checkbox"/> 向上余地がある【理由】 <input type="checkbox"/> 向上余地がない【理由】																													
	成果を向上させる余地はあるか?成果の現状水準とあるべき水準との差異はないか?何が原因で成果向上が期待できないのか?	市の記念行事等に来場、もしくはメッセージを寄せていただくことや、大使の活躍次第では更なるPR効果が期待できる。																													
	廃止・休止の成果への影響	<input type="checkbox"/> 影響無【理由】 <input checked="" type="checkbox"/> 影響有【その内容】																													
事務事業を廃止・休止した場合の影響の有無とその内容は?	霧島市を観光客と認知してもらうための活動が減ることになり影響がある。																														
類似事業との統廃合・連携の可能性	<input type="checkbox"/> 他に手段がある(具体的な手段,事務事業) <input type="checkbox"/> 統廃合できる <input type="checkbox"/> 連携できる <input type="checkbox"/> 統廃合できない <input type="checkbox"/> 連携できない																														
目的を達成するには、この事務事業以外他に方法はないか?類似事業との統廃合ができるか?類似事業との連携を図ることにより、成果の向上が期待できるか?	他に類似事業はない。 <input checked="" type="checkbox"/> 他に手段がない【理由】																														
効率性 評価	事業費の削減余地	<input type="checkbox"/> 削減余地がある【理由】 <input checked="" type="checkbox"/> 削減余地がない【理由】																													
	成果を下げずに事業費を削減できないか?(仕様や工法の適正化、住民の協力など)	名刺と盾のみを授与しており、他の経費が発生しないため削減余地はないと思われる。																													
人件費(延べ業務時間)の削減余地	<input type="checkbox"/> 削減余地がある【理由】 <input checked="" type="checkbox"/> 削減余地がない【理由】																														
やり方を工夫して延べ業務時間を削減できないか?成果を下げずに正職員以外の職員や委託でできないか?(アウトソーシングなど)	候補者推薦があった場合のみであり、恒常的業務ではないため削減余地はないと思われる。																														
公平性 評価	受益機会・費用負担の適正化余地	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある【理由】 <input checked="" type="checkbox"/> 公平・公正である【理由】																													
	事業の内容が一部の受益者に偏っていて不公平ではないか?受益者負担が公平・公正になっているか?	活躍の場が大変広く、一度に大量の情報を発信できるため、受益者にたいする公平・不公平など偏りが発生するとは思えない。																													
3 評価結果の総括と今後の方向性(次年度計画と予算への反映)(PLAN) 【担当課長記入欄】																															
(1) 1次評価者としての評価結果			(2) 全体総括(振り返り、反省点)																												
目的妥当性	<input checked="" type="checkbox"/> 適切	<input type="checkbox"/> 見直し余地あり																													
有効性	<input checked="" type="checkbox"/> 適切	<input type="checkbox"/> 見直し余地あり																													
効率性	<input checked="" type="checkbox"/> 適切	<input type="checkbox"/> 見直し余地あり																													
公平性	<input checked="" type="checkbox"/> 適切	<input type="checkbox"/> 見直し余地あり																													
(3) 今後の事業の方向性(改革改善案)・・・複数選択可			(4) 改革・改善による期待成果(廃止・休止の場合は記入不要)																												
<input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 休止 <input type="checkbox"/> 事業のやり方改善(有効性改善) <input checked="" type="checkbox"/> 現状維持 <input type="checkbox"/> 目的再設定 <input type="checkbox"/> 事業のやり方改善(効率性改善) (従来通りで特に改革改善をしない) <input type="checkbox"/> 事業統廃合・連携 <input type="checkbox"/> 事業のやり方改善(公平性改善)			<table border="1"> <tr> <td colspan="2" rowspan="2"></td> <td colspan="3">コスト</td> </tr> <tr> <td>削減</td> <td>維持</td> <td>増加</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">成果</td> <td>向上</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>維持</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td rowspan="2">低下</td> <td>維持</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>低下</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </table>					コスト			削減	維持	増加	成果	向上				維持				低下	維持				低下			
		コスト																													
		削減	維持	増加																											
成果	向上																														
	維持																														
低下	維持																														
	低下																														
(5) 改革、改善を実現する上で解決すべき課題(壁)とその解決策																															

No.	630-130	事務事業名	フィルムコミッション(撮影支援)事業			所 属 部	商工観光部
			所 属 課	観光課			課 長 名
政策体系	政策名	0 3	活力ある産業のまちづくり			所 属 G ( 係 )	観光G
	施策名	0 3	観光業の振興			電 話 番 号	45-5111
	基本事業名	0 1	観光誘致宣伝活動の展開				

予算科目	会計	款	項	目	事業	事業名	法令 根拠	特になし
	一般	0 7	0 1	0 4	103090	観光費		

事務事業の概要(具体的なやり方、手順、詳細。期間限定複数年度事業は全体像を記述)		事業期間
霧島市は、撮影隊の宿泊による経済効果、テレビ、映画のロケ地としてメディアを通して放映されることの効果を利用した霧島市の知名度アップ及び観光客誘致を図るため撮影支援を実施している。 支援内容 撮影支援依頼の受付、審査、撮影ロケハン(ロケーションハンティング、撮影候補地の事前調査)、シナハン(シナリオハンティング、脚本構想の事前実地調査)への同行、撮影許可を代行取得、取材先への趣旨説明、取材依頼、撮影時の連絡調整のための同行		<input type="checkbox"/> 単年度のみ <input checked="" type="checkbox"/> 単年度繰返 ( H 17 年度 ~ ) <input type="checkbox"/> 期間限定複数年度 ( 年度 ~ 年度 )

1 現状把握の部(DO)

(1) 事務事業の目的と指標		活動指標(事務事業の活動量を表す指標)	
手段(主な活動)		名称	単位
20年度実績(20年度に行った主な活動)	事務事業の概要と同様	ア 撮影回数	回
21年度計画(21年度に計画している主な活動)	前年度と同様	イ	
対象(誰、何を対象にしているのか)*人や自然資源等	国民	ウ	
意図(この事業によって、対象をどう変えるのか)	霧島市がテレビ、映画放映等により紹介される。	対象指標(対象の大きさを表す指標)	
結果(どんな結果に結び付けるのか)	霧島市を観光地として認知してもらう。	名称	単位
		ア 日本の人口	人
		イ	
		ウ	
		成果指標(対象における意図の達成度を表す指標)	
		名称	単位
		ア 撮影に関する苦情件数	件
		イ	
		ウ	
		上位成果指標(結果の達成度を表す指標)	
		名称	単位
		ア 温泉地知名度ランキング	位
		イ	
		ウ	

(2) 総事業費・指標等の推移		単位	18年度(実績)	19年度(実績)	20年度(実績)	21年度(見込)		
投入量	事業内訳	国庫支出金	千円					
		都道府県支出金	千円					
		地方債	千円					
		その他	千円					
		一般財源	千円					
		事業費計(A)	千円	0	0	0	0	
活動指標	ア	回	5	7	6	10		
	イ							
	ウ							
対象指標	ア	人	127,769,510	127,770,794	127,692,273	127,610,000		
	イ							
	ウ							
成果指標	ア	件	0	0	0	0		
	イ							
	ウ							
上位成果指標	ア	位	37	35	30	25		
	イ							
	ウ							

(3) 事務事業の環境変化・住民意見等	
この事務事業を開始したきっかけは何か?いつ頃どんな経緯で開始されたのか? 観光地として撮影依頼が多いため、平成17年よりこれを観光客誘致に活用するため事業を始めた。	
事務事業を取り巻く状況(対象者や根拠法令等)はどう変化しているか、開始時期あるいは5年前と比べてどう変わったのか? 特に変化なし	
この事務事業に対して関係者(住民、議会、事業対象者、利害関係者等)からどんな意見や要望が寄せられているか? 特になし	

事務事業名	フィルムコミッション(撮影支援)事業	所属部	商工観光部	所属課	観光課																									
<b>2 評価の部(SEE) * 原則は事後評価、ただし複数年度事業は途中評価</b>																														
目的 妥当性 評価	<b>政策体系との整合性</b>	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある【理由】 <input checked="" type="checkbox"/> 結びついている【理由】 この事務事業の目的は市(町)の政策体系に結びつくか? 意図することが結果に結びついているか? 撮影支援を行い、テレビ・映画で霧島市が紹介されることで霧島市を観光地として認知してもらうことができるので結びついている。																												
	<b>公共関与の妥当性</b>	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある【理由】 <input checked="" type="checkbox"/> 妥当である【理由】 なぜこの事業を市(町)が行わなければならないのか? 税金を投入して、達成する目的か? 市は、観光客を誘致するための宣伝や情報発信を行う必要があるため妥当である。																												
	<b>対象・意図の妥当性</b>	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある【理由】 <input checked="" type="checkbox"/> 適切である【理由】 対象を限定・追加すべきか? 意図を限定・拡充すべきか? 対象は、霧島市を訪れたいと思う国民であり妥当である。意図は、霧島市がロケ地として放送されれば、イメージアップが図られ、観光地として認知してもらうことにつながり妥当である。																												
有効性 評価	<b>成果の向上余地</b>	<input checked="" type="checkbox"/> 向上余地がある【理由】 <input type="checkbox"/> 向上余地がない【理由】 成果を向上させる余地はあるか? 成果の現状水準とあるべき水準との差異はないか? 何が原因で成果向上が期待できないのか? 現在、撮影支援に関しての予算はなく職員の人件費のみで実施しているが、撮影隊の誘致のために関東地方の製作者組合を訪問することが可能であれば撮影実績回数が増え、成果の向上余地がある。																												
	<b>廃止・休止の成果への影響</b>	<input type="checkbox"/> 影響無【理由】 <input checked="" type="checkbox"/> 影響有【その内容】 事務事業を廃止・休止した場合の影響の有無とその内容は? 事業廃止にともない、テレビ・映画製作者が霧島市で撮影するための接点なくなり、他地方へ流れてしまう。ひいては、霧島市の認知度が低くなるおそれがある。																												
	<b>類似事業との統廃合・連携の可能性</b>	<input type="checkbox"/> 他に手段がある(具体的な手段, 事務事業) <input type="checkbox"/> 統廃合できる <input type="checkbox"/> 連携できる <input type="checkbox"/> 統廃合できない <input type="checkbox"/> 連携できない 目的を達成するには、この事務事業以外他に方法はないか? 類似事業との統廃合ができるか? 類似事業との連携を図ることにより、成果の向上が期待できるか? 他に類似事業はない。 <input checked="" type="checkbox"/> 他に手段がない【理由】																												
効率性 評価	<b>事業費の削減余地</b>	<input type="checkbox"/> 削減余地がある【理由】 <input checked="" type="checkbox"/> 削減余地がない【理由】 成果を下げずに事業費を削減できないか? (仕様や工法の適正化、住民の協力など) 現在、職員の人件費のみで実施しており、事業費の削減余地はない。																												
	<b>人件費(延べ業務時間)の削減余地</b>	<input type="checkbox"/> 削減余地がある【理由】 <input checked="" type="checkbox"/> 削減余地がない【理由】 やり方を工夫して延べ業務時間を削減できないか? 成果を下げずにより正職員以外の職員や委託でできないか? (アウトソーシングなど) 撮影支援時の最低限度の人件費であり削減できない。																												
公平性 評価	<b>受益機会・費用負担の適正化余地</b>	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある【理由】 <input checked="" type="checkbox"/> 公平・公正である【理由】 事業の内容が一部の受益者に偏っていて不公平ではないか? 受益者負担が公平・公正になっているか? 公序良俗に反しない以上、撮影支援時に業者の選考はしていないので、受益者は偏っていない。																												
<b>3 評価結果の総括と今後の方向性(次年度計画と予算への反映)(PLAN) 【担当課長記入欄】</b>																														
(1) 1次評価者としての評価結果		(2) 全体総括(振り返り、反省点)																												
目的妥当性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり 有効性 <input type="checkbox"/> 適切 <input checked="" type="checkbox"/> 見直し余地あり 効率性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり 公平性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり		事業費に予算がついておらず、関東地区を対象とした営業活動もできない状態である。効果の高い事業であるので、旅費等の拡充が望まれる。																												
(3) 今後の事業の方向性(改革改善案)・・・複数選択可			(4) 改革・改善による期待成果(廃止・休止の場合は記入不要)																											
<input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 休止 <input checked="" type="checkbox"/> 事業のやり方改善(有効性改善) <input type="checkbox"/> 現状維持 <input type="checkbox"/> 目的再設定 <input type="checkbox"/> 事業のやり方改善(効率性改善) (従来通りで特に改革改善をしない) <input type="checkbox"/> 事業統廃合・連携 <input type="checkbox"/> 事業のやり方改善(公平性改善)			<table border="1"> <tr> <td colspan="2" rowspan="2"></td> <td colspan="3">コスト</td> </tr> <tr> <td>削減</td> <td>維持</td> <td>増加</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">成果</td> <td>向上</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>維持</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td rowspan="2">低下</td> <td>維持</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>低下</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </table>				コスト			削減	維持	増加	成果	向上				維持				低下	維持				低下			
		コスト																												
		削減	維持	増加																										
成果	向上																													
	維持																													
低下	維持																													
	低下																													
(5) 改革、改善を実現する上で解決すべき課題(壁)とその解決策 企画書等を作成し財政課との協議																														



政策体系	No.	630-140	事務事業名	市PRスタッフ運営協議会活動支援事業	所属部	商工観光部
	政策名	03	活力のある産業のまちづくり		所属課	観光課
	施策名	03	観光業の振興		課長名	横手 航太郎
	基本事業名	01	観光誘致宣伝活動の展開		所属G(係)	観光グループ
					電話番号	45-5111

予算科目	会計	款	項	目	事業	事業名	法令 根拠	霧島市補助金交付規則 霧島市補助金等の種類及び補助率に関する要綱
	一般	07	01	04	103090	観光費		

事務事業の概要(具体的なやり方、手順、詳細。期間限定複数年度事業は全体像を記述)		事業期間
霧島市PRスタッフ運営協議会に補助金を交付し、同協議会が行うPRスタッフの選考・活動を支援している。 (市の活動)同協会に補助金を交付手続きと、同協議会の事務局を担う。 (霧島市PRスタッフ運営協議会の活動)PRスタッフの選考会の開催、PRスタッフの活動支援 霧島市PRスタッフ運営協議会とは、市内外で開催される各種イベントや観光宣伝において、霧島市をPRし観光客を誘致することを目的に選定するPRスタッフの選考会の開催や活動を支援する団体で、霧島市・霧島商工会議所・観光協会が組織される。		<input type="checkbox"/> 単年度のみ <input checked="" type="checkbox"/> 単年度繰返 ↳ (S 50年代～) <input type="checkbox"/> 期間限定複数年度 ↳ ( 年度～ 年度)

1 現状把握の部(DO)

(1) 事務事業の目的と指標		活動指標(事務事業の活動量を表す指標)	
手段(主な活動)		名称	
20年度実績(20年度に行った主な活動)		単位	
事務事業の概要と同様		ア 出務回数	
		回	
21年度計画(21年度に計画している主な活動)		イ	
前年度と同様		ウ	
対象(誰、何を対象にしているのか) * 人や自然資源等		対象指標(対象の大きさを表す指標)	
国民		名称	
< 補助対象団体 > 霧島市PRスタッフ運営協議会		単位	
< 補助対象活動 > PRスタッフの選考・活動支援		ア 日本の人口	
		人	
		イ PRスタッフ選考会応募者数	
		人	
		ウ PRスタッフ数	
		人	
意図(この事業によって、対象をどう変えるのか)		成果指標(対象における意図の達成度を表す指標)	
各種イベント・観光宣伝で効率的に観光PRができる。		名称	
		単位	
		ア 出務人数(延べ)	
		人	
		イ	
		ウ	
結果(どんな結果に結び付けるのか)		上位成果指標(結果の達成度を表す指標)	
霧島市を観光地として認知してもらう。		名称	
		単位	
		ア 温泉地知名度ランキング	
		位	
		イ	
		ウ	

(2) 総事業費・指標等の推移		単位	18年度(実績)	19年度(実績)	20年度(実績)	21年度(見込)			
投入量	事業費	財源内訳	千円						
		国庫支出金	千円						
		都道府県支出金	千円						
		地方債	千円						
		その他	千円						
		一般財源	千円	724	1,722	1,880	1,710		
事業費計(A)	千円	724	1,722	1,880	1,710				
活動指標	ア	回	36	32	55	60			
	イ								
	ウ								
対象指標	ア	人	127,769,510	127,770,794	127,692,273	127,610,000			
	イ	人		15	14	13			
	ウ	人	3	3	3	3			
成果指標	ア	人	75	69	94	95			
	イ								
	ウ								
上位成果指標	ア	位	37	35	31	25			
	イ								
	ウ								

(3) 事務事業の環境変化・住民意見等	
この事務事業を開始したきっかけは何か?いつ頃どんな経緯で開始されたのか?	
昭和50年代、南九州における新婚旅行ブームが下火になり、観光客の減少に歯止めをかける手段としてミスコンテストを行い、ミスによる観光PRを全国各地で行うことで、観光客の誘致を図ることを目的に開始された。	
事務事業を取り巻く状況(対象者や根拠法令等)はどう変化しているか、開始時期あるいは5年前と比べてどう変わったのか?	
平成19年度に応募対象に男性も応募できるようになり、PRスタッフとして1名選出された。	
この事務事業に対して関係者(住民、議会、事業対象者、利害関係者等)からどんな意見や要望が寄せられているか?	
市民や議会から老若男女や未婚・既婚をイメージする名称を廃止し、誰でもなれる新たな名称に変更するように求められていたため、平成20年度、公募により「霧島ふるさと大使」に名称を変更した。	

事務事業名	市PRスタッフ運営協議会活動支援事業	所属部	商工観光部	所属課	観光課																										
<b>2 評価の部(SEE) *原則は事後評価、ただし複数年度事業は途中評価</b>																															
目的 妥当性 評価	政策体系との整合性	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある【理由】 <input checked="" type="checkbox"/> 結びついている【理由】																													
	この事務事業の目的は市(町)の政策体系に結びつくか?意図することが結果に結びついているか?	霧島市PRスタッフを選考し、PRスタッフの運営を行う。霧島市PRスタッフ運営協議会に補助金を交付することによって、各種観光宣伝の機会を通じて、霧島市を全国各地にPRでき、霧島市を観光地として認知してもらうことにつながり結びつく。																													
	公共関与の妥当性	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある【理由】 <input checked="" type="checkbox"/> 妥当である【理由】																													
なぜこの事業を市(町)が行わなければならないのか?税金を投入して、達成する目的か?	市は、観光客を誘致するための宣伝を行う必要があるためである。																														
対象・意図の妥当性	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある【理由】 <input checked="" type="checkbox"/> 適切である【理由】																														
対象を限定・追加すべきか?意図を限定・拡充すべきか?	対象は、PRスタッフとPRスタッフを選考し、運営していくのは霧島市PRスタッフ運営協議会であるためである。対象は補助金を交付することによって協議会の運営が円滑に行き、PRスタッフは霧島市内外で霧島市のPRをすることができるためである。																														
有効性 評価	成果の向上余地	<input checked="" type="checkbox"/> 向上余地がある【理由】 <input type="checkbox"/> 向上余地がない【理由】																													
	成果を向上させる余地はあるか?成果の現状水準とあるべき水準との差異はないか?何が原因で成果向上が期待できないのか?	PRスタッフが観光宣伝をすることによって霧島市の知名度が増し、イメージアップにつながっているが、もっと観光宣伝の回数を増やせば、霧島市を観光地として認知してもらう機会が増え、成果向上の余地がある。																													
	廃止・休止の成果への影響	<input type="checkbox"/> 影響無【理由】 <input checked="" type="checkbox"/> 影響有【その内容】																													
事務事業を廃止・休止した場合の影響の有無とその内容は?	PRスタッフは、霧島市の知名度・イメージアップを図る重要な存在であるため、廃止をすると観光宣伝を効率的に行えなくなり、霧島市を観光地として認知してもらう機会が減る。																														
類似事業との統廃合・連携の可能性	<input type="checkbox"/> 他に手段がある(具体的な手段,事務事業) <input type="checkbox"/> 統廃合できる <input type="checkbox"/> 連携できる <input checked="" type="checkbox"/> 統廃合できない <input type="checkbox"/> 連携できない																														
目的を達成するには、この事務事業以外他に方法はないか?類似事業との統廃合ができるか?類似事業との連携を図ることにより、成果の向上が期待できるか?	他に類似事業がない。 <input checked="" type="checkbox"/> 他に手段がない【理由】																														
効率性 評価	事業費の削減余地	<input checked="" type="checkbox"/> 削減余地がある【理由】 <input type="checkbox"/> 削減余地がない【理由】																													
	成果を下げずに事業費を削減できないか?(仕様や工法の適正化、住民の協力など)	同協議会にかかる予算で一番ウェイトを占めているのが、PRスタッフの制服の作成費である。スタッフの任期を現在の1年から複数年に延長することにより、制服の作成費が削減でき選考会の費用も削減できる。																													
人件費(延べ業務時間)の削減余地	<input checked="" type="checkbox"/> 削減余地がある【理由】 <input type="checkbox"/> 削減余地がない【理由】																														
やり方を工夫して延べ業務時間を削減できないか?成果を下げずに正職員以外の職員や委託でできないか?(アウトソーシングなど)	同協議会の事務は職員1名であっているが、協議会の運営を観光協会・商工会議所等に移譲することによって人件費の削減余地がある。																														
公平性 評価	受益機会・費用負担の適正化余地	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある【理由】 <input checked="" type="checkbox"/> 公平・公正である【理由】																													
	事業の内容が一部の受益者に偏っていて不公平ではないか?受益者負担が公平・公正になっているか?	PRスタッフの募集は全市を対象に行っており、公平・公正である。																													
<b>3 評価結果の総括と今後の方向性(次年度計画と予算への反映)(PLAN) 【担当課長記入欄】</b>																															
(1) 1次評価者としての評価結果			(2) 全体総括(振り返り、反省点)																												
目的妥当性	<input checked="" type="checkbox"/> 適切	<input type="checkbox"/> 見直し余地あり	観光協会や商工会議所へ移譲すれば人件費、事業費の削減が図られる。PRスタッフの任期を延長すれば事業費の削減が図れる。																												
有効性	<input type="checkbox"/> 適切	<input checked="" type="checkbox"/> 見直し余地あり																													
効率性	<input type="checkbox"/> 適切	<input checked="" type="checkbox"/> 見直し余地あり																													
公平性	<input checked="" type="checkbox"/> 適切	<input type="checkbox"/> 見直し余地あり																													
(3) 今後の事業の方向性(改革改善案)・・・複数選択可			(4) 改革・改善による期待成果(廃止・休止の場合は記入不要)																												
<input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 休止 <input type="checkbox"/> 事業のやり方改善(有効性改善) <input checked="" type="checkbox"/> 現状維持 <input type="checkbox"/> 目的再設定 <input type="checkbox"/> 事業のやり方改善(効率性改善) (従来通りで特に改革改善をしない) <input type="checkbox"/> 事業統廃合・連携 <input type="checkbox"/> 事業のやり方改善(公平性改善)			<table border="1"> <tr> <td colspan="2" rowspan="2"></td> <td colspan="3">コスト</td> </tr> <tr> <td>削減</td> <td>維持</td> <td>増加</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">成果</td> <td>向上</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>維持</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td rowspan="2">低下</td> <td>維持</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>低下</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </table>					コスト			削減	維持	増加	成果	向上				維持				低下	維持				低下			
		コスト																													
		削減	維持	増加																											
成果	向上																														
	維持																														
低下	維持																														
	低下																														
<改革改善案> 観光協会・商工会議所などに業務の移譲。																															
(5) 改革・改善を実現する上で解決すべき課題(壁)とその解決策 観光協会・商工会議所等との協議。																															

政策体系	No.	630-150	事務事業名	龍馬ハネムーンウォークin霧島実行委員会活動支援事業	所 属 部	商工観光部
	政策名	0 3	活力のある産業のまちづくり		所 属 課	観光課
	施策名	0 3	観光業の振興		課 長 名	横手 航太郎
	基本事業名	0 1	観光誘致宣伝活動の展開		所 属 G ( 係 )	特産品グループ
					電 話 番 号	45-5111

予算科目	会計	款	項	目	事業	事業名	法令 根拠	霧島市補助金交付規則 霧島市補助金等の種類及び補助率に関する要綱
	一般	0 7	0 1	0 4	103090	観光費		

事務事業の概要(具体的なやり方、手順、詳細。期間限定複数年度事業は全体像を記述)		事業期間
龍馬ハネムーンウォークin霧島実行委員会に龍馬ハネムーンウォークin霧島の運営補助として補助金を交付している。 (市の活動) 補助金を支出するための事務(申請書の受理、交付決定、実績報告、補助金交付)を行い、同実行委員会のメンバーにも参画している。 (同実行委員会の活動) 龍馬ハネムーンウォークin霧島の参加者の募集・当日の運営 同実行委員会は、霧島の自然や歴史を楽しむ事を目的に開催している龍馬ハネムーンウォークin霧島運営を行う団体。郵便局や市内業者を会員として運営されている。 <関連計画> 霧島市観光基本計画		<input type="checkbox"/> 単年度のみ <input checked="" type="checkbox"/> 単年度繰返 ↳ ( H 9 年度 ~ ) <input type="checkbox"/> 期間限定複数年度 ↳ ( 年度 ~ 年度 )

1 現状把握の部(DO)

(1) 事務事業の目的と指標		活動指標(事務事業の活動量を表す指標)	
手段(主な活動)		名称	単位
20年度実績(20年度に行った主な活動)	事務事業の概要と同様	ア 事前申込者数	人
21年度計画(21年度に計画している主な活動)	前年度と同様	イ 当日参加者数	人
対象(誰、何を対象にしているのか) * 人や自然資源等	ハネムーンウォーク参加者 <補助金交付先> 龍馬ハネムーンウォークin霧島実行委員会 <補助金対象活動> 龍馬ハネムーンウォークin霧島実行委員会の活動に関する経費	ウ	
意図(この事業によって、対象をどう変えるのか)	龍馬ハネムーンウォークに参加することにより、霧島市を歩きながら知ることができる。	対象指標(対象の大きさを表す指標)	
結果(どんな結果に結び付けるのか)	霧島市を観光地と認知してもらう。	ア ハネムーンウォーク参加者数(延べ)	人
		イ	
		ウ	
		成果指標(対象における意図の達成度を表す指標)	
		ア ハネムーンウォーク参加者数(実人数)	
		イ	
		ウ	
		上位成果指標(結果の達成度を表す指標)	
		ア 温泉知名度ランキング	位
		イ	
		ウ	

(2) 総事業費・指標等の推移		単位	18年度(実績)	19年度(実績)	20年度(実績)	21年度(見込)		
投入量	事業費	財源内訳	国庫支出金	千円				
		都道府県支出金	千円					
		地方債	千円					
		その他	千円					
		一般財源	千円		2,608	2,447	2,229	
		事業費計(A)	千円	0	2,608	2,447	2,229	
活動指標	ア	人	2,989	2,942	2,583	2,900		
	イ	人	590	1,113	897	1,100		
	ウ							
対象指標	ア	人	4,092	4,200	3,881	4,100		
	イ							
	ウ							
成果指標	ア		3,579	4,055	3,480	4,000		
	イ							
	ウ							
上位成果指標	ア	位	37	30	31	25		
	イ							
	ウ							

(3) 事務事業の環境変化・住民意見等	
この事務事業を開始したきっかけは何か?いつ頃どんな経緯で開始されたのか?	
1866年土佐の坂本龍馬と妻のお龍が日本で最初の新婚旅行に訪れた地、霧島を現代の龍馬とお龍になって歩き、霧島の自然や歴史を楽しむことを目的に平成9年から開催された。	
事務事業を取り巻く状況(対象者や根拠法令等)はどう変化しているか、開始時期あるいは5年前と比べてどう変わったのか?	
平成19年度から、霧島地区の「花は霧島菜の花コース」と隼人地区の「隼人・天降川コース」が追加された。平成20年度は実行委員会の事務局を担う団体があらず、市で実行委員会の事務局を担った。	
この事務事業に対して関係者(住民、議会、事業対象者、利害関係者等)からどんな意見や要望が寄せられているか?	
特になし。	

事務事業名	龍馬ハネムーンウォークin霧島実行委員会活動支援事業	所属部	商工観光部	所属課	観光課																										
<b>2 評価の部(SEE) * 原則は事後評価、ただし複数年度事業は途中評価</b>																															
目的 妥当性 評価	政策体系との整合性	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある【理由】 <input checked="" type="checkbox"/> 結びついている【理由】																													
	この事務事業の目的は市(町)の政策体系に結びつくか?意図することが結果に結びついているか?	霧島市で龍馬ハネムーンウォークを開催し、多くの人々に参加してもらえば、霧島市の名所・旧跡・観光地を歩きながら見ることができ、霧島市を観光地として認知してもらうことに繋がり、結びついている。																													
	公共関与の妥当性	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある【理由】 <input checked="" type="checkbox"/> 妥当である【理由】																													
なぜこの事業を市(町)が行わなければならないのか?税金を投入して、達成する目的か?	市は、観光客の誘客と霧島市をPRするために、様々なイベントを開催する必要があるため、妥当である。																														
対象・意図の妥当性	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある【理由】 <input checked="" type="checkbox"/> 適切である【理由】																														
対象を限定・追加すべきか?意図を限定・拡充すべきか?	対象は、龍馬ハネムーンウォークの参加者であり妥当である。意図は、参加することにより、霧島市の名所・旧跡・観光地を歩きながら見ることができ、霧島市を観光地として認知してもらうことに繋がるので妥当である。																														
有効性 評価	成果の向上余地	<input type="checkbox"/> 向上余地がある【理由】 <input checked="" type="checkbox"/> 向上余地がない【理由】																													
	成果を向上させる余地はあるか?成果の現状水準とあるべき水準との差異はないか?何が原因で成果向上が期待できないのか?	参加者へのコース上でのサービスや、参加者への特典を増やせば参加者も増え、成果の向上の余地がある。																													
	廃止・休止の成果への影響	<input type="checkbox"/> 影響無【理由】 <input checked="" type="checkbox"/> 影響有【その内容】																													
事務事業を廃止・休止した場合の影響の有無とその内容は?	ウォーキングイベントとして定着しており、廃止すれば霧島市のイメージダウンに繋がる。																														
類似事業との統廃合・連携の可能性	<input type="checkbox"/> 他に手段がある(具体的な手段, 事務事業) <input checked="" type="checkbox"/> 統廃合できる <input type="checkbox"/> 連携できる <input type="checkbox"/> 統廃合できない <input type="checkbox"/> 連携できない																														
目的を達成するには、この事務事業以外他に方法はないか?類似事業との統廃合ができるか?類似事業との連携を図ることにより、成果の向上が期待できるか?	他に類似事業がない。 <input checked="" type="checkbox"/> 他に手段がない【理由】																														
効率性 評価	事業費の削減余地	<input checked="" type="checkbox"/> 削減余地がある【理由】 <input type="checkbox"/> 削減余地がない【理由】																													
	成果を下げずに事業費を削減できないか?(仕様や工法の適正化、住民の協力など)	実行委員会に市内の企業等を取り込み、スポンサー制度を採用したり、商店街主からの寄付等の徴収を積極的に行えば事業費の削減は可能である。																													
人件費(延べ業務時間)の削減余地	<input checked="" type="checkbox"/> 削減余地がある【理由】 <input type="checkbox"/> 削減余地がない【理由】																														
やり方を工夫して延べ業務時間を削減できないか?成果を下げずに正職員以外の職員や委託でできないか?(アウトソーシングなど)	補助金の交付事務は最低限な事務であり、人件費の削減余地はないが、当日の運営に関しては、ボランティア制度を活用すれば、職員の動員が必要なくなり削減余地がある。																														
公平性 評価	受益機会・費用負担の適正化余地	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある【理由】 <input checked="" type="checkbox"/> 公平・公正である【理由】																													
	事業の内容が一部の受益者に偏っていて不公平ではないか?受益者負担が公平・公正になっているか?	全国に向けて参加の募集をしているので公平・公正である。																													
<b>3 評価結果の総括と今後の方向性(次年度計画と予算への反映)(PLAN) 【担当課長記入欄】</b>																															
(1) 1次評価者としての評価結果			(2) 全体総括(振り返り、反省点)																												
目的妥当性	<input checked="" type="checkbox"/> 適切	<input type="checkbox"/> 見直し余地あり	<input checked="" type="checkbox"/> 見直し余地あり 実行委員会へ企業等を取り込み、スポンサー制度を採用したり、商店街主からの寄付等の徴収を積極的に行えば事業費の削減は可能である。																												
有効性	<input type="checkbox"/> 適切	<input checked="" type="checkbox"/> 見直し余地あり																													
効率性	<input type="checkbox"/> 適切	<input checked="" type="checkbox"/> 見直し余地あり																													
公平性	<input checked="" type="checkbox"/> 適切	<input type="checkbox"/> 見直し余地あり																													
(3) 今後の事業の方向性(改革改善案)・・・複数選択可			(4) 改革・改善による期待成果(廃止・休止の場合は記入不要)																												
<input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 休止 <input checked="" type="checkbox"/> 事業のやり方改善(有効性改善) <input type="checkbox"/> 現状維持 <input type="checkbox"/> 目的再設定 <input checked="" type="checkbox"/> 事業のやり方改善(効率性改善) (従来通りで特に改革改善をしない) <input type="checkbox"/> 事業統廃合・連携 <input type="checkbox"/> 事業のやり方改善(公平性改善)			<table border="1"> <tr> <td colspan="2" rowspan="2"></td> <td colspan="3">コスト</td> </tr> <tr> <td>削減</td> <td>維持</td> <td>増加</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">成果</td> <td>向上</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>維持</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td rowspan="2">低下</td> <td>維持</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>低下</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </table>					コスト			削減	維持	増加	成果	向上				維持				低下	維持				低下			
		コスト																													
		削減	維持	増加																											
成果	向上																														
	維持																														
低下	維持																														
	低下																														
<改革改善案> スポンサー制度の採用 積極的な寄付金の徴収																															
(5) 改革、改善を実現する上で解決すべき課題(壁)とその解決策 地元企業の説得 商店街との協議																															

No.	630-160	事務事業名	(社)大霧島観光協会活動支援事業				所 属 部	商工観光部
							所 属 課	観光課
政策体系	政策名	0 3	活力のある産業のまちづくり				課 長 名	横手 航太郎
	施策名	0 3	観光業の振興				所 属 G ( 係 )	観光グループ
	基本事業名	0 1	観光誘致宣伝活動の展開				電 話 番 号	45-5111

予算科目	会計	款	項	目	事業	事業名	法令 根拠	霧島市補助金交付規則 霧島市補助金等の種類及び補助率に関する要綱
	一般	0	7	0	1	0		

事務事業の概要(具体的なやり方、手順、詳細。期間限定複数年度事業は全体像を記述)							事業期間	
(社)大霧島観光協会の事業及び運営補助として補助金を交付している。 (市の活動)同協会に補助金を支出するための手続き(申請書の受理、交付決定、補助金交付)を行う。 (同協会の活動)観光案内、霧島市の情報発信、観光商品の開発、宣伝用ポスターチラシの作成・配布 (社)大霧島観光協会は、霧島温泉の観光の振興と情報発信を目的にH6年に発足した。もともとは、旧牧園町が設置した団体であるが、合併後は市とは独立した社団法人(会員は観光業者)として運営されている。 <関連計画>霧島市観光基本計画							<input type="checkbox"/> 単年度のみ <input checked="" type="checkbox"/> 単年度繰返 ↳ ( H 6 年度 ~ ) <input type="checkbox"/> 期間限定複数年度 ↳ ( 年度 ~ 年度 )	

1 現状把握の部(DO)

(1) 事務事業の目的と指標 手段(主な活動)		活動指標(事務事業の活動量を表す指標)	
20年度実績(20年度に行った主な活動) 事務事業の概要と同様		名称 単位	
観光宣伝の対象として		ア HPの閲覧者数 人	
21年度計画(21年度に計画している主な活動) 市内4つの観光協会が統合し(社)霧島市観光協会となる。		イ 観光宣伝(パンフレットの配布)の実施回数 回	
対象(誰、何を対象にしているのか)*人や自然資源等 観光案内(電話・パンフレット)を要望した人、観光宣伝を行った都市の人々 <補助金交付先>(社)大霧島観光協会 <補助金対象活動>観光協会の活動に要する経費		ウ パンフレット送付部数 部	
意図(この事業によって、対象をどう変えるのか) 霧島市の観光情報を効率よく入手できる。		対象指標(対象の大きさを表す指標)	
結果(どんな結果に結び付けるのか) 霧島市を観光地と認知してもらう。		名称 単位	
		ア 観光案内の問合せ件数(電話) 件	
		イ 観光案内(パンフレット)送付要望件数 部	
		ウ 観光宣伝を行った都市の人口 人	
		成果指標(対象における意図の達成度を表す指標)	
		名称 単位	
		ア 牧園地区を訪れた観光客数 人	
		イ 霧島市役所への問合せ件数 件	
		ウ	
		上位成果指標(結果の達成度を表す指標)	
		名称 単位	
		ア 温泉地知名度ランキング 位	
		イ	
		ウ	

(2) 総事業費・指標等の推移		単位	18年度 (実績)	19年度 (実績)	20年度 (実績)				
投入量	事業費	財源内訳	千円						
		国庫支出金	千円						
		都道府県支出金	千円						
		地方債	千円						
		その他	千円						
		一般財源	千円	17,295	17,549	16,700			
	事業費計(A)	千円	17,295	17,549	16,700				
活動指標		ア 人	未把握	未把握	179,000				
		イ 回	0	0	0				
		ウ 部	335	304	375				
対象指標		ア 件	未把握	13,512	21,849				
		イ 部	335	304	375				
		ウ 人	0	0	0				
成果指標		ア 人	1,476,438	1,545,122	1,677,696				
		イ 件	未把握	未把握	未把握				
		ウ							
上位成果指標		ア 位	37	30	31	25	20	15	
		イ							
		ウ							

(3) 事務事業の環境変化・住民意見等	
この事務事業を開始したきっかけは何か?いつ頃どんな経緯で開始されたのか? 平成6年に霧島温泉の観光の振興と情報発信を目的に発足した(社)大霧島観光協会の財政の健全化と円滑な運営を図るために支援を開始した。	
事務事業を取り巻く状況(対象者や根拠法令等)はどう変化しているか、開始時期あるいは5年前と比べてどう変わったのか? 市内に存在する4つの観光協会を統合させるため、平成20年10月に霧島市観光協会合併協議会と立ち上げ平成21年4月1日統合に向け協議している。	
この事務事業に対して関係者(住民、議会、事業対象者、利害関係者等)からどんな意見や要望が寄せられているか? 議会より、観光協会の合併が進まない状態であるので、全協会の補助金を削減し、合併しなければならないという気運を作れとの意見があった。地域住民や観光協会より、協会の合併が進まないのは行政の怠慢であるとの意見があった。	

事務事業名	(社)大霧島観光協会活動支援事業	所属部	商工観光部	所属課	観光課																									
<b>2 評価の部(SEE) *原則は事後評価、ただし複数年度事業は途中評価</b>																														
目的 妥当性 評価	政策体系との整合性	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある【理由】 ↘ <input checked="" type="checkbox"/> 結びついている【理由】 ↘ この事務事業の目的は市(町)の政策体系に結びつくか?意図することが結果に結びついているか?																												
	公共関与の妥当性	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある【理由】 ↘ <input checked="" type="checkbox"/> 妥当である【理由】 ↘ なぜこの事業を市(町)が行わなければならないのか?税金を投入して、達成する目的か?																												
	対象・意図の妥当性	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある【理由】 ↘ <input checked="" type="checkbox"/> 適切である【理由】 ↘ 対象を限定・追加すべきか?意図を限定・拡充すべきか?																												
有効性 評価	成果の向上余地	<input checked="" type="checkbox"/> 向上余地がある【理由】 ↘ <input type="checkbox"/> 向上余地がない【理由】 ↘ 成果を向上させる余地はあるか?成果の現状水準とあるべき水準との差異はないか?何が原因で成果向上が期待できないのか?																												
	廃止・休止の成果への影響	<input type="checkbox"/> 影響無【理由】 ↘ <input checked="" type="checkbox"/> 影響有【その内容】 ↘ 事務事業を廃止・休止した場合の影響の有無とその内容は?																												
	類似事業との統廃合・連携の可能性	<input checked="" type="checkbox"/> 他に手段がある(具体的な手段、事務事業) <input checked="" type="checkbox"/> 霧島市国分観光協会運営補助事業、隼人観光協会運営補助事業 <input checked="" type="checkbox"/> 統廃合できる ↘ <input type="checkbox"/> 連携できる ↘ <input type="checkbox"/> 統廃合できない ↘ <input type="checkbox"/> 連携できない ↘ 市内に存在する4つの観光協会が統合されれば、事業も統合が可能でなる。 <input type="checkbox"/> 他に手段がない【理由】 ↘																												
効率性 評価	事業費の削減余地	<input checked="" type="checkbox"/> 削減余地がある【理由】 ↘ <input type="checkbox"/> 削減余地がない【理由】 ↘ 成果を下げずに事業費を削減できないか?(仕様や工法の適正化、住民の協力など)																												
	人件費(延べ業務時間)の削減余地	<input checked="" type="checkbox"/> 削減余地がある【理由】 ↘ <input type="checkbox"/> 削減余地がない【理由】 ↘ やり方を工夫して延べ業務時間を削減できないか?成果を下げずに正職員以外の職員や委託でできないか?(アウトソーシングなど)																												
公平性 評価	受益機会・費用負担の適正化余地	<input checked="" type="checkbox"/> 見直し余地がある【理由】 ↘ <input type="checkbox"/> 公平・公正である【理由】 ↘ 事業の内容が一部の受益者に偏っていて不公平ではないか?受益者負担が公平・公正になっているか?																												
<b>3 評価結果の総括と今後の方向性(次年度計画と予算への反映)(PLAN) 【担当課長記入欄】</b>																														
(1) 1次評価者としての評価結果		(2) 全体総括(振り返り、反省点)																												
目的妥当性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり 有効性 <input type="checkbox"/> 適切 <input checked="" type="checkbox"/> 見直し余地あり 効率性 <input type="checkbox"/> 適切 <input checked="" type="checkbox"/> 見直し余地あり 公平性 <input type="checkbox"/> 適切 <input checked="" type="checkbox"/> 見直し余地あり		適切な補助基準の策定と、観光協会の早期合併を図る必要がある。																												
(3) 今後の事業の方向性(改革改善案)・・・複数選択可			(4) 改革・改善による期待成果(廃止・休止の場合は記入不要)																											
<input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 休止 <input checked="" type="checkbox"/> 事業のやり方改善(有効性改善) <input type="checkbox"/> 現状維持 <input type="checkbox"/> 目的再設定 <input checked="" type="checkbox"/> 事業のやり方改善(効率性改善) (従来通りで特に改革改善をしない) <input type="checkbox"/> 事業統廃合・連携 <input checked="" type="checkbox"/> 事業のやり方改善(公平性改善)			<table border="1"> <tr> <td colspan="2" rowspan="2"></td> <td colspan="3">コスト</td> </tr> <tr> <td>削減</td> <td>維持</td> <td>増加</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">成果</td> <td>向上</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>維持</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td rowspan="2">低下</td> <td>維持</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>低下</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </table>				コスト			削減	維持	増加	成果	向上				維持				低下	維持				低下			
		コスト																												
		削減	維持	増加																										
成果	向上																													
	維持																													
低下	維持																													
	低下																													
(5) 改革、改善を実現する上で解決すべき課題(壁)とその解決策 観光協会の合併を協議するため、4観光協会の会長、事務局長及び商工観光部職員を構成員とする霧島市観光協会合併会議を開催する。 決算状況の精査 霧島市補助金交付指針に基づき、平成21年度から、運営補助の補助金を廃止し、活動補助(事業補助)への転換を行う。ただし、観光協会の合併が整った場合は、合併後から3年間は運営補助でその協会への補助を行う。																														

No.	630-170	事務事業名	市国分観光協会活動支援事業	所属部	商工観光部
政策体系	政策名	0 3	活力のある産業のまちづくり	所属課	観光課
	施策名	0 3	観光業の振興	課長名	横手 航太郎
	基本事業名	0 1	観光誘致宣伝活動の展開	所属G(係)	観光グループ
				電話番号	45-5111

予算科目	会計	款	項	目	事業	事業名	法令 根拠	霧島市補助金交付規則 霧島市補助金等の種類及び補助率に関する要綱
	一般	0	7	0	1	0		

事務事業の概要(具体的なやり方、手順、詳細。期間限定複数年度事業は全体像を記述)		事業期間
霧島市国分観光協会の事業及び運営補助として補助金を交付している。 (市の活動)同協会に補助金を支出するための手続き(申請書の受理、交付決定、実績報告、補助金交付)を行う。 (同協会の活動)観光案内、霧島市の情報発信等 霧島市国分観光協会は、国分地区の観光の振興と情報発信を目的にS52年に発足した。 <関連計画>霧島市観光基本計画		<input type="checkbox"/> 単年度のみ <input checked="" type="checkbox"/> 単年度繰返 ↳ ( S 52 年度 ~ ) <input type="checkbox"/> 期間限定複数年度 ↳ (            年度 ~            年度 )

1 現状把握の部(DO)

(1) 事務事業の目的と指標		活動指標(事務事業の活動量を表す指標)	
手段(主な活動)		名称	
20年度実績(20年度に行った主な活動)		単位	
事務事業の概要と同様		ア	HPの閲覧者数
			人
21年度計画(21年度に計画している主な活動)		イ	観光宣伝(パンフレットの配布)の実施回数
市内4つの観光協会が統合し(社)霧島市観光協会となる。			回
		ウ	パンフレットの送付部数
			部
対象(誰、何を対象にしているのか)*人や自然資源等		対象指標(対象の大きさを表す指標)	
観光案内(電話・パンフレット)を要望した人、観光宣伝を行った都市の人々		名称	
<補助金交付先>霧島市国分観光協会		単位	
<補助金対象活動>観光協会の運営に要する経費		ア	観光案内の問合せ件数(電話)
			件
		イ	観光案内(パンフレット)送付要望件数
			人
		ウ	観光宣伝を行った都市の人口
			人
意図(この事業によって、対象をどう変えるのか)		成果指標(対象における意図の達成度を表す指標)	
霧島市の観光情報を効率よく入手できる。		名称	
		単位	
		ア	国分地区を訪れた観光客数
			人
		イ	霧島市役所への問合せ件数
			件
		ウ	
結果(どんな結果に結び付けるのか)		上位成果指標(結果の達成度を表す指標)	
霧島市を観光地として認知してもらう。		名称	
		単位	
		ア	温泉地知名度ランキング
			位
		イ	
		ウ	

(2) 総事業費・指標等の推移		単位	18年度(実績)	19年度(実績)	20年度(実績)				
投入量	事業費	財源内訳	千円						
		国庫支出金	千円						
		都道府県支出金	千円						
		地方債	千円						
		その他	千円						
		一般財源	千円		2,493	2,369			
		事業費計(A)	千円	0	2,493	2,369			
活動指標		ア	人	なし	なし	なし			
		イ	回	1	1	1			
		ウ	部	10	10	10			
対象指標		ア	件	100	100	100			
		イ	人	10	10	10			
		ウ	人	990,585	987,230	982,718			
成果指標		ア	人	866886	821874	930013			
		イ	件	未把握	未把握	未把握			
		ウ							
上位成果指標		ア	位	37	30	31	25	20	15
		イ							
		ウ							

(3) 事務事業の環境変化・住民意見等	
この事務事業を開始したきっかけは何か?いつ頃どんな経緯で開始されたのか? S52年に国分地区の観光の振興と情報発信を目的に発足した霧島市国分観光協会の財政の健全化と円滑な運営を図るために開始された。	
事務事業を取り巻く状況(対象者や根拠法令等)はどう変化しているか、開始時期あるいは5年前と比べてどう変わったのか? 市内に存在する4つの観光協会を統合させるため、平成20年10月に霧島市観光協会合併協議会と立ち上げ平成21年4月1日統合に向け協議している。	
この事務事業に対して関係者(住民、議会、事業対象者、利害関係者等)からどんな意見や要望が寄せられているか? 議会より、観光協会の合併が進まない状態であるので、全協会の補助金を削減し、合併しなければならないという機運を作れとの意見があった。地域住民や観光協会より、協会の合併が進まないのは行政の怠慢であるとの意見があった。	

事務事業名	市国分観光協会活動支援事業	所属部	商工観光部	所属課	観光課
-------	---------------	-----	-------	-----	-----

2 評価の部(SEE) \*原則は事後評価、ただし複数年度事業は途中評価

目的 妥当性 評価	政策体系との整合性	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある【理由】 ↷ <input checked="" type="checkbox"/> 結びついている【理由】 ↷
	公共関与の妥当性	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある【理由】 ↷ <input checked="" type="checkbox"/> 妥当である【理由】 ↷
	対象・意図の妥当性	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある【理由】 ↷ <input checked="" type="checkbox"/> 適切である【理由】 ↷
有効性 評価	成果の向上余地	<input checked="" type="checkbox"/> 向上余地がある【理由】 ↷ <input type="checkbox"/> 向上余地がない【理由】 ↷
	廃止・休止の成果への影響	<input type="checkbox"/> 影響無【理由】 ↷ <input checked="" type="checkbox"/> 影響有【その内容】 ↷
	類似事業との統廃合・連携の可能性	<input checked="" type="checkbox"/> 他に手段がある(具体的な手段、事務事業) <input checked="" type="checkbox"/> (社)大霧島観光協会運営補助事業、単人観光協会運営補助事業 <input checked="" type="checkbox"/> 統廃合できる ↷ <input type="checkbox"/> 連携できる ↷ <input type="checkbox"/> 統廃合できない ↷ <input type="checkbox"/> 連携できない ↷
効率性 評価	事業費の削減余地	<input checked="" type="checkbox"/> 削減余地がある【理由】 ↷ <input type="checkbox"/> 削減余地がない【理由】 ↷
	人件費(延べ業務時間)の削減余地	<input checked="" type="checkbox"/> 削減余地がある【理由】 ↷ <input type="checkbox"/> 削減余地がない【理由】 ↷
公平性 評価	受益機会・費用負担の適正化余地	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある【理由】 ↷ <input checked="" type="checkbox"/> 公平・公正である【理由】 ↷

3 評価結果の総括と今後の方向性(次年度計画と予算への反映)(PLAN) 【担当課長記入欄】

(1) 1次評価者としての評価結果	(2) 全体総括(振り返り、反省点)																					
目的妥当性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり 有効性 <input type="checkbox"/> 適切 <input checked="" type="checkbox"/> 見直し余地あり 効率性 <input type="checkbox"/> 適切 <input checked="" type="checkbox"/> 見直し余地あり 公平性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり	適切な補助基準の策定と、観光協会の早期合併を図る必要がある。																					
(3) 今後の事業の方向性(改革改善案)・・・複数選択可 <input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 休止 <input checked="" type="checkbox"/> 事業のやり方改善(有効性改善) <input type="checkbox"/> 現状維持 <input type="checkbox"/> 目的再設定 <input checked="" type="checkbox"/> 事業のやり方改善(効率性改善) (従来通りで特に改革改善をしない) <input checked="" type="checkbox"/> 事業統廃合・連携 <input type="checkbox"/> 事業のやり方改善(公平性改善)	(4) 改革・改善による期待成果(廃止・休止の場合は記入不要) <table border="1" style="text-align: center;"> <tr> <td colspan="2" rowspan="2"></td> <td colspan="3">コスト</td> </tr> <tr> <td>削減</td> <td>維持</td> <td>増加</td> </tr> <tr> <td rowspan="3">成果</td> <td>向上</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>維持</td> <td></td> <td></td> <td>/</td> </tr> <tr> <td>低下</td> <td></td> <td></td> <td>/</td> </tr> </table>			コスト			削減	維持	増加	成果	向上				維持			/	低下			/
				コスト																		
		削減	維持	増加																		
成果	向上																					
	維持			/																		
	低下			/																		
(5) 改革、改善を実現する上で解決すべき課題(壁)とその解決策 観光協会の合併に向けた協議会等を立ち上げる。 観光協会の決算状況を精査する。																						





事務事業名	市単人観光協会活動支援事業	所属部	商工観光部	所属課	観光課
-------	---------------	-----	-------	-----	-----

2 評価の部(SEE) \*原則は事後評価、ただし複数年度事業は途中評価

目的 妥当性 評価	政策体系との整合性	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある【理由】 ↷ <input checked="" type="checkbox"/> 結びついている【理由】 ↷
	この事務事業の目的は市(町)の政策体系に結びつくか?意図することが結果に結びついているか?	市が観光協会に補助金を交付し、同協会が観光案内・観光宣伝等の活動を行うことにより、霧島市を訪れる人々や霧島を訪れようと考えている人々が霧島市の観光情報を効率よく入手できることは、霧島市を観光地として認知してもらうことに結びつく。
	公共関与の妥当性	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある【理由】 ↷ <input checked="" type="checkbox"/> 妥当である【理由】 ↷
有効性 評価	なぜこの事業を市(町)が行わなければならないのか?税金を投入して、達成する目的か?	市が行っている観光の施策・事業に積極的に参画し、市と共に観光宣伝や観光案内を行う観光協会に対し事業補助を行うことは、市の負担を軽減し、事務を効率よく遂行していくことに繋がりが妥当である。
	対象・意図の妥当性	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある【理由】 ↷ <input checked="" type="checkbox"/> 適切である【理由】 ↷
	対象を限定・追加すべきか?意図を限定・拡充すべきか?	霧島市の観光案内(電話・パンフレット送付)を要望した方や、主要都市での観光案内を行うことにより、霧島市の興味を持った方々が効率的に霧島市の観光情報を得られ、霧島市を観光地として認知できることから対象・意図は妥当である。
有効性 評価	成果の向上余地	<input checked="" type="checkbox"/> 向上余地がある【理由】 ↷ <input type="checkbox"/> 向上余地がない【理由】 ↷
	成果を向上させる余地はあるか?成果の現状水準とあるべき水準との差異はないか?何が原因で成果向上が期待できないのか?	現状観光協会での情報提供が充分でないことから市役所へ問合せがかなりある。市内に存在する4つの観光協会が統合されれば、霧島市全体を対象とした効率的な観光宣伝と情報発信が可能になり、訪れる観光客の数も増え、成果の向上余地がある。
	廃止・休止の成果への影響	<input type="checkbox"/> 影響無【理由】 ↷ <input checked="" type="checkbox"/> 影響有【その内容】 ↷
効率性 評価	事務事業を廃止・休止した場合の影響の有無とその内容は?	霧島市の観光客の誘致と情報発信にはかかせない団体であり、補助金を廃止してしまうと、団体の活動ができなくなり、霧島市を訪れる観光客が減少する。
	類似事業との統廃合・連携の可能性	<input checked="" type="checkbox"/> 他に手段がある(具体的な手段、事務事業) ↳ (社)大霧島観光協会運営補助事業、霧島市国分観光協会運営補助事業 <input checked="" type="checkbox"/> 統廃合できる ↷ <input type="checkbox"/> 連携できる ↷ <input type="checkbox"/> 統廃合できない ↷ <input type="checkbox"/> 連携できない ↷
	目的を達成するには、この事務事業以外他に方法はないか?類似事業との統廃合ができるか?類似事業との連携を図ることにより、成果の向上が期待できるか?	市内に存在する4つの観光協会が統合されれば、事業も統合が可能でなる。 <input type="checkbox"/> 他に手段がない【理由】 ↷
公平性 評価	事業費の削減余地	<input checked="" type="checkbox"/> 削減余地がある【理由】 ↷ <input type="checkbox"/> 削減余地がない【理由】 ↷
	成果を下げずに事業費を削減できないか?(仕様や工法の適正化、住民の協力など)	市内に存在する4つの観光協会が統合されれば、各協会の事業も統合され、霧島市全体を対象とした効率的な観光宣伝と情報発信が少ない経費で可能になり事業費の削減余地がある。
公平性 評価	人件費(延べ業務時間)の削減余地	<input checked="" type="checkbox"/> 削減余地がある【理由】 ↷ <input type="checkbox"/> 削減余地がない【理由】 ↷
	やり方を工夫して延べ業務時間を削減できないか?成果を下げずに正職員以外の職員や委託でできないか?(アウトソーシングなど)	市内に存在する4つの観光協会が統合されれば、補助金の交付事務も1回で済むので、人件費の削減余地がある。
公平性 評価	受益機会・費用負担の適正化余地	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある【理由】 ↷ <input checked="" type="checkbox"/> 公平・公正である【理由】 ↷
事業の内容が一部の受益者に偏っていて不公平ではないか?受益者負担が公平・公正になっているか?		補助基準がないため、観光協会によって補助金算定基礎がマチマチである。今後は霧島市補助金交付指針に基づき公平な補助額を算定していかなければならない。

3 評価結果の総括と今後の方向性(次年度計画と予算への反映)(PLAN) 【担当課長記入欄】

(1) 1次評価者としての評価結果	(2) 全体総括(振り返り、反省点)																					
目的妥当性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり 有効性 <input type="checkbox"/> 適切 <input checked="" type="checkbox"/> 見直し余地あり 効率性 <input type="checkbox"/> 適切 <input checked="" type="checkbox"/> 見直し余地あり 公平性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり	適切な補助基準の策定と、観光協会の早期合併を図る必要がある。																					
(3) 今後の事業の方向性(改革改善案)・・・複数選択可 <input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 休止 <input checked="" type="checkbox"/> 事業のやり方改善(有効性改善) <input type="checkbox"/> 現状維持 <input type="checkbox"/> 目的再設定 <input checked="" type="checkbox"/> 事業のやり方改善(効率性改善) (従来通りで特に改革改善をしない) <input checked="" type="checkbox"/> 事業統廃合・連携 <input type="checkbox"/> 事業のやり方改善(公平性改善)	(4) 改革・改善による期待成果(廃止・休止の場合は記入不要) <table border="1" style="margin-left: auto; margin-right: auto;"> <tr> <td colspan="2" rowspan="2"></td> <td colspan="3">コスト</td> </tr> <tr> <td>削減</td> <td>維持</td> <td>増加</td> </tr> <tr> <td rowspan="3">成果</td> <td>向上</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>維持</td> <td></td> <td></td> <td>/</td> </tr> <tr> <td>低下</td> <td></td> <td></td> <td>/</td> </tr> </table>			コスト			削減	維持	増加	成果	向上				維持			/	低下			/
				コスト																		
		削減	維持	増加																		
成果	向上																					
	維持			/																		
	低下			/																		
(5) 改革、改善を実現する上で解決すべき課題(壁)とその解決策 観光協会の合併に向けた協議会等を立ち上げる。 観光協会の決算状況を精査する。																						

No.	630-190	事務事業名	妙見温泉バス運営支援事業	所属部	商工観光部
政策体系	政策名	03	活力のある産業のまちづくり	所属課	観光課
	施策名	03	観光業の振興	課長名	横手 航太郎
	基本事業名	03	受け入れ体制の充実	所属G(係)	観光グループ
				電話番号	45-5111

予算科目	会計	款	項	目	事業	事業名	法令根拠	特になし
	一般	07	01	04	103090	観光費		

事務事業の概要(具体的なやり方、手順、詳細。期間限定複数年度事業は全体像を記述)	事業期間
市は、妙見温泉振興会温泉バス事業部へ妙見温泉バスの運営補助として補助金を交付している。 (市の活動)妙見温泉振興会温泉バス事業部へ補助金を支出するための手続き(申請書の提出、交付決定、実績報告、補助金交付)を行う。 (振興会の活動)妙見温泉バスの運行 妙見温泉振興会とは、妙見地区の活性化と地域の振興を図ることを目的として設立した団体で、妙見温泉地区の事業主を会員として運営されている団体。	<input type="checkbox"/> 単年度のみ <input checked="" type="checkbox"/> 単年度繰返 <span style="margin-left: 20px;">↳ (H 14 年度 ~)</span> <input type="checkbox"/> 期間限定複数年度 <span style="margin-left: 20px;">↳ ( 年度 ~ 年度)</span>

1 現状把握の部(DO)

(1) 事務事業の目的と指標		活動指標(事務事業の活動量を表す指標)	
手段(主な活動)		名称	単位
20年度実績(20年度に行った主な活動)	事務事業の概要と同様	ア 延べ運行便数	便
21年度計画(21年度に計画している主な活動)	前年度と同様	イ 運行日数	日
対象(誰、何を対象にしているのか)*人や自然資源等	バス利用者 補助金交付先 妙見温泉振興会温泉バス事業部 補助金対象活動 妙見温泉バスの運行	ウ	
意図(この事業によって、対象をどう変えるのか)	妙見温泉振興会温泉バス事業部の円滑な運営と財政の健全化を図る。	対象指標(対象の大きさを表す指標)	
結果(どんな結果に結び付けるのか)	来訪者をもてなす受け皿ができる。	ア 利用者数	人
		イ	
		ウ	
		成果指標(対象における意図の達成度を表す指標)	
		ア 乗車率	%
		イ	
		ウ	
		上位成果指標(結果の達成度を表す指標)	
		ア 地域住民・観光業者のもてなしを感じた旅行者の割合	人
		イ もう一度行ってみたい温泉地ランキング	位
		ウ	

(2) 総事業費・指標等の推移		単位	18年度(実績)	19年度(実績)	20年度(見込)	21年度(見込)		
投入量	事業費	財源内訳	千円					
		国庫支出金	千円					
		都道府県支出金	千円					
		地方債	千円					
		その他	千円					
		一般財源	千円	2,200	2,200	2,390	2,800	
	事業費計(A)	千円	2,200	2,200	2,390	2,800		
活動指標	ア 便		1,825	1,830	1,825	1,825		
	イ 日		365	366	365	365		
	ウ							
対象指標	ア 人		8,623	11,547	12,000	13,000		
	イ							
	ウ							
成果指標	ア %		20	26	27	30		
	イ							
	ウ							
上位成果指標	ア 人			50	55	60		
	イ 位		24	24	23	23		
	ウ							

(3) 事務事業の環境変化・住民意見等
この事務事業を開始したきっかけは何か?いつ頃どんな経緯で開始されたのか? 平成14年より鹿児島空港、隼人駅、嘉例川駅からの交通アクセスがなく、観光客が不便であったために開始された。
事務事業を取り巻く状況(対象者や根拠法令等)はどう変化しているか、開始時期あるいは5年前と比べてどう変わったのか? 運行開始とともに利用者が毎年増加傾向にある。
この事務事業に対して関係者(住民、議会、事業対象者、利害関係者等)からどんな意見や要望が寄せられているか? 特になし。

事務事業名	妙見温泉バス運営支援事業	所属部	商工観光部	所属課	観光課																										
<b>2 評価の部(SEE) * 原則は事後評価、ただし複数年度事業は途中評価</b>																															
目的 妥当性 評価	<b>政策体系との整合性</b>	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある【理由】 <input checked="" type="checkbox"/> 結びついている【理由】																													
	この事務事業の目的は市(町)の政策体系に結びつくか? 意図することが結果に結びついているか?	妙見温泉振興会に補助金を交付し、温泉バスを運行することは来訪者をもてなす受け皿をつくることにつながり結びついている。																													
	<b>公共関与の妥当性</b>	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある【理由】 <input checked="" type="checkbox"/> 妥当である【理由】																													
なぜこの事業を市(町)が行わなければならないのか? 税金を投入して、達成する目的か?	市は、観光客を受け入れる体制を整備する必要がある。																														
<b>対象・意図の妥当性</b>	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある【理由】 <input checked="" type="checkbox"/> 適切である【理由】																														
対象を限定・追加すべきか? 意図を限定・拡充すべきか?	対象は温泉バスを利用する利用客であり妥当である。意図は温泉バスを運営する妙見温泉振興会へ補助金を交付することによりバスの運行ができ、来訪者をもてなす受け皿をつくることにつながるため妥当である。																														
有効性 評価	<b>成果の向上余地</b>	<input checked="" type="checkbox"/> 向上余地がある【理由】 <input type="checkbox"/> 向上余地がない【理由】																													
	成果を向上させる余地はあるか? 成果の現状水準とあるべき水準との差異はないか? 何が原因で成果向上が期待できないのか?	便数を増やすことができれば、利用客も増え、成果工場の余地がある。																													
	<b>廃止・休止の成果への影響</b>	<input type="checkbox"/> 影響無【理由】 <input checked="" type="checkbox"/> 影響有【その内容】																													
事務事業を廃止・休止した場合の影響の有無とその内容は?	空港や嘉例川駅から妙見への移動手段がなくなり、来訪者の利便性が図られない。																														
<b>類似事業との統廃合・連携の可能性</b>	<input type="checkbox"/> 他に手段がある(具体的な手段, 事務事業) <input type="checkbox"/> 統廃合できる <input type="checkbox"/> 連携できる <input checked="" type="checkbox"/> 統廃合できない <input type="checkbox"/> 連携できない																														
目的を達成するには、この事務事業以外他に方法はないか? 類似事業との統廃合ができるか? 類似事業との連携を図ることにより、成果の向上が期待できるか?	他に類似事業がない。 <input checked="" type="checkbox"/> 他に手段がない【理由】																														
効率性 評価	<b>事業費の削減余地</b>	<input type="checkbox"/> 削減余地がある【理由】 <input checked="" type="checkbox"/> 削減余地がない【理由】																													
	成果を下げずに事業費を削減できないか? (仕様や工法の適正化、住民の協力など)	現在最低限の事業費でバスの運行を行っており、削減余地はない。																													
<b>人件費(延べ業務時間)の削減余地</b>	<input type="checkbox"/> 削減余地がある【理由】 <input checked="" type="checkbox"/> 削減余地がない【理由】																														
やり方を工夫して延べ業務時間を削減できないか? 成果を下げずに正職員以外の職員や委託でできないか? (アウトソーシングなど)	市は補助金交付事務のみであり、人件費の削減余地はない。																														
公平性 評価	<b>受益機会・費用負担の適正化余地</b>	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある【理由】 <input checked="" type="checkbox"/> 公平・公正である【理由】																													
	事業の内容が一部の受益者に偏っていて不公平ではないか? 受益者負担が公平・公正になっているか?	不特定多数の人が乗車できるバスであり、公平・公正である。																													
<b>3 評価結果の総括と今後の方向性(次年度計画と予算への反映)(PLAN) 【担当課長記入欄】</b>																															
(1) 1次評価者としての評価結果		(2) 全体総括(振り返り、反省点)																													
目的妥当性	<input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり	<input checked="" type="checkbox"/> 見直し余地あり 航空機、列車の到着時刻・出発時刻に沿った運行ができれば利用が増える。																													
有効性	<input type="checkbox"/> 適切 <input checked="" type="checkbox"/> 見直し余地あり																														
効率性	<input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり																														
公平性	<input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり																														
(3) 今後の事業の方向性(改革改善案)・・・複数選択可		<input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 休止 <input checked="" type="checkbox"/> 事業のやり方改善(有効性改善) <input type="checkbox"/> 現状維持 <input type="checkbox"/> 目的再設定 <input type="checkbox"/> 事業のやり方改善(効率性改善) (従来通りで特に改革改善をしない) <input type="checkbox"/> 事業統廃合・連携 <input type="checkbox"/> 事業のやり方改善(公平性改善)		(4) 改革・改善による期待成果(廃止・休止の場合は記入不要)																											
<改革改善案> 運行便数の増加。				<table border="1"> <tr> <td colspan="2" rowspan="2"></td> <td colspan="3">コスト</td> </tr> <tr> <td>削減</td> <td>維持</td> <td>増加</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">成果</td> <td>向上</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>維持</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td rowspan="2">低下</td> <td>維持</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>低下</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </table>				コスト			削減	維持	増加	成果	向上				維持				低下	維持				低下			
		コスト																													
		削減	維持	増加																											
成果	向上																														
	維持																														
低下	維持																														
	低下																														
(5) 改革、改善を実現する上で解決すべき課題(壁)とその解決策 適切な予算措置																															

政策体系	No.	630-200	事務事業名	鹿児島県教育旅行受入対策協議会参画事業	所属部	商工観光部
	政策名	03	活力のある産業のまちづくり		所属課	観光課
	施策名	03	観光業の振興		課長名	横手 航太郎
	基本事業名	01	観光誘致宣伝活動の展開		所属G(係)	観光グループ
					電話番号	45-5111

予算科目	会計	款	項	目	事業	事業名	法令 根拠	特になし
	一般	07	01	04	103090	観光費		

事務事業の概要(具体的なやり方、手順、詳細。期間限定複数年度事業は全体像を記述)	事業期間
体験型観光メニューをはじめとする鹿児島県の資源をPRを主とした教育旅行の誘致や受入れ態勢の整備促進を行うため、鹿児島県・観光連盟・市町村・観光関連団体・業界等と連携を密にしながら事業を展開するもので、市は、同協議会に負担金を支払い、同協議会が主催する観光宣伝等に参加する。 主な活動は、首都圏の旅行エージェント・学校への誘致セールス事業、広報宣伝事業、受入対策事業などである。	<input type="checkbox"/> 単年度のみ <input checked="" type="checkbox"/> 単年度繰返 ↳ (S 63年度～) <input type="checkbox"/> 期間限定複数年度 ↳ (     年度～     年度)

1 現状把握の部(DO)

(1) 事務事業の目的と指標		活動指標(事務事業の活動量を表す指標)	
手段(主な活動)		名称	単位
20年度実績(20年度に行った主な活動)	事務事業の概要と同様	ア 誘致活動回数	回
21年度計画(21年度に計画している主な活動)	前年度と同様	イ	
		ウ	
対象(誰、何を対象にしているのか)*人や自然資源等	旅行エージェント、首都圏公立中学校 負担金交付先 鹿児島県教育旅行受入対策協議会 負担金対象活動 同協議会の運営に関する経費	対象指標(対象の大きさを表す指標)	
		名称	単位
		ア 宣伝活動した旅行エージェントの数	社
		イ 誘致セールスした中学校の数	校
		ウ 協議会加入団体数	団体
意図(この事業によって、対象をどう変えるのか)	負担金を交付することにより協議会の運営が円滑に行える。誘致活動等を行うことにより霧島市を知ることができる。	成果指標(対象における意図の達成度を表す指標)	
		名称	単位
		ア 受入生徒数	人
		イ	
		ウ	
結果(どんな結果に結び付けるのか)	霧島市を観光地として認知してもらう。	上位成果指標(結果の達成度を表す指標)	
		名称	単位
		ア 温泉地知名度ランキング	位
		イ	
		ウ	

(2) 総事業費・指標等の推移		単位	18年度(実績)	19年度(実績)	20年度(実績)	21年度(見込)		
投入量	事業費	財源内訳	千円					
		国庫支出金	千円					
		都道府県支出金	千円					
		地方債	千円					
		その他	千円					
		一般財源	千円	190	190	190	190	
	事業費計(A)	千円	190	190	190	190		
活動指標	ア	回	2	4	4	4		
	イ							
	ウ							
対象指標	ア	社	39	38	40	40		
	イ	校	185	230	230	230		
	ウ	団体	60	60	61	61		
成果指標	ア	人	66,033	64,052	61,586	65,000		
	イ							
	ウ							
上位成果指標	ア	位	37	35	18	25		
	イ							
	ウ							

(3) 事務事業の環境変化・住民意見等
この事務事業を開始したきっかけは何か?いつ頃どんな経緯で開始されたのか?
昭和63年より単独で事業を行ってきたが、県観光連盟が主催する協議会へ加入し、県全体で一体となって宣伝を行った方が効率が良かったため、協議会へ加入した。
事務事業を取り巻く状況(対象者や根拠法令等)はどう変化しているか、開始時期あるいは5年前と比べてどう変わったのか?
特に変化なし。
この事務事業に対して関係者(住民、議会、事業対象者、利害関係者等)からどんな意見や要望が寄せられているか?
特になし。

事務事業名	鹿児島県教育旅行受入対策協議会参画事業	所属部	商工観光部	所属課	観光課																										
<b>2 評価の部(SEE) *原則は事後評価、ただし複数年度事業は途中評価</b>																															
目的 妥当性 評価	<b>政策体系との整合性</b>	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある【理由】 <input checked="" type="checkbox"/> 結びついている【理由】																													
	この事務事業の目的は市(町)の政策体系に結びつくか?意図することが結果に結びついているか?	同協議会に参画することにより、修学旅行の誘致を鹿児島県全体で行えることから、霧島市を観光地として認知してもらえることから、妥当と考える。																													
	<b>公共関与の妥当性</b>	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある【理由】 <input checked="" type="checkbox"/> 妥当である【理由】																													
なぜこの事業を市(町)が行わなければならないのか?税金を投入して、達成する目的か?	同協議会に参画し、鹿児島県全体及び霧島市のPR活動を行い、リアルタイムな情報を発信することは、市の役割であり妥当である。																														
<b>対象・意図の妥当性</b>	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある【理由】 <input checked="" type="checkbox"/> 適切である【理由】																														
対象を限定・追加すべきか?意図を限定・拡充すべきか?	対象については、修学旅行への誘客を行うことであることから、公立学校、教育旅行担当エージェントで妥当である。意図については、当協議会に加入し、円滑な会運営を行えるとともに、霧島市を認知してもらえることから妥当である。																														
有効性 評価	<b>成果の向上余地</b>	<input checked="" type="checkbox"/> 向上余地がある【理由】 <input type="checkbox"/> 向上余地がない【理由】																													
	成果を向上させる余地はあるか?成果の現状水準とあるべき水準との差異はないか?何が原因で成果向上が期待できないのか?	セールスの回数を増やしたり、自然体験ツーリズムと組み合わせることによって、受入数は増加すると思われる、向上の余地がある。																													
	<b>廃止・休止の成果への影響</b>	<input type="checkbox"/> 影響無【理由】 <input checked="" type="checkbox"/> 影響有【その内容】																													
事務事業を廃止・休止した場合の影響の有無とその内容は?	同協議会を脱退した場合、市単独で誘致活動を行わなければならないとなくなり、他地域と一体となった宣伝ができないので、受入数が減少すると思われる。																														
<b>類似事業との統廃合・連携の可能性</b>	<input type="checkbox"/> 他に手段がある(具体的な手段,事務事業) <input checked="" type="checkbox"/> 統廃合できる <input type="checkbox"/> 連携できる <input type="checkbox"/> 統廃合できない <input type="checkbox"/> 連携できない																														
目的を達成するには、この事務事業以外他に方法はないか?類似事業との統廃合ができるか?類似事業との連携を図ることにより、成果の向上が期待できるか?	市単独ではなく、県内の観光所在地の自治体と観光業者が一体となって誘致活動を行う機会は同協議会しかない。																														
<b>事業費の削減余地</b>	<input type="checkbox"/> 削減余地がある【理由】 <input checked="" type="checkbox"/> 削減余地がない【理由】																														
成果を下げずに事業費を削減できないか?(仕様や工法の適正化、住民の協力など)	負担金額は、協議会により定められているので削減の余地がない。																														
<b>人件費(延べ業務時間)の削減余地</b>	<input type="checkbox"/> 削減余地がある【理由】 <input checked="" type="checkbox"/> 削減余地がない【理由】																														
やり方を工夫して延べ業務時間を削減できないか?成果を下げずにより正職員以外の職員や委託でできないか?(アウトソーシングなど)	負担金の交付事務は、最低限の事務であり、削減余地がない。																														
公平性 評価	<b>受益機会・費用負担の適正化余地</b>	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある【理由】 <input checked="" type="checkbox"/> 公平・公正である【理由】																													
	事業の内容が一部の受益者に偏っていて不公平ではないか?受益者負担が公平・公正になっているか?	協議会で、誘致宣伝の場所、時期など詳細に計画されており、効率的な誘致活動が行えるため、公平・公正である。																													
<b>3 評価結果の総括と今後の方向性(次年度計画と予算への反映)(PLAN) 【担当課長記入欄】</b>																															
(1) 1次評価者としての評価結果		(2) 全体総括(振り返り、反省点)																													
目的妥当性	<input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり	霧島市を観光地として認知してもらうためには、欠かせない事業であり、行政だけでなく、民間団体等と一体的な取り組みを行うことが望ましく、誘致宣伝活動等を積極的に行うことで、霧島市の認知度が上がると思われる。																													
有効性	<input type="checkbox"/> 適切 <input checked="" type="checkbox"/> 見直し余地あり																														
効率性	<input type="checkbox"/> 適切 <input checked="" type="checkbox"/> 見直し余地あり																														
公平性	<input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり																														
(3) 今後の事業の方向性(改革改善案)・・・複数選択可		<input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 休止 <input checked="" type="checkbox"/> 事業のやり方改善(有効性改善) <input type="checkbox"/> 現状維持 <input type="checkbox"/> 目的再設定 <input checked="" type="checkbox"/> 事業のやり方改善(効率性改善) (従来通りで特に改革改善をしない) <input type="checkbox"/> 事業統廃合・連携 <input type="checkbox"/> 事業のやり方改善(公平性改善)		(4) 改革・改善による期待成果(廃止・休止の場合は記入不要)																											
<改革改善案> 関連団体と連携し、誘致宣伝回数を増やす。				<table border="1"> <tr> <td colspan="2" rowspan="2"></td> <td colspan="3">コスト</td> </tr> <tr> <td>削減</td> <td>維持</td> <td>増加</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">成果</td> <td>向上</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>維持</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td rowspan="2">低下</td> <td>維持</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>低下</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </table>				コスト			削減	維持	増加	成果	向上				維持				低下	維持				低下			
		コスト																													
		削減	維持	増加																											
成果	向上																														
	維持																														
低下	維持																														
	低下																														
(5) 改革、改善を実現する上で解決すべき課題(壁)とその解決策 関連団体との連携強化。																															

No.	630-210	事務事業名	霧島高原自然体験ツーリズム協議会活動支援事業	所 属 部	商工観光部
政策体系	政策名	0 3	活力のある産業のまちづくり	所 属 課	観光課
	施策名	0 3	観光業の振興	課 長 名	横手 航太郎
	基本事業名	0 1	観光誘致宣伝活動の展開	所 属 G ( 係 )	観光グループ
				電 話 番 号	45-5111

予算科目	会計	款	項	目	事業	事業名	法令 根拠	特になし
	一般	0 7	0 1	0 5	104090	施設管理費		

事務事業の概要(具体的なやり方、手順、詳細。期間限定複数年度事業は全体像を記述)	事業期間
多様化する観光客のニーズに対応するため、平成16年に霧島市(当時は、合併前の牧園町、霧島町)と湧水町で霧島高原自然体験ツーリズム協議会を組織し、市内や湧水町での霧島連山を生かした体験メニューの発掘や、パンフレットの作成・メニュー利用者の誘致活動、受入れるインストラクターの養成や団体客の場合の引率も行っている。 [主な誘致活動実施場所] 修学旅行の誘致と合わせて、主に首都圏、関西、北九州のエージェント、小・中・高校 <関連計画> 霧島市観光基本計画	<input type="checkbox"/> 単年度のみ <input checked="" type="checkbox"/> 単年度繰返 ↳ ( H 16 年度 ~ ) <input type="checkbox"/> 期間限定複数年度 ↳ (            年度 ~            年度 )

1 現状把握の部(DO)

(1) 事務事業の目的と指標		活動指標(事務事業の活動量を表す指標)	
手段(主な活動)		名称	単位
20年度実績(20年度に行った主な活動)	事務事業の概要と同様	ア 誘致宣伝活動の回数	回
21年度計画(21年度に計画している主な活動)	前年度と同様	イ 受入学校数	校
対象(誰、何を対象にしているのか) *人や自然資源等	修学旅行を実施する学校・旅行エージェント	ウ 受入観光客数	人
意図(この事業によって、対象をどう変えるのか)	霧島連山の自然を生かした体験メニューに参加することができる。	対象指標(対象の大きさを表す指標)	
結果(どんな結果に結び付けるのか)	霧島市を観光地として認知してもらう。	名称	単位
		ア 宣伝活動した旅行エージェントの数	社
		イ 誘致セールスした中学校・高校の数	校
		ウ	
		成果指標(対象における意図の達成度を表す指標)	
		名称	単位
		ア 体験メニューの数	本
		イ	
		ウ	
		上位成果指標(結果の達成度を表す指標)	
		名称	単位
		ア 温泉地知名度ランキング	位
		イ	
		ウ	

(2) 総事業費・指標等の推移		単位	18年度(実績)	19年度(実績)	20年度(実績)	21年度(見込)			
投入量	事業内訳	財源内訳	千円						
		国庫支出金	千円						
		都道府県支出金	千円						
		地方債	千円						
		その他	千円						
		一般財源	千円	1,000	1,000	1,000	1,000		
	事業費計(A)	千円	1,000	1,000	1,000	1,000			
活動指標	ア	回	5	4	5	6			
	イ	校	1	4	3	10			
	ウ	人	165	751	278	850			
対象指標	ア	社	39	38	40	40			
	イ	校	185	230	230	230			
	ウ								
成果指標	ア	本	54	61	65	70			
	イ								
	ウ								
上位成果指標	ア	位	37	35	18	25			
	イ								
	ウ								

(3) 事務事業の環境変化・住民意見等	
この事務事業を開始したきっかけは何か?いつ頃どんな経緯で開始されたのか? 平成16年に霧島連山を区域に持つ牧園町、霧島町、湧水町が体験型観光の促進を図ることも目的に設置した。	
事務事業を取り巻く状況(対象者や根拠法令等)はどう変化しているか、開始時期あるいは5年前と比べてどう変わったのか? 協議会設立当初より、体験メニューを増やしてきたが、実際に受け入れを行っていないメニューもある。また、施設等によっては、体験料、時間等が異なるなどの状況があり、メニューの精査が急務である。	
この事務事業に対して関係者(住民、議会、事業対象者、利害関係者等)からどんな意見や要望が寄せられているか? 特になし。	

事務事業名	霧島高原自然体験ツーリズム協議会活動支援事業	所属部	商工観光部	所属課	観光課																										
<b>2 評価の部(SEE) *原則は事後評価、ただし複数年度事業は途中評価</b>																															
目的 妥当性 評価	政策体系との整合性	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある【理由】 <input checked="" type="checkbox"/> 結びついている【理由】																													
	この事務事業の目的は市(町)の政策体系に結びつくか?意図することが結果に結びついているか?	霧島高原自然体験ツーリズム協議会に負担金を交付することにより、誘致活動、宣伝等を行ない、霧島市を観光地として認知してもらえることから、妥当である。																													
	公共関与の妥当性	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある【理由】 <input checked="" type="checkbox"/> 妥当である【理由】																													
なぜこの事業を市(町)が行わなければならないのか?税金を投入して、達成する目的か?	同協議会に負担金を交付し、霧島市のPR活動を行ない、リアルタイムな情報を発信することは市の役割であり妥当である。																														
対象・意図の妥当性	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある【理由】 <input checked="" type="checkbox"/> 適切である【理由】																														
対象を限定・追加すべきか?意図を限定・拡充すべきか?	対象については、修学旅行を実施する学校、旅行エージェント等であり妥当である。意図は、霧島連山の自然を生かした体験メニューに参加することができ、霧島市を観光地として認知してもらうことに繋がり妥当である。																														
有効性 評価	成果の向上余地	<input checked="" type="checkbox"/> 向上余地がある【理由】 <input type="checkbox"/> 向上余地がない【理由】																													
	成果を向上させる余地はあるか?成果の現状水準とあるべき水準との差異はないか?何が原因で成果向上が期待できないのか?	現在は行政で行っているが、協議会の運営を観光協会等に委託することができれば、なお一層観光客のニーズにあったメニューが確立され、参加者も増えると思われる。																													
	廃止・休止の成果への影響	<input type="checkbox"/> 影響無【理由】 <input checked="" type="checkbox"/> 影響有【その内容】																													
事務事業を廃止・休止した場合の影響の有無とその内容は?	誘致活動、宣伝等が行えなくなるため、修学旅行で訪れる学校が減少すると思われる。																														
類似事業との統廃合・連携の可能性	<input type="checkbox"/> 他に手段がある(具体的な手段,事務事業) <input type="checkbox"/> 統廃合できる <input type="checkbox"/> 連携できる <input type="checkbox"/> 統廃合できない <input type="checkbox"/> 連携できない																														
目的を達成するには、この事務事業以外他に方法はないか?類似事業との統廃合ができるか?類似事業との連携を図ることにより、成果の向上が期待できるか?	他に類似事業はない。 <input checked="" type="checkbox"/> 他に手段がない【理由】																														
効率性 評価	事業費の削減余地	<input type="checkbox"/> 削減余地がある【理由】 <input checked="" type="checkbox"/> 削減余地がない【理由】																													
	成果を下げずに事業費を削減できないか?(仕様や工法の適正化、住民の協力など)	負担金額は協議会で設定されているので削減の余地はない。																													
人件費(延べ業務時間)の削減余地	<input checked="" type="checkbox"/> 削減余地がある【理由】 <input type="checkbox"/> 削減余地がない【理由】																														
やり方を工夫して延べ業務時間を削減できないか?成果を下げずに正職員以外の職員や委託でできないか?(アウトソーシングなど)	負担金の交付事務に関しては最低限の事務で削減の余地はないが、協議会の運営を観光協会等に移譲することができれば、協議会の運営に係る人件費は削減できる。																														
公平性 評価	受益機会・費用負担の適正化余地	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある【理由】 <input checked="" type="checkbox"/> 公平・公正である【理由】																													
	事業の内容が一部の受益者に偏っていて不公平ではないか?受益者負担が公平・公正になっているか?	修学旅行生等が霧島市に宿泊することにより、経済効果があり、公平・公正とであると思われる。																													
<b>3 評価結果の総括と今後の方向性(次年度計画と予算への反映)(PLAN) 【担当課長記入欄】</b>																															
(1) 1次評価者としての評価結果		(2) 全体総括(振り返り、反省点)																													
目的妥当性	<input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり	協議会の運営を観光協会等に移譲できれば、効率よく事業が行えるものとする。																													
有効性	<input type="checkbox"/> 適切 <input checked="" type="checkbox"/> 見直し余地あり																														
効率性	<input type="checkbox"/> 適切 <input checked="" type="checkbox"/> 見直し余地あり																														
公平性	<input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり																														
(3) 今後の事業の方向性(改革改善案)・・・複数選択可		<input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 休止 <input checked="" type="checkbox"/> 事業のやり方改善(有効性改善) <input type="checkbox"/> 現状維持 <input type="checkbox"/> 目的再設定 <input checked="" type="checkbox"/> 事業のやり方改善(効率性改善) (従来通りで特に改革改善をしない) <input type="checkbox"/> 事業統廃合・連携 <input type="checkbox"/> 事業のやり方改善(公平性改善)		(4) 改革・改善による期待成果(廃止・休止の場合は記入不要)																											
<改革改善案> 観光協会等外部団体への協議会の運営の移譲				<table border="1"> <tr> <td colspan="2" rowspan="2"></td> <td colspan="3">コスト</td> </tr> <tr> <td>削減</td> <td>維持</td> <td>増加</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">成果</td> <td>向上</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>維持</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td rowspan="2">低下</td> <td>維持</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>低下</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </table>				コスト			削減	維持	増加	成果	向上				維持				低下	維持				低下			
		コスト																													
		削減	維持	増加																											
成果	向上																														
	維持																														
低下	維持																														
	低下																														
(5) 改革、改善を実現する上で解決すべき課題(壁)とその解決策メニューを充実させ、移譲できる体制を整える。																															



No.	630-220	事務事業名	和気公園藤まつり実行委員会活動支援事業	所属部	商工観光部
政策体系	政策名	0 3	活力のある産業のまちづくり	所属課	観光課
	施策名	0 3	観光業の振興	課長名	横手 航太郎
	基本事業名	0 1	観光誘致宣伝活動の展開	所属G(係)	観光グループ
				電話番号	45-5111

予算科目	会計	款	項	目	事業	事業名	法令 根拠	霧島市補助金交付規則 霧島市補助金等の種類及び補助率に関する要綱
	一般	0 7	0 1	0 4	103090	観光費		

事務事業の概要(具体的なやり方、手順、詳細。期間限定複数年度事業は全体像を記述)		事業期間
和気公園藤まつり実行委員会に同実行委員会の運営補助として補助金を交付している。 (市の活動)補助金を支出するための事務(申請書の受理、交付決定、実績報告、補助金交付)を行う。 (実行委員会の活動)和気公園藤まつりの開催 和気公園藤まつり実行委員会とは、和気公園の藤に市民に親しんでもらうこと、地域活性化を目的に開催される和気公園藤まつりの運営を行う団体。周辺住民や市職員によって構成されている。 <関連計画>霧島市観光基本計画		<input type="checkbox"/> 単年度のみ <input checked="" type="checkbox"/> 単年度繰返 ↳ ( H 16 年度 ~ ) <input type="checkbox"/> 期間限定複数年度 ↳ (        年度 ~        年度 )

1 現状把握の部(DO)

(1) 事務事業の目的と指標		活動指標(事務事業の活動量を表す指標)	
手段(主な活動)		名称	単位
20年度実績(20年度に行った主な活動)	事務事業の概要と同様	ア 藤まつりの開催期間	日
21年度計画(21年度に計画している主な活動)	前年度と同様	イ	
		ウ	
対象(誰、何を対象にしているのか)*人や自然資源等	鹿児島県民 <補助金交付先>和気公園藤まつり実行委員会 <補助金対象活動>和気公園藤まつり実行委員会の活動に関する経費	対象指標(対象の大きさを表す指標)	
		名称	単位
		ア 鹿児島県の人口	人
		イ	
		ウ	
意図(この事業によって、対象をどう変えるのか)	整備された藤棚を見ることができる。	成果指標(対象における意図の達成度を表す指標)	
		名称	単位
		ア 藤まつりに訪れた人に訪れた人	人
		イ	
		ウ	
結果(どんな結果に結び付けるのか)	霧島市を観光地と認知してもらう。	上位成果指標(結果の達成度を表す指標)	
		名称	単位
		ア 温泉地知名度ランキング	位
		イ	
		ウ	

(2) 総事業費・指標等の推移		単位	18年度(実績)	19年度(実績)	20年度(実績)	21年度(見込)		
投入量	事業費	財源内訳	千円					
		国庫支出金	千円					
		都道府県支出金	千円					
		地方債	千円					
		その他	千円					
		一般財源	千円	0	1,500	1,283	1,154	
事業費計(A)	千円	0	1,500	1,283	1,154			
活動指標	ア	日	12	11	13	11		
	イ							
	ウ							
対象指標	ア	人	1,743,021	1,731,639		1,730,000		
	イ							
	ウ							
成果指標	ア	人	15,017	18,000	28,511	30,000		
	イ							
	ウ							
上位成果指標	ア	位	37	30	31	25		
	イ							
	ウ							

(3) 事務事業の環境変化・住民意見等	
この事務事業を開始したきっかけは何か?いつ頃どんな経緯で開始されたのか?	
観光姉妹町であった岡山県和気町より藤花100本程度が寄贈され、花弁1mにも及び見事な藤花が咲くようになったのをきっかけに 周辺設備の整備を図り平成16年から藤まつりと題してイベントを開催するようになった。	
事務事業を取り巻く状況(対象者や根拠法令等)はどう変化しているか、開始時期あるいは5年前と比べてどう変わったのか?	
特に変化なし。	
この事務事業に対して関係者(住民、議会、事業対象者、利害関係者等)からどんな意見や要望が寄せられているか?	
特になし。	

事務事業名	和気公園藤まつり実行委員会活動支援事業	所属部	商工観光部	所属課	観光課																										
<b>2 評価の部(SEE) *原則は事後評価、ただし複数年度事業は途中評価</b>																															
目的 妥当性 評価	政策体系との整合性	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある【理由】 <input checked="" type="checkbox"/> 結びついている【理由】																													
	この事務事業の目的は市(町)の政策体系に結びつくか?意図することが結果に結びついているか?	和気公園で藤まつりを開催し、霧島市に沢山の見物客が訪れることにより、霧島市を観光地と認知してもらうことに繋がりが結びついている。																													
	公共関与の妥当性	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある【理由】 <input checked="" type="checkbox"/> 妥当である【理由】																													
なぜこの事業を市(町)が行わなければならないのか?税金を投入して、達成する目的か?	市は、観光客を誘致するための宣伝や情報発信をする必要があり、藤まつりを開催し、霧島市を宣伝することは妥当である。																														
対象・意図の妥当性	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある【理由】 <input checked="" type="checkbox"/> 適切である【理由】																														
対象を限定・追加すべきか?意図を限定・拡充すべきか?	対象は、藤まつりに関して情報発信を行う県内の人々で妥当である。意図は、整備された藤棚を見に霧島市を訪れることにより、霧島市を観光地として認知してもらうことに繋がりが妥当である。																														
有効性 評価	成果の向上余地	<input checked="" type="checkbox"/> 向上余地がある【理由】 <input type="checkbox"/> 向上余地がない【理由】																													
	成果を向上させる余地はあるか?成果の現状水準とあるべき水準との差異はないか?何が原因で成果向上が期待できないのか?	現在の手法で問題はないが、藤の植栽面積を増やしたり、種類を多く植栽すれば今よりも見物客が大勢訪れ、霧島市を観光地として認知してもらえる機会が増える。																													
	廃止・休止の成果への影響	<input type="checkbox"/> 影響無【理由】 <input checked="" type="checkbox"/> 影響有【その内容】																													
事務事業を廃止・休止した場合の影響の有無とその内容は?	現在、和気公園藤まつりは、霧島市を代表するイベントとして広く県民に定着しており、訪れる人数も増加しているため、まつりの開催を中止すれば、観光地としてのイメージダウンに繋がる。																														
類似事業との統廃合・連携の可能性	<input type="checkbox"/> 他に手段がある(具体的な手段,事務事業) <input type="checkbox"/> 統廃合できる <input type="checkbox"/> 連携できる <input type="checkbox"/> 統廃合できない <input type="checkbox"/> 連携できない																														
目的を達成するには、この事務事業以外他に方法はないか?類似事業との統廃合ができるか?類似事業との連携を図ることにより、成果の向上が期待できるか?	他に類似事業はない。 <input checked="" type="checkbox"/> 他に手段がない【理由】																														
効率性 評価	事業費の削減余地	<input checked="" type="checkbox"/> 削減余地がある【理由】 <input type="checkbox"/> 削減余地がない【理由】																													
	成果を下げずに事業費を削減できないか?(仕様や工法の適正化、住民の協力など)	実行委員会に市内の企業等を取り込み、スポンサー制度を採用したり、商店街主からの寄付等の徴収を積極的に行えば事業費の削減は可能である。																													
人件費(延べ業務時間)の削減余地	<input checked="" type="checkbox"/> 削減余地がある【理由】 <input type="checkbox"/> 削減余地がない【理由】																														
やり方を工夫して延べ業務時間を削減できないか?成果を下げずに正職員以外の職員や委託でできないか?(アウトソーシングなど)	補助金の交付事務は最低限な事務であり、人件費の削減余地はない。																														
公平性 評価	受益機会・費用負担の適正化余地	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある【理由】 <input checked="" type="checkbox"/> 公平・公正である【理由】																													
	事業の内容が一部の受益者に偏っていて不公平ではないか?受益者負担が公平・公正になっているか?	和気公園の藤棚を整備したり藤の管理には市の予算を伴うが、まつりの期間中は駐車料を徴収しているので、受益機会は公平・公正である。																													
<b>3 評価結果の総括と今後の方向性(次年度計画と予算への反映)(PLAN) 【担当課長記入欄】</b>																															
(1) 1次評価者としての評価結果			(2) 全体総括(振り返り、反省点)																												
目的妥当性	<input checked="" type="checkbox"/> 適切	<input type="checkbox"/> 見直し余地あり	<input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり 実行委員会へ企業等を取り込み、スポンサー制度を採用したり、商店街主からの寄付等の徴収を積極的に行えば事業費の削減は可能である。																												
有効性	<input type="checkbox"/> 適切	<input checked="" type="checkbox"/> 見直し余地あり																													
効率性	<input type="checkbox"/> 適切	<input checked="" type="checkbox"/> 見直し余地あり																													
公平性	<input checked="" type="checkbox"/> 適切	<input type="checkbox"/> 見直し余地あり																													
(3) 今後の事業の方向性(改革改善案)・・・複数選択可			(4) 改革・改善による期待成果(廃止・休止の場合は記入不要)																												
<input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 休止 <input checked="" type="checkbox"/> 事業のやり方改善(有効性改善) <input type="checkbox"/> 現状維持 <input type="checkbox"/> 目的再設定 <input checked="" type="checkbox"/> 事業のやり方改善(効率性改善) (従来通りで特に改革改善をしない) <input type="checkbox"/> 事業統廃合・連携 <input type="checkbox"/> 事業のやり方改善(公平性改善)			<table border="1"> <tr> <td colspan="2" rowspan="2"></td> <td colspan="3">コスト</td> </tr> <tr> <td>削減</td> <td>維持</td> <td>増加</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">成果</td> <td>向上</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>維持</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td rowspan="2">低下</td> <td>維持</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>低下</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </table>					コスト			削減	維持	増加	成果	向上				維持				低下	維持				低下			
		コスト																													
		削減	維持	増加																											
成果	向上																														
	維持																														
低下	維持																														
	低下																														
(5) 改革、改善を実現する上で解決すべき課題(壁)とその解決策 地元企業の説得 商店街との協議																															

No.	630-240	事務事業名	市スポーツ団体誘致歓迎実行委員会運営支援事業	所属部	商工観光部
政策体系	政策名	03	活力ある産業のまちづくり	所属課	観光課
	施策名	03	観光業の振興	課長名	横手 航太郎
	基本事業名	02	地域の特色を活かした観光商品開発の促進	所属G(係)	観光グループ
				電話番号	45-5111

予算科目	会計	款	項	目	事業	事業名	法令 根拠	霧島市補助金交付規則 霧島市補助金等の種類及び補助率に関する要綱
	一般	07	01	04	103090	観光費		

事務事業の概要(具体的なやり方、手順、詳細。期間限定複数年度事業は全体像を記述)		事業期間
霧島市スポーツ団体誘致歓迎実行委員会に補助金を交付し、同実行委員会が行うスポーツ団体誘致活動を支援している。また、市は同実行委員会の事務局も担っている。 (市の活動)同実行委員会に補助金を支出するための手続きを行う。 (実行委員会の活動)団体誘致のためのセールス活動、歓迎レセプションの実施、誘致団体との連絡調整。 霧島市スポーツ団体誘致歓迎実行委員会とは、H8年よりリーグをはじめとする各種スポーツ団体の合宿等を霧島市に誘致し、市の活性化と観光客の誘致を図ることを目的に発足した団体である。		<input type="checkbox"/> 単年度のみ <input checked="" type="checkbox"/> 単年度繰返 ↳ (H 8年度～) <input type="checkbox"/> 期間限定複数年度 ↳ ( 年度～ 年度)

1 現状把握の部(DO)

(1) 事務事業の目的と指標		活動指標(事務事業の活動量を表す指標)	
手段(主な活動)		名称	
20年度実績(20年度に行った主な活動)		単位	
事務事業の概要と同様		ア	誘致活動回数
			回
21年度計画(21年度に計画している主な活動)		イ	誘致団体数
前年度と同様			団体
対象(誰、何を対象にしているのか)*人や自然資源等		対象指標(対象の大きさを表す指標)	
プロ・アマチュアのスポーツ団体		名称	
<補助金交付先>霧島市スポーツ団体誘致歓迎実行委員会		単位	
<補助金対象活動>スポーツ団体歓迎行事に要する経費		ア	現在誘致活動を行っている団体数
			団体
意図(この事業によって、対象をどう変えるのか)		成果指標(対象における意図の達成度を表す指標)	
霧島市でキャンプを行ってもらう。		名称	
		単位	
		ア	新規にキャンプを行った団体
			団体
結果(どんな結果に結び付けるのか)		上位成果指標(結果の達成度を表す指標)	
観光に活用できる商品が開発される。		名称	
		単位	
		ア	開発された観光資源の数
			本

(2) 総事業費・指標等の推移		単位	18年度(実績)	19年度(実績)	20年度(実績)	21年度(見込)		
投入量	事業費	財源内訳	国庫支出金	千円				
			都道府県支出金	千円				
			地方債	千円				
			その他	千円				
			一般財源	千円	2,170	2,031	1,956	2,137
			事業費計(A)	千円	2,170	2,031	1,956	2,137
活動指標		ア	回	1	1	1	2	
		イ	団体	4	6	5	6	
対象指標		ア	団体	6	6	11	13	
成果指標		ア	団体	0	0	1	1	
上位成果指標		ア	本	5	5	5	5	

(3) 事務事業の環境変化・住民意見等	
この事務事業を開始したきっかけは何か?いつ頃どんな経緯で開始されたのか?	
平成5年度に発足したリーグを誘致するため平成8年度からリーグチームをはじめとするプロ・アマチュアのスポーツ団体を誘致し、市の活性化と観光客の誘致を図ることを目的に発足した。	
事務事業を取り巻く状況(対象者や根拠法令等)はどう変化しているか、開始時期あるいは5年前と比べてどう変わったのか?	
特に変化なし。	
この事務事業に対して関係者(住民、議会、事業対象者、利害関係者等)からどんな意見や要望が寄せられているか?	
誘致団体からはスポーツ施設のより一層の充実が望まれる。市民からは地域に密着したスポーツ団体の誘致が望まれる。	

事務事業名	市スポーツ団体誘致歓迎実行委員会運営支援事業	所属部	商工観光部	所属課	観光課																										
<b>2 評価の部(SEE) *原則は事後評価、ただし複数年度事業は途中評価</b>																															
目的 妥当性 評価	政策体系との整合性	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある【理由】 <input checked="" type="checkbox"/> 結びついている【理由】																													
	この事務事業の目的は市(町)の政策体系に結びつくか?意図することが結果に結びついているか?	霧島市でプロ・アマチュアのスポーツ団体がキャンプを行えば、それを見学に来る観光客が増え、観光に活用できる商品が開発されることに繋がりが結びついている。																													
	公共関与の妥当性	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある【理由】 <input checked="" type="checkbox"/> 妥当である【理由】																													
なぜこの事業を市(町)が行わなければならないのか?税金を投入して、達成する目的か?	冬も比較的温かく、競技場等の施設が整った霧島市の特色を活かし、新たなスポーツ団体のキャンプや合宿を誘致できれば、観戦ツアー等観光に活用できる商品が開発され、妥当である。																														
対象・意図の妥当性	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある【理由】 <input checked="" type="checkbox"/> 適切である【理由】																														
対象を限定・追加すべきか?意図を限定・拡充すべきか?	対象は、霧島市でキャンプを行うプロ・アマチュアのスポーツ団体であるので妥当である。意図は、多くの団体に霧島市でキャンプを行ってもらえば観戦ツアー等観光に活用できる商品が開発されるので妥当である。																														
有効性 評価	成果の向上余地	<input checked="" type="checkbox"/> 向上余地がある【理由】 <input type="checkbox"/> 向上余地がない【理由】																													
	成果を向上させる余地はあるか?成果の現状水準とあるべき水準との差異はないか?何が原因で成果向上が期待できないのか?	市HPやスポーツ専門誌への霧島市の情報掲載、誘致セールスの回数を増やせば、キャンプ団体も増え、成果の向上余地がある。																													
	廃止・休止の成果への影響	<input type="checkbox"/> 影響無【理由】 <input checked="" type="checkbox"/> 影響有【その内容】																													
事務事業を廃止・休止した場合の影響の有無とその内容は?	同実行委員会が行っている誘致・歓迎にあたって連絡・調整・実施に関する各種事務を廃止すれば、スポーツ団体の誘致ができなくなり、地域の特色を活かした観光商品が開発できなくなる。																														
類似事業との統廃合・連携の可能性	<input type="checkbox"/> 他に手段がある(具体的な手段, 事務事業) <input type="checkbox"/> 統廃合できる <input type="checkbox"/> 連携できる <input type="checkbox"/> 統廃合できない <input type="checkbox"/> 連携できない																														
目的を達成するには、この事務事業以外他に方法はないか?類似事業との統廃合ができるか?類似事業との連携を図ることにより、成果の向上が期待できるか?	霧島市に観光商品の開発を目的にスポーツ団体のキャンプを誘致する団体は同実行委員会のみである。  <input checked="" type="checkbox"/> 他に手段がない【理由】																														
効率性 評価	事業費の削減余地	<input checked="" type="checkbox"/> 削減余地がある【理由】 <input type="checkbox"/> 削減余地がない【理由】																													
	成果を下げずに事業費を削減できないか?(仕様や工法の適正化、住民の協力など)	現在は、市からの補助金のみで運営しており、他の事業収入等(旅館協会からの協賛金・選手とファンの有料の交流会等)を確保できる状態になれば市の事業費の削減の余地はある。																													
人件費(延べ業務時間)の削減余地	<input checked="" type="checkbox"/> 削減余地がある【理由】 <input type="checkbox"/> 削減余地がない【理由】																														
やり方を工夫して延べ業務時間を削減できないか?成果を下げずに正職員以外の職員や委託でできないか?(アウトソーシングなど)	実行委員会の運営を観光協会等の観光関係団体に委託できれば人件費の削減余地はある。																														
公平性 評価	受益機会・費用負担の適正化余地	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある【理由】 <input checked="" type="checkbox"/> 公平・公正である【理由】																													
	事業の内容が一部の受益者に偏っていて不公平ではないか?受益者負担が公平・公正になっているか?	霧島市へスポーツキャンプを誘致することを目的とした団体は他に存在しないので公平・公正である。																													
<b>3 評価結果の総括と今後の方向性(次年度計画と予算への反映)(PLAN) 【担当課長記入欄】</b>																															
(1) 1次評価者としての評価結果		(2) 全体総括(振り返り、反省点)																													
目的妥当性	<input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり	霧島市の観光の振興を図るには欠かせない事業であるが、毎年、予算を削減され、十分な誘致セールスと情報発信ができないている。																													
有効性	<input type="checkbox"/> 適切 <input checked="" type="checkbox"/> 見直し余地あり																														
効率性	<input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり																														
公平性	<input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり																														
(3) 今後の事業の方向性(改革改善案)・・・複数選択可		<input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 休止 <input checked="" type="checkbox"/> 事業のやり方改善(有効性改善) <input type="checkbox"/> 現状維持 <input type="checkbox"/> 目的再設定 <input checked="" type="checkbox"/> 事業のやり方改善(効率性改善) (従来通りで特に改革改善をしない) <input type="checkbox"/> 事業統廃合・連携 <input type="checkbox"/> 事業のやり方改善(公平性改善)		(4) 改革・改善による期待成果(廃止・休止の場合は記入不要)																											
<改革改善案> 誘致セールスや情報発信の回数を増やす。 観光協会等観光関係団体へ運営を委託する。				<table border="1"> <tr> <td colspan="2" rowspan="2"></td> <td colspan="3">コスト</td> </tr> <tr> <td>削減</td> <td>維持</td> <td>増加</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">成果</td> <td>向上</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>維持</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td rowspan="2">低下</td> <td>維持</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>低下</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </table>				コスト			削減	維持	増加	成果	向上				維持				低下	維持				低下			
		コスト																													
		削減	維持	増加																											
成果	向上																														
	維持																														
低下	維持																														
	低下																														
(5) 改革、改善を実現する上で解決すべき課題(壁)とその解決策 予算要求を行う。 観光協会等観光関係団体と協議を行う。																															

政策体系	No.	630-250	事務事業名	森林セラピー推進事業	所属部	商工観光部
	政策名	03	活力のある産業のまちづくり	所属課	観光課	
	施策名	03	観光業の振興	課長名	横手 航太郎	
	基本事業名	02	地域の特色を活かした観光商品開発の促進	所属G(係)	観光グループ	
				電話番号	45-5111	

予算科目	会計	款	項	目	事業	事業名	法令根拠	特になし
	一般	07	01	04	103090	観光費		

事務事業の概要(具体的なやり方、手順、詳細。期間限定複数年度事業は全体像を記述)	事業期間
国土緑化推進機構が提唱する「森林セラピープロジェクト」は、森が持つ癒し効果を科学的に解明し、森で過ごすことによって日頃のストレスを解消し、健康な日常生活を送ることが目的である。全国で霧島市を含む39の団体が森林セラピー基地及びセラピーロードに認定(霧島市は平成18年3月認定)されており、認定基地及び認定ロードではその地域独自のセラピーメニューを考案して観光振興や地域振興に活用することができる。 <関連計画>観光基本計画 [森林セラピーロード]柳ヶ平、丸尾自然探勝路、手洗散策路	<input type="checkbox"/> 単年度のみ <input checked="" type="checkbox"/> 単年度繰返 ↳ (H 17年度~) <input type="checkbox"/> 期間限定複数年度 ↳ (     年度~     年度)

1 現状把握の部(DO)

(1) 事務事業の目的と指標		活動指標(事務事業の活動量を表す指標)	
手段(主な活動)		名称	単位
20年度実績(20年度に行った主な活動)		ア 体験イベントの参加者数	人
オープニングイベントの実施 サイン設置		イ 体験イベントの回数	回
21年度計画(21年度に計画している主な活動)		ウ	
森林セラピー体験イベントの実施		対象指標(対象の大きさを表す指標)	
対象(誰、何を対象にしているのか)*人や自然資源等		名称	単位
森林		ア セラピーメニューの数	品目
牧園地区を訪れた観光客		イ 牧園地区を訪れた観光客数	人
意図(この事業によって、対象をどう変えるのか)		ウ	
セラピーロードになる。		成果指標(対象における意図の達成度を表す指標)	
結果(どんな結果に結び付けるのか)		名称	単位
観光に活用できる商品が開発される。		ア セラピーロード数	箇所
		イ	
		ウ	
		上位成果指標(結果の達成度を表す指標)	
		名称	単位
		ア 地域の特色を活かした観光商品の開発	本
		イ	
		ウ	

(2) 総事業費・指標等の推移		単位	18年度(実績)	19年度(実績)	20年度(実績)	21年度(見込)		
投入量	事業費	財源内訳	千円					
		国庫支出金	千円					
		都道府県支出金	千円					
		地方債	千円					
		その他	千円					
		一般財源	千円	4,000	536	1,111	1,546	
	事業費計(A)	千円	4,000	536	1,111	1,546		
活動指標	ア 人		12	40	47	100		
	イ 回		0	4	1	1		
	ウ							
対象指標	ア 品目		0	6	6	11		
	イ 人		534,247	605,381	645,649	650,000		
	ウ							
成果指標	ア 箇所		3	3	3	3		
	イ							
	ウ							
上位成果指標	ア 本		5	5	6	7		
	イ							
	ウ							

(3) 事務事業の環境変化・住民意見等
この事務事業を開始したきっかけは何か?いつ頃どんな経緯で開始されたのか?
霧島市誕生以前の平成17年中に、旧牧園町の関係者からこの事業に対する取り組みが提案され、合併後も霧島市に引き継がれている。
事務事業を取り巻く状況(対象者や根拠法令等)はどう変化しているか、開始時期あるいは5年前と比べてどう変わったのか?
平成17年中に第2期の森林セラピー候補地として名乗りをあげ、平成18年中に専門家チームによる生理実験を実施し、癒し効果が科学的に解明され、平成18年3月に九州で2番目、鹿児島県では初めてとなる森林セラピー基地に認定された。
この事務事業に対して関係者(住民、議会、事業対象者、利害関係者等)からどんな意見や要望が寄せられているか?
現在は牧園地域において事業を開始したばかりだが、将来的には霧島市全域を対象に更なるセラピーロードの整備をし、温泉・健康食品・クラシック音楽など、各種の資源を活かしたセラピーメニューを開発すると共に、医療とも連携したセラピー事業を展開することを望まれている。

事務事業名	森林セラピー推進事業	所属部	商工観光部	所属課	観光課																				
<b>2 評価の部(SEE) *原則は事後評価、ただし複数年度事業は途中評価</b>																									
目的 妥当性 評価	<b>政策体系との整合性</b>	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある【理由】 ↘	<input checked="" type="checkbox"/> 結びついている【理由】 ↘	この事務事業の目的は市(町)の政策体系に結びつくか?意図することが結果に結びついているか? 平成18年3月に九州で2番目に森林セラピー基地に認定され、現在3つのセラピーロードを中心に施設整備や健康メニューに検討を協議していくことは、観光に活用できる商品が開発されることに繋がり結びついている。																					
	<b>公共関与の妥当性</b>	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある【理由】 ↘	<input checked="" type="checkbox"/> 妥当である【理由】 ↘	なぜこの事業を市(町)が行わなければならないのか?税金を投入して、達成する目的か? 市は、霧島市としての特色づくりと情報発信を行う必要があり、霧島温泉地区において、施設整備や健康メニューの検討などを協議し、森林セラピー基地としての事業展開を確立する必要があることから妥当である。																					
	<b>対象・意図の妥当性</b>	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある【理由】 ↘	<input checked="" type="checkbox"/> 適切である【理由】 ↘	対象を限定・追加すべきか?意図を限定・拡充すべきか? 対象は森林とセラピーロードを歩く牧園地区を訪れた観光客であり妥当である。意図は霧島市内の森林がセラピーロードになれば、観光に活用できるメニューが増えるので妥当である。																					
有効性 評価	<b>成果の向上余地</b>	<input checked="" type="checkbox"/> 向上余地がある【理由】 ↘	<input type="checkbox"/> 向上余地がない【理由】 ↘	成果を向上させる余地はあるか?成果の現状水準とあるべき水準との差異はないか?何が原因で成果向上が期待できないのか? 今後はセラピーロードの整備や健康メニューの考案、パンフレット作成によるPR及び旅行エージェントへの売込みにより成果向上の余地がある。																					
	<b>廃止・休止の成果への影響</b>	<input type="checkbox"/> 影響無【理由】 ↘	<input checked="" type="checkbox"/> 影響有【その内容】 ↘	事務事業を廃止・休止した場合の影響の有無とその内容は? 森林セラピー基地の認可を受けただけで、終わってしまい、セラピーロードを整備しなければ観光商品として活用できない。																					
	<b>類似事業との統廃合・連携の可能性</b>	<input type="checkbox"/> 他に手段がある(具体的な手段、事務事業) ↘	<input type="checkbox"/> 統廃合できる ↘	<input type="checkbox"/> 連携できる ↘	<input type="checkbox"/> 統廃合できない ↘	<input type="checkbox"/> 連携できない ↘																			
効率性 評価	<b>事業費の削減余地</b>	<input type="checkbox"/> 削減余地がある【理由】 ↘	<input checked="" type="checkbox"/> 削減余地がない【理由】 ↘	成果を下げずに事業費を削減できないか?(仕様や工法の適正化、住民の協力など) 必要最小限の事業費であり、削減余地はない。																					
	<b>人件費(延べ業務時間)の削減余地</b>	<input type="checkbox"/> 削減余地がある【理由】 ↘	<input checked="" type="checkbox"/> 削減余地がない【理由】 ↘	やり方を工夫して延べ業務時間を削減できないか?成果を下げずに正職員以外の職員や委託でできないか?(アウトソーシングなど) 現在2人で事務に従事しており、今後も同様の人員を充当しなければ同様の成果は上がらないので削減余地はない。																					
公平性 評価	<b>受益機会・費用負担の適正化余地</b>	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある【理由】 ↘	<input checked="" type="checkbox"/> 公平・公正である【理由】 ↘	事業の内容が一部の受益者に偏っていて不公平ではないか?受益者負担が公平・公正になっているか? セラピーロードは誰でも無料で利用できるので公平・公正である。																					
<b>3 評価結果の総括と今後の方向性(次年度計画と予算への反映)(PLAN) 【担当課長記入欄】</b>																									
(1) 1次評価者としての評価結果		(2) 全体総括(振り返り、反省点)																							
目的妥当性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり 有効性 <input type="checkbox"/> 適切 <input checked="" type="checkbox"/> 見直し余地あり 効率性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり 公平性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり		平成19年3月に森林セラピー基地として認定を受け、平成20年7月にオープニングイベントを行った。今後、施設整備の充実やパンフレット等によるPRを行うとともに、森林セラピーを絡めたツアー商品を開発し、旅行者等に売り込む。																							
(3) 今後の事業の方向性(改革改善案)・・・複数選択可			(4) 改革・改善による期待成果(廃止・休止の場合は記入不要)																						
<input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 休止 <input checked="" type="checkbox"/> 事業のやり方改善(有効性改善) <input type="checkbox"/> 現状維持 <input type="checkbox"/> 目的再設定 <input type="checkbox"/> 事業のやり方改善(効率性改善) (従来通りで特に改革改善をしない) <input type="checkbox"/> 事業統廃合・連携 <input type="checkbox"/> 事業のやり方改善(公平性改善)			<table border="1"> <thead> <tr> <th colspan="2" rowspan="2"></th> <th colspan="3">コスト</th> </tr> <tr> <th>削減</th> <th>維持</th> <th>増加</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <th rowspan="3">成果</th> <th>向上</th> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <th>維持</th> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <th>低下</th> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </tbody> </table>				コスト			削減	維持	増加	成果	向上				維持				低下			
		コスト																							
		削減	維持	増加																					
成果	向上																								
	維持																								
	低下																								
(5) 改革、改善を実現する上で解決すべき課題(壁)とその解決策 施設の整備やさまざまな体験データの分析・収集のための予算措置が必要である。																									

No.	630-270	事務事業名	霧島市誕生記念登山大会開催事業	所属部	商工観光部
政策体系	政策名	03	活力のある産業のまちづくり	所属課	観光課
	施策名	03	観光業の振興	課長名	横手 航太郎
	基本事業名	02	地域の特色を活かした観光商品開発の促進	所属G(係)	観光グループ
				電話番号	45-5111

予算科目	会計	款	項	目	事業	事業名	法令根拠	特になし
	一般	07	01	04	103090	観光費		

事務事業の概要(具体的なやり方、手順、詳細。期間限定複数年度事業は全体像を記述)	事業期間
平成17年11月に1市6町が合併し霧島市が誕生したことを記念して霧島市誕生記念登山大会を開催している。大会は秋口に開催され高千穂峰コース、中岳周辺及び新燃岳コースの2コースがある。参加者へ記念ペナントの配布やゼンザイを振舞っている。参加料は1人500円。 霧島市誕生記念登山大会実行委員会は、霧島市誕生記念登山大会を円滑に運営するため、関係する団体職員、市関係職員で構成された組織である。 <関連計画>霧島市観光基本計画	<input type="checkbox"/> 単年度のみ <input checked="" type="checkbox"/> 単年度繰返 (H 18年度~) <input type="checkbox"/> 期間限定複数年度 (年度~年度)

1 現状把握の部(DO)

(1) 事務事業の目的と指標		活動指標(事務事業の活動量を表す指標)	
手段(主な活動)		名称	単位
20年度実績(20年度に行った主な活動)	事務事業の概要と同様	ア 霧島市誕生記念登山大会参加者数	人
21年度計画(21年度に計画している主な活動)	前年度と同様	イ コースの数	件
対象(誰、何を対象にしているのか)*人や自然資源等	市民	ウ	
意図(この事業によって、対象をどう変えるのか)	霧島連山への登山を楽しむことができる。	対象指標(対象の大きさを表す指標)	
結果(どんな結果に結び付けるのか)	観光に活用できる商品が開発される。	名称	単位
		ア 市の人口(4/1付け)	人
		イ	
		ウ	
		成果指標(対象における意図の達成度を表す指標)	
		名称	単位
		ア 霧島連山への登山を楽しむことができたと答えた参加者の割合	%
		イ	
		ウ	
		上位成果指標(結果の達成度を表す指標)	
		名称	単位
		ア 開発された観光資源の数	本
		イ	
		ウ	

(2) 総事業費・指標等の推移		単位	18年度(実績)	19年度(実績)	20年度(実績)	21年度(見込)		
投入量	事業内訳	財源内訳	千円					
		国庫支出金	千円					
		都道府県支出金	千円					
		地方債	千円					
		その他	千円					
		一般財源	千円			42	42	
	事業費計(A)	千円	0	0	42	42		
活動指標	ア	人	131	134	135	150		
	イ	件	2	2	1	1		
	ウ							
対象指標	ア	人	127,259	127,941	127,736	127,811		
	イ							
	ウ							
成果指標	ア	%	未把握	未把握	100	100		
	イ							
	ウ							
上位成果指標	ア	本	1	1	1	2		
	イ							
	ウ							

(3) 事務事業の環境変化・住民意見等	
この事務事業を開始したきっかけは何か?いつ頃どんな経緯で開始されたのか? 1市6町が合併し、「霧島市」が誕生したことに伴い、平成18年より、市内有数の観光資源である霧島山を観光客に親んでもらうことを目的に発足した。	
事務事業を取り巻く状況(対象者や根拠法令等)はどう変化しているか、開始時期あるいは5年前と比べてどう変わったのか? 特に変化なし	
この事務事業に対して関係者(住民、議会、事業対象者、利害関係者等)からどんな意見や要望が寄せられているか? 特になし	

事務事業名	霧島市誕生記念登山大会開催事業	所属部	商工観光部	所属課	観光課																									
<b>2 評価の部(SEE) * 原則は事後評価、ただし複数年度事業は途中評価</b>																														
目的 妥当性 評価	政策体系との整合性	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある【理由】 ↷ <input checked="" type="checkbox"/> 結びついている【理由】 ↷ この事務事業の目的は市(町)の政策体系に結びつくか? 意図することが結果に結びついているか? 記念登山大会を開催し、参加者に霧島登山を楽しんでもらえれば、観光に活用できる商品が開発されることに繋がりが結びついている。																												
	公共関与の妥当性	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある【理由】 ↷ <input checked="" type="checkbox"/> 妥当である【理由】 ↷ なぜこの事業を市(町)が行わなければならないのか? 税金を投入して、達成する目的か? 市は、地域の観光資源を発掘し、観光誘客に繋がるような滞り型観光の商品を企画・開発する必要があるので妥当である。																												
	対象・意図の妥当性	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある【理由】 ↷ <input checked="" type="checkbox"/> 適切である【理由】 ↷ 対象を限定・追加すべきか? 意図を限定・拡充すべきか? 対象は、大会の参加者である市民であるので妥当である。意図は、大会に参加して霧島登山を楽しんでもらえれば、観光に活用できる商品が開発することに結びつき妥当である。																												
有効性 評価	成果の向上余地	<input checked="" type="checkbox"/> 向上余地がある【理由】 ↷ <input type="checkbox"/> 向上余地がない【理由】 ↷ 成果を向上させる余地はあるか? 成果の現状水準とあるべき水準との差異はないか? 何が原因で成果向上が期待できないのか? 大会の宣伝や、参加者への参加特典を用意すれば参加者が増え成果の向上余地がある。																												
	廃止・休止の成果への影響	<input type="checkbox"/> 影響無【理由】 ↷ <input checked="" type="checkbox"/> 影響有【その内容】 ↷ 事務事業を廃止・休止した場合の影響の有無とその内容は? 記念登山大会を廃止すれば、霧島連山の登山を楽しむ機会が少なくなり、影響がある。																												
	類似事業との統廃合・連携の可能性	<input type="checkbox"/> 他に手段がある(具体的な手段, 事務事業) ↷ <input type="checkbox"/> 統廃合できる ↷ <input type="checkbox"/> 連携できる ↷ <input type="checkbox"/> 統廃合できない ↷ <input type="checkbox"/> 連携できない ↷ <input checked="" type="checkbox"/> 他に手段がない【理由】 ↷ 他に類似事業はない。 目的を達成するには、この事務事業以外他に方法はないか? 類似事業との統廃合ができるか? 類似事業との連携を図ることにより、成果の向上が期待できるか?																												
効率性 評価	事業費の削減余地	<input checked="" type="checkbox"/> 削減余地がある【理由】 ↷ <input type="checkbox"/> 削減余地がない【理由】 ↷ 成果を下げずに事業費を削減できないか? (仕様や工法の適正化、住民の協力など) 最低限の事業費で行っているが、実行委員会に、企業等を加えスポンサー制度を採用することが可能であれば事業費の削減余地はある。																												
	人件費(延べ業務時間)の削減余地	<input checked="" type="checkbox"/> 削減余地がある【理由】 ↷ <input type="checkbox"/> 削減余地がない【理由】 ↷ やり方を工夫して延べ業務時間を削減できないか? 成果を下げずに正職員以外の職員や委託でできないか? (アウトソーシングなど) 実行委員会への補助金の交付事務は最低限の事務であり削減の余地はないが、当日の運営などは、実行委員会の構成団体の職員やボランティアを活用することにより削減の余地がある。																												
公平性 評価	受益機会・費用負担の適正化余地	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある【理由】 ↷ <input checked="" type="checkbox"/> 公平・公正である【理由】 ↷ 事業の内容が一部の受益者に偏っていて不公平ではないか? 受益者負担が公平・公正になっているか? 参加者からは参加料を徴収しており、公平・公正である。																												
<b>3 評価結果の総括と今後の方向性(次年度計画と予算への反映)(PLAN) 【担当課長記入欄】</b>																														
(1) 1次評価者としての評価結果		(2) 全体総括(振り返り、反省点)																												
目的妥当性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり 有効性 <input type="checkbox"/> 適切 <input checked="" type="checkbox"/> 見直し余地あり 効率性 <input type="checkbox"/> 適切 <input checked="" type="checkbox"/> 見直し余地あり 公平性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり		事業の内容に問題はないが、参加者の募集の期間を延長したり、大会の情報発信をより行うことにより、参加者増加すると思われる。																												
(3) 今後の事業の方向性(改革改善案)・・・複数選択可			(4) 改革・改善による期待成果(廃止・休止の場合は記入不要)																											
<input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 休止 <input type="checkbox"/> 事業のやり方改善(有効性改善) <input checked="" type="checkbox"/> 現状維持 <input type="checkbox"/> 目的再設定 <input type="checkbox"/> 事業のやり方改善(効率性改善) (従来通りで特に改革改善をしない) <input type="checkbox"/> 事業統廃合・連携 <input type="checkbox"/> 事業のやり方改善(公平性改善)			<table border="1"> <tr> <td colspan="2" rowspan="2"></td> <th colspan="3">コスト</th> </tr> <tr> <th>削減</th> <th>維持</th> <th>増加</th> </tr> <tr> <th rowspan="2">成果</th> <th>向上</th> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <th>維持</th> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <th rowspan="2">低下</th> <th>維持</th> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <th>低下</th> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </table>				コスト			削減	維持	増加	成果	向上				維持				低下	維持				低下			
		コスト																												
		削減	維持	増加																										
成果	向上																													
	維持																													
低下	維持																													
	低下																													
(5) 改革、改善を実現する上で解決すべき課題(壁)とその解決策 募集期間を延長する。 市報やHPを最大限に活用して情報発信を行う。																														



No.	630-290	事務事業名	観光従事者研修事業				所属部	商工観光部	
							所属課	観光課	
政策体系	政策名	0	3	活力のある産業のまちづくり				課長名	横手 航太郎
	施策名	0	3	観光業の振興				所属G(係)	観光グループ
	基本事業名	0	3	受け入れ体制の充実				電話番号	45-5111

予算科目	会計	款	項	目	事業	事業名	法令 根拠	特になし
	一般	0	7	0	1	0		

事務事業の概要(具体的なやり方、手順、詳細。期間限定複数年度事業は全体像を記述)							事業期間	
観光客をおもてなしの心で受入れるために、市内の観光従事者を対象に研修会を実施している。講師は、直近の観光情勢などに目を向けた人選を行っている。 (市の活動)講師の依頼、会場の予約、参加者の周知広報、謝金の準備							<input type="checkbox"/> 単年度のみ	
							<input checked="" type="checkbox"/> 単年度繰返 ↳ ( H 19 年度 ~ )	
							<input type="checkbox"/> 期間限定複数年度 ↳ ( 年度 ~ 年度 )	

1 現状把握の部(DO)

(1) 事務事業の目的と指標		活動指標(事務事業の活動量を表す指標)	
手段(主な活動)		名称	
20年度実績(20年度に行った主な活動)		単位	
予算不足のため未実施		ア 研修会実施回数	
		回	
21年度計画(21年度に計画している主な活動)		イ	
事務事業の概要と同様		ウ	
対象(誰、何を対象にしているのか) *人や自然資源等		対象指標(対象の大きさを表す指標)	
観光事業従事者		名称	
		単位	
		ア 市内の観光従事者数	
		人	
		イ	
		ウ	
意図(この事業によって、対象をどう変えるのか)		成果指標(対象における意図の達成度を表す指標)	
研修の受講により観光事業従事者の資質が向上する。		名称	
		単位	
		ア 研修会参加者数	
		人	
		イ	
		ウ	
結果(どんな結果に結び付けるのか)		上位成果指標(結果の達成度を表す指標)	
来訪者をもてなす受け皿ができる。		名称	
		単位	
		ア 地域住民・観光業者のもてなしを感じた旅行者の割合	
		%	
		イ もう一度行ってみたい温泉地ランキング	
		位	
		ウ	

(2) 総事業費・指標等の推移		単位	18年度 (実績)	19年度 (実績)	20年度 (実績)	21年度 (見込)		
投入量	事業費	財源内訳	千円					
		国庫支出金	千円					
		都道府県支出金	千円					
		地方債	千円					
		その他	千円					
		一般財源	千円		160	150	157	
	事業費計(A)	千円	0	160	150	157		
活動指標		ア 回	0	2	未実施	1		
対象指標		ア 人	未把握	未把握	未把握	未把握		
成果指標		ア 人	0	800	0	400		
上位成果指標		ア %	未把握	未把握	未把握	60		
		イ 位	24	24	18	23		

(3) 事務事業の環境変化・住民意見等	
この事務事業を開始したきっかけは何か?いつ頃どんな経緯で開始されたのか?	
平成19年にNHK大河ドラマ「篤姫」の経済効果の向上を図るため講演会を実施したと同時に、	
事務事業を取り巻く状況(対象者や根拠法令等)はどう変化しているか、開始時期あるいは5年前と比べてどう変わったのか?	
特に変化なし	
この事務事業に対して関係者(住民、議会、事業対象者、利害関係者等)からどんな意見や要望が寄せられているか?	
観光従事者から継続してほしいとの要望がある。	

事務事業名	観光従事者研修事業	所属部	商工観光部	所属課	観光課
<b>2 評価の部(SEE) * 原則は事後評価、ただし複数年度事業は途中評価</b>					
目的 妥当性 評価	<b>政策体系との整合性</b>	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある【理由】 ↘	<input checked="" type="checkbox"/> 結びついている【理由】 ↘	この事務事業の目的は市(町)の政策体系に結びつか? 意図することが結果に結びついているか?	
	<b>公共関与の妥当性</b>	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある【理由】 ↘	<input checked="" type="checkbox"/> 妥当である【理由】 ↘	なぜこの事業を市が行わなければならないのか? 税金を投入して、達成する目的か?	
	<b>対象・意図の妥当性</b>	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある【理由】 ↘	<input checked="" type="checkbox"/> 適切である【理由】 ↘	対象を限定・追加すべきか? 意図を限定・拡充すべきか?	
有効性 評価	<b>成果の向上余地</b>	<input checked="" type="checkbox"/> 向上余地がある【理由】 ↘	<input type="checkbox"/> 向上余地がない【理由】 ↘	成果を向上させる余地はあるか? 成果の現状水準とあるべき水準との差異はないか? 何が原因で成果向上が期待できないのか?	
	<b>廃止・休止の成果への影響</b>	<input type="checkbox"/> 影響無【理由】 ↘	<input checked="" type="checkbox"/> 影響有【その内容】 ↘	事務事業を廃止・休止した場合の影響の有無とその内容は?	
	<b>類似事業との統廃合・連携の可能性</b>	<input type="checkbox"/> 他に手段がある(具体的な手段, 事務事業) ↘	<input type="checkbox"/> 統廃合できる ↘	<input type="checkbox"/> 連携できる ↘	<input type="checkbox"/> 統廃合できない ↘
効率性 評価	<b>事業費の削減余地</b>	<input type="checkbox"/> 削減余地がある【理由】 ↘	<input checked="" type="checkbox"/> 削減余地がない【理由】 ↘	成果を下げずに事業費を削減できないか? (仕様や工法の適正化、住民の協力など)	
	<b>人件費(延べ業務時間)の削減余地</b>	<input type="checkbox"/> 削減余地がある【理由】 ↘	<input checked="" type="checkbox"/> 削減余地がない【理由】 ↘	やり方を工夫して延べ業務時間を削減できないか? 成果を下げずに正職員以外の職員や委託でできないか? (アウトソーシングなど)	
公平性 評価	<b>受益機会・費用負担の適正化余地</b>	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある【理由】 ↘	<input checked="" type="checkbox"/> 公平・公正である【理由】 ↘	事業の内容が一部の受益者に偏っていて不公平ではないか? 受益者負担が公平・公正になっているか?	

**3 評価結果の総括と今後の方向性(次年度計画と予算への反映)(PLAN) [担当課長記入欄]**

(1) 1次評価者としての評価結果	(2) 全体総括(振り返り、反省点)																					
目的妥当性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり 有効性 <input type="checkbox"/> 適切 <input checked="" type="checkbox"/> 見直し余地あり 効率性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり 公平性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり	講師の選定方法・研修のテーマ等を事業者のニーズに沿ったものを実施するために事業者アンケートなどをとってはどうか。																					
(3) 今後の事業の方向性(改革改善案)・・・複数選択可 <input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 休止 <input checked="" type="checkbox"/> 事業のやり方改善(有効性改善) <input type="checkbox"/> 目的再設定 <input type="checkbox"/> 事業のやり方改善(効率性改善) <input type="checkbox"/> 事業統廃合・連携 <input type="checkbox"/> 事業のやり方改善(公平性改善) <改革改善案> 講師の選定方法・研修のテーマ	(4) 改革・改善による期待成果(廃止・休止の場合は記入不要) <table border="1"> <tr> <td colspan="2" rowspan="2"></td> <td colspan="3">コスト</td> </tr> <tr> <td>削減</td> <td>維持</td> <td>増加</td> </tr> <tr> <td rowspan="3">成果</td> <td>向上</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>維持</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>低下</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </table>			コスト			削減	維持	増加	成果	向上				維持				低下			
				コスト																		
		削減	維持	増加																		
成果	向上																					
	維持																					
	低下																					

(5) 改革、改善を実現する上で解決すべき課題(壁)とその解決策  
 従事者へのアンケートの実施



事務事業名	霧島観光ボランティアガイド(霧島しっちょいどん)運営事業	所属部	商工観光部	所属課	観光課																										
<b>2 評価の部(SEE) *原則は事後評価、ただし複数年度事業は途中評価</b>																															
目的 妥当性 評価	政策体系との整合性	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある【理由】 <input checked="" type="checkbox"/> 結びついている【理由】																													
	この事務事業の目的は市(町)の政策体系に結びつくか?意図することが結果に結びついているか?	ボランティアガイドを養成し、市内の観光地点を低価格で案内させることは、来訪者をもてなす受け皿ができることにつながり結びついている。																													
	公共関与の妥当性	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある【理由】 <input checked="" type="checkbox"/> 妥当である【理由】																													
なぜこの事業を市(町)が行わなければならないのか?税金を投入して、達成する目的か?	観光客を受けれる体制を整備することは市の責務であり、妥当である。																														
対象・意図の妥当性	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある【理由】 <input checked="" type="checkbox"/> 適切である【理由】																														
対象を限定・追加すべきか?意図を限定・拡充すべきか?	対象は養成をするボランティアガイドとガイド利用者であり妥当である。意図はボランティアガイドとしてのスキルが高まり、利用者に霧島市を詳しく知ってもらうことは、来訪者をもてなす受け皿ができることに結びつくので妥当である。																														
有効性 評価	成果の向上余地	<input checked="" type="checkbox"/> 向上余地がある【理由】 <input type="checkbox"/> 向上余地がない【理由】																													
	成果を向上させる余地はあるか?成果の現状水準とあるべき水準との差異はないか?何が原因で成果向上が期待できないのか?	今後ボランティアガイドの数が増えれば、案内できる観光客の数や回数も増えるので成果の向上の余地はある。																													
	廃止・休止の成果への影響	<input type="checkbox"/> 影響無【理由】 <input checked="" type="checkbox"/> 影響有【その内容】																													
事務事業を廃止・休止した場合の影響の有無とその内容は?	旅行者や旅行代理店等から要望も多く、今の時点で廃止することは観光客の減少を招き、霧島市のイメージダウンに繋がる。																														
類似事業との統廃合・連携の可能性	<input type="checkbox"/> 他に手段がある(具体的な手段, 事務事業) <input type="checkbox"/> 統廃合できる <input type="checkbox"/> 連携できる <input checked="" type="checkbox"/> 統廃合できない <input type="checkbox"/> 連携できない																														
目的を達成するには、この事務事業以外他に方法はないか?類似事業との統廃合ができるか?類似事業との連携を図ることにより、成果の向上が期待できるか?	地元住民のボランティアによる観光案内という今までに無い形態であり、現時点では類似事業はない。 <input checked="" type="checkbox"/> 他に手段がない【理由】																														
効率性 評価	事業費の削減余地	<input type="checkbox"/> 削減余地がある【理由】 <input checked="" type="checkbox"/> 削減余地がない【理由】																													
	成果を下げずに事業費を削減できないか?(仕様や工法の適正化、住民の協力など)	「観光ボランティアガイド」という名が示すとおり、ボランティアの協力による事業なので、もともと最小の事業費しか投入していない。																													
人件費(延べ業務時間)の削減余地	<input checked="" type="checkbox"/> 削減余地がある【理由】 <input type="checkbox"/> 削減余地がない【理由】																														
やり方を工夫して延べ業務時間を削減できないか?成果を下げずに正職員以外の職員や委託でできないか?(アウトソーシングなど)	ボランティアガイドの運営を観光協会へ委託すれば人件費の削減が可能である。																														
公平性 評価	受益機会・費用負担の適正化余地	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある【理由】 <input checked="" type="checkbox"/> 公平・公正である【理由】																													
	事業の内容が一部の受益者に偏っていて不公平ではないか?受益者負担が公平・公正になっているか?	低料金ではあるが、観光客一人に対し200円のガイド料とっており、費用負担は適正である。																													
<b>3 評価結果の総括と今後の方向性(次年度計画と予算への反映)(PLAN) 【担当課長記入欄】</b>																															
(1) 1次評価者としての評価結果			(2) 全体総括(振り返り、反省点)																												
目的妥当性	<input checked="" type="checkbox"/> 適切	<input type="checkbox"/> 見直し余地あり	今後も人材発掘・育成と新たなガイドコースの開拓に努め、多くの観光客に利用してもらうように努める。																												
有効性	<input type="checkbox"/> 適切	<input checked="" type="checkbox"/> 見直し余地あり																													
効率性	<input type="checkbox"/> 適切	<input checked="" type="checkbox"/> 見直し余地あり																													
公平性	<input checked="" type="checkbox"/> 適切	<input type="checkbox"/> 見直し余地あり																													
(3) 今後の事業の方向性(改革改善案)・・・複数選択可			(4) 改革・改善による期待成果(廃止・休止の場合は記入不要)																												
<input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 休止 <input checked="" type="checkbox"/> 事業のやり方改善(有効性改善) <input type="checkbox"/> 現状維持 <input type="checkbox"/> 目的再設定 <input checked="" type="checkbox"/> 事業のやり方改善(効率性改善) (従来通りで特に改革改善をしない) <input type="checkbox"/> 事業統廃合・連携 <input type="checkbox"/> 事業のやり方改善(公平性改善)			<table border="1"> <tr> <td colspan="2" rowspan="2"></td> <td colspan="3">コスト</td> </tr> <tr> <td>削減</td> <td>維持</td> <td>増加</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">成果</td> <td>向上</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>維持</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td rowspan="2">低下</td> <td>維持</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>低下</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </table>					コスト			削減	維持	増加	成果	向上				維持				低下	維持				低下			
		コスト																													
		削減	維持	増加																											
成果	向上																														
	維持																														
低下	維持																														
	低下																														
<改革改善案> 新たなガイドコースの開拓。 人材発掘 人材育成																															
(5) 改革、改善を実現する上で解決すべき課題(壁)とその解決策																															
地元からの情報収集 ボランティアガイドについての情報発信 ボランティアガイド研修の開催																															



事務事業名	霧島よかとこ案内所運営事業	所属部	商工観光部	所属課	観光課																										
<b>2 評価の部(SEE) * 原則は事後評価、ただし複数年度事業は途中評価</b>																															
目的 妥当性 評価	<b>政策体系との整合性</b>	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある【理由】 <input checked="" type="checkbox"/> 結びついている【理由】																													
	この事務事業の目的は市(町)の政策体系に結びつくか? 意図することが結果に結びついているか?	よかとこ案内所を開設し、霧島市を訪れる観光客に対し、市内のいらるところで観光案内ができるようになることは来訪者をもてなす受け皿ができることにつながり結びついている。																													
	<b>公共関与の妥当性</b>	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある【理由】 <input checked="" type="checkbox"/> 妥当である【理由】																													
なぜこの事業を市(町)が行わなければならないのか? 税金を投入して、達成する目的か?	観光客を受けれる体制を整備することは市の責務であり、妥当である。																														
<b>対象・意図の妥当性</b>	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある【理由】 <input checked="" type="checkbox"/> 適切である【理由】																														
対象を限定・追加すべきか? 意図を限定・拡充すべきか?	対象は観光案内をするよかとこ案内所であり妥当である。意図はよかとこ案内所が充実されることは来訪者をもてなす受け皿ができることに結びつくので妥当である。																														
有効性 評価	<b>成果の向上余地</b>	<input checked="" type="checkbox"/> 向上余地がある【理由】 <input type="checkbox"/> 向上余地がない【理由】																													
	成果を向上させる余地はあるか? 成果の現状水準とあるべき水準との差異はないか? 何が原因で成果向上が期待できないのか?	「霧島よかとこ案内所」をさらに増やすことで成果を向上させることができる。																													
	<b>廃止・休止の成果への影響</b>	<input type="checkbox"/> 影響無【理由】 <input checked="" type="checkbox"/> 影響有【その内容】																													
事務事業を廃止・休止した場合の影響の有無とその内容は?	観光客が手軽に道を聞いたり、パンフレット等を手に入れる場が減り、観光客の受け入れ機能が落ちる。																														
<b>類似事業との統廃合・連携の可能性</b>	<input type="checkbox"/> 他に手段がある(具体的な手段, 事務事業) <input type="checkbox"/> 統廃合できる <input type="checkbox"/> 連携できる <input type="checkbox"/> 統廃合できない <input type="checkbox"/> 連携できない																														
目的を達成するには、この事務事業以外他に方法はないか? 類似事業との統廃合ができるか? 類似事業との連携を図ることにより、成果の向上が期待できるか?	地元の商店等は観光客が最も手軽に立ち寄れる場所なので、他の手段はない。 <input checked="" type="checkbox"/> 他に手段がない【理由】																														
効率性 評価	<b>事業費の削減余地</b>	<input type="checkbox"/> 削減余地がある【理由】 <input checked="" type="checkbox"/> 削減余地がない【理由】																													
	成果を下げずに事業費を削減できないか? (仕様や工法の適正化、住民の協力など)	事業費はのぼりの作成費用のみであり、最低限の事業費であるので削減余地は無い。																													
<b>人件費(延べ業務時間)の削減余地</b>	<input checked="" type="checkbox"/> 削減余地がある【理由】 <input type="checkbox"/> 削減余地がない【理由】																														
やり方を工夫して延べ業務時間を削減できないか? 成果を下げずに正職員以外の職員や委託でできないか? (アウトソーシングなど)	観光協会に委託することで人件費の削減余地はある。																														
公平性 評価	<b>受益機会・費用負担の適正化余地</b>	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある【理由】 <input checked="" type="checkbox"/> 公平・公正である【理由】																													
	事業の内容が一部の受益者に偏っていて不公平ではないか? 受益者負担が公平・公正になっているか?	市内の全ての店舗等を対象として捉えているので、公平である。																													
<b>3 評価結果の総括と今後の方向性(次年度計画と予算への反映)(PLAN) 【担当課長記入欄】</b>																															
(1) 1次評価者としての評価結果		(2) 全体総括(振り返り、反省点)																													
目的妥当性	<input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり	<input type="checkbox"/> 適切 <input checked="" type="checkbox"/> 見直し余地あり <input type="checkbox"/> 適切 <input checked="" type="checkbox"/> 見直し余地あり <input type="checkbox"/> 適切 <input checked="" type="checkbox"/> 見直し余地あり <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり																													
有効性	<input type="checkbox"/> 適切 <input checked="" type="checkbox"/> 見直し余地あり																														
効率性	<input type="checkbox"/> 適切 <input checked="" type="checkbox"/> 見直し余地あり																														
公平性	<input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり																														
(3) 今後の事業の方向性(改革改善案)・・・複数選択可		<input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 休止 <input checked="" type="checkbox"/> 事業のやり方改善(有効性改善) <input type="checkbox"/> 現状維持 <input type="checkbox"/> 目的再設定 <input checked="" type="checkbox"/> 事業のやり方改善(効率性改善) (従来通りで特に改革改善をしない) <input type="checkbox"/> 事業統廃合・連携 <input type="checkbox"/> 事業のやり方改善(公平性改善)		(4) 改革・改善による期待成果(廃止・休止の場合は記入不要)																											
<改革改善案> 観光協会への委託 案内所の拡充				<table border="1"> <tr> <td colspan="2" rowspan="2"></td> <td colspan="3">コスト</td> </tr> <tr> <td>削減</td> <td>維持</td> <td>増加</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">成果</td> <td>向上</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>維持</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td rowspan="2">低下</td> <td>維持</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>低下</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </table>				コスト			削減	維持	増加	成果	向上				維持				低下	維持				低下			
		コスト																													
		削減	維持	増加																											
成果	向上																														
	維持																														
低下	維持																														
	低下																														
(5) 改革、改善を実現する上で解決すべき課題(壁)とその解決策 観光協会への協議 市内店舗への更なる呼びかけ																															

政策体系	No.	630-330	事務事業名	妙見・安楽地区観光客誘致活動支援事業	所属部	商工観光部
	政策名	03	活力ある産業のまちづくり		所属課	観光課
	施策名	03	観光業の振興		課長名	横手 航太郎
	基本事業名	03	受け入れ体制の充実		所属G(係)	観光G
					電話番号	45-5111

予算科目	会計	款	項	目	事業	事業名	法令 根拠	霧島市補助金交付規則 霧島市補助金等の種類及び補助率に関する要綱
	一般	07	01	04	103090	観光費		

事務事業の概要(具体的なやり方、手順、詳細。期間限定複数年度事業は全体像を記述)		事業期間
新川渓谷温泉郷の中にある妙見温泉振興会、安楽温泉振興会の運営・宣伝補助として補助金を交付している。(市の活動)妙見温泉振興会及び安楽温泉振興会に補助金を支出するための手続き(申請書の受理、交付決定、実績報告、補助金交付)を行う。 (各団体の活動)妙見・安楽地区を訪れた観光客の受入のための事業を行う。(モミジ植栽、サイン整備、街路灯の管理) * 妙見温泉振興会及び安楽温泉振興会とは、観光客誘致を目的として設立した団体。妙見・安楽地区の宿泊施設を会員として運営されている団体である。		<input type="checkbox"/> 単年度のみ <input checked="" type="checkbox"/> 単年度繰返 ↳ (S 40年代~) <input type="checkbox"/> 期間限定複数年度 ↳ ( 年度 ~ 年度)

1 現状把握の部(DO)

(1) 事務事業の目的と指標		活動指標(事務事業の活動量を表す指標)	
手段(主な活動)		名称	単位
20年度実績(20年度に行った主な活動)	事務事業の概要と同様	ア モミジの植栽数	本
21年度計画(21年度に計画している主な活動)	前年度と同様	イ 整備した看板数	枚
対象(誰、何を対象にしているのか) * 人や自然資源等	妙見・安楽地区を訪れた観光客 補助対象団体 妙見温泉振興会・安楽温泉振興会 補助対象活動 妙見・安楽地区の活動に要する経費	ウ	
意図(この事業によって、対象をどう変えるのか)	妙見・安楽地区の観光を不自由なく楽しむことができる。	対象指標(対象の大きさを表す指標)	
結果(どんな結果に結び付けるのか)	来訪者をもてなす受け皿ができる。	ア 妙見・安楽地区を訪れた観光客	人
		イ	
		ウ	
		成果指標(対象における意図の達成度を表す指標)	
		ア 妙見・安楽地区に関する苦情件数	件
		イ	
		ウ	
		上位成果指標(結果の達成度を表す指標)	
		ア 地域住民・観光業者のもてなしを感じた旅行者の割合	人
		イ もう一度行ってみたい温泉地ランキング	位
		ウ	

(2) 総事業費・指標等の推移		単位	18年度(実績)	19年度(実績)	20年度(実績)	21年度(見込)			
投入量	事業費	国庫支出金	千円						
		都道府県支出金	千円						
		地方債	千円						
		その他	千円						
		一般財源	千円	2,453	353	192	208		
		事業費計(A)	千円	2,453	353	192	208		
活動指標	ア	本	10	10	10	10			
	イ	枚	3	2	3	2			
	ウ								
対象指標	ア	人	47,504	48,704	45,509	5,000			
	イ								
	ウ								
成果指標	ア	件	0	0	0	0			
	イ								
	ウ								
上位成果指標	ア	人	未把握	未把握		60			
	イ	位	24	24	18	15			
	ウ								

(3) 事務事業の環境変化・住民意見等	
この事務事業を開始したきっかけは何か?いつ頃どんな経緯で開始されたのか? 昭和40年代より、妙見・安楽地区の観光振興を図ることを目的に開始された。	
事務事業を取り巻く状況(対象者や根拠法令等)はどう変化しているか、開始時期あるいは5年前と比べてどう変わったのか? 特に変化なし	
この事務事業に対して関係者(住民、議会、事業対象者、利害関係者等)からどんな意見や要望が寄せられているか? 特になし	

事務事業名	妙見・安楽地区観光客誘致活動支援事業	所属部	商工観光部	所属課	観光課																										
<b>2 評価の部(SEE) *原則は事後評価、ただし複数年度事業は途中評価</b>																															
目的 妥当性 評価	政策体系との整合性	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある【理由】 <input checked="" type="checkbox"/> 結びついている【理由】																													
	この事務事業の目的は市(町)の政策体系に結びつくか?意図することが結果に結びついているか?	妙見温泉振興会及び安楽温泉振興会へ運営補助を支出することは、妙見・安楽地区の観光振興が円滑に行え、来訪者をもてなす受け皿ができることに繋がるので結びついている。																													
	公共関与の妥当性	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある【理由】 <input checked="" type="checkbox"/> 妥当である【理由】																													
有効性 評価	なぜこの事業を市(町)が行わなければならないのか?税金を投入して、達成する目的か?	妙見温泉振興会及び安楽温泉振興会へ補助金を交付し、円滑な運営を図ることにより、観光客を受入れる体制が整備されるので妥当である。																													
	対象・意図の妥当性	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある【理由】 <input checked="" type="checkbox"/> 適切である【理由】																													
	対象を限定・追加すべきか?意図を限定・拡充すべきか?	対象は補助金を交付している団体の会員であるので妥当である。意図は同協会が円滑な運営が行えれば来訪者をもてなす受け皿ができるので妥当である。																													
効果 性 評価	成果の向上余地	<input checked="" type="checkbox"/> 向上余地がある【理由】 <input type="checkbox"/> 向上余地がない【理由】																													
	成果を向上させる余地はあるか?成果の現状水準とあるべき水準との差異はないか?何が原因で成果向上が期待できないのか?	市内に存在する5つの旅館協会が統合されれば、霧島市全体を対象とした効率的な観光の振興と情報発信が可能になり、観光客の増加が見込まれ成果向上の余地がある。																													
	廃止・休止の成果への影響	<input type="checkbox"/> 影響無【理由】 <input checked="" type="checkbox"/> 影響有【その内容】																													
効率 性 評価	事務事業を廃止・休止した場合の影響の有無とその内容は?	霧島市の観光の振興には欠かせない団体であるので、廃止すると観光客の減少や受入態勢が整わず影響がある。																													
	類似事業との統廃合・連携の可能性	<input checked="" type="checkbox"/> 他に手段がある(具体的な手段、事務事業) <input checked="" type="checkbox"/> 霧島神宮温泉旅館協会・安楽温泉旅館協会・霧島温泉旅館協会・日当山温泉旅館組合 <input checked="" type="checkbox"/> 統廃合できる <input type="checkbox"/> 連携できる <input type="checkbox"/> 統廃合できない <input type="checkbox"/> 連携できない																													
	目的を達成するには、この事務事業以外他に方法はないか?類似事業との統廃合ができるか?類似事業との連携を図ることにより、成果の向上が期待できるか?	市内に存在する5つの旅館協会が統合されれば、霧島市全体を対象とした効率的な観光の振興と情報発信が可能になり、観光客の増加が見込まれ成果向上の余地がある。																													
公平 性 評価	事業費の削減余地	<input type="checkbox"/> 削減余地がある【理由】 <input checked="" type="checkbox"/> 削減余地がない【理由】																													
	成果を下げずに事業費を削減できないか?(仕様や工法の適正化、住民の協力など)	市内に存在する5つの旅館協会が統合されれば、霧島市全体を対象とした効率的な観光の振興と情報発信が可能になり、事業費の削減余地がある。また、適正な補助基準を策定すれば削減の余地がある。																													
公平 性 評価	人件費(延べ業務時間)の削減余地	<input checked="" type="checkbox"/> 削減余地がある【理由】 <input type="checkbox"/> 削減余地がない【理由】																													
	やり方を工夫して延べ業務時間を削減できないか?成果を下げずに正職員以外の職員や委託でできないか?(アウトソーシングなど)	市内に存在する5つの旅館協会が統合されれば、補助金の交付事務も1回で済むので人件費の削減余地がある。																													
公平 性 評価	受益機会・費用負担の適正化余地	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある【理由】 <input checked="" type="checkbox"/> 公平・公正である【理由】																													
事業の内容が一部の受益者に偏っていて不公平ではないか?受益者負担が公平・公正になっているか?		旅館協会は市からの補助金だけでなく会費も徴収し、運営がなされているので公平公正である。																													
<b>3 評価結果の総括と今後の方向性(次年度計画と予算への反映)(PLAN) 【担当課長記入欄】</b>																															
(1) 1次評価者としての評価結果		(2) 全体総括(振り返り、反省点)																													
目的妥当性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり 有効性 <input type="checkbox"/> 適切 <input checked="" type="checkbox"/> 見直し余地あり 効率性 <input type="checkbox"/> 適切 <input checked="" type="checkbox"/> 見直し余地あり 公平性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり		適切な補助基準の策定と旅館協会の早期合併を図る必要がある。																													
(3) 今後の事業の方向性(改革改善案)・・・複数選択可		<input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 休止 <input checked="" type="checkbox"/> 事業のやり方改善(有効性改善) <input type="checkbox"/> 現状維持 <input type="checkbox"/> 目的再設定 <input checked="" type="checkbox"/> 事業のやり方改善(効率性改善) (従来通りで特に改革改善をしない) <input type="checkbox"/> 事業統廃合・連携 <input type="checkbox"/> 事業のやり方改善(公平性改善)		(4) 改革・改善による期待成果(廃止・休止の場合は記入不要)																											
<input type="checkbox"/> 改革改善案 市内5つの旅館協会の早期合併 補助基準の策定				<table border="1"> <tr> <td colspan="2" rowspan="2"></td> <td colspan="3">コスト</td> </tr> <tr> <td>削減</td> <td>維持</td> <td>増加</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">成果</td> <td>向上</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>維持</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td rowspan="2">低下</td> <td>維持</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>低下</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </table>				コスト			削減	維持	増加	成果	向上				維持				低下	維持				低下			
		コスト																													
		削減	維持	増加																											
成果	向上																														
	維持																														
低下	維持																														
	低下																														
(5) 改革、改善を実現する上で解決すべき課題(壁)とその解決策 旅館協会の合併に向けた協議会等を立ち上げる。 旅館協会の決算状況を精査する。																															



No.	630-340	事務事業名	安楽妙見温泉街なみづくり活動支援事業			所属部	商工観光部
						所属課	観光課
政策体系	政策名	03	活力のある産業のまちづくり			課長名	横手 航太郎
	施策名	03	観光業の振興			所属G(係)	観光グループ
	基本事業名	03	受け入れ体制の充実			電話番号	45-5111
予算科目	会計	款	項	目	事業	事業名	
	一般	07	01	04	103090	観光費	
						法令根拠	霧島市補助金交付要綱 霧島市補助金等の種類及び補助率に関する要綱

事務事業の概要(具体的なやり方、手順、詳細。期間限定複数年度事業は全体像を記述)	事業期間
妙見・安楽・高千穂通り会に対し、国道223号線沿線に花を植栽するための補助金を交付している。 (市の活動)妙見・安楽・高千穂通り会に補助金を支出するための手続き(申請書の受理・交付決定・実績報告・補助金交付)を行う。 妙見・安楽・高千穂通り会とは、地域の活性化と連帯感を深めることを目的として、設立された団体。地域住民を会員として運営されている。	<input type="checkbox"/> 単年度のみ <input checked="" type="checkbox"/> 単年度繰返 ↳ (S 50年度～) <input type="checkbox"/> 期間限定複数年度 ↳ (   年度～   年度)

1 現状把握の部(DO)

(1) 事務事業の目的と指標		活動指標(事務事業の活動量を表す指標)	
手段(主な活動)		名称	単位
20年度実績(20年度に行った主な活動)	事務事業の概要と同様	ア 補助した団体数	団体
21年度計画(21年度に計画している主な活動)	前年度と同様	イ	
		ウ	
対象(誰、何を対象にしているのか)*人や自然資源等	市民 補助金交付先 妙見・安楽・高千穂通り会 補助対象活動 国道223号線に花を植栽するための経費	対象指標(対象の大きさを表す指標)	
		名称	単位
		ア 人口	人
		イ	
		ウ	
意図(この事業によって、対象をどう変えるのか)	各地域に花を植栽することにより、国道223号線を通行する市民に癒しが与えられる。	成果指標(対象における意図の達成度を表す指標)	
		名称	単位
		ア 植栽活動参加者数	人
		イ	
		ウ	
結果(どんな結果に結び付けるのか)	来訪者をもてなす受け皿ができる。	上位成果指標(結果の達成度を表す指標)	
		名称	単位
		ア 地域住民・観光業者のもてなしを感じた旅行者の割合	人
		イ もう一度行ってみたい温泉地ランキング	位
		ウ	

(2) 総事業費・指標等の推移		単位	18年度(実績)	19年度(実績)	20年度(実績)	21年度(見込)		
投入量	事業費内訳	国庫支出金	千円					
		都道府県支出金	千円					
		地方債	千円					
		その他	千円					
		一般財源	千円	1,350	1,650	983	1,267	
		事業費計(A)	千円	1,350	1,650	983	1,267	
活動指標	ア 団体		3	3	3	3		
	イ							
	ウ							
対象指標	ア 人		127,615	127,773	127,450	128,383		
	イ							
	ウ							
成果指標	ア 人		未把握	未把握	未把握	60		
	イ							
	ウ							
上位成果指標	ア 人			50	55	60		
	イ 位		24	24	18	23		
	ウ							

(3) 事務事業の環境変化・住民意見等
この事務事業を開始したきっかけは何か?いつ頃どんな経緯で開始されたのか?
国道223号線沿線に花を植栽することによって、霧島を訪れる観光客に癒しの一時を提供するとともに、地域住民の連帯感を深めることを目的に昭和50年から開始された。
事務事業を取り巻く状況(対象者や根拠法令等)はどう変化しているか、開始時期あるいは5年前と比べてどう変わったのか?
特に変化なし。
この事務事業に対して関係者(住民、議会、事業対象者、利害関係者等)からどんな意見や要望が寄せられているか?
特になし。

事務事業名	安楽妙見温泉街なみづくり活動支援事業	所属部	商工観光部	所属課	観光課
-------	--------------------	-----	-------	-----	-----

2 評価の部(SEE) \*原則は事後評価、ただし複数年度事業は途中評価

目的 妥当性 評価	政策体系との整合性 この事務事業の目的は市(町)の政策体系に結びつくか?意図することが結果に結びついているか?	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある【理由】 ↷ <input checked="" type="checkbox"/> 結びついている【理由】 ↷ 各通り会に国道223号線沿いの花の植栽にかかる補助金を交付し、国道223号線沿いに花を植栽することは、来訪者をもてなす受け皿をつくることにつながるため結びついている。
	公共関与の妥当性 なぜこの事業を市が行わなければならないのか?税金を投入して、達成する目的か?	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある【理由】 ↷ <input checked="" type="checkbox"/> 妥当である【理由】 ↷ 市は観光客を受け入れる体制を整備する必要があるため妥当である。
	対象・意図の妥当性 対象を限定・追加すべきか?意図を限定・拡充すべきか?	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある【理由】 ↷ <input checked="" type="checkbox"/> 適切である【理由】 ↷ 対象は、国道223号線を通行する市民であり妥当である。意図は、各地域に花を植栽することによって来訪者をもてなすことにつながるため妥当である。
有効性 評価	成果の向上余地 成果を向上させる余地はあるか?成果の現状水準とあるべき水準との差異はないか?何が原因で成果向上が期待できないのか?	<input type="checkbox"/> 向上余地がある【理由】 ↷ <input checked="" type="checkbox"/> 向上余地がない【理由】 ↷ 花の植栽は限度があり、拡大、縮小の余地はない。
	廃止・休止の成果への影響 事務事業を廃止・休止した場合の影響の有無とその内容は?	<input type="checkbox"/> 影響無【理由】 ↷ <input checked="" type="checkbox"/> 影響有【その内容】 ↷ 補助金が廃止・休止になれば、街並み整備が困難となり、事業の継続ができなくなる。
効率性 評価	類似事業との統廃合・連携の可能性 目的を達成するには、この事務事業以外他に方法はないか?類似事業との統廃合ができるか?類似事業との連携を図ることにより、成果の向上が期待できるか?	<input type="checkbox"/> 他に手段がある(具体的な手段,事務事業) <input type="checkbox"/> 統廃合できる ↷ <input type="checkbox"/> 連携できる ↷ <input type="checkbox"/> 統廃合できない ↷ <input type="checkbox"/> 連携できない ↷ 他に類似事業はない。 <input checked="" type="checkbox"/> 他に手段がない【理由】 ↷
	事業費の削減余地 成果を下げずに事業費を削減できないか?(仕様や工法の適正化、住民の協力など)	<input type="checkbox"/> 削減余地がある【理由】 ↷ <input checked="" type="checkbox"/> 削減余地がない【理由】 ↷ 各通り会は最低限の予算で花を植栽しており削減余地はない。
公平性 評価	人件費(延べ業務時間)の削減余地 やり方を工夫して延べ業務時間を削減できないか?成果を下げずにより正職員以外の職員や委託でできないか?(アウトソーシングなど)	<input type="checkbox"/> 削減余地がある【理由】 ↷ <input checked="" type="checkbox"/> 削減余地がない【理由】 ↷ 補助金の交付事務のみであり削減余地はない。
	受益機会・費用負担の適正化余地 事業の内容が一部の受益者に偏っていて不公平ではないか?受益者負担が公平・公正になっているか?	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある【理由】 ↷ <input checked="" type="checkbox"/> 公平・公正である【理由】 ↷ 通り会に補助することにより、街並み全体がきれいになるので公平・公正である。

3 評価結果の総括と今後の方向性(次年度計画と予算への反映)(PLAN) [担当課長記入欄]

(1) 1次評価者としての評価結果	(2) 全体総括(振り返り、反省点)
目的妥当性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり 有効性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり 効率性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり 公平性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり	現状のままで支障はない。

(3) 今後の事業の方向性(改革改善案)・・・複数選択可	(4) 改革・改善による期待成果(廃止・休止の場合は記入不要)																							
<input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 休止 <input type="checkbox"/> 事業のやり方改善(有効性改善) <input type="checkbox"/> 目的再設定 <input type="checkbox"/> 事業のやり方改善(効率性改善) <input type="checkbox"/> 事業統廃合・連携 <input type="checkbox"/> 事業のやり方改善(公平性改善)	<input checked="" type="checkbox"/> 現状維持 (従来通りで特に改革改善をしない)																							
<改革改善案>	<table border="1"> <tr> <td></td> <td></td> <td colspan="2">コスト</td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td>削減</td> <td>維持</td> <td>増加</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">成果</td> <td>向上</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>維持</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td></td> <td>低下</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </table>			コスト				削減	維持	増加	成果	向上				維持					低下			
		コスト																						
		削減	維持	増加																				
成果	向上																							
	維持																							
	低下																							

(5) 改革、改善を実現する上で解決すべき課題(壁)とその解決策

No.	630-350	事務事業名	霧島神宮温泉旅館協会運営支援事業				所属部	商工観光部
							所属課	観光課
政策体系	政策名	03	活力ある産業のまちづくり				課長名	横手 航太郎
	施策名	03	観光業の振興				所属G(係)	観光グループ
	基本事業名	03	受入体制の充実				電話番号	45-5111
予算科目	会計	款	項	目	事業	事業名	霧島市補助金交付規則 霧島市補助金等の種類及び補助率に関する要綱	
	一般	07	01	04	103090	観光費		

事務事業の概要(具体的なやり方、手順、詳細。期間限定複数年度事業は全体像を記述)							事業期間	
霧島神宮温泉旅館協会の運営費補助として補助金を交付している。 (市の活動)霧島神宮温泉旅館協会に補助金を支出するための手続き(申請書の受理、交付決定、実績報告、補助金交付)を行う。 (各旅館協会の活動)霧島神宮温泉地区を訪れた観光客の受入れのための事業を行う。(パンフレット作成、クーポンの発券等) 霧島神宮温泉旅館協会とは、観光客誘致を目的として設立した団体。霧島神宮周辺の宿泊施設を会員として運営されている団体である。							<input type="checkbox"/> 単年度のみ	
							<input checked="" type="checkbox"/> 単年度繰返 ↳ (H 17 年度 ~ )	
							<input type="checkbox"/> 期間限定複数年度 ↳ ( 年度 ~ 年度)	

1 現状把握の部 (DO)

(1) 事務事業の目的と指標		活動指標(事務事業の活動量を表す指標)	
手段(主な活動)		名称	
20年度実績(20年度に行った主な活動)		単位	
事務事業の概要と同様		ア 温泉クーポンの発券枚数	
		枚	
21年度計画(21年度に計画している主な活動)		イ パンフレットの作成部数	
前年度と同様		部	
		ウ	
対象(誰、何を対象にしているのか) *人や自然資源等		対象指標(対象の大きさを表す指標)	
霧島神宮温泉地区を訪れた観光客		名称	
補助対象団体 霧島神宮温泉旅館協会		単位	
補助対象活動 霧島神宮温泉旅館協会の活動に要する経費		ア 霧島神宮温泉地区を訪れた観光客数	
		人	
		イ	
		ウ	
意図(この事業によって、対象をどう変えるのか)		成果指標(対象における意図の達成度を表す指標)	
霧島神宮温泉地区の観光を楽しんでもらう。		名称	
		単位	
		ア 苦情件数	
		件	
		イ	
		ウ	
結果(どんな結果に結び付けるのか)		上位成果指標(結果の達成度を表す指標)	
来訪者をもてなす受け皿ができる。		名称	
		単位	
		ア 地域住民・観光業者のもてなしを感じた旅行者の割合	
		人	
		イ もう一度行ってみたい温泉地ランキング	
		位	
		ウ	

(2) 総事業費・指標等の推移		単位	18年度(実績)	19年度(実績)	20年度(実績)	21年度(見込)		
投入量	事業費	財源内訳	国庫支出金	千円				
		都道府県支出金	千円					
		地方債	千円					
		その他	千円					
		一般財源	千円	660	688	622	734	
		事業費計(A)	千円	660	688	622	734	
活動指標		ア 枚	456	446	316	350		
		イ 部	5,000	10,000	5,000	5,000		
		ウ						
対象指標		ア 人	169,797	175,063	141,460	150,000		
		イ						
		ウ						
成果指標		ア 件	0	0	0	0		
		イ						
		ウ						
上位成果指標		ア 人	未把握	未把握	未把握	60		
		イ 位	24	24	18	23		
		ウ						

(3) 事務事業の環境変化・住民意見等	
この事務事業を開始したきっかけは何か?いつ頃どんな経緯で開始されたのか?	
昭和25年には国立公園観光協会ができており、下部組織として旅館協会が存在していた。霧島神宮周辺の観光振興を図ることを目的にこの事務事業開始された。	
事務事業を取り巻く状況(対象者や根拠法令等)はどう変化しているか、開始時期あるいは5年前と比べてどう変わったのか?	
特に変化なし	
この事務事業に対して関係者(住民、議会、事業対象者、利害関係者等)からどんな意見や要望が寄せられているか?	
特になし	

事務事業名	霧島神宮温泉旅館協会運営支援事業	所属部	商工観光部	所属課	観光課																						
<b>2 評価の部(SEE) * 原則は事後評価、ただし複数年度事業は途中評価</b>																											
目的 妥当性 評価	<b>政策体系との整合性</b>	見直し余地がある【理由】 ↘ 結びついている【理由】 ↘																									
	この事務事業の目的は市(町)の政策体系に結びつくか? 意図することが結果に結びついているか?	霧島神宮温泉温泉旅館協会へ運営補助を支出することは、霧島神宮温泉の観光振興が円滑に行え、来訪者をもてなす受け皿ができることに繋がるので結びついている。																									
	<b>公共関与の妥当性</b>	見直し余地がある【理由】 ↘ 妥当である【理由】 ↘																									
有効性 評価	なぜこの事業を市(町)が行わなければならないのか? 税金を投入して、達成する目的か?	霧島神宮温泉温泉旅館協会へ補助金を交付し、円滑な運営を図ることにより、観光客を受入れる体制が整備されるので妥当である。																									
	<b>対象・意図の妥当性</b>	見直し余地がある【理由】 ↘ 適切である【理由】 ↘																									
	対象を限定・追加すべきか? 意図を限定・拡充すべきか?	対象は補助金を交付している温泉旅館協会の会員であるので妥当である。意図は同協会が円滑な運営が行えれば来訪者をもてなす受け皿ができるので妥当である。																									
有効性 評価	<b>成果の向上余地</b>	向上余地がある【理由】 ↘ 向上余地がない【理由】 ↘																									
	成果を向上させる余地はあるか? 成果の現状水準とあるべき水準との差異はないか? 何が原因で成果向上が期待できないのか?	市内に存在する5つの旅館協会が統合されれば、霧島市全体を対象とした効率的な観光の振興と情報発信が可能になり、観光客の増加が見込まれ成果向上の余地がある。																									
	<b>廃止・休止の成果への影響</b>	影響無【理由】 ↘ 影響有【その内容】 ↘																									
有効性 評価	事務事業を廃止・休止した場合の影響の有無とその内容は?	霧島市の観光の振興には欠かせない団体であるので、廃止すると観光客の減少や受入態勢が整わず影響がある。																									
	<b>類似事業との統廃合・連携の可能性</b>	他 他に手段がある(具体的な手段、事務事業) ↘ 妙見温泉旅館協会・安楽温泉旅館協会・霧島温泉旅館協会・日当山温泉旅館組合 統廃合できる ↘ 連携できる ↘ 統廃合できない ↘ 連携できない ↘																									
	目的を達成するには、この事務事業以外他に方法はないか? 類似事業との統廃合ができるか? 類似事業との連携を図ることにより、成果の向上が期待できるか?	市内に存在する5つの旅館協会が統合されれば、霧島市全体を対象とした効率的な観光の振興と情報発信が可能になり、観光客の増加が見込まれ成果向上の余地がある。																									
効率性 評価	<b>事業費の削減余地</b>	他に手段がない【理由】 ↘ 削減余地がある【理由】 ↘ 削減余地がない【理由】 ↘																									
	成果を下げずに事業費を削減できないか? (仕様や工法の適正化、住民の協力など)	市内に存在する5つの旅館協会が統合されれば、霧島市全体を対象とした効率的な観光の振興と情報発信が可能になり、事業費の削減余地がある。また、適正な補助基準を策定すれば削減の余地がある。																									
	<b>人件費(延べ業務時間)の削減余地</b>	削減余地がある【理由】 ↘ 削減余地がない【理由】 ↘																									
公平性 評価	やり方を工夫して延べ業務時間を削減できないか? 成果を下げずに正職員以外の職員や委託でできないか? (アウトソーシングなど)	市内に存在する5つの旅館協会が統合されれば、補助金の交付事務も1回で済むので人件費の削減余地がある。																									
	<b>受益機会・費用負担の適正化余地</b>	見直し余地がある【理由】 ↘ 公平・公正である【理由】 ↘																									
	事業の内容が一部の受益者に偏っていて不公平ではないか? 受益者負担が公平・公正になっているか?	旅館協会は市からの補助金だけでなく会費も徴収し、運営がなされているので公平公正である。																									
<b>3 評価結果の総括と今後の方向性(次年度計画と予算への反映)(PLAN) 【担当課長記入欄】</b>																											
(1) 1次評価者としての評価結果			(2) 全体総括(振り返り、反省点)																								
目的妥当性	適切	見直し余地あり	適切な補助基準の策定と旅館協会の早期合併を図る必要がある。																								
有効性	適切	見直し余地あり																									
効率性	適切	見直し余地あり																									
公平性	適切	見直し余地あり																									
(3) 今後の事業の方向性(改革改善案)・・・複数選択可			(4) 改革・改善による期待成果(廃止・休止の場合は記入不要)																								
廃止	<input type="checkbox"/>	事業のやり方改善(有効性改善)	<table border="1"> <tr> <td colspan="2" rowspan="2"></td> <th colspan="3">コスト</th> </tr> <tr> <th>削減</th> <th>維持</th> <th>増加</th> </tr> <tr> <th rowspan="2">成果</th> <th>向上</th> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <th>維持</th> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <th>低下</th> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </table>					コスト			削減	維持	増加	成果	向上				維持				低下				
		コスト																									
		削減				維持	増加																				
成果	向上																										
	維持																										
低下																											
休止	<input type="checkbox"/>	事業のやり方改善(効率性改善)																									
目的再設定	<input type="checkbox"/>	事業のやり方改善(公平性改善)																									
事業統廃合・連携	<input type="checkbox"/>	事業のやり方改善(公平性改善)																									
< 改革改善案 > 市内5つの旅館協会の早期合併 補助基準の策定			<input type="checkbox"/> 現状維持 (従来通りで特に改革改善をしない)																								
(5) 改革、改善を実現する上で解決すべき課題(壁)とその解決策 旅館協会の合併に向けた協議会等を立ち上げる。 旅館協会の決算状況を精査する。																											

No.	630-360	事務事業名	霧島温泉旅館協会活動支援事業				所属部	商工観光部
							所属課	観光課
			政策名	03	活力ある産業のまちづくり		課長名	横手航太郎
政策体系	施策名	03	観光業の振興		所属G(係)	観光G		
	基本事業名	03	受け入れ体制の充実		電話番号	45-5111		
予算科目	会計	款	項	目	事業	事業名	霧島市補助金交付規則 霧島市補助金等の種類及び補助率に関する要綱	
	一般	07	01	04	103090	観光費		

事務事業の概要(具体的なやり方、手順、詳細。期間限定複数年度事業は全体像を記述)						事業期間	
霧島温泉旅館協会に補助金を交付している。 (市の活動)霧島温泉旅館協会に補助金を支出するための手続き(申請書の提出、交付決定、実績報告、補助金交付)を行う。 (各旅館協会の活動)霧島温泉地区を訪れた観光客の受入のための事業を行う。(温泉クーポンの発券、ロビーコンサートの実施等) 霧島温泉旅館協会とは、温泉地への観光客誘致を目的として設立した団体、丸尾地区の宿泊施設を会員として運営されている団体である。						<input type="checkbox"/> 単年度のみ <input checked="" type="checkbox"/> 単年度繰返 ↳ (S 40年代~) <input type="checkbox"/> 期間限定複数年度 ↳ (     年度~     年度)	

1 現状把握の部(DO)

(1) 事務事業の目的と指標		活動指標(事務事業の活動量を表す指標)	
手段(主な活動)		名称	
20年度実績(20年度に行った主な活動)		単位	
事務事業の概要と同様		ア クーポン発券枚数	
		枚	
21年度計画(21年度に計画している主な活動)		イ ロビーコンサートの実施回数	
前年度と同様		回	
対象(誰、何を対象にしているのか) *人や自然資源等		ウ	
霧島温泉地区を訪れた観光客数		対象指標(対象の大きさを表す指標)	
補助対象団体 霧島温泉旅館協会		名称	
補助対象活動 宣伝活動に関する経費		単位	
		ア 霧島温泉地区を訪れた観光客数	
		人	
意図(この事業によって、対象をどう変えるのか)		イ	
霧島温泉地区の観光を楽しむことができる。		ウ	
結果(どんな結果に結び付けるのか)		成果指標(対象における意図の達成度を表す指標)	
来訪者をもてなす受け皿ができる。		名称	
		単位	
		ア 苦情件数	
		件	
		イ	
		ウ	
		上位成果指標(結果の達成度を表す指標)	
		名称	
		単位	
		ア 地域住民・観光業者のもてなしを感じた旅行者の割合	
		%	
		イ もう一度行ってみたい温泉地ランキング	
		位	
		ウ	

(2) 総事業費・指標等の推移		単位	18年度(実績)	19年度(実績)	20年度(実績)	21年度(見込)			
投入量	事業費	財源内訳	国庫支出金	千円					
		都道府県支出金	千円						
		地方債	千円						
		その他	千円						
		一般財源	千円	1,511	1,511	1,602	1,716		
		事業費計(A)	千円	1,511	1,511	1,602	1,716		
活動指標		ア 枚	60,000	70,000	70,000	70,000			
		イ 回	9	5	9	9			
		ウ							
対象指標		ア 人	326,938	357,013	405,050	410,000			
		イ							
		ウ							
成果指標		ア 件	0	0	0	0			
		イ							
		ウ							
上位成果指標		ア %	未把握	未把握	未把握	60			
		イ 位	24	24	18	23			
		ウ							

(3) 事務事業の環境変化・住民意見等	
この事務事業を開始したきっかけは何か?いつ頃どんな経緯で開始されたのか? 霧島温泉地区を訪れる観光客の受け入れ体制の強化を目的に昭和40年代から開始された。	
事務事業を取り巻く状況(対象者や根拠法令等)はどう変化しているか、開始時期あるいは5年前と比べてどう変わったのか? 特に変化なし	
この事務事業に対して関係者(住民、議会、事業対象者、利害関係者等)からどんな意見や要望が寄せられているか? 特になし	

事務事業名	霧島温泉旅館協会活動支援事業	所属部	商工観光部	所属課	観光課																					
<b>2 評価の部(SEE) * 原則は事後評価、ただし複数年度事業は途中評価</b>																										
目的 妥当性 評価	<b>政策体系との整合性</b>	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある【理由】 ↷ <input checked="" type="checkbox"/> 結びついている【理由】 ↷ この事務事業の目的は市(町)の政策体系に結びつくか? 意図することが結果に結びついているか? 霧島温泉旅館協会に宣伝事業補助を交付することによって、霧島温泉地区の観光振興が円滑に行え、来訪者をもてなす受け皿ができることに繋がりが結びついている。																								
	<b>公共関与の妥当性</b>	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある【理由】 ↷ <input checked="" type="checkbox"/> 妥当である【理由】 ↷ なぜこの事業を市(町)が行わなければならないのか? 税金を投入して、達成する目的か? 市は、観光施設の整備や観光客を受入れる体制を整える必要があるため妥当である。																								
	<b>対象・意図の妥当性</b>	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある【理由】 ↷ <input checked="" type="checkbox"/> 適切である【理由】 ↷ 対象を限定・追加すべきか? 意図を限定・拡充すべきか? 対象は、霧島地区を訪れる観光客であるため妥当である。意図は霧島地区の観光を楽しんでもらうことは、来訪者をもてなす受け皿ができることに結びつくため妥当である。																								
有効性 評価	<b>成果の向上余地</b>	<input checked="" type="checkbox"/> 向上余地がある【理由】 ↷ <input type="checkbox"/> 向上余地がない【理由】 ↷ 成果を向上させる余地はあるか? 成果の現状水準とあるべき水準との差異はないか? 何が原因で成果向上が期待できないのか? 市内に存在する5つの旅館協会が統合されれば、霧島市全体を対象とした受け入れ体制を整えることができ、成果向上の余地がある。																								
	<b>廃止・休止の成果への影響</b>	<input type="checkbox"/> 影響無【理由】 ↷ <input checked="" type="checkbox"/> 影響有【その内容】 ↷ 事務事業を廃止・休止した場合の影響の有無とその内容は? 霧島市の観光の振興には欠かせない団体であるため、廃止すると観光客の減少の影響がある。																								
	<b>類似事業との統廃合・連携の可能性</b>	<input checked="" type="checkbox"/> 他に手段がある(具体的な手段、事務事業) ↷ 妙見温泉旅館協会宣伝事業 安楽温泉旅館協会宣伝事業 <input checked="" type="checkbox"/> 統廃合できる ↷ <input type="checkbox"/> 連携できる ↷ <input type="checkbox"/> 統廃合できない ↷ <input type="checkbox"/> 連携できない ↷ 目的を達成するには、この事務事業以外他に方法はないか? 類似事業との統廃合ができるか? 類似事業との連携を図ることにより、成果の向上が期待できるか? 市内に存在する5つの旅館協会が統合されれば、霧島市全体を対象とした効率的な宣伝活動による情報発信が可能になり、観光客の増加が見込まれ成果向上の余地がある。																								
効率性 評価	<b>事業費の削減余地</b>	<input checked="" type="checkbox"/> 削減余地がある【理由】 ↷ <input type="checkbox"/> 削減余地がない【理由】 ↷ 成果を下げずに事業費を削減できないか? (仕様や工法の適正化、住民の協力など) 市内に存在する5つの旅館協会が統合されれば、霧島市全体を対象とした効率的な観光の振興と情報発信が可能になり、事業費の削減余地がある。また、適正な補助基準を策定すれば削減の余地がある。																								
	<b>人件費(延べ業務時間)の削減余地</b>	<input checked="" type="checkbox"/> 削減余地がある【理由】 ↷ <input type="checkbox"/> 削減余地がない【理由】 ↷ やり方を工夫して延べ業務時間を削減できないか? 成果を下げずに正職員以外の職員や委託でできないか? (アウトソーシングなど) 市内に存在する5つの旅館協会が統合されれば、補助金の交付事務も1回で済むので人件費の削減余地がある。																								
公平性 評価	<b>受益機会・費用負担の適正化余地</b>	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある【理由】 ↷ <input checked="" type="checkbox"/> 公平・公正である【理由】 ↷ 事業の内容が一部の受益者に偏っていて不公平ではないか? 受益者負担が公平・公正になっているか? 旅館協会は市からの補助金だけでなく会費も徴収し、運営がなされているため公平公正である。																								
<b>3 評価結果の総括と今後の方向性(次年度計画と予算への反映)(PLAN) 【担当課長記入欄】</b>																										
(1) 1次評価者としての評価結果		(2) 全体総括(振り返り、反省点)																								
目的妥当性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり 有効性 <input type="checkbox"/> 適切 <input checked="" type="checkbox"/> 見直し余地あり 効率性 <input type="checkbox"/> 適切 <input checked="" type="checkbox"/> 見直し余地あり 公平性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり		適切な補助基準の策定と旅館協会の早期合併を図る必要がある。																								
(3) 今後の事業の方向性(改革改善案)・・・複数選択可			(4) 改革・改善による期待成果(廃止・休止の場合は記入不要)																							
<input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 休止 <input checked="" type="checkbox"/> 事業のやり方改善(有効性改善) <input type="checkbox"/> 現状維持 <input type="checkbox"/> 目的再設定 <input checked="" type="checkbox"/> 事業のやり方改善(効率性改善) (従来通りで特に改革改善をしない) <input type="checkbox"/> 事業統廃合・連携 <input type="checkbox"/> 事業のやり方改善(公平性改善)			<table border="1"> <tr> <td colspan="2" rowspan="2"></td> <th colspan="3">コスト</th> </tr> <tr> <th>削減</th> <th>維持</th> <th>増加</th> </tr> <tr> <th rowspan="2">成果</th> <th>向上</th> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <th>維持</th> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <th>低下</th> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </table>				コスト			削減	維持	増加	成果	向上				維持				低下				
		コスト																								
		削減	維持	増加																						
成果	向上																									
	維持																									
低下																										
(5) 改革、改善を実現する上で解決すべき課題(壁)とその解決策 旅館協会の合併に向けた協議会等を立ち上げる。 旅館協会の決算状況を精査する。																										

政策体系	No.	630-361	事務事業名	日当山温泉旅館組合活動支援事業	所属部	商工観光部
	政策名	03	活力ある産業のまちづくり		所属課	観光課
	施策名	03	観光業の振興		課長名	横手 航太郎
	基本事業名	03	受入体制の充実		所属G(係)	観光グループ
					電話番号	45-5111

予算科目	会計	款	項	目	事業	事業名	法令 根拠	霧島市補助金交付規則 霧島市補助金等の種類及び補助率に関する要綱
	一般	07	01	04	103090	観光費		

事務事業の概要(具体的なやり方、手順、詳細。期間限定複数年度事業は全体像を記述)		事業期間
日当山温泉旅館組合の運営費補助として補助金を交付している。 (市の活動) 日当山温泉旅館組合に補助金を支出するための手続き(申請書の提出、交付決定、実績報告、補助金交付)を行う。 (各旅館協会の活動)観光誘致宣伝活動を行う。 *日当山温泉旅館組合とは、観光客誘致を目的として設立した団体。日当山地区の宿泊施設を会員として運営されている団体である。		<input type="checkbox"/> 単年度のみ <input checked="" type="checkbox"/> 単年度繰返 ↳ (H 17 年度 ~ ) <input type="checkbox"/> 期間限定複数年度 ↳ (      年度 ~      年度)

1 現状把握の部(DO)

(1) 事務事業の目的と指標		活動指標(事務事業の活動量を表す指標)	
手段(主な活動)		名称	
19年度実績(19年度に行った主な活動)		単位	
事務事業の概要と同様		ア	補助した団体
20年度計画(20年度に計画している主な活動)		イ	
前年度と同様		ウ	
対象(誰、何を対象にしているのか)*人や自然資源等		対象指標(対象の大きさを表す指標)	
日当山温泉地区を訪れた観光客		名称	
補助対象団体 日当山温泉旅館組合		単位	
補助対象活動 日当山温泉旅館組合の活動に要する経費		ア	日当山地区を訪れた観光客数
意図(この事業によって、対象をどう変えるのか)		イ	
日当山温泉地区の観光を楽しむことができる。		ウ	
結果(どんな結果に結び付けるのか)		成果指標(対象における意図の達成度を表す指標)	
来訪者をもてなす受け皿ができる。		名称	
		単位	
		ア	苦情件数
		イ	
		ウ	
		上位成果指標(結果の達成度を表す指標)	
		名称	
		単位	
		ア	地域住民・観光業者のもてなしを感じた旅行者の割合
		イ	もう一度行ってみたい温泉地ランキング
		ウ	

(2) 総事業費・指標等の推移		単位	18年度 (実績)	19年度 (実績)	20年度 (見込)	21年度 (見込)		
投入量	事業費	財源内訳	千円					
		国庫支出金	千円					
		都道府県支出金	千円					
		地方債	千円					
		その他	千円					
		一般財源	千円	3,719	2,552	0	248	
	事業費計(A)	千円	3,719	2,552	0			
活動指標	ア	団体	1	1	1	1		
	イ							
	ウ							
対象指標	ア	人	2,600	2,600	2,800	3,000		
	イ							
	ウ							
成果指標	ア	件	0	0	0	0		
	イ							
	ウ							
上位成果指標	ア	人	未把握	50	55	60		
	イ	位	24	24	23	23		
	ウ							

(3) 事務事業の環境変化・住民意見等	
この事務事業を開始したきっかけは何か?いつ頃どんな経緯で開始されたのか?	
昭和 年より、日当山地区の観光振興を図ることを目的に開始された。	
事務事業を取り巻く状況(対象者や根拠法令等)はどう変化しているか、開始時期あるいは5年前と比べてどう変わったのか?	
特に変化なし	
この事務事業に対して関係者(住民、議会、事業対象者、利害関係者等)からどんな意見や要望が寄せられているか?	
特になし	

事務事業名	日当山温泉旅館組合活動支援事業	所属部	商工観光部	所属課	観光課																					
<b>2 評価の部(SEE) * 原則は事後評価、ただし複数年度事業は途中評価</b>																										
目的 妥当性 評価	政策体系との整合性	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある【理由】 ↷ <input checked="" type="checkbox"/> 結びついている【理由】 ↷ この事務事業の目的は市(町)の政策体系に結びつくか? 意図することが結果に結びついているか? 日当山温泉旅館組合へ運営補助を支出することは、日当山地区の観光振興が円滑に行え、来訪者をもてなす受け皿ができることに繋がるので結びついている。																								
	公共関与の妥当性	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある【理由】 ↷ <input checked="" type="checkbox"/> 妥当である【理由】 ↷ なぜこの事業を市(町)が行わなければならないのか? 税金を投入して、達成する目的か? 日当山温泉旅館組合へ補助金を交付し、円滑な運営を図ることにより、観光客を受入れる体制が整備されるので妥当である。																								
	対象・意図の妥当性	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある【理由】 ↷ <input checked="" type="checkbox"/> 適切である【理由】 ↷ 対象を限定・追加すべきか? 意図を限定・拡充すべきか? 対象は補助金を交付している温泉旅館組合の会員であるので妥当である。意図は同協会が円滑な運営が行えれば来訪者をもてなす受け皿ができるので妥当である。																								
有効性 評価	成果の向上余地	<input checked="" type="checkbox"/> 向上余地がある【理由】 ↷ <input type="checkbox"/> 向上余地がない【理由】 ↷ 成果を向上させる余地はあるか? 成果の現状水準とあるべき水準との差異はないか? 何が原因で成果向上が期待できないのか? 市内に存在する5つの旅館協会が統合されれば、霧島市全体を対象とした効率的な観光の振興と情報発信が可能になり、観光客の増加が見込まれ成果向上の余地がある。																								
	廃止・休止の成果への影響	<input type="checkbox"/> 影響無【理由】 ↷ <input checked="" type="checkbox"/> 影響有【その内容】 ↷ 事務事業を廃止・休止した場合の影響の有無とその内容は? 霧島市の観光の振興には欠かせない団体であるので、廃止すると観光客の減少や受入態勢が整わず影響がある。																								
	類似事業との統廃合・連携の可能性	<input checked="" type="checkbox"/> 他に手段がある(具体的な手段、事務事業) ↷ 妙見温泉旅館協会・安楽温泉旅館協会・霧島温泉旅館協会・霧島神宮温泉旅館協会 <input checked="" type="checkbox"/> 統廃合できる ↷ <input type="checkbox"/> 連携できる ↷ <input type="checkbox"/> 統廃合できない ↷ <input type="checkbox"/> 連携できない ↷ 市内に存在する5つの旅館協会が統合されれば、霧島市全体を対象とした効率的な観光の振興と情報発信が可能になり、観光客の増加が見込まれ成果向上の余地がある。 <input type="checkbox"/> 他に手段がない【理由】 ↷																								
効率性 評価	事業費の削減余地	<input type="checkbox"/> 削減余地がある【理由】 ↷ <input checked="" type="checkbox"/> 削減余地がない【理由】 ↷ 成果を下げずに事業費を削減できないか?(仕様や工法の適正化、住民の協力など) 市内に存在する5つの旅館協会が統合されれば、霧島市全体を対象とした効率的な観光の振興と情報発信が可能になり、事業費の削減余地がある。また、適正な補助基準を策定すれば削減の余地がある。																								
	人件費(延べ業務時間)の削減余地	<input checked="" type="checkbox"/> 削減余地がある【理由】 ↷ <input type="checkbox"/> 削減余地がない【理由】 ↷ やり方を工夫して延べ業務時間を削減できないか? 成果を下げずに正職員以外の職員や委託でできないか?(アウトソーシングなど) 市内に存在する5つの旅館協会が統合されれば、補助金の交付事務も1回で済むので人件費の削減余地がある。																								
公平性 評価	受益機会・費用負担の適正化余地	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある【理由】 ↷ <input checked="" type="checkbox"/> 公平・公正である【理由】 ↷ 事業の内容が一部の受益者に偏っていて不公平ではないか? 受益者負担が公平・公正になっているか? 旅館協会は市からの補助金だけでなく会費も徴収し、運営がなされているので公平公正である。																								
<b>3 評価結果の総括と今後の方向性(次年度計画と予算への反映)(PLAN) 【担当課長記入欄】</b>																										
(1) 1次評価者としての評価結果		(2) 全体総括(振り返り、反省点)																								
目的妥当性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり 有効性 <input type="checkbox"/> 適切 <input checked="" type="checkbox"/> 見直し余地あり 効率性 <input type="checkbox"/> 適切 <input checked="" type="checkbox"/> 見直し余地あり 公平性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり		適切な補助基準の策定と旅館協会の早期合併を図る必要がある。																								
(3) 今後の事業の方向性(改革改善案)・・・複数選択可			(4) 改革・改善による期待成果(廃止・休止の場合は記入不要)																							
<input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 休止 <input checked="" type="checkbox"/> 事業のやり方改善(有効性改善) <input type="checkbox"/> 現状維持 <input type="checkbox"/> 目的再設定 <input checked="" type="checkbox"/> 事業のやり方改善(効率性改善) (従来通りで特に改革改善をしない) <input type="checkbox"/> 事業統廃合・連携 <input type="checkbox"/> 事業のやり方改善(公平性改善)			<table border="1"> <tr> <td colspan="2" rowspan="2"></td> <td colspan="3">コスト</td> </tr> <tr> <td>削減</td> <td>維持</td> <td>増加</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">成果</td> <td>向上</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>維持</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td></td> <td>低下</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </table>				コスト			削減	維持	増加	成果	向上				維持					低下			
		コスト																								
		削減	維持	増加																						
成果	向上																									
	維持																									
	低下																									
(5) 改革、改善を実現する上で解決すべき課題(壁)とその解決策 旅館協会の合併に向けた協議会等を立ち上げる。 旅館協会の決算状況を精査する。																										



No.	630-370	事務事業名	市観光案内所管理運営事業				所属部	商工観光部
							所属課	観光課
政策体系	政策名	03	活力のある産業のまちづくり				課長名	横手 航太郎
	施策名	03	観光業の振興				所属G(係)	観光グループ
	基本事業名	03	受け入れ体制の充実				電話番号	45-5111
予算科目	会計	款	項	目	事業	事業名	霧島市観光案内所施設の設置及び管理に関する条例及び同規則	
	一般	07	01	05	104090	施設管理費		
法令根拠								

事務事業の概要(具体的なやり方、手順、詳細。期間限定複数年度事業は全体像を記述)							事業期間	
霧島市観光案内所は、平成元年に、観光客等への総合案内、観光地の紹介、宣伝誘致を行うことを目的に、霧島神宮入口に設置された。案内所の敷地には足湯、もある。 建物の維持管理や業務については、国立公園霧島観光協会を指定管理者として直接指定し委託をしている。 休業日：年末年始 業務時間：4月1日～9月30日は9:00～18:00まで 10月1日～3月31日までは9:00～17:00まで							<input type="checkbox"/> 単年度のみ <input checked="" type="checkbox"/> 単年度繰返 ↳ (H元年度～) <input type="checkbox"/> 期間限定複数年度 ↳ (      年度～      年度)	

1 現状把握の部(DO)

(1) 事務事業の目的と指標		活動指標(事務事業の活動量を表す指標)	
手段(主な活動)		名称	単位
20年度実績(20年度に行った主な活動)	事務事業の概要と同様	ア 施設開館日数	日
21年度計画(21年度に計画している主な活動)	前年度と同様	イ	
		ウ	
対象(誰、何を対象にしているのか) *人や自然資源等	施設利用者	対象指標(対象の大きさを表す指標)	
		名称	単位
		ア 施設利用者数	人
		イ	
		ウ	
意図(この事業によって、対象をどう変えるのか)	快適に利用できるようになる。	成果指標(対象における意図の達成度を表す指標)	
		名称	単位
		ア 苦情件数	件
		イ	
		ウ	
結果(どんな結果に結び付けるのか)	来訪者をもてなす受け皿ができる。	上位成果指標(結果の達成度を表す指標)	
		名称	単位
		ア 地域住民・観光業者のもてなしを感じた旅行者の割合	%
		イ もう一度行ってみたい温泉地ランキング	位
		ウ	

(2) 総事業費・指標等の推移		単位	18年度(実績)	19年度(実績)	20年度(実績)	21年度(見込)		
投入量	事業費	財源内訳	国庫支出金	千円				
		都道府県支出金	千円					
		地方債	千円					
		その他	千円					
		一般財源	千円	6,200	5,000	5,000	5,026	
		事業費計(A)	千円	6,200	5,000	5,000	5,026	
活動指標	ア 日	359	360	359	359			
	イ							
	ウ							
対象指標	ア 人	70,020	75,475	75,650	76,000			
	イ							
	ウ							
成果指標	ア 件	0	0	0	0			
	イ							
	ウ							
上位成果指標	ア %	未把握	50	50	55			
	イ 位	24	24	18	15			
	ウ							

(3) 事務事業の環境変化・住民意見等	
この事務事業を開始したきっかけは何か?いつ頃どんな経緯で開始されたのか? 観光客等への案内、紹介業務が多く、特に土日の観光客が多かったことより、平成元年に観光案内所建設し、委託した。	
事務事業を取り巻く状況(対象者や根拠法令等)はどう変化しているか、開始時期あるいは5年前と比べてどう変わったのか? 観光客等の案内、紹介等の利用は、毎年違うが、足湯設置後、増加傾向にある。	
この事務事業に対して関係者(住民、議会、事業対象者、利害関係者等)からどんな意見や要望が寄せられているか? 特になし。	

事務事業名	市観光案内所管理運営事業	所属部	商工観光部	所属課	観光課
-------	--------------	-----	-------	-----	-----

2 評価の部(SEE) * 原則は事後評価、ただし複数年度事業は途中評価					
目的 妥当性 評価	政策体系との整合性	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある【理由】 ↷	<input checked="" type="checkbox"/> 結びついている【理由】 ↷	この事務事業の目的は市(町)の政策体系に結びつか? 意図することが結果に結びついているか?	
	公共関与の妥当性	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある【理由】 ↷	<input checked="" type="checkbox"/> 妥当である【理由】 ↷	なぜこの事業を市(町)が行わなければならないのか? 税金を投入して、達成する目的か?	
	対象・意図の妥当性	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある【理由】 ↷	<input checked="" type="checkbox"/> 適切である【理由】 ↷	対象を限定・追加すべきか? 意図を限定・拡充すべきか?	
有効性 評価	成果の向上余地	<input type="checkbox"/> 向上余地がある【理由】 ↷	<input checked="" type="checkbox"/> 向上余地がない【理由】 ↷	成果を向上させる余地はあるか? 成果の現状水準とあるべき水準との差異はないか? 何が原因で成果向上が期待できないのか?	
	廃止・休止の成果への影響	<input type="checkbox"/> 影響無【理由】 ↷	<input checked="" type="checkbox"/> 影響有【その内容】 ↷	事務事業を廃止・休止した場合の影響の有無とその内容は?	
	類似事業との統廃合・連携の可能性	<input type="checkbox"/> 他に手段がある(具体的な手段, 事務事業) ↷	<input type="checkbox"/> 統廃合できる ↷	<input type="checkbox"/> 連携できる ↷	<input checked="" type="checkbox"/> 統廃合できない ↷
効率性 評価	事業費の削減余地	<input type="checkbox"/> 削減余地がある【理由】 ↷	<input checked="" type="checkbox"/> 削減余地がない【理由】 ↷	成果を下げずに事業費を削減できないか? (仕様や工法の適正化、住民の協力など)	
	人件費(延べ業務時間)の削減余地	<input type="checkbox"/> 削減余地がある【理由】 ↷	<input checked="" type="checkbox"/> 削減余地がない【理由】 ↷	やり方を工夫して延べ業務時間を削減できないか? 成果を下げずに正職員以外の職員や委託でできないか? (アウトソーシングなど)	
公平性 評価	受益機会・費用負担の適正化余地	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある【理由】 ↷	<input checked="" type="checkbox"/> 公平・公正である【理由】 ↷	事業の内容が一部の受益者に偏っていて不公平ではないか? 受益者負担が公平・公正になっているか?	

3 評価結果の総括と今後の方向性(次年度計画と予算への反映)(PLAN) 【担当課長記入欄】

(1) 1次評価者としての評価結果		(2) 全体総括(振り返り、反省点)																							
目的妥当性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり 有効性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり 効率性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり 公平性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり	事業の手法に問題はない。																								
(3) 今後の事業の方向性(改革改善案)・・・複数選択可		(4) 改革・改善による期待成果(廃止・休止の場合は記入不要)																							
<input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 休止 <input type="checkbox"/> 事業のやり方改善(有効性改善) <input type="checkbox"/> 目的再設定 <input type="checkbox"/> 事業のやり方改善(効率性改善) <input type="checkbox"/> 事業統廃合・連携 <input type="checkbox"/> 事業のやり方改善(公平性改善)		<input checked="" type="checkbox"/> 現状維持 (従来通りで特に改革改善をしない)																							
< 改革改善案 >		<table border="1" style="text-align: center;"> <tr> <td colspan="2" rowspan="2"></td> <td colspan="3">コスト</td> </tr> <tr> <td>削減</td> <td>維持</td> <td>増加</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">成果</td> <td>向上</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>維持</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td></td> <td>低下</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </table>				コスト			削減	維持	増加	成果	向上				維持					低下			
		コスト																							
		削減	維持	増加																					
成果	向上																								
	維持																								
	低下																								

(5) 改革、改善を実現する上で解決すべき課題(壁)とその解決策

No.	630-400	事務事業名	国分キャンプ海水浴場管理運営事業			所 属 部	商工観光部
			所 属 課	観光課			
政策体系	政策名	0 3	活力のある産業のまちづくり			課 長 名	横手 航太郎
	施策名	0 3	観光業の振興			所 属 G ( 係 )	観光グループ
	基本事業名	0 3	受け入れ体制の充実			電 話 番 号	45-5111
予算科目	会計	款	項	目	事業	事業名	法令
	一般	0 7	0 1	0 5	104090	施設管理費	霧島市国分キャンプ海水浴場の施設の管理条例及び同規則

事務事業の概要(具体的なやり方、手順、詳細。期間限定複数年度事業は全体像を記述)	事業期間
国分キャンプ海水浴場は、平成9年度に錦江湾ウォーターフロント整備事業の一環として開設された。 市は同施設を、霧島市しみん学習支援公社を指定管理者として、管理運営を委託している。 【主な施設】 バンガロー、貸しテント、炊事等、シャワー、トイレ、管理棟	<input type="checkbox"/> 単年度のみ <input checked="" type="checkbox"/> 単年度繰返 ↳ ( H 9 年度 ~ ) <input type="checkbox"/> 期間限定複数年度 ↳ (            年度 ~            年度 )

1 現状把握の部(DO)

(1) 事務事業の目的と指標		活動指標(事務事業の活動量を表す指標)	
手段(主な活動) 20年度実績(20年度に行った主な活動) 事務事業の概要と同様		名称 ア 施設利用者数 イ ウ	単位 人
21年度計画(21年度に計画している主な活動) 前年度と同様			
対象(誰、何を対象にしているのか) * 人や自然資源等 国分キャンプ海水浴場各施設 <委託料交付先> 霧島しみん学習支援公社 <委託交付対象活動> 国分キャンプ海水浴場の維持管理にかかる経費		対象指標(対象の大きさを表す指標) 名称 ア 施設数 イ 施設開館日数 ウ	単位 件 日
意図(この事業によって、対象をどう変えるのか) 維持管理をすることにより、快適に利用できるようになる。		成果指標(対象における意図の達成度を表す指標) 名称 ア 事故件数 イ 苦情件数 ウ	単位 件 件
結果(どんな結果に結び付けるのか) 来訪者をもてなす受け皿ができる。		上位成果指標(結果の達成度を表す指標) 名称 ア 地域住民・観光業者のもてなしを感じた旅行者の割合 イ もう一度行ってみたい温泉地ランキング ウ	単位 % 位

(2) 総事業費・指標等の推移		単位	18年度(実績)	19年度(実績)	20年度(実績)	21年度(見込)			
投入量	事業内訳	財源内訳	国庫支出金	千円					
		都道府県支出金	千円						
		地方債	千円						
		その他	千円						
		一般財源	千円	8,287	8,287	8,176	8,176		
		事業費計(A)	千円	8,287	8,287	8,176	8,176		
活動指標	ア 人		2,088	2,071	2,100	2,100			
対象指標	ア 件		15	15	15	15			
	イ 日		300	300	300	300			
	ウ								
成果指標	ア 件		0	0	0	0			
	イ 件		0	0	0	0			
	ウ								
上位成果指標	ア %		未把握	50	55	60			
	イ 位		24	24	18	23			
	ウ								

(3) 事務事業の環境変化・住民意見等	
この事務事業を開始したきっかけは何か？いつ頃どんな経緯で開始されたのか？ 平成9年度に錦江湾ウォーターフロント整備事業の一環として開設された国分キャンプ海水浴場の維持管理をしみん学習支援公社へ委託した。	
事務事業を取り巻く状況(対象者や根拠法令等)はどう変化しているか、開始時期あるいは5年前と比べてどう変わったのか？ 特に変化なし。	
この事務事業に対して関係者(住民、議会、事業対象者、利害関係者等)からどんな意見や要望が寄せられているか？ 特になし。	

事務事業名	国分キャンプ海水浴場管理運営事業	所属部	商工観光部	所属課	観光課																										
<b>2 評価の部(SEE) * 原則は事後評価、ただし複数年度事業は途中評価</b>																															
目的 妥当性 評価	<b>政策体系との整合性</b>	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある【理由】 <input checked="" type="checkbox"/> 結びついている【理由】																													
	この事務事業の目的は市(町)の政策体系に結びつくか? 意図することが結果に結びついているか?	国分キャンプ海水浴場を、指定管理者であるしみん学習支援公社に委託し維持管理することは、来訪者をもてなす受け皿ができることに繋がりが結びついている。																													
	<b>公共関与の妥当性</b>	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある【理由】 <input checked="" type="checkbox"/> 妥当である【理由】																													
なぜこの事業を市(町)が行わなければならないのか? 税金を投入して、達成する目的か?	観光施設の整備を図ることは市の責務であり妥当である。																														
<b>対象・意図の妥当性</b>	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある【理由】 <input checked="" type="checkbox"/> 適切である【理由】																														
対象を限定・追加すべきか? 意図を限定・拡充すべきか?	対象は、維持管理を行う施設であり妥当である。意図は、維持管理を適切に行えば来訪者が快適に利用することができ、来訪者をもてなす受け皿ができることに繋がるので、妥当である。																														
有効性 評価	<b>成果の向上余地</b>	<input checked="" type="checkbox"/> 向上余地がある【理由】 <input type="checkbox"/> 向上余地がない【理由】																													
	成果を向上させる余地はあるか? 成果の現状水準とあるべき水準との差異はないか? 何が原因で成果向上が期待できないのか?	老朽化した施設を改修すれば、来訪者はもっと安全に楽しむことができる。																													
	<b>廃止・休止の成果への影響</b>	<input type="checkbox"/> 影響無【理由】 <input checked="" type="checkbox"/> 影響有【その内容】																													
事務事業を廃止・休止した場合の影響の有無とその内容は?	市内で有数の海水浴場であり、廃止した場合施設も荒廃し、利用客が激減する。																														
<b>類似事業との統廃合・連携の可能性</b>	<input checked="" type="checkbox"/> 他に手段がある(具体的な手段、事務事業) <input checked="" type="checkbox"/> 小浜海水浴場運営委託事業 <input type="checkbox"/> 統廃合できる <input type="checkbox"/> 連携できる <input checked="" type="checkbox"/> 統廃合できない <input type="checkbox"/> 連携できない																														
目的を達成するには、この事務事業以外他に方法はないか? 類似事業との統廃合ができるか? 類似事業との連携を図ることにより、成果の向上が期待できるか?	地理が離れており、統廃合はできない。 <input type="checkbox"/> 他に手段がない【理由】																														
効率性 評価	<b>事業費の削減余地</b>	<input type="checkbox"/> 削減余地がある【理由】 <input checked="" type="checkbox"/> 削減余地がない【理由】																													
	成果を下げずに事業費を削減できないか? (仕様や工法の適正化、住民の協力など)	初期投資はかかるが、老朽化した施設を改修すれば成果の向上余地はある。																													
<b>人件費(延べ業務時間)の削減余地</b>	<input type="checkbox"/> 削減余地がある【理由】 <input checked="" type="checkbox"/> 削減余地がない【理由】																														
やり方を工夫して延べ業務時間を削減できないか? 成果を下げずに正職員以外の職員や委託でできないか? (アウトソーシングなど)	委託料の支払は最低限の事務で行っており、維持管理に関してはしみん学習支援公社へ委託しているので、人件費の削減余地はない。																														
公平性 評価	<b>受益機会・費用負担の適正化余地</b>	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある【理由】 <input checked="" type="checkbox"/> 公平・公正である【理由】																													
	事業の内容が一部の受益者に偏っていて不公平ではないか? 受益者負担が公平・公正になっているか?	利用者から徴収した施設使用料等は指定管理者の収入となり、施設の改修や維持管理につかわれるので、公平・公正である。																													
<b>3 評価結果の総括と今後の方向性(次年度計画と予算への反映)(PLAN) 【担当課長記入欄】</b>																															
(1) 1次評価者としての評価結果		(2) 全体総括(振り返り、反省点)																													
目的妥当性	<input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり	事業の手法等に問題はないが、施設が老朽化してきているので、改修の必要がある。																													
有効性	<input type="checkbox"/> 適切 <input checked="" type="checkbox"/> 見直し余地あり																														
効率性	<input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり																														
公平性	<input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり																														
(3) 今後の事業の方向性(改革改善案)・・・複数選択可		<input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 休止 <input checked="" type="checkbox"/> 事業のやり方改善(有効性改善) <input checked="" type="checkbox"/> 現状維持 <input type="checkbox"/> 目的再設定 <input type="checkbox"/> 事業のやり方改善(効率性改善) (従来通りで特に改革改善をしない) <input type="checkbox"/> 事業統廃合・連携 <input type="checkbox"/> 事業のやり方改善(公平性改善)		(4) 改革・改善による期待成果(廃止・休止の場合は記入不要)																											
<改革改善案> 施設の老朽化				<table border="1"> <tr> <td colspan="2" rowspan="2"></td> <td colspan="3">コスト</td> </tr> <tr> <td>削減</td> <td>維持</td> <td>増加</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">成果</td> <td>向上</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>維持</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td rowspan="2">低下</td> <td>維持</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>低下</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </table>				コスト			削減	維持	増加	成果	向上				維持				低下	維持				低下			
		コスト																													
		削減	維持	増加																											
成果	向上																														
	維持																														
低下	維持																														
	低下																														
(5) 改革、改善を実現する上で解決すべき課題(壁)とその解決策 改修																															

No.	630-410	事務事業名	市国分ハイテク展望台管理運営事業			所属部	商工観光部
政策体系	政策名	03	活力ある産業のまちづくり			所属課	観光課
	施策名	03	観光業の振興			課長名	横手 航太郎
	基本事業名	03	受け入れ体制の充実			所属G(係)	観光グループ
予算科目	会計	款	項	目	事業	事業名	法令
	一般	07	01	05	104090	施設管理費	霧島市国分ハイテク展望台の設置及び管理に関する条例及び同規則
事務事業の概要(具体的なやり方、手順、詳細。期間限定複数年度事業は全体像を記述)							事業期間
市は平成4年に個性的で魅力あるまちづくりを推進することを目的に設置した、国分上野原に開設された国分ハイテク展望台の維持管理をしている。平成18年9月から霧島市しみん学習支援公社を指定管理者としている。							<input type="checkbox"/> 単年度のみ <input checked="" type="checkbox"/> 単年度繰返 ↳ (H 4年度~) <input type="checkbox"/> 期間限定複数年度 ↳ ( 年度~ 年度)

1 現状把握の部(DO)

(1) 事務事業の目的と指標

手段(主な活動)	
20年度実績(20年度に行った主な活動)	事務事業の概要と同様
21年度計画(21年度に計画している主な活動)	前年度と同様
対象(誰、何を対象にしているのか)*人や自然資源等	ハイテク展望台施設
意図(この事業によって、対象をどう変えるのか)	維持管理をすることにより、快適に利用できるようになる。
結果(どんな結果に結び付けるのか)	来訪者をもてなす受け皿ができる。

活動指標(事務事業の活動量を表す指標)	
名称	単位
ア 維持管理回数	回
イ	
ウ	
対象指標(対象の大きさを表す指標)	
名称	単位
ア 施設数	件
イ	
ウ	
成果指標(対象における意図の達成度を表す指標)	
名称	単位
ア 苦情件数	件
イ	
ウ	
上位成果指標(結果の達成度を表す指標)	
名称	単位
ア 地域住民・観光業者のもてなしを感じた旅行者の割合	%
イ もう一度行ってみたい温泉地ランキング	位
ウ	

(2) 総事業費・指標等の推移		単位	18年度(実績)	19年度(実績)	20年度(実績)	21年度(見込)			
投入量	事業費	財源内訳	千円						
		国庫支出金	千円						
		都道府県支出金	千円						
		地方債	千円						
		その他	千円						
		一般財源	千円	6,424	6,309	5,627	4,705		
	事業費計(A)	千円	6,424	6,309	5,627	4,705			
活動指標	ア	回	300	300	300	300			
	イ								
	ウ								
対象指標	ア	件	1	1	1	1			
	イ								
	ウ								
成果指標	ア	件	0	0	0	0			
	イ								
	ウ								
上位成果指標	ア	%	未把握	50	55	60			
	イ	位	24	24	15	15			
	ウ								

(3) 事務事業の環境変化・住民意見等

この事務事業を開始したきっかけは何か?いつ頃どんな経緯で開始されたのか?	平成4年に個性的で魅力ある街づくりを推進するため設置された霧島市国分ハイテク展望台の維持管理をするために開始された。
事務事業を取り巻く状況(対象者や根拠法令等)はどう変化しているか、開始時期あるいは5年前と比べてどう変わったのか?	特に変化なし。
この事務事業に対して関係者(住民、議会、事業対象者、利害関係者等)からどんな意見や要望が寄せられているか?	特になし。

事務事業名	市国分ハイテク展望台管理運営事業	所属部	商工観光部	所属課	観光課																										
<b>2 評価の部(SEE) *原則は事後評価、ただし複数年度事業は途中評価</b>																															
目的 妥当性 評価	<b>政策体系との整合性</b>	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある【理由】 <input checked="" type="checkbox"/> 結びついている【理由】																													
	この事務事業の目的は市(町)の政策体系に結びつくか?意図することが結果に結びついているか?	霧島市国分ハイテク展望台を指定管理者である霧島市しみん学習支援公社に委託し維持管理することは、来訪者をもてなす受け皿が出来ることにつながり結び付いている。																													
	<b>公共関与の妥当性</b>	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある【理由】 <input checked="" type="checkbox"/> 妥当である【理由】																													
なぜこの事業を市(町)が行わなければならないのか?税金を投入して、達成する目的か?	観光施設の整備を図ることは市の責務であり妥当である。																														
<b>対象・意図の妥当性</b>	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある【理由】 <input checked="" type="checkbox"/> 適切である【理由】																														
対象を限定・追加すべきか?意図を限定・拡充すべきか?	対象は維持管理を行う施設であり妥当である。意図は維持管理を適切に行えば来訪者が快適に利用することができ、来訪者をもてなす受け皿が出来ることにつながるため妥当である。																														
有効性 評価	<b>成果の向上余地</b>	<input checked="" type="checkbox"/> 向上余地がある【理由】 <input type="checkbox"/> 向上余地がない【理由】																													
	成果を向上させる余地はあるか?成果の現状水準とあるべき水準との差異はないか?何が原因で成果向上が期待できないのか?	老朽化した施設を改修すれば来訪者をもっと快適に楽しむことできる。																													
	<b>廃止・休止の成果への影響</b>	<input type="checkbox"/> 影響無【理由】 <input checked="" type="checkbox"/> 影響有【その内容】																													
事務事業を廃止・休止した場合の影響の有無とその内容は?	施設が利用できなくなれば多くの人が不便になる。																														
<b>類似事業との統廃合・連携の可能性</b>	<input checked="" type="checkbox"/> 他に手段がある(具体的な手段、事務事業) <input checked="" type="checkbox"/> 台明寺溪谷公園管理委託事業 <input type="checkbox"/> 統廃合できる <input type="checkbox"/> 連携できる <input checked="" type="checkbox"/> 統廃合できない <input type="checkbox"/> 連携できない																														
目的を達成するには、この事務事業以外他に方法はないか?類似事業との統廃合ができるか?類似事業との連携を図ることにより、成果の向上が期待できるか?	地理が離れており、統廃合はできない。 <input type="checkbox"/> 他に手段がない【理由】																														
効率性 評価	<b>事業費の削減余地</b>	<input type="checkbox"/> 削減余地がある【理由】 <input checked="" type="checkbox"/> 削減余地がない【理由】																													
	成果を下げずに事業費を削減できないか?(仕様や工法の適正化、住民の協力など)	委託先は自主財源が乏しく委託料のみで運営しており、削減余地がない。																													
<b>人件費(延べ業務時間)の削減余地</b>	<input type="checkbox"/> 削減余地がある【理由】 <input checked="" type="checkbox"/> 削減余地がない【理由】																														
やり方を工夫して延べ業務時間を削減できないか?成果を下げずにより正職員以外の職員や委託でできないか?(アウトソーシングなど)	委託料の支払は最低限の事務で行っており、削減の余地がない。維持管理に関しては霧島市しみん学習支援公社へ委託しているため、人件費の削減余地はない。																														
公平性 評価	<b>受益機会・費用負担の適正化余地</b>	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある【理由】 <input checked="" type="checkbox"/> 公平・公正である【理由】																													
	事業の内容が一部の受益者に偏っていて不公平ではないか?受益者負担が公平・公正になっているか?	施設利用者からは利用料は徴収しておらず、公平・公正である。																													
<b>3 評価結果の総括と今後の方向性(次年度計画と予算への反映)(PLAN) 【担当課長記入欄】</b>																															
(1) 1次評価者としての評価結果		(2) 全体総括(振り返り、反省点)																													
目的妥当性	<input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり	事業の手法等に問題はないが、施設が老朽化しているため改修の必要がある。																													
有効性	<input type="checkbox"/> 適切 <input checked="" type="checkbox"/> 見直し余地あり																														
効率性	<input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり																														
公平性	<input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり																														
(3) 今後の事業の方向性(改革改善案)・・・複数選択可		<input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 休止 <input checked="" type="checkbox"/> 事業のやり方改善(有効性改善) <input type="checkbox"/> 現状維持 <input type="checkbox"/> 目的再設定 <input type="checkbox"/> 事業のやり方改善(効率性改善) (従来通りで特に改革改善をしない) <input type="checkbox"/> 事業統廃合・連携 <input type="checkbox"/> 事業のやり方改善(公平性改善)		(4) 改革・改善による期待成果(廃止・休止の場合は記入不要)																											
<改革改善案> 施設の改修。				<table border="1"> <tr> <td colspan="2" rowspan="2"></td> <td colspan="3">コスト</td> </tr> <tr> <td>削減</td> <td>維持</td> <td>増加</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">成果</td> <td>向上</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>維持</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td rowspan="2">低下</td> <td>維持</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>低下</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </table>				コスト			削減	維持	増加	成果	向上				維持				低下	維持				低下			
		コスト																													
		削減	維持	増加																											
成果	向上																														
	維持																														
低下	維持																														
	低下																														
(5) 改革、改善を実現する上で解決すべき課題(壁)とその解決策 施設の改修。																															

No.	630-420	事務事業名	台明寺溪谷公園管理運営事業			所 属 部	商工観光部
			所 属 課	観光課			課 長 名
政策体系	政策名	0 3	活力ある産業のまちづくり			所 属 G ( 係 )	観光グループ
	施策名	0 3	観光業の振興			電 話 番 号	45-5111
	基本事業名	0 3	受け入れ体制の充実				
予算科目	会計	款	項	目	事業	事業名	法令
	一般	0 7	0 1	0 5	104090	施設管理費	霧島市台明寺溪谷公園の設置及び管理に関する根拠

事務事業の概要(具体的なやり方、手順、詳細。期間限定複数年度事業は全体像を記述)	事業期間
市は平成4年に、住民のレクリエーションと健康増進を図るため、国分地区の台明寺地区を流れる郡田川の両岸を整備し、トイレ・遊歩道・遊具を備えた台明寺溪谷公園を設置した。平成18年9月から霧島市しみん学習支援公社を指定管理者としている。	<input type="checkbox"/> 単年度のみ <input checked="" type="checkbox"/> 単年度繰返 ↳ ( H 4 年度 ~ ) <input type="checkbox"/> 期間限定複数年度 ↳ ( 年度 ~ 年度 )

1 現状把握の部(DO)

(1) 事務事業の目的と指標	
手段(主な活動)	活動指標(事務事業の活動量を表す指標)
20年度実績(20年度に行った主な活動)	名称
事務事業の概要と同様	単位
21年度計画(21年度に計画している主な活動)	ア 維持管理回数
前年度と同様	回
対象(誰、何を対象にしているのか)*人や自然資源等	イ
台明寺溪谷公園施設	ウ
意図(この事業によって、対象をどう変えるのか)	対象指標(対象の大きさを表す指標)
維持管理をすることにより、快適に利用できるようになる。	名称
結果(どんな結果に結び付けるのか)	単位
来訪者をもてなす受け皿ができる。	ア 施設数
	件
	イ
	ウ
	成果指標(対象における意図の達成度を表す指標)
	名称
	単位
	ア 苦情件数
	件
	イ
	ウ
	上位成果指標(結果の達成度を表す指標)
	名称
	単位
	ア 地域住民・観光業者のもてなしを感じた旅行者の割合
	%
	イ もう一度行ってみたい温泉地ランキング
	位
	ウ

(2) 総事業費・指標等の推移		単位	18年度(実績)	19年度(実績)	20年度(実績)	21年度(見込)			
投入量	事業費	財源内訳	国庫支出金	千円					
		都道府県支出金	千円						
		地方債	千円						
		その他	千円						
		一般財源	千円	6,230	6,115	5,463	4,705		
		事業費計(A)	千円	6,230	6,115	5,463	4,705		
活動指標	ア	回	300	300	300	300			
	イ								
	ウ								
対象指標	ア	件	1	1	1	1			
	イ								
	ウ								
成果指標	ア	件	0	0	0	0			
	イ								
	ウ								
上位成果指標	ア	%	未把握	50	55	60			
	イ	位	24	24	18	15			
	ウ								

(3) 事務事業の環境変化・住民意見等	
この事務事業を開始したきっかけは何か?いつ頃どんな経緯で開始されたのか?	
平成4年に住民のレクリエーションと健康増進を図るため設置された台明寺溪谷公園の維持管理をするために開始された。	
事務事業を取り巻く状況(対象者や根拠法令等)はどう変化しているか、開始時期あるいは5年前と比べてどう変わったのか?	
特に変化なし。	
この事務事業に対して関係者(住民、議会、事業対象者、利害関係者等)からどんな意見や要望が寄せられているか?	
特になし。	

事務事業名	台明寺溪谷公園管理運営事業	所属部	商工観光部	所属課	観光課																					
<b>2 評価の部(SEE) * 原則は事後評価、ただし複数年度事業は途中評価</b>																										
目的 妥当性 評価	<b>政策体系との整合性</b>	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある【理由】 ↘ <input checked="" type="checkbox"/> 結びついている【理由】 ↘ この事務事業の目的は市(町)の政策体系に結びつくか? 意図することが結果に結びついているか? 台明寺溪谷公園を指定管理者である霧島市しみん学習支援公社に委託し維持管理することは、来訪者をもてなす受け皿が出来ることにつながり結びついている。																								
	<b>公共関与の妥当性</b>	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある【理由】 ↘ <input checked="" type="checkbox"/> 妥当である【理由】 ↘ なぜこの事業を市(町)が行わなければならないのか? 税金を投入して、達成する目的か? 観光施設の整備を図ることは市の責務であり妥当である。																								
	<b>対象・意図の妥当性</b>	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある【理由】 ↘ <input checked="" type="checkbox"/> 適切である【理由】 ↘ 対象を限定・追加すべきか? 意図を限定・拡充すべきか? 対象は維持管理を行う施設であり妥当である。意図は維持管理を適切に行えば来訪者が快適に利用することができ、来訪者をもてなす受け皿が出来ることにつながるため妥当である。																								
有効性 評価	<b>成果の向上余地</b>	<input checked="" type="checkbox"/> 向上余地がある【理由】 ↘ <input type="checkbox"/> 向上余地がない【理由】 ↘ 成果を向上させる余地はあるか? 成果の現状水準とあるべき水準との差異はないか? 何が原因で成果向上が期待できないのか? 老朽化した施設を改修すれば来訪者をもっと快適に楽しむことできる。																								
	<b>廃止・休止の成果への影響</b>	<input type="checkbox"/> 影響無【理由】 ↘ <input checked="" type="checkbox"/> 影響有【その内容】 ↘ 事務事業を廃止・休止した場合の影響の有無とその内容は? 施設が利用できなくなれば多くの人が不便になる。																								
	<b>類似事業との統廃合・連携の可能性</b>	<input checked="" type="checkbox"/> 他に手段がある(具体的な手段、事務事業) ↘ 霧島市国分ハイテク展望台管理委託事業 <input type="checkbox"/> 統廃合できる ↘ <input type="checkbox"/> 連携できる ↘ <input checked="" type="checkbox"/> 統廃合できない ↘ <input type="checkbox"/> 連携できない ↘ 目的を達成するには、この事務事業以外他に方法はないか? 類似事業との統廃合ができるか? 類似事業との連携を図ることにより、成果の向上が期待できるか? 地理が離れており、統合はできない。 <input type="checkbox"/> 他に手段がない【理由】 ↘																								
効率性 評価	<b>事業費の削減余地</b>	<input type="checkbox"/> 削減余地がある【理由】 ↘ <input checked="" type="checkbox"/> 削減余地がない【理由】 ↘ 成果を下げずに事業費を削減できないか? (仕様や工法の適正化、住民の協力など) 委託先は自主財源が乏しく委託料のみで運営しており、削減余地がない。																								
	<b>人件費(延べ業務時間)の削減余地</b>	<input type="checkbox"/> 削減余地がある【理由】 ↘ <input checked="" type="checkbox"/> 削減余地がない【理由】 ↘ やり方を工夫して延べ業務時間を削減できないか? 成果を下げずに正職員以外の職員や委託でできないか? (アウトソーシングなど) 委託料の支払は最低限の事務で行っており、削減の余地がない。維持管理に関しては霧島市しみん学習支援公社へ委託しているため、人件費の削減余地はない。																								
公平性 評価	<b>受益機会・費用負担の適正化余地</b>	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある【理由】 ↘ <input checked="" type="checkbox"/> 公平・公正である【理由】 ↘ 事業の内容が一部の受益者に偏っていて不公平ではないか? 受益者負担が公平・公正になっているか? 施設利用者からは利用料は徴収しておらず、公平・公正である。																								
<b>3 評価結果の総括と今後の方向性(次年度計画と予算への反映)(PLAN) 【担当課長記入欄】</b>																										
(1) 1次評価者としての評価結果		(2) 全体総括(振り返り、反省点)																								
目的妥当性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり 有効性 <input type="checkbox"/> 適切 <input checked="" type="checkbox"/> 見直し余地あり 効率性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり 公平性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり		事業の手法等に問題はないが、施設が老朽化しているため改修の必要がある。																								
(3) 今後の事業の方向性(改革改善案)・・・複数選択可			(4) 改革・改善による期待成果(廃止・休止の場合は記入不要)																							
<input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 休止 <input checked="" type="checkbox"/> 事業のやり方改善(有効性改善) <input type="checkbox"/> 現状維持 <input type="checkbox"/> 目的再設定 <input type="checkbox"/> 事業のやり方改善(効率性改善) (従来通りで特に改革改善をしない) <input type="checkbox"/> 事業統廃合・連携 <input type="checkbox"/> 事業のやり方改善(公平性改善)			<table border="1"> <tr> <td colspan="2" rowspan="2"></td> <td colspan="3">コスト</td> </tr> <tr> <td>削減</td> <td>維持</td> <td>増加</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">成果</td> <td>向上</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>維持</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td></td> <td>低下</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </table>				コスト			削減	維持	増加	成果	向上				維持					低下			
		コスト																								
		削減	維持	増加																						
成果	向上																									
	維持																									
	低下																									
(5) 改革、改善を実現する上で解決すべき課題(壁)とその解決策 施設の改修。																										



No.	630-430	事務事業名	霧島高原国民休養地管理運営事業				所属部	商工観光部
							所属課	観光課
政策体系	政策名	03	活力のある産業のまちづくり				課長名	横手 航太郎
	施策名	03	観光業の振興				所属G(係)	観光グループ
	基本事業名	03	受け入れ体制の充実				電話番号	45-5111
予算科目	会計	款	項	目	事業	事業名	霧島高原国民休養地管理規則	
	一般	07	01	05	104090	施設管理費		
							法令根拠	

事務事業の概要(具体的なやり方、手順、詳細。期間限定複数年度事業は全体像を記述)							事業期間	
昭和46年3月より昭和48年3月まで国民保養センターの整備計画を作成し、厚生省の認可を得て整備され、開設されたコテージ、温泉施設、キャンプ場などの観光施設を(株)福地建設に指定管理者として管理運営させている。 ・入村料:大人200円、子供150円 ・コテージ(8棟)の宿泊料は15,290円~18,350円/1棟である。 ・温泉入浴料:大人200円、子供(小学生以下)100円							<input type="checkbox"/> 単年度のみ <input checked="" type="checkbox"/> 単年度繰返 ↳ (S 46年度~) <input type="checkbox"/> 期間限定複数年度 ↳ (      年度~      年度)	

1 現状把握の部(DO)

(1) 事務事業の目的と指標		活動指標(事務事業の活動量を表す指標)	
手段(主な活動)		名称	単位
20年度実績(20年度に行った主な活動)	事務事業の概要と同様	ア 施設開館日数	日
21年度計画(21年度に計画している主な活動)	前年度と同様	イ	
21年度計画(21年度に計画している主な活動)	前年度と同様	ウ	
対象(誰、何を対象にしているのか) *人や自然資源等	国民休養地利用者	対象指標(対象の大きさを表す指標)	
		名称	単位
		ア 国民休養地利用者数	人
		イ	
		ウ	
意図(この事業によって、対象をどう変えるのか)	施設を気持ちよく使用できる状態になる。	成果指標(対象における意図の達成度を表す指標)	
		名称	単位
		ア 苦情件数	件
		イ	
		ウ	
結果(どんな結果に結び付けるのか)	来訪者をもてなす受け皿ができる。	上位成果指標(結果の達成度を表す指標)	
		名称	単位
		ア 地域住民・観光業者のもてなしを感じた旅行者の割合	%
		イ もう一度行ってみたい温泉地ランキング	位
		ウ	

(2) 総事業費・指標等の推移		単位	18年度(実績)	19年度(実績)	20年度(実績)	21年度(見込)		
投入量	事業費	財源内訳	国庫支出金	千円				
		都道府県支出金	千円					
		地方債	千円					
		その他	千円					
		一般財源	千円	793	107	0	0	
		事業費計(A)	千円	793	107	0	0	
活動指標	ア 日	313	313	313	313			
対象指標	ア 人	3,735	4,872	5,076	5,100			
成果指標	ア 件	12	15	15	0			
上位成果指標	ア %	未把握	50	55	60			
	イ 位	24	24	23	23			

(3) 事務事業の環境変化・住民意見等	
この事務事業を開始したきっかけは何か?いつ頃どんな経緯で開始されたのか?	
昭和46年3月より昭和48年3月まで国民保養センターの整備計画を作成し、厚生省の認可を得事業開始。良好な自然環境をいかし、休憩施設、キャンプ施設を提供	
事務事業を取り巻く状況(対象者や根拠法令等)はどう変化しているか、開始時期あるいは5年前と比べてどう変わったのか?	
当地は、霧島高原の名にふさわしい良好な環境に恵まれており、年々、施設の充実(コテージ、温泉施設、キャンプ場の拡大)を図ってきたほか、周辺にも霧島国際音楽ホール、県の青少年センター等が建設され、益々、市民、観光客の憩いの場として脚光を浴びつつある。	
この事務事業に対して関係者(住民、議会、事業対象者、利害関係者等)からどんな意見や要望が寄せられているか?	
利用しやすい環境づくりの構築	

事務事業名	霧島高原国民休養地管理運営事業	所属部	商工観光部	所属課	観光課
-------	-----------------	-----	-------	-----	-----

2 評価の部(SEE) * 原則は事後評価、ただし複数年度事業は途中評価					
目的 妥当性 評価	政策体系との整合性	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある【理由】 ↷	<input checked="" type="checkbox"/> 結びついている【理由】 ↷	この事務事業の目的は市(町)の政策体系に結びつか? 意図することが結果に結びついているか?	
	公共関与の妥当性	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある【理由】 ↷	<input checked="" type="checkbox"/> 妥当である【理由】 ↷	市の重要な観光施設である国民休養地を指定管理者に委託し管理することは来訪者をもてなす受け皿ができることに繋がり妥当である。	
	対象・意図の妥当性	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある【理由】 ↷	<input checked="" type="checkbox"/> 適切である【理由】 ↷	対象は来訪者をもてなす受け皿である施設であり妥当である。意図は施設を気持ちよく使用することができる状態になるので来訪者をもてなす受け皿ができることに繋がり妥当である。	
有効性 評価	成果の向上余地	<input type="checkbox"/> 向上余地がある【理由】 ↷	<input checked="" type="checkbox"/> 向上余地がない【理由】 ↷	既に指定管理者に委託し民間のノウハウによる管理運営がなされているところであり、向上の余地はない。	
	廃止・休止の成果への影響	<input type="checkbox"/> 影響無【理由】 ↷	<input checked="" type="checkbox"/> 影響有【その内容】 ↷	来訪者をもてなす受け皿がなくなり、観光業者に多大な影響を及ぼす。	
	類似事業との統廃合・連携の可能性	<input checked="" type="checkbox"/> 他に手段がある(具体的な手段, 事務事業) ↳ 黒石岳キャンプ場、丸岡公園キャンプ場、国分キャンプ海水浴場	<input type="checkbox"/> 統廃合できる ↷	<input type="checkbox"/> 連携できる ↷	<input checked="" type="checkbox"/> 統廃合できない ↷
効率性 評価	事業費の削減余地	<input type="checkbox"/> 削減余地がある【理由】 ↷	<input checked="" type="checkbox"/> 削減余地がない【理由】 ↷	委託料はなく、必要最低限の修繕料のみであり、削減余地はない。	
	人件費(延べ業務時間)の削減余地	<input type="checkbox"/> 削減余地がある【理由】 ↷	<input checked="" type="checkbox"/> 削減余地がない【理由】 ↷	修繕料の支払い事務のみを行っているため、削減の余地がない。	
公平性 評価	受益機会・費用負担の適正化余地	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある【理由】 ↷	<input checked="" type="checkbox"/> 公平・公正である【理由】 ↷	利用者から徴収した施設使用料等は指定管理者の収入となり、施設の改修や維持管理に使われるので公平・公正である。	

3 評価結果の総括と今後の方向性(次年度計画と予算への反映)(PLAN) 【担当課長記入欄】

(1) 1次評価者としての評価結果		(2) 全体総括(振り返り、反省点)																							
目的妥当性	<input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり	事業の手法に問題はない。																							
有効性	<input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり																								
効率性	<input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり																								
公平性	<input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり																								
(3) 今後の事業の方向性(改革改善案)・・・複数選択可		(4) 改革・改善による期待成果(廃止・休止の場合は記入不要)																							
<input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 休止 <input type="checkbox"/> 事業のやり方改善(有効性改善) <input type="checkbox"/> 目的再設定 <input type="checkbox"/> 事業のやり方改善(効率性改善) <input checked="" type="checkbox"/> 事業統廃合・連携 <input type="checkbox"/> 事業のやり方改善(公平性改善)		<input checked="" type="checkbox"/> 現状維持 (従来通りで特に改革改善をしない)																							
< 改革改善案 >		<table border="1"> <tr> <td colspan="2" rowspan="2"></td> <td colspan="3">コスト</td> </tr> <tr> <td>削減</td> <td>維持</td> <td>増加</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">成果</td> <td>向上</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>維持</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td></td> <td>低下</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </table>				コスト			削減	維持	増加	成果	向上				維持					低下			
		コスト																							
		削減	維持	増加																					
成果	向上																								
	維持																								
	低下																								

(5) 改革、改善を実現する上で解決すべき課題(壁)とその解決策

No.	630-440	事務事業名	市乗馬施設管理運営事業			所 属 部	商工観光部
						所 属 課	観光課
政策体系	政策名	0 3	活力ある産業のまちづくり			課 長 名	横手 航太郎
	施策名	0 3	観光業の振興			所属G(係)	観光グループ
	基本事業名	0 3	受け入れ体制の充実			電 話 番 号	45-5111

予算科目	会計	款	項	目	事業	事業名	法令根拠	霧島高原国民休養地乗馬施設の委託管理運営規則
	一般	0 7	0 1	0 5	104085	指定管理者経費		

<b>事務事業の概要(具体的なやり方、手順、詳細。期間限定複数年度事業は全体像を記述)</b> 平成3年に野外レクリエーション施設を総合的に整備し余暇の健全な利用を図り、もって国民の福祉の向上及び健康の増進に寄与するため霧島高原乗馬クラブ施設を設置した。平成18年9月より、乗馬クラブの管理運営は指定管理者である霧島愛馬会が行っている。 定休日:年末年始、毎週月曜日 営業時間:9:00 ~ 19:00 乗馬料金:引馬1,000円 初心者コース10分1,500円 20分3,000円		<b>事業期間</b> <input type="checkbox"/> 単年度のみ <input type="checkbox"/> 単年度繰返 ( H 3 年度 ~ ) <input type="checkbox"/> 期間限定複数年度 ( 年度 ~ 年度 )
---	--	---

1 現状把握の部(DO)

<b>(1) 事務事業の目的と指標</b> 手段(主な活動) 20年度実績(20年度に行った主な活動) 乗馬クラブの管理運営  21年度計画(21年度に計画している主な活動) 前年度と同様  対象(誰、何を対象にしているのか) *人や自然資源等 市民 乗馬愛好者  意図(この事業によって、対象をどう変えるのか) 安心して施設を利用できる。  結果(どんな結果に結び付けるのか) 来訪者をもてなす受け皿ができる。		<b>活動指標(事務事業の活動量を表す指標)</b> <table border="1"> <tr><th>名称</th><th>単位</th></tr> <tr><td>ア 営業日数</td><td>日</td></tr> <tr><td>イ</td><td></td></tr> <tr><td>ウ</td><td></td></tr> </table> <b>対象指標(対象の大きさを表す指標)</b> <table border="1"> <tr><th>名称</th><th>単位</th></tr> <tr><td>ア 人口</td><td>人</td></tr> <tr><td>イ 乗馬愛好者(利用者)</td><td>人</td></tr> <tr><td>ウ</td><td></td></tr> </table> <b>成果指標(対象における意図の達成度を表す指標)</b> <table border="1"> <tr><th>名称</th><th>単位</th></tr> <tr><td>ア 苦情件数</td><td>件</td></tr> <tr><td>イ</td><td></td></tr> <tr><td>ウ</td><td></td></tr> </table> <b>上位成果指標(結果の達成度を表す指標)</b> <table border="1"> <tr><th>名称</th><th>単位</th></tr> <tr><td>ア 地域住民・観光業者のもてなしを感じた旅行者の割合</td><td>%</td></tr> <tr><td>イ もう一度行ってみたい温泉地ランキング</td><td>位</td></tr> <tr><td>ウ</td><td></td></tr> </table>	名称	単位	ア 営業日数	日	イ		ウ		名称	単位	ア 人口	人	イ 乗馬愛好者(利用者)	人	ウ		名称	単位	ア 苦情件数	件	イ		ウ		名称	単位	ア 地域住民・観光業者のもてなしを感じた旅行者の割合	%	イ もう一度行ってみたい温泉地ランキング	位	ウ	
名称	単位																																	
ア 営業日数	日																																	
イ																																		
ウ																																		
名称	単位																																	
ア 人口	人																																	
イ 乗馬愛好者(利用者)	人																																	
ウ																																		
名称	単位																																	
ア 苦情件数	件																																	
イ																																		
ウ																																		
名称	単位																																	
ア 地域住民・観光業者のもてなしを感じた旅行者の割合	%																																	
イ もう一度行ってみたい温泉地ランキング	位																																	
ウ																																		

(2) 総事業費・指標等の推移		単位	18年度(実績)	19年度(実績)	20年度(実績)	21年度(見込)			
投入量	事業費	国庫支出金	千円						
		都道府県支出金	千円						
		地方債	千円						
		その他	千円						
		一般財源	千円	5,330	1,500	1,100	0		
		事業費計(A)	千円	5,330	1,500	1,100	0		
活動指標		ア 日	313	313	313	313			
対象指標		ア 人	127,615	127,773	128,128	128,383			
		イ 人	3,735	4,872	5,076	5,200			
成果指標		ア 件	2	1	1				
上位成果指標		ア %	未把握	50	55	60			
		イ 位	24	24	23	23			

<b>(3) 事務事業の環境変化・住民意見等</b> この事務事業を開始したきっかけは何か?いつ頃どんな経緯で開始されたのか? 平成3年開設。町より委託を受け大霧島観光協会が運営していた。	
事務事業を取り巻く状況(対象者や根拠法令等)はどう変化しているか、開始時期あるいは5年前と比べてどう変わったのか? 平成18年9月から指定管理者制度を導入。	
この事務事業に対して関係者(住民、議会、事業対象者、利害関係者等)からどんな意見や要望が寄せられているか? 特になし。	

事務事業名	市乗馬施設管理運営事業	所属部	商工観光部	所属課	観光課
-------	-------------	-----	-------	-----	-----

2 評価の部 (SEE) \* 原則は事後評価、ただし複数年度事業は途中評価

目的 妥当性 評価	政策体系との整合性	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある【理由】 ↘ <input checked="" type="checkbox"/> 結びついている【理由】 ↘
	この事務事業の目的は市(町)の政策体系に結びつくか? 意図することが結果に結びついているか?	霧島高原乗馬クラブを、指定管理者である霧島愛馬会に委託し、維持管理することは、来訪者をもてなす受け皿ができることにつながり結びついている。
	公共関与の妥当性	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある【理由】 ↘ <input checked="" type="checkbox"/> 妥当である【理由】 ↘
有効性 評価	なぜこの事業を市(町)が行わなければならないのか? 税金を投入して、達成する目的か?	観光施設の整備を図ることは市の責務であり妥当である。
	対象・意図の妥当性	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある【理由】 ↘ <input checked="" type="checkbox"/> 適切である【理由】 ↘
	対象を限定・追加すべきか? 意図を限定・拡充すべきか?	対象は維持管理を行う管理者と施設を利用する市民であり妥当である。意図は維持管理を円滑に行えば来訪者が安心して利用することができるので妥当である。
効率性 評価	成果の向上余地	<input type="checkbox"/> 向上余地がある【理由】 ↘ <input checked="" type="checkbox"/> 向上余地がない【理由】 ↘
	成果を向上させる余地はあるか? 成果の現状水準とあるべき水準との差異はないか? 何が原因で成果向上が期待できないのか?	指定管理者制度を導入したことにより、民間のノウハウ等がいかにされ利用者も増え、施設の適切な管理がなされているおり成果の向上はない。
	廃止・休止の成果への影響	<input type="checkbox"/> 影響無【理由】 ↘ <input checked="" type="checkbox"/> 影響有【その内容】 ↘
公平性 評価	事務事業を廃止・休止した場合の影響の有無とその内容は?	廃止した場合、施設が荒廃し、利用者が減少する。
	類似事業との統廃合・連携の可能性	<input type="checkbox"/> 他に手段がある(具体的な手段、事務事業) <input checked="" type="checkbox"/> 統廃合できる ↘ <input type="checkbox"/> 連携できる ↘ <input type="checkbox"/> 統廃合できない ↘ <input type="checkbox"/> 連携できない ↘
	目的を達成するには、この事務事業以外他に方法はないか? 類似事業との統廃合ができるか? 類似事業との連携を図ることにより、成果の向上が期待できるか?	類似事業がない。 <input checked="" type="checkbox"/> 他に手段がない【理由】 ↘
公平性 評価	事業費の削減余地	<input type="checkbox"/> 削減余地がある【理由】 ↘ <input checked="" type="checkbox"/> 削減余地がない【理由】 ↘
	成果を下げずに事業費を削減できないか? (仕様や工法の適正化、住民の協力など)	指定管理者委託費は平成20年度110万円、平成21年度からは0円となる。、但し施設については老朽化が進んでいるので今後修繕等が発生する可能性がある。
	人件費(延べ業務時間)の削減余地	<input type="checkbox"/> 削減余地がある【理由】 ↘ <input checked="" type="checkbox"/> 削減余地がない【理由】 ↘
公平性 評価	やり方を工夫して延べ業務時間を削減できないか? 成果を下げずに正職員以外の職員や委託でできないか? (アウトソーシングなど)	委託料の支払いは最低限の事務であり、維持管理に関しては霧島愛馬会に委託をしているので、人件費の削減余地はない。
	受益機会・費用負担の適正化余地	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある【理由】 ↘ <input checked="" type="checkbox"/> 公平・公正である【理由】 ↘
公平性 評価	事業の内容が一部の受益者に偏っていて不公平ではないか? 受益者負担が公平・公正になっているか?	利用者から徴収した施設使用両党は指定管理者の収入となり、施設の改修や維持管理に使われるので、公平・公正である。

3 評価結果の総括と今後の方向性(次年度計画と予算への反映)(PLAN) 【担当課長記入欄】

(1) 1次評価者としての評価結果	(2) 全体総括(振り返り、反省点)
目的妥当性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり 有効性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり 効率性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり 公平性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり	事業の手法等問題ないが、施設が老朽化してきているので、改修が必要である。

(3) 今後の事業の方向性(改革改善案)・・・複数選択可	(4) 改革・改善による期待成果(廃止・休止の場合は記入不要)																		
<input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 休止 <input type="checkbox"/> 事業のやり方改善(有効性改善) <input checked="" type="checkbox"/> 現状維持 <input type="checkbox"/> 目的再設定 <input type="checkbox"/> 事業のやり方改善(効率性改善) (従来通りで特に改革改善をしない) <input type="checkbox"/> 事業統廃合・連携 <input type="checkbox"/> 事業のやり方改善(公平性改善) <改革改善案>	<table border="1" style="width: 100%;"> <tr> <td></td> <td colspan="3">コスト</td> </tr> <tr> <td></td> <td>削減</td> <td>維持</td> <td>増加</td> </tr> <tr> <td rowspan="3">成果</td> <td>向上</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>維持</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>低下</td> <td></td> <td></td> </tr> </table>		コスト				削減	維持	増加	成果	向上			維持			低下		
	コスト																		
	削減	維持	増加																
成果	向上																		
	維持																		
	低下																		

(5) 改革、改善を実現する上で解決すべき課題(壁)とその解決策

No.	630-450	事務事業名	小浜海水浴場管理運営事業				所 属 部	商工観光部
			所 属 課	観光課				
政策体系	政策名	0 3	活力のある産業のまちづくり				課 長 名	横手 航太郎
	施策名	0 3	観光業の振興				所 属 G ( 係 )	観光グループ
	基本事業名	0 3	受け入れ体制の充実				電 話 番 号	45-5111

予算科目	会計	款	項	目	事業	事業名	法令 霧島市小浜海水浴場休憩所の設置及び管理に 根拠 に関する条例同施行規則
	一般	0 7	0 1	0 4	103090	観光費	

事務事業の概要(具体的なやり方、手順、詳細。期間限定複数年度事業は全体像を記述)	事業期間
「海の日」から8月末日までの間、小浜海水浴場の休憩所の管理などを委託している。 委託先は小浜地区自治公民館である。	<input type="checkbox"/> 単年度のみ <input checked="" type="checkbox"/> 単年度繰返 ↳ ( S 30 年度 ~ ) <input type="checkbox"/> 期間限定複数年度 ↳ (      年度 ~      年度 )

1 現状把握の部 (DO)

(1) 事務事業の目的と指標		活動指標(事務事業の活動量を表す指標)	
手段(主な活動)		名称	
20年度実績(20年度に行った主な活動)		単位	
事務事業の概要と同様		ア	施設使用者数
			人
21年度計画(21年度に計画している主な活動)		イ	
前年度と同様		ウ	
対象(誰、何を対象にしているのか) * 人や自然資源等		対象指標(対象の大きさを表す指標)	
小浜海水浴場各施設		名称	
		単位	
		ア	施設会館日数
			日
		イ	施設数
			件
		ウ	
意図(この事業によって、対象をどう変えるのか)		成果指標(対象における意図の達成度を表す指標)	
維持管理をすることにより、快適に利用できるようになる。		名称	
		単位	
		ア	事故件数
			件
		イ	苦情件数
			件
		ウ	
結果(どんな結果に結び付けるのか)		上位成果指標(結果の達成度を表す指標)	
来訪者をもてなす受け皿ができる。		名称	
		単位	
		ア	地域住民・観光業者のもてなしを感じた旅行者の割合
			人
		イ	もう一度行ってみたい温泉地ランキング
			位
		ウ	

(2) 総事業費・指標等の推移		単位	18年度 (実績)	19年度 (実績)	20年度 (実績)	21年度 (見込)		
投入量	事業費	財源内訳	千円					
		国庫支出金	千円					
		都道府県支出金	千円					
		地方債	千円					
		その他	千円					
		一般財源	千円	800	800	800	800	
	事業費計 (A)	千円	800	800	800	800		
活動指標	ア	人	2,856	4,055	2,740	2,000		
	イ							
	ウ							
対象指標	ア	日	46	43	42	43		
	イ	件	1	1	1	1		
	ウ							
成果指標	ア	件	0	0	0	0		
	イ	件	1	0	0	0		
	ウ							
上位成果指標	ア	人	28	50	55	60		
	イ	位	24	24	23	23		
	ウ							

(3) 事務事業の環境変化・住民意見等
この事務事業を開始したきっかけは何か？いつ頃どんな経緯で開始されたのか？ S30年、海水浴客の安全を図るために、海水浴場に詳しい団体に委託した。
事務事業を取り巻く状況(対象者や根拠法令等)はどう変化しているか、開始時期あるいは5年前と比べてどう変わったのか？ 特に変化なし。
この事務事業に対して関係者(住民、議会、事業対象者、利害関係者等)からどんな意見や要望が寄せられているか？ 特になし。

事務事業名	小浜海水浴場管理運営事業	所属部	商工観光部	所属課	観光課																									
2 評価の部(SEE) * 原則は事後評価、ただし複数年度事業は途中評価																														
目的 妥当性 評価	政策体系との整合性	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある【理由】 <input checked="" type="checkbox"/> 結びついている【理由】																												
	この事務事業の目的は市(町)の政策体系に結びつくか? 意図することが結果に結びついているか?	小浜海水浴場を小浜地区自治公民館に委託し、維持管理することは、来訪者をもてなす受け皿ができることに繋がり結びついている。																												
	公共関与の妥当性	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある【理由】 <input checked="" type="checkbox"/> 妥当である【理由】																												
なぜこの事業を市(町)が行わなければならないのか? 税金を投入して、達成する目的か?	観光施設の整備を図ることは市の責務であり妥当である。																													
対象・意図の妥当性	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある【理由】 <input checked="" type="checkbox"/> 適切である【理由】																													
対象を限定・追加すべきか? 意図を限定・拡充すべきか?	対象は、維持管理を行う施設であり妥当である。意図は、維持管理を適切に行えば来訪者が快適に利用することができ、来訪者をもてなす受け皿ができることに繋がるので、妥当である。																													
有効性 評価	成果の向上余地	<input type="checkbox"/> 向上余地がある【理由】 <input checked="" type="checkbox"/> 向上余地がない【理由】																												
	成果を向上させる余地はあるか? 成果の現状水準とあるべき水準との差異はないか? 何が原因で成果向上が期待できないのか?	砂浜、施設、駐車場が狭く、また、周辺が住宅地であるためこれ以上の施設の拡張をすることができない。																												
	廃止・休止の成果への影響	<input type="checkbox"/> 影響無【理由】 <input checked="" type="checkbox"/> 影響有【その内容】																												
事務事業を廃止・休止した場合の影響の有無とその内容は?	施設が荒廃し、遊泳客の利便性及び安全性が損なわれる恐れがある。																													
類似事業との統廃合・連携の可能性	<input checked="" type="checkbox"/> 他に手段がある(具体的な手段、事務事業) <input checked="" type="checkbox"/> 国分キャンプ海水浴場運営委託事業 <input type="checkbox"/> 統廃合できる <input type="checkbox"/> 連携できる <input checked="" type="checkbox"/> 統廃合できない <input checked="" type="checkbox"/> 連携できない																													
目的を達成するには、この事務事業以外他に方法はないか? 類似事業との統廃合ができるか? 類似事業との連携を図ることにより、成果の向上が期待できるか?	地理的に離れており、統廃合はできない。  <input type="checkbox"/> 他に手段がない【理由】																													
効率性 評価	事業費の削減余地	<input type="checkbox"/> 削減余地がある【理由】 <input checked="" type="checkbox"/> 削減余地がない【理由】																												
	成果を下げずに事業費を削減できないか? (仕様や工法の適正化、住民の協力など)	委託先は自主財源に乏しく委託料のみの運営であり、削減余地はない。																												
人件費(延べ業務時間)の削減余地	<input type="checkbox"/> 削減余地がある【理由】 <input checked="" type="checkbox"/> 削減余地がない【理由】																													
やり方を工夫して延べ業務時間を削減できないか? 成果を下げずに正職員以外の職員や委託でできないか? (アウトソーシングなど)	委託料の支払い事務のみであり、削減余地はない。																													
公平性 評価	受益機会・費用負担の適正化余地	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある【理由】 <input checked="" type="checkbox"/> 公平・公正である【理由】																												
	事業の内容が一部の受益者に偏っていて不公平ではないか? 受益者負担が公平・公正になっているか?	海水浴場は市民、観光客に開放しており、委託先は当該海水浴場に詳しい地元自治公民館であるため公平・公正であると判断する。																												
3 評価結果の総括と今後の方向性(次年度計画と予算への反映)(PLAN) 【担当課長記入欄】																														
(1) 1次評価者としての評価結果		(2) 全体総括(振り返り、反省点)																												
目的妥当性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり 有効性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり 効率性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり 公平性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり		事業の手法に問題はない。																												
(3) 今後の事業の方向性(改革改善案)・・・複数選択可			<input checked="" type="checkbox"/> 現状維持 (従来通りで特に改革改善をしない)																											
<input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 休止 <input type="checkbox"/> 事業のやり方改善(有効性改善) <input type="checkbox"/> 目的再設定 <input type="checkbox"/> 事業のやり方改善(効率性改善) <input type="checkbox"/> 事業統廃合・連携 <input type="checkbox"/> 事業のやり方改善(公平性改善)			(4) 改革・改善による期待成果 (廃止・休止の場合は記入不要)																											
< 改革改善案 >			<table border="1"> <tr> <td colspan="2" rowspan="2"></td> <td colspan="3">コスト</td> </tr> <tr> <td>削減</td> <td>維持</td> <td>増加</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">成果</td> <td>向上</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>維持</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td rowspan="2">低下</td> <td>維持</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>低下</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </table>				コスト			削減	維持	増加	成果	向上				維持				低下	維持				低下			
		コスト																												
		削減	維持	増加																										
成果	向上																													
	維持																													
低下	維持																													
	低下																													
(5) 改革、改善を実現する上で解決すべき課題(壁)とその解決策																														

No.	630-460	事務事業名	隼人駅・日当山駅等照明施設維持管理事業				所 属 部	商工観光部
							所 属 課	観光課
政策体系	政策名	0 3	活力のある産業のまちづくり				課 長 名	横手 航太郎
	施策名	0 3	観光業の振興				所 属 G ( 係 )	観光グループ
	基本事業名	0 3	受け入れ体制の充実				電 話 番 号	45-5111

予算科目	会計	款	項	目	事業	事業名	法令 根拠	特になし
	一般	0 7	0 1	0 4	103090	観光費		

事務事業の概要(具体的なやり方、手順、詳細。期間限定複数年度事業は全体像を記述)	事業期間
夜でも観光客が安心して目的地まで到着できるよう、観光客等の誘導、防犯等のために観光地、アクセス道路等に照明灯を設置している。対象は神宮大橋街灯、隼人駅前水銀灯、宮内原地区トイレ照明、隼人町看板照明、日当山駅看板照明、しゅじゅどん橋街灯、日当山駅トイレ照明であり、電気代の支払い、メンテナンス等を行っている。	<input type="checkbox"/> 単年度のみ <input checked="" type="checkbox"/> 単年度繰返 ↳ ( S 年度 ~ ) <input type="checkbox"/> 期間限定複数年度 ↳ ( 年度 ~ 年度 )

1 現状把握の部(DO)

(1) 事務事業の目的と指標		活動指標(事務事業の活動量を表す指標)	
手段(主な活動)		名称	単位
20年度実績(20年度に行った主な活動)	事務事業の概要と同様	ア 修繕回数	回
21年度計画(21年度に計画している主な活動)	前年度と同様	イ	
対象(誰、何を対象にしているのか)*人や自然資源等	照明器具	ウ	
意図(この事業によって、対象をどう変えるのか)	維持される。	対象指標(対象の大きさを表す指標)	
結果(どんな結果に結び付けるのか)	来訪者をもてなす受け皿ができる。	ア 設置箇所数	箇所
		イ	
		ウ	
		成果指標(対象における意図の達成度を表す指標)	
		ア 苦情の件数	件
		イ	
		ウ	
		上位成果指標(結果の達成度を表す指標)	
		ア 地域住民・観光業者のもてなしを感じた旅行者の割合	%
		イ もう一度行ってみたい温泉地ランキング	位
		ウ	

(2) 総事業費・指標等の推移		単位	18年度 (実績)	19年度 (実績)	20年度 (実績)	21年度 (見込)		
投入量	事業費	財源内訳	千円					
		国庫支出金	千円					
		都道府県支出金	千円					
		地方債	千円					
		その他	千円					
		一般財源	千円	171	123	119	126	
	事業費計(A)	千円	171	123	119	126		
活動指標	ア 回		0	0	1	1		
	イ							
	ウ							
対象指標	ア 箇所		7	7	7	7		
	イ							
	ウ							
成果指標	ア 件		0	0	0	0		
	イ							
	ウ							
上位成果指標	ア %		28	50	55	60		
	イ 位		24	24	23	23		
	ウ							

(3) 事務事業の環境変化・住民意見等
この事務事業を開始したきっかけは何か?いつ頃どんな経緯で開始されたのか? 隼人駅前水銀灯、宮内原地区トイレ、隼人町看板、日当山駅看板、しゅじゅどん橋街灯、日当山駅トイレができた時。
事務事業を取り巻く状況(対象者や根拠法令等)はどう変化しているか、開始時期あるいは5年前と比べてどう変わったのか? 特に変化はない。
この事務事業に対して関係者(住民、議会、事業対象者、利害関係者等)からどんな意見や要望が寄せられているか? 特になし。

事務事業名	隼人駅・日当山駅等照明施設維持管理 事業	所属部	商工観光部	所属課	観光課																										
2 評価の部(SEE) *原則は事後評価、ただし複数年度事業は途中評価																															
目的 妥当性 評価	政策体系との整合性	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある【理由】 <input checked="" type="checkbox"/> 結びついている【理由】																													
	この事務事業の目的は市(町)の政策体系に結びつくか?意図することが結果に結びついているか?	隼人駅前の観光看板及び観光拠点各所に照明をつけることにより、夜間訪れた観光客に案内ができるので、来訪者をもてなす受け皿ができることに繋がりに結びついている。																													
	公共関与の妥当性	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある【理由】 <input checked="" type="checkbox"/> 妥当である【理由】																													
なぜこの事業を市(町)が行わなければならないのか?税金を投入して、達成する目的か?	観光施設(トイレ、案内板)の整備を図ることは行政の役割であり、本事業は妥当である。																														
対象・意図の妥当性	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある【理由】 <input checked="" type="checkbox"/> 適切である【理由】																														
対象を限定・追加すべきか?意図を限定・拡充すべきか?	観光客をもてなす受け皿である照明が対象であり妥当である。また、夜間訪れる観光客を案内するためには照明が維持できることが必要であり妥当である。																														
有効性 評価	成果の向上余地	<input type="checkbox"/> 向上余地がある【理由】 <input checked="" type="checkbox"/> 向上余地がない【理由】																													
	成果を向上させる余地はあるか?成果の現状水準とあるべき水準との差異はないか?何が原因で成果向上が期待できないのか?	照明を設置すべき観光看板及び観光拠点に設置しており、さらに設置する箇所はないため向上の余地はない。																													
	廃止・休止の成果への影響	<input type="checkbox"/> 影響無【理由】 <input checked="" type="checkbox"/> 影響有【その内容】																													
事務事業を廃止・休止した場合の影響の有無とその内容は?	観光看板及び観光拠点の灯が消えることは来訪者をもてなす受け皿がなくなり、観光地としてのイメージが損なわれ、また安全上も問題があり、影響は大である。																														
類似事業との統廃合・連携の可能性	<input type="checkbox"/> 他に手段がある(具体的な手段,事務事業) <input type="checkbox"/> 統廃合できる <input type="checkbox"/> 連携できる <input type="checkbox"/> 統廃合できない <input checked="" type="checkbox"/> 連携できない																														
目的を達成するには、この事務事業以外他に方法はないか?類似事業との統廃合ができるか?類似事業との連携を図ることにより、成果の向上が期待できるか?	他に類似事業はない。 <input checked="" type="checkbox"/> 他に手段がない【理由】																														
効率性 評価	事業費の削減余地	<input type="checkbox"/> 削減余地がある【理由】 <input checked="" type="checkbox"/> 削減余地がない【理由】																													
	成果を下げずに事業費を削減できないか?(仕様や工法の適正化、住民の協力など)	夜間みの自動点灯による電気使用量に応じた経費及び修繕料のみであり、削減余地はない。																													
人件費(延べ業務時間)の削減余地	<input type="checkbox"/> 削減余地がある【理由】 <input checked="" type="checkbox"/> 削減余地がない【理由】																														
やり方を工夫して延べ業務時間を削減できないか?成果を下げずに正職員以外の職員や委託でできないか?(アウトソーシングなど)	支払い事務のみであるため、削減余地はない。																														
公平性 評価	受益機会・費用負担の適正化余地	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある【理由】 <input checked="" type="checkbox"/> 公平・公正である【理由】																													
	事業の内容が一部の受益者に偏っていて不公平ではないか?受益者負担が公平・公正になっているか?	観光客向けの観光施設の照明であるばかりでなく、市民に対する防犯の目的も併せ持つので公平・公正である。																													
3 評価結果の総括と今後の方向性(次年度計画と予算への反映)(PLAN) 【担当課長記入欄】																															
(1) 1次評価者としての評価結果		(2) 全体総括(振り返り、反省点)																													
目的妥当性	<input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり	事業の手法に問題はない。																													
有効性	<input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり																														
効率性	<input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり																														
公平性	<input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり																														
(3) 今後の事業の方向性(改革改善案)・・・複数選択可		<input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 休止 <input checked="" type="checkbox"/> 事業のやり方改善(有効性改善) <input checked="" type="checkbox"/> 現状維持 <input type="checkbox"/> 目的再設定 <input type="checkbox"/> 事業のやり方改善(効率性改善) (従来通りで特に改革改善をしない) <input checked="" type="checkbox"/> 事業統廃合・連携 <input type="checkbox"/> 事業のやり方改善(公平性改善)		(4) 改革・改善による期待成果(廃止・休止の場合は記入不要)																											
<改革改善案>				<table border="1"> <tr> <td colspan="2" rowspan="2"></td> <td colspan="3">コスト</td> </tr> <tr> <td>削減</td> <td>維持</td> <td>増加</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">成果</td> <td>向上</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>維持</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td rowspan="2">低下</td> <td>維持</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>低下</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </table>				コスト			削減	維持	増加	成果	向上				維持				低下	維持				低下			
		コスト																													
		削減	維持	増加																											
成果	向上																														
	維持																														
低下	維持																														
	低下																														
(5) 改革、改善を実現する上で解決すべき課題(壁)とその解決策																															



No.	630-480	事務事業名	市内観光案内板(サイン)改修事業				所 属 部	商工観光部
							所 属 課	観光課
政策体系	政策名	03	活力ある産業のまちづくり				課 長 名	横手航太郎
	施策名	03	観光業の振興				所 属 G(係)	観光グループ
	基本事業名	03	受け入れ体制の充実				電 話 番 号	45-5111

予算科目	会計	款	項	目	事業	事業名	法令根拠	特になし
	一般	07	01	04	103090	観光費		

事務事業の概要(具体的なやり方、手順、詳細。期間限定複数年度事業は全体像を記述)		事業期間
平成17年11月に1市6町が合併し霧島市が誕生したことや老朽化に伴い市内の観光案内板(サイン)や観光地の表示改修を実施することで、適正な表示、観光客や地域住民の利便性の向上を図る。事業は、平成20年度で終了		<input type="checkbox"/> 単年度のみ <input type="checkbox"/> 単年度繰返 ( 年度 ~ ) <input checked="" type="checkbox"/> 期間限定複数年度 ( H 17 年度 ~ H 20 年度 )

1 現状把握の部(DO)

(1) 事務事業の目的と目標		活動指標(事務事業の活動量を表す指標)	
手段(主な活動)		名称	単位
20年度実績(20年度に行った主な活動)	事務事業の概要と同様	ア 改修枚数	枚
21年度計画(21年度に計画している主な活動)	H20年度で終了	イ	
対象(誰、何を対象にしているのか) *人や自然資源等	観光施設名称表示板、観光案内板	ウ	
意図(この事業によって、対象をどう変えるのか)	観光案内板(サイン)改修を行うことにより整備される。	対象指標(対象の大きさを表す指標)	
結果(どんな結果に結び付けるのか)	来訪者をもてなす受け皿ができる	ア 観光案内板枚数	枚
		イ 観光施設名称表示板数	枚
		ウ	
		成果指標(対象における意図の達成度を表す指標)	
		ア 苦情件数	件
		イ	
		ウ	
		上位成果指標(結果の達成度を表す指標)	
		ア 地域住民・観光業者のもてなしを感じた旅行者の割合	人
		イ もう一度行ってみたい温泉地ランキング	位
		ウ	

(2) 総事業費・指標等の推移		単位	18年度(実績)	19年度(実績)	20年度(実績)				
投入量	事業内訳	財源内訳	千円						
		国庫支出金	千円						
		都道府県支出金	千円						
		地方債	千円						
		その他	千円						
		一般財源	千円	250	250	123			
	事業費計(A)	千円	250	250	123				
活動指標	ア	枚	50	42	20				
	イ								
	ウ								
対象指標	ア	枚	5	10	2				
	イ	枚	3	2	6				
	ウ								
成果指標	ア	件	0	0	0				
	イ								
	ウ								
上位成果指標	ア	人	未把握	未把握	未把握				
	イ	位	24	24	31				
	ウ								

(3) 事務事業の環境変化・住民意見等	
この事務事業を開始したきっかけは何か?いつ頃どんな経緯で開始されたのか?	
平成17年11月に1市6町が合併し霧島市が誕生したことや老朽化に伴い市内の観光案内板や観光地のサイン改修の必要が生じた。	
事務事業を取り巻く状況(対象者や根拠法令等)はどう変化しているか、開始時期あるいは5年前と比べてどう変わったのか?	
特に変化なし	
この事務事業に対して関係者(住民、議会、事業対象者、利害関係者等)からどんな意見や要望が寄せられているか?	
特になし	

事務事業名	市内観光案内板(サイン)改修事業	所属部	商工観光部	所属課	観光課
<b>2 評価の部(SEE) *原則は事後評価、ただし複数年度事業は途中評価</b>					
目的 妥当性 評価	政策体系との整合性 この事務事業の目的は市(町)の政策体系に結びつくか?意図することが結果に結びついているか?	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある【理由】 ↷	<input checked="" type="checkbox"/> 結びついている【理由】 ↷	市内観光案内板(サイン)改修をする事で、来訪者をもてなす受け皿ができることに繋がり結びついている。	
	公共関与の妥当性 なぜこの事業を市(町)が行わなければならないのか?税金を投入して、達成する目的か?	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある【理由】 ↷	<input checked="" type="checkbox"/> 妥当である【理由】 ↷	観光施設の整備を行うことは市の役割であり妥当である。	
	対象・意図の妥当性 対象を限定・追加すべきか?意図を限定・拡充すべきか?	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある【理由】 ↷	<input checked="" type="checkbox"/> 適切である【理由】 ↷	対象は、観光施設名称表示板・観光案内板の改修を行う施設等であり妥当である。意図は、サイン改修を行うことで整備され来訪者をもてなす受け皿ができ妥当である。	
有効性 評価	成果の向上余地 成果を向上させる余地はあるか?成果の現状水準とあるべき水準との差異はないか?何が原因で成果向上が期待できないのか?	<input checked="" type="checkbox"/> 向上余地がある【理由】 ↷	<input type="checkbox"/> 向上余地がない【理由】 ↷	案内板の改修については、予算の都合上年次的に改修しているところであり成果向上の余地がない。	
	廃止・休止の成果への影響 事務事業を廃止・休止した場合の影響の有無とその内容は?	<input type="checkbox"/> 影響無【理由】 ↷	<input checked="" type="checkbox"/> 影響有【その内容】 ↷	市内の案内板を改修しないと霧島市の案内ができなくなり来訪者が混乱する。	
	類似事業との統廃合・連携の可能性 目的を達成するには、この事務事業以外他に方法はないか?類似事業との統廃合ができるか?類似事業との連携を図ることにより、成果の向上が期待できるか?	<input type="checkbox"/> 他に手段がある(具体的な手段,事務事業) ↷ <input type="checkbox"/> 統廃合できる ↷ <input type="checkbox"/> 連携できる ↷ <input type="checkbox"/> 統廃合できない ↷ <input type="checkbox"/> 連携できない ↷	他に類似事業がない。 <input checked="" type="checkbox"/> 他に手段がない【理由】 ↷		
効率性 評価	事業費の削減余地 成果を下げずに事業費を削減できないか?(仕様や工法の適正化、住民の協力など)	<input type="checkbox"/> 削減余地がある【理由】 ↷	<input checked="" type="checkbox"/> 削減余地がない【理由】 ↷	委託料は最低限なものなので削減余地はない。	
	人件費(延べ業務時間)の削減余地 やり方を工夫して延べ業務時間を削減できないか?成果を下げずにより正職員以外の職員や委託でできないか?(アウトソーシングなど)	<input type="checkbox"/> 削減余地がある【理由】 ↷	<input checked="" type="checkbox"/> 削減余地がない【理由】 ↷	委託料の交付事務は最低限なものなので削減余地はない。サイン改修についても業者へ委託してあり削減の余地はない。	
公平性 評価	受益機会・費用負担の適正化余地 事業の内容が一部の受益者に偏っていて不公平ではないか?受益者負担が公平・公正になっているか?	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある【理由】 ↷	<input checked="" type="checkbox"/> 公平・公正である【理由】 ↷	不特定多数の人が利用するので公平・公正である。	

<b>3 評価結果の総括と今後の方向性(次年度計画と予算への反映)(PLAN) [担当課長記入欄]</b>																										
(1) 1次評価者としての評価結果		(2) 全体総括(振り返り、反省点)																								
目的妥当性	<input checked="" type="checkbox"/> 適切	<input type="checkbox"/> 見直し余地あり	適正に遂行されており現状維持で良いと思われる。																							
有効性	<input checked="" type="checkbox"/> 適切	<input type="checkbox"/> 見直し余地あり																								
効率性	<input checked="" type="checkbox"/> 適切	<input type="checkbox"/> 見直し余地あり																								
公平性	<input checked="" type="checkbox"/> 適切	<input type="checkbox"/> 見直し余地あり																								
(3) 今後の事業の方向性(改革改善案)・・・複数選択可		<input checked="" type="checkbox"/> 現状維持 (従来通りで特に改革改善をしない)		(4) 改革・改善による期待成果 (廃止・休止の場合は記入不要)																						
<input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 休止 <input type="checkbox"/> 事業のやり方改善(有効性改善) <input type="checkbox"/> 目的再設定 <input type="checkbox"/> 事業のやり方改善(効率性改善) <input type="checkbox"/> 事業統廃合・連携 <input type="checkbox"/> 事業のやり方改善(公平性改善)				<table border="1"> <tr> <td colspan="2" rowspan="2"></td> <th colspan="3">コスト</th> </tr> <tr> <th>削減</th> <th>維持</th> <th>増加</th> </tr> <tr> <th rowspan="3">成果</th> <th>向上</th> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <th>維持</th> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <th>低下</th> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </table>				コスト			削減	維持	増加	成果	向上				維持				低下			
		コスト																								
		削減	維持	増加																						
成果	向上																									
	維持																									
	低下																									
(5) 改革、改善を実現する上で解決すべき課題(壁)とその解決策																										

No.	630-490	事務事業名	道の駅管理運営事業				所属部	商工観光部
							所属課	観光課
政策体系	政策名	03	活力のある産業のまちづくり				課長名	横手 航太郎
	施策名	03	観光業の振興				所属G(係)	観光グループ
	基本事業名	03	受け入れ体制の充実				電話番号	45-5111
予算科目	会計	款	項	目	事業	事業名	法令根拠 特になし	
	一般	07	01	04	103090	観光費		

事務事業の概要(具体的なやり方、手順、詳細。期間限定複数年度事業は全体像を記述)		事業期間
道の駅「霧島」は、霧島市霧島田口字霧島山2583-8に位置し、霧島屋久国立公園の霧島地区を周回している国道223号に面しており、標高500mほどの高台にある。駐車場、野外トイレ、遊歩道及び人口滝を有する道の駅の維持管理運営を委託している。 [委託先] 神話の里公園株式会社 [委託業務] 施設の維持管理及び施設周辺の清掃 九州・沖縄道の駅連絡会議・イベント等への参加 維持管理をする上で必要な会計事務		<input type="checkbox"/> 単年度のみ <input checked="" type="checkbox"/> 単年度繰返 ↳ (H 6年度～) <input type="checkbox"/> 期間限定複数年度 ↳ (     年度～     年度)

1 現状把握の部 (DO)

(1) 事務事業の目的と指標		活動指標(事務事業の活動量を表す指標)	
手段(主な活動)		名称	単位
20年度実績(20年度に行った主な活動)	事務事業の概要と同様	ア 開館日数	日
21年度計画(21年度に計画している主な活動)	前年度と同様	イ	
対象(誰、何を対象にしているのか) *人や自然資源等	道の駅利用者	ウ	
意図(この事業によって、対象をどう変えるのか)	整備・清掃が整った施設を安心して利用できる。	対象指標(対象の大きさを表す指標)	
結果(どんな結果に結び付けるのか)	来訪者をもてなす受け皿ができる。	名称	単位
		ア 道の駅利用者数	人
		イ	
		ウ	
		成果指標(対象における意図の達成度を表す指標)	
		名称	単位
		ア 道の駅に関する苦情件数	件
		イ	
		ウ	
		上位成果指標(結果の達成度を表す指標)	
		名称	単位
		ア 地域住民・観光業者のもてなしを感じた旅行者の割合	%
		イ もう一度行ってみたい温泉地ランキング	位
		ウ	

(2) 総事業費・指標等の推移		単位	18年度(実績)	19年度(実績)	20年度(実績)	21年度(見込)		
投入量	事業費	財源内訳	国庫支出金	千円				
		都道府県支出金	千円					
		地方債	千円					
		その他	千円					
		一般財源	千円	2,400	2,400	2,400	2,400	
		事業費計(A)	千円	2,400	2,400	2,400	2,400	
活動指標	ア 日		365	365	365	365		
	イ							
	ウ							
対象指標	ア 人		189,864	200,857	199,900	200,000		
	イ							
	ウ							
成果指標	ア 件							
	イ							
	ウ							
上位成果指標	ア %		未把握	50	50	55		
	イ 位		24	24	18	15		
	ウ							

(3) 事務事業の環境変化・住民意見等	
この事務事業を開始したきっかけは何か?いつ頃どんな経緯で開始されたのか? 国土交通省の補助事業により、国道223号の道の駅として平成6年4月26日に登録・指定された。	
事務事業を取り巻く状況(対象者や根拠法令等)はどう変化しているか、開始時期あるいは5年前と比べてどう変わったのか? 特に変化なし	
この事務事業に対して関係者(住民、議会、事業対象者、利害関係者等)からどんな意見や要望が寄せられているか? 特になし。	

事務事業名	道の駅管理運営事業	所属部	商工観光部	所属課	観光課
-------	-----------	-----	-------	-----	-----

2 評価の部(SEE) * 原則は事後評価、ただし複数年度事業は途中評価					
目的 妥当性 評価	政策体系との整合性	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある【理由】 ↷	<input checked="" type="checkbox"/> 結びついている【理由】 ↷	この事務事業の目的は市(町)の政策体系に結びつか? 意図することが結果に結びついているか?	
	公共関与の妥当性	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある【理由】 ↷	<input checked="" type="checkbox"/> 妥当である【理由】 ↷	なぜこの事業を市(町)が行わなければならないのか? 税金を投入して、達成する目的か?	
	対象・意図の妥当性	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある【理由】 ↷	<input checked="" type="checkbox"/> 適切である【理由】 ↷	対象を限定・追加すべきか? 意図を限定・拡充すべきか?	
有効性 評価	成果の向上余地	<input type="checkbox"/> 向上余地がある【理由】 ↷	<input checked="" type="checkbox"/> 向上余地がない【理由】 ↷	成果を向上させる余地はあるか? 成果の現状水準とあるべき水準との差異はないか? 何が原因で成果向上が期待できないのか?	
	廃止・休止の成果への影響	<input type="checkbox"/> 影響無【理由】 ↷	<input checked="" type="checkbox"/> 影響有【その内容】 ↷	事務事業を廃止・休止した場合の影響の有無とその内容は?	
	類似事業との統廃合・連携の可能性	<input checked="" type="checkbox"/> 他に手段がある(具体的な手段, 事務事業) ↳ 神話の里維持管理事業	<input checked="" type="checkbox"/> 統廃合できる ↷	<input type="checkbox"/> 連携できる ↷	<input type="checkbox"/> 統廃合できない ↷
効率性 評価	事業費の削減余地	<input type="checkbox"/> 削減余地がある【理由】 ↷	<input checked="" type="checkbox"/> 削減余地がない【理由】 ↷	成果を下げずに事業費を削減できないか? (仕様や工法の適正化、住民の協力など)	
	人件費(延べ業務時間)の削減余地	<input type="checkbox"/> 削減余地がある【理由】 ↷	<input checked="" type="checkbox"/> 削減余地がない【理由】 ↷	やり方を工夫して延べ業務時間を削減できないか? 成果を下げずにより正職員以外の職員や委託でできないか? (アウトソーシングなど)	
公平性 評価	受益機会・費用負担の適正化余地	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある【理由】 ↷	<input checked="" type="checkbox"/> 公平・公正である【理由】 ↷	事業の内容が一部の受益者に偏っていて不公平ではないか? 受益者負担が公平・公正になっているか?	

3 評価結果の総括と今後の方向性(次年度計画と予算への反映)(PLAN) 【担当課長記入欄】

(1) 1次評価者としての評価結果	(2) 全体総括(振り返り、反省点)
目的妥当性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり 有効性 <input type="checkbox"/> 適切 <input checked="" type="checkbox"/> 見直し余地あり 効率性 <input type="checkbox"/> 適切 <input checked="" type="checkbox"/> 見直し余地あり 公平性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり	隣接する神話の里と一体となった施設管理を行えば、事業費は削減できる。

(3) 今後の事業の方向性(改革改善案)・・・複数選択可	(4) 改革・改善による期待成果(廃止・休止の場合は記入不要)																					
<input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 休止 <input type="checkbox"/> 事業のやり方改善(有効性改善) <input type="checkbox"/> 目的再設定 <input type="checkbox"/> 事業のやり方改善(効率性改善) <input type="checkbox"/> 事業統廃合・連携 <input type="checkbox"/> 事業のやり方改善(公平性改善)	<input checked="" type="checkbox"/> 現状維持 (従来通りで特に改革改善をしない)																					
<改革改善案> 道の駅を指定管理させるための条例整備	<table border="1" style="text-align: center;"> <tr> <td colspan="2" rowspan="2"></td> <td colspan="3">コスト</td> </tr> <tr> <td>削減</td> <td>維持</td> <td>増加</td> </tr> <tr> <td rowspan="3">成果</td> <td>向上</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>維持</td> <td></td> <td></td> <td>↗</td> </tr> <tr> <td>低下</td> <td></td> <td>↘</td> <td>↘</td> </tr> </table>			コスト			削減	維持	増加	成果	向上				維持			↗	低下		↘	↘
				コスト																		
		削減	維持	増加																		
成果	向上																					
	維持			↗																		
	低下		↘	↘																		

(5) 改革、改善を実現する上で解決すべき課題(壁)とその解決策  
道の駅の条例整備をおこなう。

政策体系	No.	630-500	事務事業名	霧島連山周遊バス運行事業	所 属 部	商工観光部
	政策名	0 3	活力のある産業のまちづくり		所 属 課	観光課
	施策名	0 3	観光業の振興		課 長 名	横手 航太郎
	基本事業名	0 3	受け入れ体制の充実		所 属 G ( 係 )	観光グループ
					電 話 番 号	45-5111

予算科目	会計	款	項	目	事業	事業名	法令 根拠	特になし
	一般	0 7	0 1	0 4	103090	観光費		

事務事業の概要(具体的なやり方、手順、詳細。期間限定複数年度事業は全体像を記述)	事業期間
平成17年より霧島からえびの高原行き交通アクセスがなく登山者が不便なため、毎週土日に霧島神宮から霧島神宮、高千穂河原を経由してえびの高原まで2往復バスを運行し、登山者の利便性を高める。但し5月は利用者が多い為、毎日運行している。【委託先】いわさきバスネットワーク(株) 【バス停】霧島神宮 霧島神宮 高千穂河原 新湯温泉 大浪池登山口 えびの高原(及びこの逆) 【料金】霧島神宮 霧島神宮 高千穂河原 新湯温泉 大浪池登山口 えびの高原 (240円) (430円) (600円) (660円) (740円)	<input type="checkbox"/> 単年度のみ <input checked="" type="checkbox"/> 単年度繰返 ↳ ( H 17 年度 ~ ) <input type="checkbox"/> 期間限定複数年度 ↳ ( 年度 ~ 年度 )

1 現状把握の部 (DO)

(1) 事務事業の目的と指標		活動指標(事務事業の活動量を表す指標)	
手段(主な活動)		名称	単位
20年度実績(20年度に行った主な活動)	事務事業の概要と同様	ア 延べ運行便数	便
21年度計画(21年度に計画している主な活動)	前年度と同様	イ 運行日数	日
対象(誰、何を対象にしているのか) * 人や自然資源等	バス利用者 <委託料交付先>いわさきバスネットワーク(株) <委託対象活動>霧島連山周遊バスの運営に関する経費	ウ	
意図(この事業によって、対象をどう変えるのか)	利用者(登山者、観光客)は霧島連山の縦走を車を気にせず、楽しむことができる。 委託料の交付を受けることにより運営が円滑に進められる。	対象指標(対象の大きさを表す指標)	
結果(どんな結果に結び付けるのか)	来訪者をもてなす受け皿ができる。	ア 利用者数	人
		イ	
		ウ	
		成果指標(対象における意図の達成度を表す指標)	
		ア 乗車率	%
		イ	
		ウ	
		上位成果指標(結果の達成度を表す指標)	
		ア 地域住民・観光業者のもてなしを感じた旅行者の割合	%
		イ もう一度行ってみたい温泉地ランキング	位
		ウ	

(2) 総事業費・指標等の推移		単位	18年度 (実績)	19年度 (実績)	20年度 (実績)	21年度 (見込)			
投入量	事業費	財源内訳	千円						
		国庫支出金	千円						
		都道府県支出金	千円						
		地方債	千円						
		その他	千円						
		一般財源	千円	423	88	129	400		
	事業費計(A)	千円	423	88	129	400			
活動指標	ア 便		512	512	504	500			
	イ 日		128	128	126	125			
	ウ								
対象指標	ア 人		2,584	4,121	4,133	4,500			
	イ								
	ウ								
成果指標	ア %		9.71	15.48	15.77	17.30			
	イ								
	ウ								
上位成果指標	ア %		未把握	未把握	未把握	60			
	イ 位		24	24	18	15			
	ウ								

(3) 事務事業の環境変化・住民意見等	
この事務事業を開始したきっかけは何か?いつ頃どんな経緯で開始されたのか? 平成17年より霧島からえびの高原行き交通アクセスがなく、登山者が不便であったために開始された。	
事務事業を取り巻く状況(対象者や根拠法令等)はどう変化しているか、開始時期あるいは5年前と比べてどう変わったのか? 運行開始とともに利用者が毎年増加傾向にある。	
この事務事業に対して関係者(住民、議会、事業対象者、利害関係者等)からどんな意見や要望が寄せられているか? 特になし。	

事務事業名	霧島連山周遊バス運行事業	所属部	商工観光部	所属課	観光課																									
<b>2 評価の部(SEE) * 原則は事後評価、ただし複数年度事業は途中評価</b>																														
目的 妥当性 評価	政策体系との整合性	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある【理由】 ↷ <input checked="" type="checkbox"/> 結びついている【理由】 ↷ この事務事業の目的は市(町)の政策体系に結びつくか? 意図することが結果に結びついているか? いわさきバスネットワーク㈱に運行委託し、霧島連山を周遊するバスを運行することは、来訪者をもてなす受け皿ができることに結びついている。																												
	公共関与の妥当性	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある【理由】 ↷ <input checked="" type="checkbox"/> 妥当である【理由】 ↷ なぜこの事業を市(町)が行わなければならないのか? 税金を投入して、達成する目的か? 市は、観光客を受入れる体制を整備する必要があるため妥当である。																												
	対象・意図の妥当性	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある【理由】 ↷ <input checked="" type="checkbox"/> 適切である【理由】 ↷ 対象を限定・追加すべきか? 意図を限定・拡充すべきか? 時代を問わず、登山客の受入れの条件として、アクセスの整備が挙げられているので、対象は妥当である。また、いわさきバスネットワーク㈱に委託して事業を行うことにより、来訪者をもてなす受け皿ができるので意図も妥当である。																												
有効性 評価	成果の向上余地	<input checked="" type="checkbox"/> 向上余地がある【理由】 ↷ <input type="checkbox"/> 向上余地がない【理由】 ↷ 成果を向上させる余地はあるか? 成果の現状水準とあるべき水準との差異はないか? 何が原因で成果向上が期待できないのか? 現在、いわさきバスネットワーク㈱では霧島神宮～えびの高原間を6往復しているが、今後、バス会社や利用者との協議や聞き取りを重ねていくことにより、新しい形態でも成果の向上余地はある。																												
	廃止・休止の成果への影響	<input type="checkbox"/> 影響無【理由】 ↷ <input checked="" type="checkbox"/> 影響有【その内容】 ↷ 事務事業を廃止・休止した場合の影響の有無とその内容は? 登山客の受入れの条件として、重要な施策の一部と考えるので事業を中止すれば、来訪者をもてなす受け皿が減り影響がある。																												
	類似事業との統廃合・連携の可能性	<input type="checkbox"/> 他に手段がある(具体的な手段、事務事業) <input checked="" type="checkbox"/> コミュニティーバス運営事業 <input type="checkbox"/> 統廃合できる ↷ <input type="checkbox"/> 連携できる ↷ <input checked="" type="checkbox"/> 統廃合できない ↷ <input checked="" type="checkbox"/> 連携できない ↷ 目的を達成するには、この事務事業以外他に方法はないか? 類似事業との統廃合ができるか? 類似事業との連携を図ることにより、成果の向上が期待できるか? 対象・意図が異なるために統廃合できない。 <input type="checkbox"/> 他に手段がない【理由】 ↷																												
効率性 評価	事業費の削減余地	<input checked="" type="checkbox"/> 削減余地がある【理由】 ↷ <input type="checkbox"/> 削減余地がない【理由】 ↷ 成果を下げずに事業費を削減できないか? (仕様や工法の適正化、住民の協力など) 周辺の観光施設が整備され、受入れ態勢や旅行エージェントとの繋がりができれば、路線バス事業への転換等が考えられ、事業費の削減が図られる。																												
	人件費(延べ業務時間)の削減余地	<input type="checkbox"/> 削減余地がある【理由】 ↷ <input checked="" type="checkbox"/> 削減余地がない【理由】 ↷ やり方を工夫して延べ業務時間を削減できないか? 成果を下げずにより正職員以外の職員や委託でできないか? (アウトソーシングなど) 委託料の交付事務のみであるので削減の余地はない。																												
公平性 評価	受益機会・費用負担の適正化余地	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある【理由】 ↷ <input checked="" type="checkbox"/> 公平・公正である【理由】 ↷ 事業の内容が一部の受益者に偏っていて不公平ではないか? 受益者負担が公平・公正になっているか? 霧島連山は、本市の主要な観光資源に位置づけられており、登山客が増加すれば、市全体に波及効果が期待でき、公平・公正であると判断する。																												
<b>3 評価結果の総括と今後の方向性(次年度計画と予算への反映)(PLAN) 【担当課長記入欄】</b>																														
(1) 1次評価者としての評価結果		(2) 全体総括(振り返り、反省点)																												
目的妥当性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり 有効性 <input type="checkbox"/> 適切 <input checked="" type="checkbox"/> 見直し余地あり 効率性 <input type="checkbox"/> 適切 <input checked="" type="checkbox"/> 見直し余地あり 公平性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり		霧島市単独の委託契約事業であるので、近隣市町も含めた広域的な運行業務も視野に入れ、コストの低減に努めるのも一案か。																												
(3) 今後の事業の方向性(改革改善案)・・・複数選択可			(4) 改革・改善による期待成果(廃止・休止の場合は記入不要)																											
<input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 休止 <input checked="" type="checkbox"/> 事業のやり方改善(有効性改善) <input type="checkbox"/> 現状維持 <input type="checkbox"/> 目的再設定 <input checked="" type="checkbox"/> 事業のやり方改善(効率性改善) (従来通りで特に改革改善をしない) <input type="checkbox"/> 事業統廃合・連携 <input type="checkbox"/> 事業のやり方改善(公平性改善)			<table border="1"> <tr> <td colspan="2" rowspan="2"></td> <td colspan="3">コスト</td> </tr> <tr> <td>削減</td> <td>維持</td> <td>増加</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">成果</td> <td>向上</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>維持</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td rowspan="2">低下</td> <td>維持</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>低下</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </table>				コスト			削減	維持	増加	成果	向上				維持				低下	維持				低下			
		コスト																												
		削減	維持	増加																										
成果	向上																													
	維持																													
低下	維持																													
	低下																													
<改革改善案> 利用率(利用者数)の向上、運行形態の転換等を考慮し、「委託ありき」でないよう措置を講じることも重要である。																														
(5) 改革、改善を実現する上で解決すべき課題(壁)とその解決策 路線バス事業への転換。そのためには、利用率の向上等を図ることが肝要か。																														



事務事業名	韓国トレッキング対策事業	所属部	商工観光部	所属課	観光課																				
<b>2 評価の部(SEE) * 原則は事後評価、ただし複数年度事業は途中評価</b>																									
目的 妥当性 評価	<b>政策体系との整合性</b>	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある【理由】 <input checked="" type="checkbox"/> 結びついている【理由】 この事務事業の目的は市(町)の政策体系に結びつかないか? 意図することが結果に結びついているか? 鹿児島県・鹿児島県観光連盟と連携し、韓国からの観光客を誘致する活動を行うことは、霧島市を訪れてもらうことに繋がり結びついている。																							
	<b>公共関与の妥当性</b>	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある【理由】 <input checked="" type="checkbox"/> 妥当である【理由】 なぜこの事業を市(町)が行わなければならないのか? 税金を投入して、達成する目的か? 市は、外国からの観光客に霧島市を訪れてもらうために、海外での誘致宣伝活動や、外国語看板やパンフレット・マップ等の整備を行う必要があるため、妥当である。																							
	<b>対象・意図の妥当性</b>	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある【理由】 <input checked="" type="checkbox"/> 適切である【理由】 対象を限定・追加すべきか? 意図を限定・拡充すべきか? 対象は霧島市を訪れてもらおうとしている韓国からの観光客であり妥当である。意図は、ハンゲル語のパンフレットやマップの整備、マスコミや旅行会社の招聘事業により霧島連山を認知してもらうことにより、霧島市を訪れてもらえるので妥当である。																							
有効性 評価	<b>成果の向上余地</b>	<input checked="" type="checkbox"/> 向上余地がある【理由】 <input type="checkbox"/> 向上余地がない【理由】 成果を向上させる余地はあるか? 成果の現状水準とあるべき水準との差異はないか? 何が原因で成果向上が期待できないのか? 地元での受け入れ体制は行政の責務であるが、韓国のマスコミや旅行会社へのPR活動においては、観光協会・国内旅行会社が主体的に行った方が効率的であり成果の向上余地がある。																							
	<b>廃止・休止の成果への影響</b>	<input type="checkbox"/> 影響無【理由】 <input checked="" type="checkbox"/> 影響有【その内容】 事務事業を廃止・休止した場合の影響の有無とその内容は? 現在、鹿児島空港へは韓国からの直行便もあるが、事業を廃止すれば韓国からの観光客も減少すると思われる。																							
	<b>類似事業との統廃合・連携の可能性</b>	<input type="checkbox"/> 他に手段がある(具体的な手段、事務事業) <input type="checkbox"/> 統廃合できる <input type="checkbox"/> 連携できる <input checked="" type="checkbox"/> 統廃合できない <input type="checkbox"/> 連携できない 目的を達成するには、この事務事業以外他に方法はないか? 類似事業との統廃合ができるか? 類似事業との連携を図ることにより、成果の向上が期待できるか? 海外から観光客を誘致や外国人観光客に対する受け入れ体制のための事業は他に存在しない。 <input checked="" type="checkbox"/> 他に手段がない【理由】																							
効率性 評価	<b>事業費の削減余地</b>	<input checked="" type="checkbox"/> 削減余地がある【理由】 <input type="checkbox"/> 削減余地がない【理由】 成果を下げずに事業費を削減できないか? (仕様や工法の適正化、住民の協力など) 地元での受け入れ体制は行政主体で行わなくてはならないが、現地でのPR活動は、観光協会や旅行業者が主体的に事業を行えば、事業費の削減余地はある。																							
	<b>人件費(延べ業務時間)の削減余地</b>	<input checked="" type="checkbox"/> 削減余地がある【理由】 <input type="checkbox"/> 削減余地がない【理由】 やり方を工夫して延べ業務時間を削減できないか? 成果を下げずに正職員以外の職員や委託でできないか? (アウトソーシングなど) 地元での受け入れ体制は行政主体で行わなくてはならないが、現地でのPR活動は、観光協会や旅行業者が主体的に事業を行えば、事業費の削減余地はある。																							
公平性 評価	<b>受益機会・費用負担の適正化余地</b>	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある【理由】 <input checked="" type="checkbox"/> 公平・公正である【理由】 事業の内容が一部の受益者に偏っていて不公平ではないか? 受益者負担が公平・公正になっているか? 外国からの観光客に対し、外国語のパンフレットやマップ・案内板を作成することは市の責務であり、公平・公正であると思われる。																							
<b>3 評価結果の総括と今後の方向性(次年度計画と予算への反映)(PLAN) 【担当課長記入欄】</b>																									
(1) 1次評価者としての評価結果		(2) 全体総括(振り返り、反省点)																							
目的妥当性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり 有効性 <input type="checkbox"/> 適切 <input checked="" type="checkbox"/> 見直し余地あり 効率性 <input type="checkbox"/> 適切 <input checked="" type="checkbox"/> 見直し余地あり 公平性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり		地元での受け入れ体制は行政の責務であるが、韓国のマスコミや旅行会社へのPR活動においては、観光協会・国内旅行会社が主体的に行った方が効率的である。																							
(3) 今後の事業の方向性(改革改善案)・・・複数選択可			<input checked="" type="checkbox"/> 現状維持 (従来通りで特に改革改善をしない)																						
<input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 休止 <input type="checkbox"/> 事業のやり方改善(有効性改善) <input type="checkbox"/> 目的再設定 <input type="checkbox"/> 事業のやり方改善(効率性改善) <input type="checkbox"/> 事業統廃合・連携 <input type="checkbox"/> 事業のやり方改善(公平性改善)			(4) 改革・改善による期待成果 (廃止・休止の場合は記入不要)																						
<改革改善案> 県・観光連盟だけでなく、観光協会や旅行会社等も事業に加える。			<table border="1"> <thead> <tr> <th colspan="2" rowspan="2"></th> <th colspan="3">コスト</th> </tr> <tr> <th>削減</th> <th>維持</th> <th>増加</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <th rowspan="3">成果</th> <th>向上</th> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <th>維持</th> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <th>低下</th> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </tbody> </table>				コスト			削減	維持	増加	成果	向上				維持				低下			
		コスト																							
		削減	維持	増加																					
成果	向上																								
	維持																								
	低下																								
(5) 改革、改善を実現する上で解決すべき課題(壁)とその解決策 韓国からのトレッキング客誘致のための協議会の立ち上げ。																									



No.	630-530	事務事業名	かごつま弁論大会実施事業	所属部	商工観光部
政策体系	政策名	04	育み磨きあうまちづくり	所属課	観光課
	施策名	04	伝統文化の保存・継承	課長名	横手航太郎
	基本事業名	01	伝統文化を学ぶ環境づくり	所属G(係)	特産品G
				電話番号	45-5111

予算科目	会計	款	項	目	事業	事業名	法令根拠	特になし
	一般	07	01	04	103090	観光費		

事務事業の概要(具体的なやり方、手順、詳細。期間限定複数年度事業は全体像を記述)	事業期間
平成19年より郷土の言語である鹿児島弁に親しみ、郷土を知ることによって、市民の伝統文化に対する理解を深めることを目的にかごつま弁論大会を開催している。 開催時期:6月中旬 内容: 第1部 かごつま弁論大会 鹿児島弁を使った弁論大会で、テーマは自由 弁論者10名 持ち時間5分 第2部 笑いの講演会	<input type="checkbox"/> 単年度のみ <input checked="" type="checkbox"/> 単年度繰返 ↳ (H 19年度~) <input type="checkbox"/> 期間限定複数年度 ↳ (     年度~     年度)

1 現状把握の部(DO)

(1) 事務事業の目的と指標		活動指標(事務事業の活動量を表す指標)	
手段(主な活動)		名称	単位
20年度実績(20年度に行った主な活動)	事務事業の概要と同様	ア 弁論者の申込み人数	人
21年度計画(21年度に計画している主な活動)	前年度と同様	イ	
対象(誰、何を対象にしているのか)*人や自然資源等	市民	ウ	
意図(この事業によって、対象をどう変えるのか)	かごつま弁を知ることができる。	対象指標(対象の大きさを表す指標)	
結果(どんな結果に結び付けるのか)	地域の伝統文化を学び郷土を知ることができる。	名称	単位
		ア 人口	人
		イ	
		ウ	
		成果指標(対象における意図の達成度を表す指標)	
		名称	単位
		ア 来場者数	人
		イ	
		ウ	
		上位成果指標(結果の達成度を表す指標)	
		名称	単位
		ア 伝統文化を知っている人の割合	%
		イ	
		ウ	

(2) 総事業費・指標等の推移		単位	18年度(実績)	19年度(実績)	20年度(実績)	21年度(見込)		
投入量	事業費	財源内訳	千円					
		国庫支出金	千円					
		都道府県支出金	千円					
		地方債	千円					
		その他	千円					
		一般財源	千円	0	394	469	444	
	事業費計(A)	千円	0	394	469	444		
活動指標	ア	人	-	15	9	15		
	イ							
	ウ							
対象指標	ア	人	127,615	127,773	128,374	128,975		
	イ							
	ウ							
成果指標	ア	人	-	1,000	600	800		
	イ							
	ウ							
上位成果指標	ア	%	37.0	37.0	38.0	39.0		
	イ							
	ウ							

(3) 事務事業の環境変化・住民意見等	
この事務事業を開始したきっかけは何か?いつ頃どんな経緯で開始されたのか? かごしま弁は後世に残すべき鹿児島島の伝統文化であるという認識のもと、平成19年より開催した。	
事務事業を取り巻く状況(対象者や根拠法令等)はどう変化しているか、開始時期あるいは5年前と比べてどう変わったのか? 特に変化なし	
この事務事業に対して関係者(住民、議会、事業対象者、利害関係者等)からどんな意見や要望が寄せられているか? 特になし	

事務事業名	かごつま弁論大会実施事業	所属部	商工観光部	所属課	観光課																										
<b>2 評価の部(SEE) * 原則は事後評価、ただし複数年度事業は途中評価</b>																															
目的 妥当性 評価	政策体系との整合性	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある【理由】 ↘ <input checked="" type="checkbox"/> 結びついている【理由】 ↘ この事務事業の目的は市(町)の政策体系に結びつくか? 意図することが結果に結びついているか? 霧島市民が「かごつま弁」の良さを再認識し、地域の伝統文化を学び郷土を知ることができるので結びついている。																													
	公共関与の妥当性	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある【理由】 ↘ <input checked="" type="checkbox"/> 妥当である【理由】 ↘ なぜこの事業を市(町)が行わなければならないのか? 税金を投入して、達成する目的か? 地域の伝統・歴史を市民が知る機会を提供し、市民の伝統文化に対する理解を深めるために「かごつま弁論大会」を開催しているので妥当である。																													
	対象・意図の妥当性	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある【理由】 ↘ <input checked="" type="checkbox"/> 適切である【理由】 ↘ 対象を限定・追加すべきか? 意図を限定・拡充すべきか? 事業の対象は霧島市民であるので妥当である。意図についても弁論大会に来場してもらうことにより、かごつま弁を知ることができ、地域の伝統文化を学び郷土を知ることにつながり妥当である。																													
有効性 評価	成果の向上余地	<input checked="" type="checkbox"/> 向上余地がある【理由】 ↘ <input type="checkbox"/> 向上余地がない【理由】 ↘ 成果を向上させる余地はあるか? 成果の現状水準とあるべき水準との差異はないか? 何が原因で成果向上が期待できないのか? 現在のようなスタイルではなく、学校の授業や、生涯学習講座において地域の伝統芸能を学ぶための授業や講座を拡充してもらう方が成果の向上余地があると思われる。																													
	廃止・休止の成果への影響	<input checked="" type="checkbox"/> 影響無【理由】 ↘ <input type="checkbox"/> 影響有【その内容】 ↘ 事務事業を廃止・休止した場合の影響の有無とその内容は? かごつま弁論大会でなくても、学校での授業や生涯学習講座で地域の伝統や文化を学べるので影響はないと思われる。																													
	類似事業との統廃合・連携の可能性	<input checked="" type="checkbox"/> 他に手段がある(具体的な手段、事務事業) ↘ 生涯学習講座開催事業、小中学校での授業 <input checked="" type="checkbox"/> 統廃合できる ↘ <input type="checkbox"/> 連携できる ↘ <input type="checkbox"/> 統廃合できない ↘ <input type="checkbox"/> 連携できない ↘ 小中学校での授業や、生涯学習講座において地域の伝統や文化を学ぶ機会を拡充することにより、成果の向上余地がある。 <input type="checkbox"/> 他に手段がない【理由】 ↘																													
効率性 評価	事業費の削減余地	<input checked="" type="checkbox"/> 削減余地がある【理由】 ↘ <input type="checkbox"/> 削減余地がない【理由】 ↘ 成果を下げずに事業費を削減できないか?(仕様や工法の適正化、住民の協力など) 小中学校での授業や、生涯学習講座において地域の伝統や文化を学ぶ機会を拡充することにより、かごつま弁論大会を開催するための事業費は削減できる。																													
	人件費(延べ業務時間)の削減余地	<input checked="" type="checkbox"/> 削減余地がある【理由】 ↘ <input type="checkbox"/> 削減余地がない【理由】 ↘ やり方を工夫して延べ業務時間を削減できないか? 成果を下げずに正職員以外の職員や委託でできないか?(アウトソーシングなど) 小中学校での授業や、生涯学習講座において地域の伝統や文化を学ぶ機会を拡充することにより、かごつま弁論大会を開催するための人件費は削減できる。																													
公平性 評価	受益機会・費用負担の適正化余地	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある【理由】 ↘ <input checked="" type="checkbox"/> 公平・公正である【理由】 ↘ 事業の内容が一部の受益者に偏っていて不公平ではないか? 受益者負担が公平・公正になっているか? 来場者より入場料を徴収する事業がではないので地域の伝統文化を学ぶためのイベントであり誰でも入場でき公平・公正である。																													
<b>3 評価結果の総括と今後の方向性(次年度計画と予算への反映)(PLAN) 【担当課長記入欄】</b>																															
(1) 1次評価者としての評価結果		(2) 全体総括(振り返り、反省点)																													
目的妥当性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり 有効性 <input type="checkbox"/> 適切 <input checked="" type="checkbox"/> 見直し余地あり 効率性 <input type="checkbox"/> 適切 <input checked="" type="checkbox"/> 見直し余地あり 公平性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり		学校での授業や生涯学習講座で地域の伝統や文化を学べるので影響はないと思われる。																													
(3) 今後の事業の方向性(改革改善案)・・・複数選択可		<input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 休止 <input type="checkbox"/> 事業のやり方改善(有効性改善) <input type="checkbox"/> 現状維持 <input type="checkbox"/> 目的再設定 <input type="checkbox"/> 事業のやり方改善(効率性改善) (従来通りで特に改革改善をしない) <input checked="" type="checkbox"/> 事業統廃合・連携 <input type="checkbox"/> 事業のやり方改善(公平性改善)		(4) 改革・改善による期待成果(廃止・休止の場合は記入不要)																											
<改革改善案> 学校の授業や、生涯学習講座において地域の伝統芸能を学ぶための授業や講座を拡充してもらう。				<table border="1"> <tr> <td colspan="2" rowspan="2"></td> <td colspan="3">コスト</td> </tr> <tr> <td>削減</td> <td>維持</td> <td>増加</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">成果</td> <td>向上</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>維持</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td rowspan="2">低下</td> <td>維持</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>低下</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </table>				コスト			削減	維持	増加	成果	向上				維持				低下	維持				低下			
		コスト																													
		削減	維持	増加																											
成果	向上																														
	維持																														
低下	維持																														
	低下																														
(5) 改革、改善を実現する上で解決すべき課題(壁)とその解決策 教育委員会と所管の調整																															

No.	630-540	事務事業名	「ハンギリだし」開催支援事業	所 属 部	商工観光部
		政策体系	政策名 0 4 育み磨きあうまちづくり	所 属 課	観光課
			施策名 0 4 伝統文化の保存・継承	課 長 名	横手 航太郎
			基本事業名 0 2 保存団体への支援	所 属 G ( 係 )	観光グループ
				電 話 番 号	45-5111

予算科目	会計	款	項	目	事業	事業名	法令 根拠	特になし
	一般	0	7	0	1	0		

事務事業の概要(具体的なやり方、手順、詳細。期間限定複数年度事業は全体像を記述)	事業期間
国分広瀬地区の潮遊池で毎年、8月16日に小村新田魚捕り組合が飼馬桶を半分に切った筏に乗りエッナと呼ばれるボウの子を投げ網で捕り、その場でさばいたエッナを酢味噌などで食するという精進落としての伝統行事に対し、行事開始の合図の花火打ち上げ、仮設トイレの設置及び給水車による水の提供などを行う。	<input type="checkbox"/> 単年度のみ <input checked="" type="checkbox"/> 単年度繰返 ↳ ( H 15 年度 ~ ) <input type="checkbox"/> 期間限定複数年度 ↳ (            年度 ~            年度 )

1 現状把握の部(DO)

(1) 事務事業の目的と指標		活動指標(事務事業の活動量を表す指標)	
手段(主な活動)		名称	単位
20年度実績(20年度に行った主な活動)	事務事業の概要と同様	ア 仮設トイレ数	基
21年度計画(21年度に計画している主な活動)	前年度と同様	イ 給水車数	台
対象(誰、何を対象にしているのか) * 人や自然資源等	市民 小村新田魚捕り組合組合員	ウ	
意図(この事業によって、対象をどう変えるのか)	ハンギリだしを円滑に行える。	対象指標(対象の大きさを表す指標)	
結果(どんな結果に結び付けるのか)	伝統文化を継承し、広めてもらう。	名称	単位
		ア 市の人口(4/1付け)	人
		イ 組合員数	人
		ウ	
		成果指標(対象における意図の達成度を表す指標)	
		名称	単位
		ア エッナ(魚)をとった人の数	人
		イ	
		ウ	
		上位成果指標(結果の達成度を表す指標)	
		名称	単位
		ア 郷土芸能に関わる人数	人
		イ 発表を行っている団体数	件
		ウ	

(2) 総事業費・指標等の推移		単位	18年度 (実績)	19年度 (実績)	20年度 (実績)	21年度 (見込)			
投入量	事業費	財源内訳	千円						
		国庫支出金	千円						
		都道府県支出金	千円						
		地方債	千円						
		その他	千円						
		一般財源	千円	38	39	38	39		
	事業費計(A)	千円	38	39	38	39			
活動指標	ア	基	1	1	1	1			
	イ	台	1	1	1	1			
	ウ								
対象指標	ア	人	127,259	127,941	127,736	127,811			
	イ	人	10	10	10	10			
	ウ								
成果指標	ア	人	6	5	7	7			
	イ								
	ウ								
上位成果指標	ア	人	2,450	2,450	4,163	4,163			
	イ	件	44	44	44	44			
	ウ								

(3) 事務事業の環境変化・住民意見等	
この事務事業を開始したきっかけは何か？いつ頃どんな経緯で開始されたのか？ 地域の伝統行事であるハンギリだしに参加される方々の利便性を図るため、平成15年から開始した。	
事務事業を取り巻く状況(対象者や根拠法令等)はどう変化しているか、開始時期あるいは5年前と比べてどう変わったのか？ 仮設トイレの設置をしたため、大分利便性が図られた。	
この事務事業に対して関係者(住民、議会、事業対象者、利害関係者等)からどんな意見や要望が寄せられているか？ 住民及び議会から水道や近隣に公園の設置の要望がある。	

事務事業名	「ハンギリだし」開催支援事業	所属部	商工観光部	所属課	観光課																									
<b>2 評価の部(SEE) * 原則は事後評価、ただし複数年度事業は途中評価</b>																														
目的 妥当性 評価	<b>政策体系との整合性</b>	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある【理由】 ↷ <input checked="" type="checkbox"/> 結びついている【理由】 ↷ この事務事業の目的は市(町)の政策体系に結びつくか? 意図することが結果に結びついているか? 伝統行事を支援することは、伝統文化を継承し、広げることに関わり結びついている。																												
	<b>公共関与の妥当性</b>	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある【理由】 ↷ <input checked="" type="checkbox"/> 妥当である【理由】 ↷ なぜこの事業を市(町)が行わなければならないのか? 税金を投入して、達成する目的か? 年中行事の伝承活動への支援であり妥当である。																												
	<b>対象・意図の妥当性</b>	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある【理由】 ↷ <input checked="" type="checkbox"/> 適切である【理由】 ↷ 対象を限定・追加すべきか? 意図を限定・拡充すべきか? 対象は市民及び小村新田魚釣り組合組合員であり妥当である。意図はハンギリだしを円滑に行えるので妥当である。																												
有効性 評価	<b>成果の向上余地</b>	<input checked="" type="checkbox"/> 向上余地がある【理由】 ↷ <input type="checkbox"/> 向上余地がない【理由】 ↷ 成果を向上させる余地はあるか? 成果の現状水準とあるべき水準との差異はないか? 何が原因で成果向上が期待できないのか? 伝統文化を保存・継承するために行っている事業であり、観光課で実施するのではなく、教育委員会で事業を実施した方が成果の向上余地がある。																												
	<b>廃止・休止の成果への影響</b>	<input type="checkbox"/> 影響無【理由】 ↷ <input checked="" type="checkbox"/> 影響有【その内容】 ↷ 事務事業を廃止・休止した場合の影響の有無とその内容は? 事業を廃止した場合、衛生面に支障が出るなど伝統行事の継続が困難となる。																												
	<b>類似事業との統廃合・連携の可能性</b>	<input checked="" type="checkbox"/> 他に手段がある(具体的な手段, 事務事業) ↷ 天孫降臨霧島祭 <input type="checkbox"/> 統廃合できる ↷ <input type="checkbox"/> 連携できる ↷ <input type="checkbox"/> 統廃合できない ↷ <input checked="" type="checkbox"/> 連携できない ↷ 天孫降臨霧島祭とは趣旨が異なり、「ハンギリだし」は地域の年中行事であり、他に類似事業はない。 <input type="checkbox"/> 他に手段がない【理由】 ↷																												
効率性 評価	<b>事業費の削減余地</b>	<input type="checkbox"/> 削減余地がある【理由】 ↷ <input checked="" type="checkbox"/> 削減余地がない【理由】 ↷ 成果を下げずに事業費を削減できないか? (仕様や工法の適正化、住民の協力など) 伝統行事の開始合図の花火代や当日のトイレレンタル料など最小限の事業費であり、削減の余地はない。																												
	<b>人件費(延べ業務時間)の削減余地</b>	<input type="checkbox"/> 削減余地がある【理由】 ↷ <input checked="" type="checkbox"/> 削減余地がない【理由】 ↷ やり方を工夫して延べ業務時間を削減できないか? 成果を下げずに正職員以外の職員や委託でできないか? (アウトソーシングなど) 仮設トイレの手配、給水車手配などや使用料の支出等の事務のみであり削減余地はない。																												
公平性 評価	<b>受益機会・費用負担の適正化余地</b>	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある【理由】 ↷ <input checked="" type="checkbox"/> 公平・公正である【理由】 ↷ 事業の内容が一部の受益者に偏っていて不公平ではないか? 受益者負担が公平・公正になっているか? 魚釣り組合が行っている伝統行事であり、受益負担はなじまない。																												
<b>3 評価結果の総括と今後の方向性(次年度計画と予算への反映)(PLAN) 【担当課長記入欄】</b>																														
(1) 1次評価者としての評価結果		(2) 全体総括(振り返り、反省点)																												
目的妥当性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり 有効性 <input type="checkbox"/> 適切 <input checked="" type="checkbox"/> 見直し余地あり 効率性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり 公平性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり		地元の魚釣り組合が行う伝統行事で、今後保存・継承するために支援が必要であるが、事業を教育委員会で実施することにより、成果の向上が見込まれる。																												
(3) 今後の事業の方向性(改革改善案)・・・複数選択可			(4) 改革・改善による期待成果(廃止・休止の場合は記入不要)																											
<input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 休止 <input type="checkbox"/> 事業のやり方改善(有効性改善) <input checked="" type="checkbox"/> 現状維持 <input type="checkbox"/> 目的再設定 <input type="checkbox"/> 事業のやり方改善(効率性改善) (従来通りで特に改革改善をしない) <input type="checkbox"/> 事業統廃合・連携 <input type="checkbox"/> 事業のやり方改善(公平性改善)			<table border="1"> <tr> <td colspan="2" rowspan="2"></td> <td colspan="3">コスト</td> </tr> <tr> <td>削減</td> <td>維持</td> <td>増加</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">成果</td> <td>向上</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>維持</td> <td></td> <td></td> <td>▲</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">低下</td> <td>維持</td> <td></td> <td></td> <td>▲</td> </tr> <tr> <td>低下</td> <td></td> <td></td> <td>▲</td> </tr> </table>				コスト			削減	維持	増加	成果	向上				維持			▲	低下	維持			▲	低下			▲
		コスト																												
		削減	維持	増加																										
成果	向上																													
	維持			▲																										
低下	維持			▲																										
	低下			▲																										
(5) 改革、改善を実現する上で解決すべき課題(壁)とその解決策 教育委員会との協議																														



事務事業名	ほげ祭開催支援事業	所属部	商工観光部	所属課	観光課																		
<b>2 評価の部(SEE) * 原則は事後評価、ただし複数年度事業は途中評価</b>																							
目的 妥当性 評価	<b>政策体系との整合性</b>	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある【理由】 ↷	<input checked="" type="checkbox"/> 結びついている【理由】 ↷																				
	この事務事業の目的は市(町)の政策体系に結びつか? 意図することが結果に結びついているか?	ほげ祭は、霧島神宮で五穀豊穡祈願と豊年を祝い奉納を行う伝統行事であり、伝統芸能を継承し、広めてもらうことに繋がりが結びついている。																					
	<b>公共関与の妥当性</b>	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある【理由】 ↷	<input checked="" type="checkbox"/> 妥当である【理由】 ↷																				
なぜこの事業を市(町)が行わなければならないのか? 税金を投入して、達成する目的か?	市は、地域の伝統・歴史を市民に知る機会や学ぶ場を提供し、市民の伝統文化に対する理解を深めさせる必要があるため妥当である。																						
<b>対象・意図の妥当性</b>	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある【理由】 ↷	<input checked="" type="checkbox"/> 適切である【理由】 ↷																					
対象を限定・追加すべきか? 意図を限定・拡充すべきか?	対象はほげ祭を通じて伝統芸能を知ることができる市民あり妥当である。意図はほげ祭を開催することにより、市民が伝統芸能に触れる機会ができるので妥当である。																						
有効性 評価	<b>成果の向上余地</b>	<input type="checkbox"/> 向上余地がある【理由】 ↷	<input checked="" type="checkbox"/> 向上余地がない【理由】 ↷																				
	成果を向上させる余地はあるか? 成果の現状水準とあるべき水準との差異はないか? 何が原因で成果向上が期待できないのか?	実行委員会で行っている地域の伝統行事であり、向上の余地はない。																					
	<b>廃止・休止の成果への影響</b>	<input type="checkbox"/> 影響無【理由】 ↷	<input checked="" type="checkbox"/> 影響有【その内容】 ↷																				
事務事業を廃止・休止した場合の影響の有無とその内容は?	ほげ祭を廃止すれば、市民が伝統文化に触れる機会が少なくなり、伝統文化を継承し、広めていくことができなくなる。																						
<b>類似事業との統廃合・連携の可能性</b>	<input type="checkbox"/> 他に手段がある(具体的な手段, 事務事業) ↷																						
目的を達成するには、この事務事業以外他に方法はないか? 類似事業との統廃合ができるか? 類似事業との連携を図ることにより、成果の向上が期待できるか?	<input type="checkbox"/> 統廃合できる ↷ <input type="checkbox"/> 連携できる ↷ <input type="checkbox"/> 統廃合できない ↷ <input type="checkbox"/> 連携できない ↷																						
	地域の年中行事であり、他に類似事業はない。																						
	<input checked="" type="checkbox"/> 他に手段がない【理由】 ↷																						
効率性 評価	<b>事業費の削減余地</b>	<input checked="" type="checkbox"/> 削減余地がある【理由】 ↷	<input type="checkbox"/> 削減余地がない【理由】 ↷																				
	成果を下げずに事業費を削減できないか? (仕様や工法の適正化、住民の協力など)	必要最小限の補助であり、これ以上削減の余地はない。																					
	<input type="checkbox"/> 削減余地がある【理由】 ↷	<input checked="" type="checkbox"/> 削減余地がない【理由】 ↷																					
やり方を工夫して延べ業務時間を削減できないか? 成果を下げずに正職員以外の職員や委託でできないか? (アウトソーシングなど)	補助金支出手続き事務のみであり、削減余地はない。																						
公平性 評価	<b>受益機会・費用負担の適正化余地</b>	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある【理由】 ↷	<input checked="" type="checkbox"/> 公平・公正である【理由】 ↷																				
	事業の内容が一部の受益者に偏っていて不公平ではないか? 受益者負担が公平・公正になっているか?	地域に伝わる貴重な伝統芸能の活動の場の支援でありほげ祭を開催することは公平・公正である。																					
<b>3 評価結果の総括と今後の方向性(次年度計画と予算への反映)(PLAN) 【担当課長記入欄】</b>																							
(1) 1次評価者としての評価結果		(2) 全体総括(振り返り、反省点)																					
目的妥当性	<input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり	霧島神宮に伝わる伝統行事であり、保存・継承のため支援が必要。																					
有効性	<input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり																						
効率性	<input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり																						
公平性	<input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり																						
(3) 今後の事業の方向性(改革改善案)・・・複数選択可		<input checked="" type="checkbox"/> 現状維持 (従来通りで特に改革改善をしない)		(4) 改革・改善による期待成果 (廃止・休止の場合は記入不要)																			
<input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 休止 <input type="checkbox"/> 事業のやり方改善(有効性改善) <input type="checkbox"/> 目的再設定 <input type="checkbox"/> 事業のやり方改善(効率性改善) <input type="checkbox"/> 事業統廃合・連携 <input type="checkbox"/> 事業のやり方改善(公平性改善)				<table border="1"> <tr> <td></td> <td colspan="3">コスト</td> </tr> <tr> <td></td> <td>削減</td> <td>維持</td> <td>増加</td> </tr> <tr> <td rowspan="3">成果</td> <td>向上</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>維持</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>低下</td> <td></td> <td></td> </tr> </table>			コスト				削減	維持	増加	成果	向上			維持			低下		
	コスト																						
	削減	維持	増加																				
成果	向上																						
	維持																						
	低下																						
< 改革改善案 >																							
(5) 改革、改善を実現する上で解決すべき課題(壁)とその解決策																							

政策体系	No.	630-560	事務事業名	天孫降臨霧島祭実行委員会活動支援事業	所 属 部	商工観光部
	政策名	0 4	育み磨きあうまちづくり	所 属 課	観光課	
	施策名	0 4	伝統文化の保存継承	課 長 名	横手 航太郎	
	基本事業名	0 2	保存団体への支援	所 属 G (係)	観光グループ	
				電 話 番 号	45-5111	

予算科目	会計	款	項	目	事業	事業名	法令 根拠	霧島市補助金交付規則 霧島市補助金等の種類及び補助率に関する要綱
	一般	0 7	0 1	0 4	103090	観光費		

事務事業の概要(具体的なやり方、手順、詳細。期間限定複数年度事業は全体像を記述)	事業期間
天孫降臨霧島祭実行委員会に補助金を交付し、天孫降臨霧島祭を実施している。 (市の活動)補助金を支出するための事務(申請書の受理、交付決定、実績報告、補助金交付)を行う。 (実行委員会の活動)天孫降臨霧島祭の開催 霧島祭は、市内の会場で霧島九面太鼓の太鼓演奏、霧島神楽振興会の霧島神楽、地域の郷土芸能などを披露し、地域の伝統芸能活性化を図ると共に、市外から誘客し市全体の観光活性化を図る。祭りは4日間行われる。 同実行委員会は、祭を円滑に運営するために関係する団体の職員、市職員等で構成された組織である。	<input type="checkbox"/> 単年度のみ <input checked="" type="checkbox"/> 単年度繰返 ↳ ( H 18 年度 ~ ) <input type="checkbox"/> 期間限定複数年度 ↳ (            年度 ~            年度 )

1 現状把握の部(DO)

(1) 事務事業の目的と指標		活動指標(事務事業の活動量を表す指標)	
手段(主な活動) 20年度実績(20年度に行った主な活動) 事務事業の概要と同様		名称 ア 祭りを見に来た人の数 イ 祭りツアー参加者 ウ	単位 人 人
21年度計画(21年度に計画している主な活動) 前年度と同様			
対象(誰、何を対象にしているのか) * 人や自然資源等 市民、ツアー参加者、旅行代理店 <補助金交付先>天孫降臨霧島祭実行委員会 <補助対象活動>天孫降臨霧島祭活動に要する経費		対象指標(対象の大きさを表す指標) 名称 ア 市の人口(4/1付け) イ PRした旅行代理店数 ウ	単位 人 社数
意図(この事業によって、対象をどう変えるのか) 地域伝統芸能の活性化を図れる。 地域伝統芸能に触れる機会を得られる。		成果指標(対象における意図の達成度を表す指標) 名称 ア 祭りに参加した芸能団体の数(延べ) イ ツアー企画に興味を持った旅行代理店 ウ	単位 団体 社数
結果(どんな結果に結び付けるのか) 伝統文化を継承し、広めてもらう。		上位成果指標(結果の達成度を表す指標) 名称 ア 郷土芸能に関わる人数(団体登録者) イ 発表を行っている団体数 ウ	単位 人 件

(2) 総事業費・指標等の推移		単位	18年度 (実績)	19年度 (実績)	20年度 (実績)	21年度 (見込)			
投入量	事業費	財源内訳	国庫支出金	千円					
		都道府県支出金	千円						
		地方債	千円						
		その他	千円						
		一般財源	千円	0	9,364	8,863	8,006		
		事業費計(A)	千円	0	9,364	8,863	8,006		
活動指標	ア	人	20,000	10,000	4,000	4,500			
	イ	人	0	0	0	50			
	ウ								
対象指標	ア	人	127,259	127,941	127,736	127,811			
	イ	社数	0	0	0	4			
	ウ								
成果指標	ア	団体	60	35	35	35			
	イ	社数	0	0	0	4			
	ウ								
上位成果指標	ア	人	2,450	2,432	4,163	2,450			
	イ	件	44	43	44	44			
	ウ								

(3) 事務事業の環境変化・住民意見等
この事務事業を開始したきっかけは何か?いつ頃どんな経緯で開始されたのか? 平成18年より、本市の地域の伝統芸能の啓蒙を図ることを目的に開催された。
事務事業を取り巻く状況(対象者や根拠法令等)はどう変化しているか、開始時期あるいは5年前と比べてどう変わったのか? 特に変化なし。
この事務事業に対して関係者(住民、議会、事業対象者、利害関係者等)からどんな意見や要望が寄せられているか? 特になし。

事務事業名	天孫降臨霧島祭実行委員会活動支援事業	所属部	商工観光部	所属課	観光課																				
<b>2 評価の部(SEE) *原則は事後評価、ただし複数年度事業は途中評価</b>																									
目的 妥当性 評価	政策体系との整合性	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある【理由】 ↷ <input checked="" type="checkbox"/> 結びついている【理由】 ↷ この事務事業の目的は市(町)の政策体系に結びつくか?意図することが結果に結びついているか? 市内の3会場で祭を開催し、伝統行事を披露する事は伝統文化を継承し、広めてもらうことに結びついている。																							
	公共関与の妥当性	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある【理由】 ↷ <input checked="" type="checkbox"/> 妥当である【理由】 ↷ なぜこの事業を市(町)が行わなければならないのか?税金を投入して、達成する目的か? 地域の伝統・歴史を市民に知る機会や学ぶ場を提供し、市民の伝統文化に対する理解を深めることは市の役割であるので妥当である。																							
	対象・意図の妥当性	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある【理由】 ↷ <input checked="" type="checkbox"/> 適切である【理由】 ↷ 対象を限定・追加すべきか?意図を限定・拡充すべきか? 対象は、祭を見に来る市民及びツアー参加者で妥当である。意図は、祭を開催することにより地域伝統芸能の活性化を図ることに結びついているので妥当である。																							
有効性 評価	成果の向上余地	<input checked="" type="checkbox"/> 向上余地がある【理由】 ↷ <input type="checkbox"/> 向上余地がない【理由】 ↷ 成果を向上させる余地はあるか?成果の現状水準とあるべき水準との差異はないか?何が原因で成果向上が期待できないのか? 祭の開催場所を増やしたり、参加団体を増やすことにより、市民が伝統芸能に触れる機会が増えるので、向上の余地がある。																							
	廃止・休止の成果への影響	<input type="checkbox"/> 影響無【理由】 ↷ <input checked="" type="checkbox"/> 影響有【その内容】 ↷ 事務事業を廃止・休止した場合の影響の有無とその内容は? 事業を廃止すれば、伝統芸能を披露する機会が損なわれるので影響がある。																							
	類似事業との統廃合・連携の可能性	<input checked="" type="checkbox"/> 他に手段がある(具体的な手段,事務事業) ↳ 文化祭 <input type="checkbox"/> 統廃合できる ↷ <input type="checkbox"/> 連携できる ↷ <input checked="" type="checkbox"/> 統廃合できない ↷ <input type="checkbox"/> 連携できない ↷ 天孫降臨霧島祭は、多くの方に見てもらうために、市内の駅や人の集まる場所で開催するので統廃合できない。 <input type="checkbox"/> 他に手段がない【理由】 ↷																							
効率性 評価	事業費の削減余地	<input type="checkbox"/> 削減余地がある【理由】 ↷ <input checked="" type="checkbox"/> 削減余地がない【理由】 ↷ 成果を下げずに事業費を削減できないか?(仕様や工法の適正化、住民の協力など) 入場料を徴収し祭りの運営に充てているが、補助金の予算額も年々削減されている状態であるので削減の余地がない。																							
	人件費(延べ業務時間)の削減余地	<input type="checkbox"/> 削減余地がある【理由】 ↷ <input checked="" type="checkbox"/> 削減余地がない【理由】 ↷ やり方を工夫して延べ業務時間を削減できないか?成果を下げずに正職員以外の職員や委託でできないか?(アウトソーシングなど) 補助金の交付事務については最低限の事務であるので削減の余地はないが、祭の運営等に関しては開催場所の地域住民やボランティア等を活用することにより削減の余地がある。																							
公平性 評価	受益機会・費用負担の適正化余地	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある【理由】 ↷ <input checked="" type="checkbox"/> 公平・公正である【理由】 ↷ 事業の内容が一部の受益者に偏っていて不公平ではないか?受益者負担が公平・公正になっているか? 補助金は年々削減されているが、入場料収入は実行委員会の収入となっており、公平・公正であると思われる。																							
<b>3 評価結果の総括と今後の方向性(次年度計画と予算への反映)(PLAN) 【担当課長記入欄】</b>																									
(1) 1次評価者としての評価結果		(2) 全体総括(振り返り、反省点)																							
目的妥当性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり 有効性 <input type="checkbox"/> 適切 <input checked="" type="checkbox"/> 見直し余地あり 効率性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり 公平性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり		伝統芸能を披露する祭は少なく貴重な事業となっている。開催会場を増やしたり、参加団体の数を増やしていれば成果の向上が見込まれる。																							
(3) 今後の事業の方向性(改革改善案)・・・複数選択可			(4) 改革・改善による期待成果(廃止・休止の場合は記入不要)																						
<input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 休止 <input checked="" type="checkbox"/> 事業のやり方改善(有効性改善) <input type="checkbox"/> 現状維持 <input type="checkbox"/> 目的再設定 <input type="checkbox"/> 事業のやり方改善(効率性改善) (従来通りで特に改革改善をしない) <input type="checkbox"/> 事業統廃合・連携 <input type="checkbox"/> 事業のやり方改善(公平性改善)			<table border="1"> <tr> <td colspan="2" rowspan="2"></td> <td colspan="3">コスト</td> </tr> <tr> <td>削減</td> <td>維持</td> <td>増加</td> </tr> <tr> <td rowspan="3">成果</td> <td>向上</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>維持</td> <td></td> <td></td> <td>↗</td> </tr> <tr> <td>低下</td> <td></td> <td>↘</td> <td>↘</td> </tr> </table>				コスト			削減	維持	増加	成果	向上				維持			↗	低下		↘	↘
		コスト																							
		削減	維持	増加																					
成果	向上																								
	維持			↗																					
	低下		↘	↘																					
(5) 改革、改善を実現する上で解決すべき課題(壁)とその解決策 開催会場を増やすために、参加団体との日程の調整と、地域住民との協議が必要。 参加団体を増やすために、祭りの啓蒙普及が必要。 ツアー参加者を増やすため、宿泊者限定の利点等を観光施設、宿泊、特産品等一体となって生み出していくことが必要。																									



No.	630-570	事務事業名	隼人町民芸保存会運営支援事業	所 属 部	商工観光部
		政策名	0 4 育み磨きあうまちづくり	所 属 課	観光課
		施策名	0 4 伝統文化の保存・継承	課 長 名	横手 航太郎
政策体系	基本事業名	0 2 保存団体への支援		所 属 G ( 係 )	観光グループ
				電 話 番 号	45-5111

予算科目	会計	款	項	目	事業	事業名	法令 根拠	霧島市補助金等交付規則 霧島市補助金等の種類及び補助率に関する要綱
	一般	0	7	0	1	0		

事務事業の概要(具体的なやり方、手順、詳細。期間限定複数年度事業は全体像を記述)		事業期間
隼人町民芸保存会の運営費補助として補助金を交付している。 (市の活動) 隼人町民芸保存会に補助金を支出するための手続き(申請書の受付、交付決定、概算払い申請受付、補助金交付、実績報告受付、補助金精算)を行う。 (隼人町民芸保存会の活動) 鈴掛馬踊り、田の神舞等14の郷土芸能の保存・継承活動及び伝統工芸、郷土玩具の保存・継承活動		<input type="checkbox"/> 単年度のみ <input checked="" type="checkbox"/> 単年度繰返 ↳ ( S 39 年度 ~ ) <input type="checkbox"/> 期間限定複数年度 ↳ (            年度 ~            年度 )

1 現状把握の部(DO)

(1) 事務事業の目的と指標		活動指標(事務事業の活動量を表す指標)	
手段(主な活動) 20年度実績(20年度に行った主な活動) 事務事業の概要と同様		名称 単位 ア 補助した団体数 団体 イ ウ	
21年度計画(21年度に計画している主な活動) 前年度と同様		対象指標(対象の大きさを表す指標) 名称 単位 ア 団体数 団体 イ 会員数 人 ウ	
対象(誰、何を対象にしているのか)*人や自然資源等 隼人町民芸保存会会員 <補助金交付先>隼人町民芸保存会 <補助金対象活動>地区民俗芸能伝承団体の運営に要する経費		成果指標(対象における意図の達成度を表す指標) 名称 単位 ア 自主財源率 % イ ウ	
意図(この事業によって、対象をどう変えるのか) 隼人町民芸保存会の円滑な運営と財政の健全化を図る。		上位成果指標(結果の達成度を表す指標) 名称 単位 ア 郷土芸能に関わる人数(団体登録者) 人 イ 発表を行っている団体数 団体 ウ	
結果(どんな結果に結び付けるのか) 伝統文化を継承し、広めてもらう。			

(2) 総事業費・指標等の推移		単位	18年度 (実績)	19年度 (実績)	20年度 (実績)	21年度 (見込)			
投入量	事業内訳	財源内訳	千円						
		国庫支出金	千円						
		都道府県支出金	千円						
		地方債	千円						
		その他	千円						
		一般財源	千円	4,900	4,410	4,190	3,770		
	事業費計(A)	千円	4,900	4,410	4,190	3,770			
活動指標	ア	団体	1	1	1	1			
	イ								
	ウ								
対象指標	ア	団体	13	13	13	13			
	イ	人	13	13	13	13			
	ウ								
成果指標	ア	%	4.7	4.7	5.2	2.2			
	イ								
	ウ								
上位成果指標	ア	人	2,450	2,450	2,450	2,450			
	イ	団体	44	44	44	44			
	ウ								

(3) 事務事業の環境変化・住民意見等	
この事務事業を開始したきっかけは何か?いつ頃どんな経緯で開始されたのか?	
昭和39年に隼人町固有の伝統的な郷土民芸、郷土玩具等を文化財あるいは観光資源として、未永く保存して伝えていくために、隼人町民芸保存会が発足している。	
事務事業を取り巻く状況(対象者や根拠法令等)はどう変化しているか、開始時期あるいは5年前と比べてどう変わったのか?	
後継者不足により伝統が断たれるケースがでている。	
この事務事業に対して関係者(住民、議会、事業対象者、利害関係者等)からどんな意見や要望が寄せられているか?	
特になし。	

事務事業名	隼人町民芸保存会運営支援事業	所属部	商工観光部	所属課	観光課																									
<b>2 評価の部(SEE) *原則は事後評価、ただし複数年度事業は途中評価</b>																														
目的 妥当性 評価	<b>政策体系との整合性</b>	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある【理由】 ↘ <input checked="" type="checkbox"/> 結びついている【理由】 ↘ この事務事業の目的は市(町)の政策体系に結びつくか?意図することが結果に結びついているか? 隼人町民芸保存会への支援であり、伝統文化を継承し、広めてもらうことに結びついている。																												
	<b>公共関与の妥当性</b>	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある【理由】 ↘ <input checked="" type="checkbox"/> 妥当である【理由】 ↘ なぜこの事業を市(町)が行わなければならないのか?税金を投入して、達成する目的か? 郷土芸能や年中行事の伝承活動への支援であり、妥当である。																												
	<b>対象・意図の妥当性</b>	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある【理由】 ↘ <input checked="" type="checkbox"/> 適切である【理由】 ↘ 対象を限定・追加すべきか?意図を限定・拡充すべきか? 対象は伝統文化を継承し、広めてもらう団体であり妥当である。意図は隼人町民芸保存会の円滑な運営と財政の健全化を図ることにより伝統文化を継承し、広めてもらうことに繋がるので妥当である。																												
有効性 評価	<b>成果の向上余地</b>	<input type="checkbox"/> 向上余地がある【理由】 ↘ <input checked="" type="checkbox"/> 向上余地がない【理由】 ↘ 成果を向上させる余地はあるか?成果の現状水準とあるべき水準との差異はないか?何が原因で成果向上が期待できないのか? 隼人町民芸保存会に対する運営補助であり、向上の余地はない。																												
	<b>廃止・休止の成果への影響</b>	<input type="checkbox"/> 影響無【理由】 ↘ <input checked="" type="checkbox"/> 影響有【その内容】 ↘ 事務事業を廃止・休止した場合の影響の有無とその内容は? 自主財源のみでは保存・継承ができなくなり、伝統文化が消滅する恐れがある。																												
	<b>類似事業との統廃合・連携の可能性</b>	<input type="checkbox"/> 他に手段がある(具体的な手段、事務事業) <input checked="" type="checkbox"/> 地区民俗芸能伝承団体運営支援事業 <input checked="" type="checkbox"/> 統廃合できる ↘ <input type="checkbox"/> 連携できる ↘ <input type="checkbox"/> 統廃合できない ↘ <input type="checkbox"/> 連携できない ↘ 目的を達成するには、この事務事業以外他に方法はないか?類似事業との統廃合ができるか?類似事業との連携を図ることにより、成果の向上が期待できるか? 他に類似事業も各地区の民俗芸能伝承団体に対する運営補助であり、窓口を統合することにより伝承活動への支援が容易になる。																												
効率性 評価	<b>事業費の削減余地</b>	<input type="checkbox"/> 削減余地がある【理由】 ↘ <input checked="" type="checkbox"/> 削減余地がない【理由】 ↘ 成果を下げずに事業費を削減できないか?(仕様や工法の適正化、住民の協力など) 自主財源が少なく、これ以上の削減は保存・継承に支障をきたす。																												
	<b>人件費(延べ業務時間)の削減余地</b>	<input type="checkbox"/> 削減余地がある【理由】 ↘ <input checked="" type="checkbox"/> 削減余地がない【理由】 ↘ やり方を工夫して延べ業務時間を削減できないか?成果を下げずに正職員以外の職員や委託でできないか?(アウトソーシングなど) 補助金交付事務のみであり、削減余地はない。																												
公平性 評価	<b>受益機会・費用負担の適正化余地</b>	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある【理由】 ↘ <input checked="" type="checkbox"/> 公平・公正である【理由】 ↘ 事業の内容が一部の受益者に偏っていて不公平ではないか?受益者負担が公平・公正になっているか? 伝統文化を継承し、広めてもらうことにより、市民が伝統文化に触れる機会を持って、より郷土の歴史を知り、伝統文化を大切にすることを繋がるので、公平・公正である。																												
<b>3 評価結果の総括と今後の方向性(次年度計画と予算への反映)(PLAN) 【担当課長記入欄】</b>																														
(1) 1次評価者としての評価結果		(2) 全体総括(振り返り、反省点)																												
目的妥当性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり 有効性 <input type="checkbox"/> 適切 <input checked="" type="checkbox"/> 見直し余地あり 効率性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり 公平性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり		他の類似事業と窓口を一本化することにより、より伝承活動への支援が容易になる。																												
(3) 今後の事業の方向性(改革改善案)・・・複数選択可			(4) 改革・改善による期待成果(廃止・休止の場合は記入不要)																											
<input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 休止 <input type="checkbox"/> 事業のやり方改善(有効性改善) <input checked="" type="checkbox"/> 現状維持 <input type="checkbox"/> 目的再設定 <input type="checkbox"/> 事業のやり方改善(効率性改善) (従来通りで特に改革改善をしない) <input type="checkbox"/> 事業統廃合・連携 <input type="checkbox"/> 事業のやり方改善(公平性改善)			<table border="1"> <tr> <td colspan="2" rowspan="2"></td> <th colspan="3">コスト</th> </tr> <tr> <th>削減</th> <th>維持</th> <th>増加</th> </tr> <tr> <th rowspan="2">成果</th> <th>向上</th> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <th>維持</th> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <th rowspan="2">低下</th> <th>維持</th> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <th>低下</th> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </table>				コスト			削減	維持	増加	成果	向上				維持				低下	維持				低下			
		コスト																												
		削減	維持	増加																										
成果	向上																													
	維持																													
低下	維持																													
	低下																													
(5) 改革、改善を実現する上で解決すべき課題(壁)とその解決策 事業の対象・意図に沿った所管の配置を企画政策課・行政改革推進課で調整する必要がある。																														



事務事業名	隼人国民保養センター管理事業	所属部	商工観光部	所属課	観光課																										
<b>2 評価の部(SEE) *原則は事後評価、ただし複数年度事業は途中評価</b>																															
目的 妥当性 評価	政策体系との整合性	<input checked="" type="checkbox"/> 見直し余地がある【理由】 ↷ <input type="checkbox"/> 結びついている【理由】 ↷																													
	この事務事業の目的は市(町)の政策体系に結びつくか?意図することが結果に結びついているか?	施設の存在価値という観点では、国民保養センターに入浴することにより、疾病の予防や健康増進のための健康管理ができ、市民の健康づくりの推進につながるから結びついているが、施設の維持管理を観光課で行っている状態では施策との結びつけが困難である。																													
	公共関与の妥当性	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある【理由】 ↷ <input checked="" type="checkbox"/> 妥当である【理由】 ↷																													
有効性 評価	なぜこの事業を市(町)が行わなければならないのか?税金を投入して、達成する目的か?	市が保有する国民保養センターであり、疾病の予防や健康増進のための健康管理ができる同温泉の管理運営を市が行うことは妥当である。																													
	対象・意図の妥当性	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある【理由】 ↷ <input checked="" type="checkbox"/> 適切である【理由】 ↷																													
	対象を限定・追加すべきか?意図を限定・拡充すべきか?	対象は施設利用者の市民であるので妥当である。意図も維持管理を徹底し安心して多くの方に利用してもらうことにより、疾病の予防や健康増進のための健康管理ができることにつながり妥当である。																													
効果 性 評価	成果の向上余地	<input checked="" type="checkbox"/> 向上余地がある【理由】 ↷ <input type="checkbox"/> 向上余地がない【理由】 ↷																													
	成果を向上させる余地はあるか?成果の現状水準とあるべき水準との差異はないか?何が原因で成果向上が期待できないのか?	現在は、何故か観光課主管であるが、健康増進課等施策と直接結びつく部署が所管した方が、専門的な知識も生かされ、成果の向上余地がある。																													
	廃止・休止の成果への影響	<input checked="" type="checkbox"/> 影響無【理由】 ↷ <input type="checkbox"/> 影響有【その内容】 ↷																													
効率 性 評価	事務事業を廃止・休止した場合の影響の有無とその内容は?	観光課主管で施設を管理している状態では、施策を効率的に実践できない。観光課が所管するのであれば廃止しても影響はないと思われる。																													
	類似事業との統廃合・連携の可能性	<input checked="" type="checkbox"/> 他に手段がある(具体的な手段、事務事業) ↳ 神の湯、浜之市温泉センター、関平温泉、溝辺地区入浴施設、塩浸温泉他 <input type="checkbox"/> 統廃合できる ↷ <input checked="" type="checkbox"/> 連携できる ↷ <input type="checkbox"/> 統廃合できない ↷ <input type="checkbox"/> 連携できない ↷																													
	目的を達成するには、この事務事業以外他に方法はないか?類似事業との統廃合ができるか?類似事業との連携を図ることにより、成果の向上が期待できるか?	他の類似事業も対象・意図が同じであり、管理の窓口を統一すれば市内の温泉施設管理がより効率よく行えると思われる。 <input type="checkbox"/> 他に手段がない【理由】 ↷																													
公平 性 評価	事業費の削減余地	<input type="checkbox"/> 削減余地がある【理由】 ↷ <input checked="" type="checkbox"/> 削減余地がない【理由】 ↷																													
	成果を下げずに事業費を削減できないか?(仕様や工法の適正化、住民の協力など)	温泉管理には必要最低の経費で賄っており、削減の余地はない。																													
公平 性 評価	人件費(延べ業務時間)の削減余地	<input type="checkbox"/> 削減余地がある【理由】 ↷ <input checked="" type="checkbox"/> 削減余地がない【理由】 ↷																													
	やり方を工夫して延べ業務時間を削減できないか?成果を下げずにより正職員以外の職員や委託でできないか?(アウトソーシングなど)	差引事務等は最低限の事務であり、維持管理についてもAに委託し、「売上総額=委託料」としているため、削減の余地はない。																													
公平 性 評価	受益機会・費用負担の適正化余地	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある【理由】 ↷ <input checked="" type="checkbox"/> 公平・公正である【理由】 ↷																													
事業の内容が一部の受益者に偏っていて不公平ではないか?受益者負担が公平・公正になっているか?		施設を快適に利用していただくために入浴料を徴収しているが、民間施設と比べて最低の料金であり、公平・公正であると思われる。																													
<b>3 評価結果の総括と今後の方向性(次年度計画と予算への反映)(PLAN) 【担当課長記入欄】</b>																															
(1) 1次評価者としての評価結果		(2) 全体総括(振り返り、反省点)																													
目的妥当性 <input type="checkbox"/> 適切 <input checked="" type="checkbox"/> 見直し余地あり 有効性 <input type="checkbox"/> 適切 <input checked="" type="checkbox"/> 見直し余地あり 効率性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり 公平性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり		施設の存在価値という観点では、施策に結びついているが、現在観光課が所管しており、観光課が所管している状態では成果向上余地はない。																													
(3) 今後の事業の方向性(改革改善案)・・・複数選択可		<input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 休止 <input checked="" type="checkbox"/> 事業のやり方改善(有効性改善) <input type="checkbox"/> 現状維持 <input type="checkbox"/> 目的再設定 <input type="checkbox"/> 事業のやり方改善(効率性改善) (従来通りで特に改革改善をしない) <input type="checkbox"/> 事業統廃合・連携 <input type="checkbox"/> 事業のやり方改善(公平性改善)		(4) 改革・改善による期待成果(廃止・休止の場合は記入不要)																											
<input type="checkbox"/> 健康増進課等の福祉関連部署へ所管を移す。				<table border="1"> <tr> <td colspan="2" rowspan="2"></td> <td colspan="3">コスト</td> </tr> <tr> <td>削減</td> <td>維持</td> <td>増加</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">成果</td> <td>向上</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>維持</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td rowspan="2">低下</td> <td>維持</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>低下</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </table>				コスト			削減	維持	増加	成果	向上				維持				低下	維持				低下			
		コスト																													
		削減	維持	増加																											
成果	向上																														
	維持																														
低下	維持																														
	低下																														
(5) 改革、改善を実現する上で解決すべき課題(壁)とその解決策 事業の対象・意図に沿った所管の配置を企画政策課・行政改革推進課で調整してもらうよう要望する。																															

No.	630-590	事務事業名	関平温泉管理運営事業				所属部	商工観光部
							所属課	観光課
政策体系	政策名	05	たすけあい支えあまちづくり				課長名	横手航太郎
	施策名	02	健康づくりの推進				所属G(係)	関平温泉・関平鉱泉販売所
	基本事業名	02	健康管理の実践支援				電話番号	78-2950
予算科目	会計	款	項	目	事業	事業名	法令根拠	
	一般	02	01	15	2410	関平温泉管理事業	特になし	

事務事業の概要(具体的なやり方、手順、詳細。期間限定複数年度事業は全体像を記述)		事業期間
昭和52年に関平鉱泉が病気に効き目があることから、温泉の開設をした。当時の温泉施設は立地条件が悪く、利用者に不便なため、平成4年に鉱泉販売所に隣接する現在の場所に移転した。 大浴場は、関平温泉と新床温泉の2種類のお湯を楽しめ、また貸切風呂が2部屋ある。 【入浴料】 大人300円、子供150円。貸切風呂：2時間1,200円。 付帯施設(自炊施設)：日帰り920円、宿泊1,530円 【休休日】 第1・第3火曜日 毎月26日は「風呂の日」として、入浴料無料(貸切風呂は別)		<input type="checkbox"/> 単年度のみ <input checked="" type="checkbox"/> 単年度繰返 ↳ ( S 52 年度 ~ ) <input type="checkbox"/> 期間限定複数年度 ↳ (            年度 ~            年度 )

1 現状把握の部(DO)

(1) 事務事業の目的と指標		活動指標(事務事業の活動量を表す指標)	
手段(主な活動)		名称	単位
20年度実績(20年度に行った主な活動)	事務事業の概要と同様	ア 施設の営業日数	日
21年度計画(21年度に計画している主な活動)	前年度と同様	イ 入浴者数	人
対象(誰、何を対象にしているのか)*人や自然資源等	市民	ウ	
意図(この事業によって、対象をどう変えるのか)	関平温泉に安心して入浴できる。	対象指標(対象の大きさを表す指標)	
結果(どんな結果に結び付けるのか)	疾病の予防、早期発見、早期治療、健康増進のための、健康管理ができるようになる。	ア 人口	人
		イ	
		ウ	
		成果指標(対象における意図の達成度を表す指標)	
		ア クレーム件数	件
		イ	
		ウ	
		上位成果指標(結果の達成度を表す指標)	
		ア 健診を受診した市民の割合	%
		イ	
		ウ	

(2) 総事業費・指標等の推移		単位	18年度(実績)	19年度(実績)	20年度(見込)	21年度(見込)		
投入量	事業内訳	財源内訳	千円					
		国庫支出金	千円					
		都道府県支出金	千円					
		地方債	千円					
		その他	千円					
	一般財源	千円	6,116	7,907	6,159	6,160		
	事業費計(A)	千円	6,116	7,907	6,159	6,160		
活動指標	ア 日		341	342	341	341		
	イ 人		23,995	26,478	27,000	27,500		
	ウ							
対象指標	ア 人		127,941	127,736	128,000	128,500		
	イ							
	ウ							
成果指標	ア 件		2	4	3	0		
	イ							
	ウ							
上位成果指標	ア %		41	45	49	53		
	イ							
	ウ							

(3) 事務事業の環境変化・住民意見等	
この事務事業を開始したきっかけは何か?いつ頃どんな経緯で開始されたのか?	
昭和52年に関平鉱泉が病気に効き目があることから、市民の保護と福祉、市民福祉の向上を目的として温泉の開設をした。当時の温泉施設は立地条件が悪く、利用者に不便なため、平成4年に鉱泉販売所に隣接する現在の場所に移転した。	
事務事業を取り巻く状況(対象者や根拠法令等)はどう変化しているか、開始時期あるいは5年前と比べてどう変わったのか?	
特に変化なし。	
この事務事業に対して関係者(住民、議会、事業対象者、利害関係者等)からどんな意見や要望が寄せられているか?	
利用者からは低料金での日帰り等の入浴施設が少なく存続の要望と、健康管理の面からも存続が必要との意見がある。	

事務事業名	関平温泉管理運営事業	所属部	商工観光部	所属課	観光課
-------	------------	-----	-------	-----	-----

2 評価の部(SEE) \* 原則は事後評価、ただし複数年度事業は途中評価

目的 妥当性 評価	政策体系との整合性 この事務事業の目的は市(町)の政策体系に結びつくか? 意図することが結果に結びついているか?	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある【理由】 ↷ <input checked="" type="checkbox"/> 結びついている【理由】 ↷ 関平温泉に入浴することにより、疾病の予防や健康増進のための健康管理ができ、市民の健康づくりの推進につながるため結びついている。
	公共関与の妥当性 なぜこの事業を市(町)が行わなければならないのか? 税金を投入して、達成する目的か?	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある【理由】 ↷ <input checked="" type="checkbox"/> 妥当である【理由】 ↷ 市が保有する関平温泉であり、疾病の予防や健康増進のための健康管理ができる同温泉の管理運営を市が行うことは妥当である。
	対象・意図の妥当性 対象を限定・追加すべきか? 意図を限定・拡充すべきか?	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある【理由】 ↷ <input checked="" type="checkbox"/> 適切である【理由】 ↷ 対象は施設利用者である市民であるので妥当である。意図も維持管理を徹底し安心して多くの方々に利用してもらうことにより、疾病の予防や健康増進のための健康管理ができることに繋がり妥当である。
有効性 評価	成果の向上余地 成果を向上させる余地はあるか? 成果の現状水準とあるべき水準との差異はないか? 何が原因で成果向上が期待できないのか?	<input checked="" type="checkbox"/> 向上余地がある【理由】 ↷ <input type="checkbox"/> 向上余地がない【理由】 ↷ 関平温泉の効能を市民にわかりやすく説明するためのパンフレットの作成や、市報での紹介を通じて利用者の増加が見込まれるので成果の向上余地がある。
	廃止・休止の成果への影響 事務事業を廃止・休止した場合の影響の有無とその内容は?	<input type="checkbox"/> 影響無【理由】 ↷ <input checked="" type="checkbox"/> 影響有【その内容】 ↷ 効能が優れ、低料金での日帰り入浴が可能な入浴施設がなくなれば、疾病の予防や健康増進のための健康管理ができなくなり影響がある。
	類似事業との統廃合・連携の可能性 目的を達成するには、この事務事業以外他に方法はないか? 類似事業との統廃合ができるか? 類似事業との連携を図ることにより、成果の向上が期待できるか?	<input checked="" type="checkbox"/> 他に手段がある(具体的な手段、事務事業) ↷ 神の湯、浜之市温泉センター、国民保養センター、溝辺地区入浴施設、塩浸温泉他 <input type="checkbox"/> 統廃合できる ↷ <input checked="" type="checkbox"/> 連携できる ↷ <input type="checkbox"/> 統廃合できない ↷ <input type="checkbox"/> 連携できない ↷ 他の類似事業も対象・意図が同じであり、管理の窓口を統一すれば市内の温泉施設管理がより効率よく行えると思われる。 <input type="checkbox"/> 他に手段がない【理由】 ↷
効率性 評価	事業費の削減余地 成果を下げずに事業費を削減できないか? (仕様や工法の適正化、住民の協力など)	<input type="checkbox"/> 削減余地がある【理由】 ↷ <input checked="" type="checkbox"/> 削減余地がない【理由】 ↷ 温泉管理には必要最低の経費で賄っており、削減の余地はない。
	人件費(延べ業務時間)の削減余地 やり方を工夫して延べ業務時間を削減できないか? 成果を下げずに正職員以外の職員や委託でできないか? (アウトソーシングなど)	<input type="checkbox"/> 削減余地がある【理由】 ↷ <input checked="" type="checkbox"/> 削減余地がない【理由】 ↷ 差引事務等は最低限の事務であり、維持管理についてもプロパー(臨職)職員3名で対応しているため、削減の余地はない。
公平性 評価	受益機会・費用負担の適正化余地 事業の内容が一部の受益者に偏っていて不公平ではないか? 受益者負担が公平・公正になっているか?	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある【理由】 ↷ <input checked="" type="checkbox"/> 公平・公正である【理由】 ↷ 施設を快適に利用していただくために入浴料を徴収しているが、民間施設と比べて最低の料金であり、公平・公正であると思われる。

3 評価結果の総括と今後の方向性(次年度計画と予算への反映)(PLAN) [担当課長記入欄]

(1) 1次評価者としての評価結果	(2) 全体総括(振り返り、反省点)
目的妥当性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり 有効性 <input type="checkbox"/> 適切 <input checked="" type="checkbox"/> 見直し余地あり 効率性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり 公平性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり	関平温泉は効能もすばらしく、現在の管理方法で問題はないと思われるが、市内の他の類似事業と窓口を一本化することにより、施設管理がより効率的に行えるものと考えられる。
(3) 今後の事業の方向性(改革改善案)・・・複数選択可	(4) 改革・改善による期待成果(廃止・休止の場合は記入不要)
<input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 休止 <input checked="" type="checkbox"/> 事業のやり方改善(有効性改善) <input type="checkbox"/> 現状維持 <input type="checkbox"/> 目的再設定 <input type="checkbox"/> 事業のやり方改善(効率性改善) (従来通りで特に改革改善をしない) <input type="checkbox"/> 事業統廃合・連携 <input type="checkbox"/> 事業のやり方改善(公平性改善)	<改革改善案> 温泉施設の窓口の一本化
(5) 改革、改善を実現する上で解決すべき課題(壁)とその解決策	
事業の対象・意図に沿った所管の配置を企画政策課・行革改革推進課で調整してもらうよう要望する。	

No.	630-600	事務事業名	浜之市ふれあいセンター管理事業			所 属 部	商工観光部	
		政策名	0 5	たすけあい支えあまちづくり			所 属 課	観光課
		施策名	0 2	健康づくりの推進			課 長 名	横手 航太郎
政策体系	基本事業名	0 2	健康管理の実践支援			所 属 G ( 係 )	観光グループ	
		電話 番号	45-5111					
予算科目	会計 一般	款 0 7	項 0 1	目 0 5	事業 104035	事業名 浜之市ふれあいセンター管理費	法令 根拠 浜之市ふれあいセンターの設置及び管理に関する条例	

事務事業の概要(具体的なやり方、手順、詳細。期間限定複数年度事業は全体像を記述)	事業期間
平成14年に林業の振興と地域住民に対する森林整備の必要性、地域材利用の意義についての普及活動の推進、市民福祉、健康増進及び地元産業育成を図るために霧島市隼人町真孝390番地外に設置された。施設の運営・管理については、霧島市シルバー人材センターに委託している。温泉施設、研修室、売店、足湯などがある。 定休日：毎週月曜日、年末年始 営業時間：9:00～22:00 入浴料金：大人150円、中人120円、小人80円	<input type="checkbox"/> 単年度のみ <input checked="" type="checkbox"/> 単年度繰返 ↳ ( H 14 年度 ~ ) <input type="checkbox"/> 期間限定複数年度 ↳ (        年度 ~        年度 )

1 現状把握の部 (DO)

(1) 事務事業の目的と指標		活動指標(事務事業の活動量を表す指標)	
手段(主な活動)		名称	単位
20年度実績(20年度に行った主な活動)	事務事業の概要と同様	ア 営業日数	日
21年度計画(21年度に計画している主な活動)	指定管理者制度の導入	イ 入浴者数	人
対象(誰、何を対象にしているのか) * 人や自然資源等	市民 シルバー人材センター	ウ	
意図(この事業によって、対象をどう変えるのか)	安心して入浴できる。 委託料を交付されることによって、施設の管理運営を円滑に行える。	対象指標(対象の大きさを表す指標)	
結果(どんな結果に結び付けるのか)	疾病の予防、早期発見、早期治療、健康増進のための健康管理ができるようになる。	ア 人口	人
		イ	
		ウ	
		成果指標(対象における意図の達成度を表す指標)	
		ア 苦情件数	件
		イ	
		ウ	
		上位成果指標(結果の達成度を表す指標)	
		ア 検診を受診した市民の割合	%
		イ	
		ウ	

(2) 総事業費・指標等の推移		単位	18年度(実績)	19年度(実績)	20年度(実績)	21年度(見込)			
投入量	事業費	財源内訳	千円						
		国庫支出金	千円						
		都道府県支出金	千円						
		地方債	千円						
		その他	千円	8,524	9,332	9,864	9,774		
		一般財源	千円	5,131	4,288	4,324	2,563		
	事業費計(A)	千円	13,655	13,620	14,188	12,337			
活動指標	ア 日		311	311	312	311			
	イ 人		30,802	33,923	35,608	36,000			
	ウ								
対象指標	ア 人		127,615	127,773	127,450	128,383			
	イ								
	ウ								
成果指標	ア 件		0	0	0	0			
	イ								
	ウ								
上位成果指標	ア %		41	45	49	53			
	イ								
	ウ								

(3) 事務事業の環境変化・住民意見等	
この事務事業を開始したきっかけは何か？いつ頃どんな経緯で開始されたのか？	
平成7年の当地区区画整理事業都市計画決定及び平成9年の同事業の事業計画決定を受けて、当該用地を買収し、地元住民の要望に応じて同センターが建設された。	
事務事業を取り巻く状況(対象者や根拠法令等)はどう変化しているか、開始時期あるいは5年前と比べてどう変わったのか？	
利用者が増加しており、地元民の健康管理には欠かせない施設と定着している。	
この事務事業に対して関係者(住民、議会、事業対象者、利害関係者等)からどんな意見や要望が寄せられているか？	

事務事業名	浜之市ふれあいセンター管理事業	所属部	商工観光部	所属課	観光課																										
<b>2 評価の部(SEE) * 原則は事後評価、ただし複数年度事業は途中評価</b>																															
目的 妥当性 評価	政策体系との整合性	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある【理由】 <input checked="" type="checkbox"/> 結びついている【理由】																													
	この事務事業の目的は市(町)の政策体系に結びつくか? 意図することが結果に結びついているか?	浜之市ふれあいセンターに入浴することにより、疾病の予防や健康増進ができ、市民の健康づくりの推進につながるので結びついている。																													
	公共関与の妥当性	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある【理由】 <input checked="" type="checkbox"/> 妥当である【理由】																													
有効性 評価	なぜこの事業を市(町)が行わなければならないのか? 税金を投入して、達成する目的か?	市が保有する浜之市ふれあいセンターであり、疾病の予防や健康増進のための健康管理ができる同センターを管理運営を委託することは妥当である。																													
	対象・意図の妥当性	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある【理由】 <input checked="" type="checkbox"/> 適切である【理由】																													
	対象を限定・追加すべきか? 意図を限定・拡充すべきか?	対象は施設利用者である市民であるので妥当である。意図は維持管理を徹底し安心して利用してもらうことにより、疾病の予防や健康増進のための健康管理ができることに繋がり妥当である。																													
成果の向上 余地	成果を向上させる余地はあるか? 成果の現状水準とあるべき水準との差異はないか? 何が原因で成果向上が期待できないのか?	<input type="checkbox"/> 向上余地がある【理由】 <input checked="" type="checkbox"/> 向上余地がない【理由】																													
	地域に密着した施設であり、向上の余地はない。																														
	廃止・休止の成果への影響	<input type="checkbox"/> 影響無【理由】 <input checked="" type="checkbox"/> 影響有【その内容】																													
効率性 評価	事務事業を廃止・休止した場合の影響の有無とその内容は?	低料金で日帰りの入浴施設がなくなれば、疾病の予防や健康増進のための健康管理ができなくなり影響がある。																													
	類似事業との統廃合・連携の可能性	<input checked="" type="checkbox"/> 他に手段がある(具体的な手段、事務事業) 関平温泉、神の湯、国民保養センター、溝辺地区入浴施設、塩浸温泉他 <input type="checkbox"/> 統廃合できる <input checked="" type="checkbox"/> 連携できる <input type="checkbox"/> 統廃合できない <input type="checkbox"/> 連携できない																													
	目的を達成するには、この事務事業以外他に方法はないか? 類似事業との統廃合ができるか? 類似事業との連携を図ることにより、成果の向上が期待できるか?	他の類似事業も対象・意図が同じであり、管理の窓口を統一すれば市内の温泉施設管理がより効率よく行えると思われる。																													
公平性 評価	事業費の削減余地	<input type="checkbox"/> 削減余地がある【理由】 <input checked="" type="checkbox"/> 削減余地がない【理由】																													
	成果を下げずに事業費を削減できないか? (仕様や工法の適正化、住民の協力など)	温泉管理には必要最低の経費で賄っており、削減の余地はない。																													
公平性 評価	人件費(延べ業務時間)の削減余地	<input type="checkbox"/> 削減余地がある【理由】 <input checked="" type="checkbox"/> 削減余地がない【理由】																													
	やり方を工夫して延べ業務時間を削減できないか? 成果を下げずに正職員以外の職員や委託でできないか? (アウトソーシングなど)	予算差引事務は最低限の事務であり削減余地はない。																													
公平性 評価	受益機会・費用負担の適正化余地	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある【理由】 <input checked="" type="checkbox"/> 公平・公正である【理由】																													
	事業の内容が一部の受益者に偏っていて不公平ではないか? 受益者負担が公平・公正になっているか?	施設利用者には入浴料を徴収しているので公平・公正である。																													
<b>3 評価結果の総括と今後の方向性(次年度計画と予算への反映)(PLAN) 【担当課長記入欄】</b>																															
(1) 1次評価者としての評価結果			(2) 全体総括(振り返り、反省点)																												
目的妥当性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり 有効性 <input type="checkbox"/> 適切 <input checked="" type="checkbox"/> 見直し余地あり 効率性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり 公平性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり			市内の他の類似事業と窓口を一本化することにより、施設管理がより効率的に行えるものとする。																												
(3) 今後の事業の方向性(改革改善案)・・・複数選択可			(4) 改革・改善による期待成果(廃止・休止の場合は記入不要)																												
<input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 休止 <input checked="" type="checkbox"/> 事業のやり方改善(有効性改善) <input type="checkbox"/> 現状維持 <input type="checkbox"/> 目的再設定 <input type="checkbox"/> 事業のやり方改善(効率性改善) (従来通りで特に改革改善をしない) <input type="checkbox"/> 事業統廃合・連携 <input type="checkbox"/> 事業のやり方改善(公平性改善)			<table border="1"> <tr> <td colspan="2" rowspan="2"></td> <td colspan="3">コスト</td> </tr> <tr> <td>削減</td> <td>維持</td> <td>増加</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">成果</td> <td>向上</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>維持</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td rowspan="2">低下</td> <td>維持</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>低下</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </table>					コスト			削減	維持	増加	成果	向上				維持				低下	維持				低下			
		コスト																													
		削減	維持	増加																											
成果	向上																														
	維持																														
低下	維持																														
	低下																														
(5) 改革、改善を実現する上で解決すべき課題(壁)とその解決策 事業の対象・意図に沿った所管の配置を企画政策課・行政改革推進課で調整することが必要である。																															



No.	630-610	事務事業名	花文字「フクヤマ」維持管理支援事業			所 属 部	商工観光部
			所 属 課	観光課			
政策体系	政策名	0 6	共生・協働のまちづくり			課 長 名	横手 航太郎
	施策名	0 1	市民参加によるまちづくりの推進			所 属 G ( 係 )	観光グループ
	基本事業名	0 2	まちづくりに参加しやすい仕組みづくり			電 話 番 号	45-5111

予算科目	会計	款	項	目	事業	事業名	法令 根拠	特になし
	一般	0 7	0 1	0 4	103090	観光費		

事務事業の概要(具体的なやり方、手順、詳細。期間限定複数年度事業は全体像を記述)	事業期間
平成2年に旧福山町の活性化を図るために惣陣ヶ岡の南斜面に「フクヤマ」という文字につつじを植栽し、ふくやま「ぼっけもん会」が主体となり年に数回草払いや照明等の設置を行っている。花文字の植栽場所が県有地のため、鹿児島県へ借地料 (36,750円/年間)を支払っている。	<input type="checkbox"/> 単年度のみ <input checked="" type="checkbox"/> 単年度繰返 ↳ ( S 54 年度 ~ ) <input type="checkbox"/> 期間限定複数年度 ↳ (        年度 ~        年度 )

1 現状把握の部(DO)

(1) 事務事業の目的と指標		活動指標(事務事業の活動量を表す指標)	
手段(主な活動)		名称	単位
19年度実績(19年度に行った主な活動)	事務事業の概要と同様	ア 草払い回数	回
20年度計画(20年度に計画している主な活動)	前年度と同様	イ 照明設置回数	回
対象(誰、何を対象にしているのか) * 人や自然資源等	ぼっけもん会	ウ	
意図(この事業によって、対象をどう変えるのか)	花文字を管理することにより住民相互の交流・連携ができる。	対象指標(対象の大きさを表す指標)	
結果(どんな結果に結び付けるのか)	(活動に対する資金や人材等の支援を行なうことにより)まちづくりや地域活動がやりやすくなる。	ア ぼっけもん会の会員数	人
		イ	
		ウ	
		成果指標(対象における意図の達成度を表す指標)	
		ア 活動に参加した実人数	人
		イ	
		ウ	
		上位成果指標(結果の達成度を表す指標)	
		ア まちづくりや地域活動を行なっている市民活動団体の数	団体
		イ	
		ウ	

(2) 総事業費・指標等の推移		単位	18年度 (実績)	19年度 (実績)	20年度 (見込)	21年度 (見込)		
投入量	事業費	財源内訳	千円					
		国庫支出金	千円					
		都道府県支出金	千円					
		地方債	千円					
		その他	千円					
		一般財源	千円	37	37	37	37	
	事業費計(A)	千円	37	37	37	37		
活動指標	ア	回	4	4	4	4		
	イ	回	2	2	2	2		
	ウ							
対象指標	ア	人	36	36	36	36		
	イ							
	ウ							
成果指標	ア	人	350	350	350	350		
	イ							
	ウ							
上位成果指標	ア	団体	1,214	1,220	1,230	1,240		
	イ							
	ウ							

(3) 事務事業の環境変化・住民意見等	
この事務事業を開始したきっかけは何か?いつ頃どんな経緯で開始されたのか? 平成2年に福山の活性化を図るために花文字による植栽を実施し、福山の地域活動を深めるためにかかせない事業となっている。	
事務事業を取り巻く状況(対象者や根拠法令等)はどう変化しているか、開始時期あるいは5年前と比べてどう変わったのか? 合併をしたことにより失われつつある地域のコミュニティーを形成するためには欠かせない。	
この事務事業に対して関係者(住民、議会、事業対象者、利害関係者等)からどんな意見や要望が寄せられているか? 特になし。	

事務事業名	花文字「フクヤマ」維持管理支援事業	所属部	商工観光部	所属課	観光課																					
<b>2 評価の部(SEE) * 原則は事後評価、ただし複数年度事業は途中評価</b>																										
目的 妥当性 評価	<b>政策体系との整合性</b>	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある【理由】 ↷ <input checked="" type="checkbox"/> 結びついている【理由】 ↷ この事務事業の目的は市(町)の政策体系に結びつくか? 意図することが結果に結びついているか? 福山地区で地域活動を行っているふくやま「ぼっけもん会」を支援することによりちづくりや地域活動がやりやすくなることに繋がるので結びついている。																								
	<b>公共関与の妥当性</b>	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある【理由】 ↷ <input checked="" type="checkbox"/> 妥当である【理由】 ↷ なぜこの事業を市(町)が行わなければならないのか? 税金を投入して、達成する目的か? 市民参加によるまちづくりを推進するための支援であり、妥当である。																								
	<b>対象・意図の妥当性</b>	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある【理由】 ↷ <input checked="" type="checkbox"/> 適切である【理由】 ↷ 対象を限定・追加すべきか? 意図を限定・拡充すべきか? 対象はボランティア団体であり妥当である。意図は住民相互の交流・連携ができるので妥当である。																								
有効性 評価	<b>成果の向上余地</b>	<input type="checkbox"/> 向上余地がある【理由】 ↷ <input checked="" type="checkbox"/> 向上余地がない【理由】 ↷ 成果を向上させる余地はあるか? 成果の現状水準とあるべき水準との差異はないか? 何が原因で成果向上が期待できないのか? 借地料の支払いのみであり、向上の余地はない。																								
	<b>廃止・休止の成果への影響</b>	<input type="checkbox"/> 影響無【理由】 ↷ <input checked="" type="checkbox"/> 影響有【その内容】 ↷ 事務事業を廃止・休止した場合の影響の有無とその内容は? 花文字の管理による地域活動が行えなくなる。																								
	<b>類似事業との統廃合・連携の可能性</b>	<input type="checkbox"/> 他に手段がある(具体的な手段, 事務事業) ↷ <input type="checkbox"/> 統廃合できる ↷ <input type="checkbox"/> 連携できる ↷ <input type="checkbox"/> 統廃合できない ↷ <input type="checkbox"/> 連携できない ↷ <input checked="" type="checkbox"/> 他に手段がない【理由】 ↷ 目的を達成するには、この事務事業以外他に方法はないか? 類似事業との統廃合ができるか? 類似事業との連携を図ることにより、成果の向上が期待できるか? ふくやま「ぼっけもん会」の花文字の管理による地域活動に対する支援は本事業のみである。																								
効率性 評価	<b>事業費の削減余地</b>	<input type="checkbox"/> 削減余地がある【理由】 ↷ <input checked="" type="checkbox"/> 削減余地がない【理由】 ↷ 成果を下げずに事業費を削減できないか? (仕様や工法の適正化、住民の協力など) 借地料のみであり、削除の余地はない。																								
	<b>人件費(延べ業務時間)の削減余地</b>	<input type="checkbox"/> 削減余地がある【理由】 ↷ <input checked="" type="checkbox"/> 削減余地がない【理由】 ↷ やり方を工夫して延べ業務時間を削減できないか? 成果を下げずに正職員以外の職員や委託でできないか? (アウトソーシングなど) 借地料の支払い事務のみであり、削減余地はない。																								
公平性 評価	<b>受益機会・費用負担の適正化余地</b>	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある【理由】 ↷ <input checked="" type="checkbox"/> 公平・公正である【理由】 ↷ 事業の内容が一部の受益者に偏っていて不公平ではないか? 受益者負担が公平・公正になっているか? ボランティア活動に対する支援であり、公平・公正である。																								
<b>3 評価結果の総括と今後の方向性(次年度計画と予算への反映)(PLAN) 【担当課長記入欄】</b>																										
(1) 1次評価者としての評価結果		(2) 全体総括(振り返り、反省点)																								
目的妥当性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり 有効性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり 効率性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり 公平性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり		ボランティア活動に対する側面支援であり、適切である。																								
(3) 今後の事業の方向性(改革改善案)・・・複数選択可			(4) 改革・改善による期待成果(廃止・休止の場合は記入不要)																							
<input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 休止 <input type="checkbox"/> 事業のやり方改善(有効性改善) <input checked="" type="checkbox"/> 現状維持 <input type="checkbox"/> 目的再設定 <input type="checkbox"/> 事業のやり方改善(効率性改善) (従来通りで特に改革改善をしない) <input type="checkbox"/> 事業統廃合・連携 <input type="checkbox"/> 事業のやり方改善(公平性改善)			<table border="1"> <tr> <td colspan="2" rowspan="2"></td> <td colspan="3">コスト</td> </tr> <tr> <td>削減</td> <td>維持</td> <td>増加</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">成果</td> <td>向上</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>維持</td> <td></td> <td></td> <td>/</td> </tr> <tr> <td></td> <td>低下</td> <td>/</td> <td>/</td> <td>/</td> </tr> </table>				コスト			削減	維持	増加	成果	向上				維持			/		低下	/	/	/
		コスト																								
		削減	維持	増加																						
成果	向上																									
	維持			/																						
	低下	/	/	/																						
(5) 改革、改善を実現する上で解決すべき課題(壁)とその解決策																										

No.	630-620	事務事業名	関平鉱泉販売事業				所属部	商工観光部
							所属課	観光課
政策体系	政策名	0 7	新たな行政経営によるまちづくり				課長名	横手航太郎
	施策名	0 1	健全な財政運営の推進				所属G(係)	関平温泉・関平鉱泉販売所
	基本事業名	0 1	歳入の確保				電話番号	78-2950
予算科目	会計	款	項	目	事業	事業名	法令 根拠	
	一般	0 2	0 1	1 5	24010	関平温泉管理事業		

事務事業の概要(具体的なやり方、手順、詳細。期間限定複数年度事業は全体像を記述) 関平鉱泉販売所は、昭和58年に、市民及び一般来訪者の保養と福祉、併せて市民生活の向上・収入の確保を目的に設置され、鉱泉水の製造・販売を行っている。本事業では、販売所の施設管理及び鉱泉水の販売促進のためのコンサルタントへの販売強化委託、宣伝・広報活動やクレームへの適切な対応を行うものである。 【鉱泉水】20L(1,000円)・10L(600円)・10L2箱入(1,200円)・ペットボトル2L・500ml他 【主な販売促進手法】 ・関平鉱泉友の会の設立 ・ポイントカードの作成 ・経営強化会議の開催 ・宣伝活動の実施 ・クレーム対応							事業期間 <input type="checkbox"/> 単年度のみ <input checked="" type="checkbox"/> 単年度繰返 ↳ ( S 58 年度 ~ ) <input type="checkbox"/> 期間限定複数年度 ↳ (            年度 ~            年度 )	
---	--	--	--	--	--	--	--	--

1 現状把握の部(DO)

(1) 事務事業の目的と指標		活動指標(事務事業の活動量を表す指標)	
手段(主な活動)		名称	単位
20年度実績(20年度に行った主な活動)	事務事業の概要と同様	ア 宣伝活動の実施回数	回
20年度計画(20年度に計画している主な活動)	前年度と同様	イ 経営強化会議の開催回数	回
対象(誰、何を対象にしているのか) *人や自然資源等	市民	ウ クレームへの対応件数	件
意図(この事業によって、対象をどう変えるのか)	関平鉱泉を適正な価格で購入できる。 クレームが解決する。	対象指標(対象の大きさを表す指標)	
結果(どんな結果に結び付けるのか)	受益にあった使用料・手数料(利用料)、分担金等の負担をしてもらう。	名称	単位
		ア 人口	人
		イ	
		ウ	
		成果指標(対象における意図の達成度を表す指標)	
		名称	単位
		ア 関平鉱泉の売上高	千円
		イ クレームへの対応に満足したと応えた利用者の割合	%
		ウ	
		上位成果指標(結果の達成度を表す指標)	
		名称	単位
		ア 受益負担基準に基づく見直し後の使用料・手数料・利用料・分担金の金額	億円
		イ	
		ウ	

(2) 総事業費・指標等の推移		単位	18年度(実績)	19年度(実績)	20年度(実績)	21年度(見込)		
投入量	事業内訳	国庫支出金	千円					
		都道府県支出金	千円					
		地方債	千円					
		その他	千円					
		一般財源	千円	2,493	65,663	8,915	8,998	
		事業費計(A)	千円	2,493	65,663	8,915	8,998	
活動指標	ア	回	10	12	14	15		
	イ	回	2	4	9	24		
	ウ	件	30	50	42	18		
対象指標	ア	人	127,941	127,736	127,811	128,500		
	イ							
	ウ							
成果指標	ア	千円	533,985	489,362	449,310	525,000		
	イ	%	90	90	90	100		
	ウ							
上位成果指標	ア	億円	19	19	19	20		
	イ							
	ウ							

(3) 事務事業の環境変化・住民意見等	
この事務事業を開始したきっかけは何か?いつ頃どんな経緯で開始されたのか?	
昭和58年、市民及び一般来訪者の保護と福祉、市民福祉の向上を目的として設置された関平鉱泉販売所の効率的な運営と販売促進を実施することを目的に開始された。	
事務事業を取り巻く状況(対象者や根拠法令等)はどう変化しているか、開始時期あるいは5年前と比べてどう変わったのか?	
特に変化なし	
この事務事業に対して関係者(住民、議会、事業対象者、利害関係者等)からどんな意見や要望が寄せられているか?	
市長より、財源確保として販売促進の要望がある。	

事務事業名	関平鉱泉販売事業	所属部	商工観光部	所属課	観光課
-------	----------	-----	-------	-----	-----

2 評価の部 (SEE) \* 原則は事後評価、ただし複数年度事業は途中評価

目的 妥当性 評価	政策体系との整合性	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある【理由】 ↷ <input checked="" type="checkbox"/> 結びついている【理由】 ↷
	この事務事業の目的は市(町)の政策体系に結びつくか? 意図することが結果に結びついているか?	関平鉱泉の販売促進やクレームへの適切な対応を行うことは、受益にあった使用料・手数料(利用料)、分担金等の負担をしてもらうことに繋がり結びついている。
	公共関与の妥当性	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある【理由】 ↷ <input checked="" type="checkbox"/> 妥当である【理由】 ↷
有効性 評価	なぜこの事業を市(町)が行わなければならないのか? 税金を投入して、達成する目的か?	市の貴重な財源である関平鉱泉の販売促進を図ることは妥当である。
	対象・意図の妥当性	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある【理由】 ↷ <input checked="" type="checkbox"/> 適切である【理由】 ↷
	対象を限定・追加すべきか? 意図を限定・拡充すべきか?	対象は関平鉱泉を愛飲する市民であるので妥当である。意図は、クレームへの適切な対応や、多くの市民が関平鉱泉の良さを認識することにより、受益にあった使用料・手数料(利用料)、分担金等の負担をしてもらうことに繋がり結びついている。
効率性 評価	成果の向上余地	<input checked="" type="checkbox"/> 向上余地がある【理由】 ↷ <input type="checkbox"/> 向上余地がない【理由】 ↷
	成果を向上させる余地はあるか? 成果の現状水準とあるべき水準との差異はないか? 何が原因で成果向上が期待できないのか?	鉱泉水の人体への影響を科学的に解明したり、宣伝・広告を積極的に行うことにより、売り上げの向上余地はある。
	廃止・休止の成果への影響	<input type="checkbox"/> 影響無【理由】 ↷ <input checked="" type="checkbox"/> 影響有【その内容】 ↷
公平性 評価	事務事業を廃止・休止した場合の影響の有無とその内容は?	販売促進に関する事業を怠れば、鉱泉水の売上げが下がり、市の貴重な財源が不足する。
	類似事業との統廃合・連携の可能性	<input type="checkbox"/> 他に手段がある(具体的な手段, 事務事業) ↷ <input type="checkbox"/> 統廃合できる ↷ <input type="checkbox"/> 連携できる ↷ <input type="checkbox"/> 統廃合できない ↷ <input type="checkbox"/> 連携できない ↷
	目的を達成するには、この事務事業以外他に方法はないか? 類似事業との統廃合ができるか? 類似事業との連携を図ることにより、成果の向上が期待できるか?	他に類似事業等が存在しない。 <input checked="" type="checkbox"/> 他に手段がない【理由】 ↷
公平性 評価	事業費の削減余地	<input checked="" type="checkbox"/> 削減余地がある【理由】 ↷ <input type="checkbox"/> 削減余地がない【理由】 ↷
	成果を下げずに事業費を削減できないか?(仕様や工法の適正化、住民の協力など)	関平鉱泉知名度が上がり、販売額が湧水量を上回るようになれば、宣伝への費用は削減できる。またクレームに対しても対応のマニュアル等を作成すれば、電話・文書の対応で済み削減の余地がある。
公平性 評価	人件費(延べ業務時間)の削減余地	<input type="checkbox"/> 削減余地がある【理由】 ↷ <input checked="" type="checkbox"/> 削減余地がない【理由】 ↷
	やり方を工夫して延べ業務時間を削減できないか? 成果を下げずにより正職員以外の職員や委託でできないか?(アウトソーシングなど)	本事業は、最低限の事務であり、削減の余地はない。
公平性 評価	受益機会・費用負担の適正化余地	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある【理由】 ↷ <input checked="" type="checkbox"/> 公平・公正である【理由】 ↷
	事業の内容が一部の受益者に偏っていて不公平ではないか? 受益者負担が公平・公正になっているか?	不特定多数が対象となるので公平性は保てる。

3 評価結果の総括と今後の方向性(次年度計画と予算への反映)(PLAN) [担当課長記入欄]

(1) 1次評価者としての評価結果	(2) 全体総括(振り返り、反省点)																						
目的妥当性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり 有効性 <input type="checkbox"/> 適切 <input checked="" type="checkbox"/> 見直し余地あり 効率性 <input type="checkbox"/> 適切 <input checked="" type="checkbox"/> 見直し余地あり 公平性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり	関平鉱泉の売上げの向上を図るために、無くてはならない事業であるが、更なる知名度のアップとスムーズなクレームへの対応ができれば販売額は向上すると思われる。																						
(3) 今後の事業の方向性(改革改善案)・・・複数選択可	(4) 改革・改善による期待成果(廃止・休止の場合は記入不要)																						
<input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 休止 <input checked="" type="checkbox"/> 事業のやり方改善(有効性改善) <input checked="" type="checkbox"/> 現状維持 <input type="checkbox"/> 目的再設定 <input checked="" type="checkbox"/> 事業のやり方改善(効率性改善) (従来通りで特に改革改善をしない) <input type="checkbox"/> 事業統廃合・連携 <input type="checkbox"/> 事業のやり方改善(公平性改善)	<table border="1"> <tr> <td></td> <td></td> <td colspan="2">コスト</td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td>削減</td> <td>維持</td> <td>増加</td> </tr> <tr> <td rowspan="3">成果</td> <td>向上</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>維持</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>低下</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </table>			コスト				削減	維持	増加	成果	向上				維持				低下			
		コスト																					
		削減	維持	増加																			
成果	向上																						
	維持																						
	低下																						
(5) 改革、改善を実現する上で解決すべき課題(壁)とその解決策																							
市報への宣伝の掲載や、ポイント制の普及啓発を行う。 クレーム対応研修の実施や、マニュアルの作成を行う。																							



事務事業名	花と緑のまちづくり推進事業	所属部	商工観光部	所属課	観光課																					
<b>2 評価の部(SEE) * 原則は事後評価、ただし複数年度事業は途中評価</b>																										
目的 妥当性 評価	<b>政策体系との整合性</b>	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある【理由】 <input checked="" type="checkbox"/> 結びついている【理由】																								
	この事務事業の目的は市(町)の政策体系に結びつくか? 意図することが結果に結びついているか?	花を植栽することにより、原野が整備され、景観も美しくなり、来訪者をもてなす受け皿ができることにつながり結びついている。																								
	<b>公共関与の妥当性</b>	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある【理由】 <input checked="" type="checkbox"/> 妥当である【理由】																								
なぜこの事業を市(町)が行わなければならないのか? 税金を投入して、達成する目的か?	霧島市有地の原野に花を植栽し、観光客を受け入れる体制を整備することは市の役割であるので妥当である。																									
<b>対象・意図の妥当性</b>	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある【理由】 <input checked="" type="checkbox"/> 適切である【理由】																									
対象を限定・追加すべきか? 意図を限定・拡充すべきか?	対象は植栽をする原野であり妥当である。意図は花植栽をして原野が整理されることは、来訪者をもてなす受け皿ができることにつながるため妥当である。																									
有効性 評価	<b>成果の向上余地</b>	<input checked="" type="checkbox"/> 向上余地がある【理由】 <input type="checkbox"/> 向上余地がない【理由】																								
	成果を向上させる余地はあるか? 成果の現状水準とあるべき水準との差異はないか? 何が原因で成果向上が期待できないのか?	維持管理を徹底し、また広く周知することにより、来訪者数も増え、成果の向上が更に図られる。																								
	<b>廃止・休止の成果への影響</b>	<input type="checkbox"/> 影響無【理由】 <input checked="" type="checkbox"/> 影響有【その内容】																								
事務事業を廃止・休止した場合の影響の有無とその内容は?	観光施設や観光沿線が花がなく荒地の状態だと、観光客に悪い印象を与えてしまうので廃止はできない。																									
<b>類似事業との統廃合・連携の可能性</b>	<input type="checkbox"/> 他に手段がある(具体的な手段, 事務事業) <input type="checkbox"/> 統廃合できる <input type="checkbox"/> 連携できる <input checked="" type="checkbox"/> 統廃合できない <input type="checkbox"/> 連携できない																									
目的を達成するには、この事務事業以外他に方法はないか? 類似事業との統廃合ができるか? 類似事業との連携を図ることにより、成果の向上が期待できるか?	市有地の原野に観光客のために花を植栽する事業は他に存在しない。  <input checked="" type="checkbox"/> 他に手段がない【理由】																									
効率性 評価	<b>事業費の削減余地</b>	<input checked="" type="checkbox"/> 削減余地がある【理由】 <input type="checkbox"/> 削減余地がない【理由】																								
	成果を下げずに事業費を削減できないか? (仕様や工法の適正化、住民の協力など)	長持ちのする花を植栽するなど、事業費の削減が可能である。																								
<b>人件費(延べ業務時間)の削減余地</b>	<input type="checkbox"/> 削減余地がある【理由】 <input checked="" type="checkbox"/> 削減余地がない【理由】																									
やり方を工夫して延べ業務時間を削減できないか? 成果を下げずに正職員以外の職員や委託でできないか? (アウトソーシングなど)	維持管理をすべて外部へ委託しているので、削減余地がない。																									
公平性 評価	<b>受益機会・費用負担の適正化余地</b>	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある【理由】 <input checked="" type="checkbox"/> 公平・公正である【理由】																								
	事業の内容が一部の受益者に偏っていて不公平ではないか? 受益者負担が公平・公正になっているか?	老若男女問わず、誰もが見学でき、また憩いの場として利用できる。また観光地の沿線の荒れている原野の整備にもつながり公平である。																								
<b>3 評価結果の総括と今後の方向性(次年度計画と予算への反映)(PLAN) 【担当課長記入欄】</b>																										
(1) 1次評価者としての評価結果		(2) 全体総括(振り返り、反省点)																								
目的妥当性	<input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり	維持管理の方法や情報発信を効率的に行うことにより、更に成果の向上につながる。																								
有効性	<input type="checkbox"/> 適切 <input checked="" type="checkbox"/> 見直し余地あり																									
効率性	<input type="checkbox"/> 適切 <input checked="" type="checkbox"/> 見直し余地あり																									
公平性	<input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり																									
(3) 今後の事業の方向性(改革改善案)・・・複数選択可		<input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 休止 <input checked="" type="checkbox"/> 事業のやり方改善(有効性改善) <input type="checkbox"/> 現状維持 <input type="checkbox"/> 目的再設定 <input checked="" type="checkbox"/> 事業のやり方改善(効率性改善) (従来通りで特に改革改善をしない) <input type="checkbox"/> 事業統廃合・連携 <input type="checkbox"/> 事業のやり方改善(公平性改善)		(4) 改革・改善による期待成果(廃止・休止の場合は記入不要)																						
<改革改善案> 維持管理の方法 情報発信の充実				<table border="1"> <thead> <tr> <th colspan="2" rowspan="2"></th> <th colspan="3">コスト</th> </tr> <tr> <th>削減</th> <th>維持</th> <th>増加</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <th rowspan="3">成果</th> <th>向上</th> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <th>維持</th> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <th>低下</th> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </tbody> </table>				コスト			削減	維持	増加	成果	向上				維持				低下			
		コスト																								
		削減	維持	増加																						
成果	向上																									
	維持																									
	低下																									
(5) 改革、改善を実現する上で解決すべき課題(壁)とその解決策 土地を外部に委託する 広報を積極的に行う																										